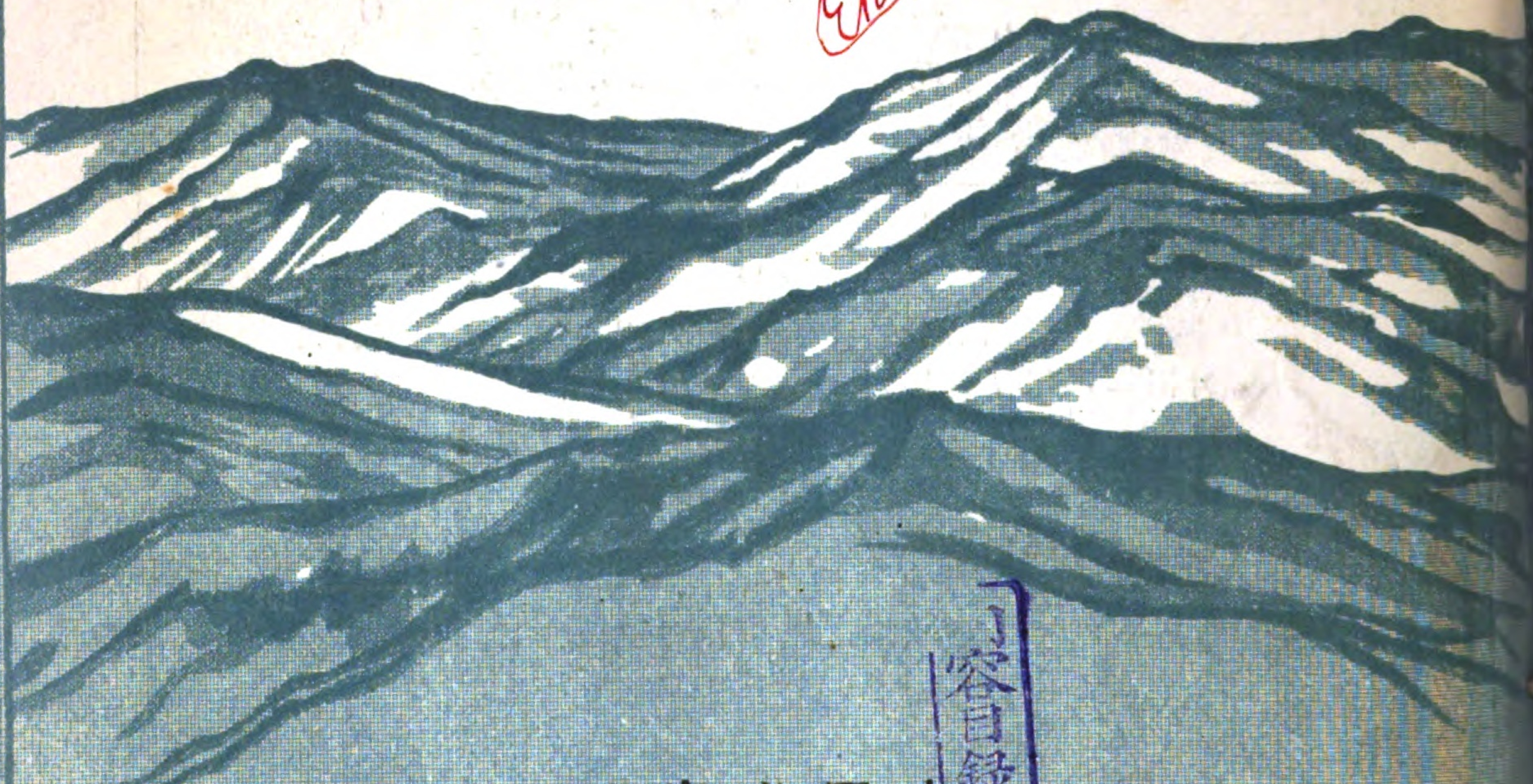
臺灣時報



大正九年

三月號

要目

社會的救濟事業
南支の列國商業勢力
濠洲の産業
官場十有八年の回顧
柬埔寨の蠶絲業
外調週報
海峽植民地事情
大正八年の臺灣貿易
本島地方事情
原稻神話餅の的
一九一九年比島貿易
臺灣に於ける蔬菜栽培
教育短信
統計、雜錄
漢文、法令

臺灣總督府內　臺灣時報發行所

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU 登錄濟 南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局 APR. 5 1920 SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO. LIMITED.
內容目錄記入濟

臺灣時報發行所役員氏名（イロハ順）

評議員長

法學博士 下村宏

評議員

醫學博士 稻垣長次郎
池田常吉
石坂莊作
市來半次郎
服部仁藏
羽鳥精一
原鶴次郎
新元鹿之助
西川利藤太
醫學博士 堀内次雄
富島元治
富地近思
陳鴻鳴
陳中和
李景盛
林熊徵
林獻堂
林烈堂
林鶴壽
農學博士 大島金太郎
大越大藏
大竹勝一郎
小畑駒三
岡田重久

渡邊英太郎
渡邊啓太
賀來佐賀太郎
川崎卓吉
簡阿牛
顏雲年
加福豐次
菅野善三郎
川中子安治郎
數田輝太郎
吉川卯三郎
醫學博士 高木友枝
工學博士 高橋辰次郎
田村武七
田村藤四郎
高田元治郎
法學博士 谷野格
高山仰
曾田孝一郎
津田毅一
永田綱明
永田隼之助
中村啓次郎
中島榮吉
長尾景德
内藤正太郎
武藤針五郎
宇野英種
梅谷光貞

隈本繁吉
草鹿砥祐吉
楠正秋
工學博士 山形要助
山移定政
松岡富雄
增田高賴
丸田治太郎
牧山清砂
松江春次
小松吉久
吳昌才
小松楠彌
辜顯榮
古賀三千人
枝德二
鄭拱辰
相川茂郷
赤石定藏
赤司初太郎
後宮信太郎
相賀照郷
麻生誠之
荒卷鐵之助
櫻井鐵太郎
坂本素魯哉
佐々木紀綱
齋藤愛二

柵瀬軍之佐
佐田武彥
蔡蓮舫
木村匡
木村久太郎
許廷光
北村吉之助
御厨規三
三村三平
三好德三郎
南新吾
庄田藤治
平山寅次郎
平高寅太郎
末松偕一郎
角源泉
鈴木重臣

編纂委員

石井光次郎
池田幸甚
男爵 井上清純
服部武彥
豐田勝藏
農學博士 東郷實
片山秀太郎
鎌田正威

瀧原三郎
田坂千助
角田廣次
長島八郎
長尾景德
草野義一
前田稔靖
古山榮三郎
藤井恭敬
小西恭介
阿部嘉七
菊池武芳
水越幸一
守屋德夫
農學博士 鈴木眞吉

常務員

編輯係 鷹取田一郎
同 拓大雄
同 中野顧三郎
同 小森德治
同 秋澤次郎
同囑託 池田壯太郎
同 小野眞盛
同 杉山秀
庶務及會計係 伊藤憐之助

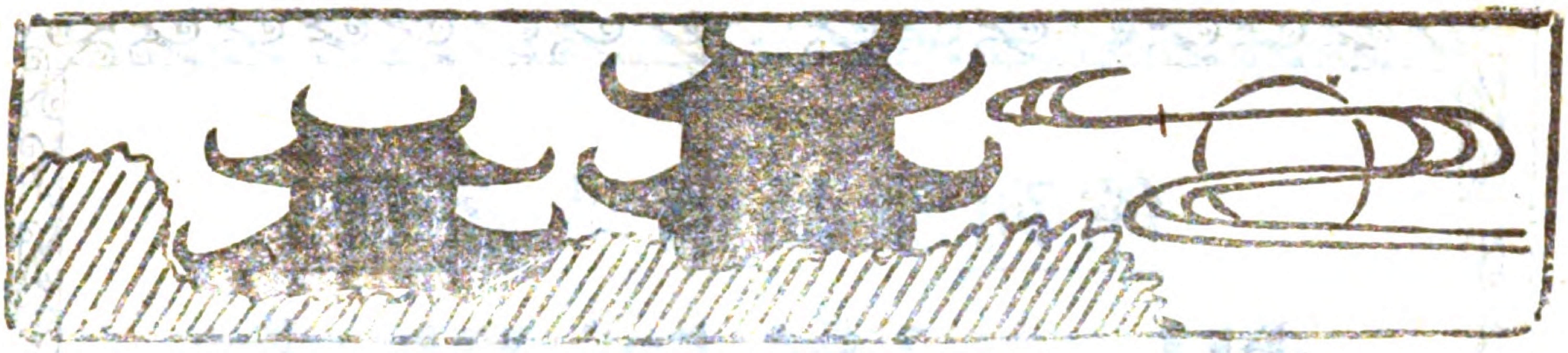
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新嘉坡商品陳列館

南洋經濟時報

本誌は印度・濠州・比律賓・蘭領印度・馬來半島・暹羅・其他南洋地方一帶に於ける貿易企業其他有らゆる經濟上に關する事項を掲載せるものであるので南方に志ある士は是非購讀せられんことを勸奬します。毎月一回一日に發行します。購讀希望者は郵税共一箇年分金四圓若くは半年分金貳圓相添く東京市丸の内仲通り一四南洋協會又は新嘉坡商品陳列館（ジヤパニース、コムマルシヤル、ミーヂアム）Japanese Commercial Museum. Singapore へ御申込み下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺灣時報

大正九年三月號目次

口繪

◉臺灣電力會社の水力發電工事を施行すべき臺灣南投廳下埔里社の日月潭

◉龜山第一發電所◉臺北水道水源地

論說

社會的救濟事業に就て……地方課長 水越幸一……一

南支那に於ける列國の商業的勢力の比較……總督府事務官 奥秋雅則……七

講演

◉領臺二十五年誌……一六

濠洲の產業……臺灣銀行助役 安西千賀夫……一八

談叢

◉二百年前の臺灣探險……三〇

官場十八有年の回顧……臺灣電力會社長 醫學博士 高木友枝……三三

◉茶烟竹榻……三六

調査報告

東埔寨の蠶絲業……總督府技師 吉田碩造……三七

外調週報……(外事課調査)……四七

海峽植民地事情……(商工課調査)……五四

大正八年の臺灣貿易概況……(稅務課調査)……五八

◉明治三十六年の臺灣文武官……六五

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

■地方事情■

本島各廳の狀況……(各廳報告)……六九

◉海南漫評……九六

■研究資料■

日本の原稻神話に伴へる餅の的の傳承……蕉鹿夢……九七

一九一九年度比律賓貿易概況……越村生譯……九九

臺灣に於ける蔬菜栽培に就て……安倍輝吉……一〇三

■記録■

◉支那の言文一致及朝鮮人……一〇八

教育短信……(湖山生)……一〇九

◉滋養の二大妙藥……一一一

■統計■……一一三

臺北手形交換所手形交換月表◉臺南手形交換所手形交換月表◉臺灣銀行劵發行高章準備保證高◉各銀行放資額◉預金貸出金◉臺北物價指數表◉信用竝信用兼營組合事業一覽表◉各銀行內外爲替取結高表以上財務局調◉臺灣貿易統要の一◉臺灣貿易統計の二(以上稅關調)

■雜録■……一二一

◉臺灣商況(商工課調)◉臺灣電力會社の事業(同社報)◉臺灣日誌◉人事消息◉任命

■漢文欄■……一二九

◉大日本便命及同化問題◉對支經宮策新綱紀◉庚申雜録

■法令■……一七七

◉臺灣漁業取締規則中改正外十七號

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行規定

第一條　政事、時事、農事、工事、商事、學術、技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況竝に南支那南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す

第二條　臺灣總督府內に臺灣時報發行所を設置す

第三條　臺灣時報發行の爲め左の役員を置く

一　評議員
二　編纂委員
三　常務員

第四條　臺灣時報は每月一日之を發行す但し必要に依り臨時增刊を發行することあるべし

第五條　臺灣時報に揭載すべき事項は之れを左記の要目に分つ

一　論說
二　講演
三　談叢
四　調查報告
五　地方事情
六　研究資料
七　統計
八　記錄
九　雜報
十　法令
十一　廣告

第六條　委員長は每月一回委員を會して編纂上の協議を爲すべし

第七條　臺灣時報の原稿は每月十日迄に發行所に送付せらるべし

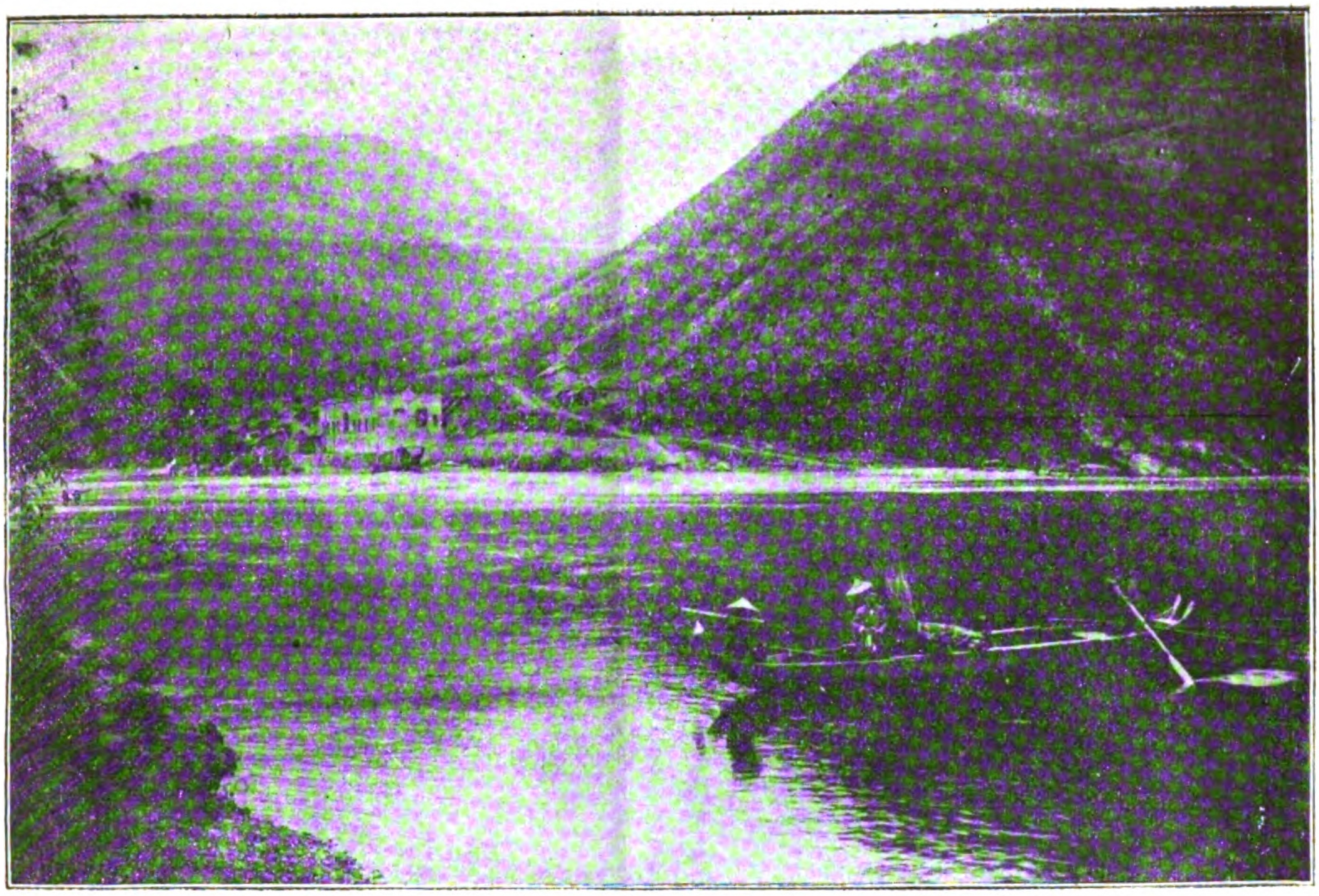
第八條　臺灣時報は他の依賴に應じて廣告を揭載することを得

第九條　臺灣時報の代價及び廣告料等は別に之れを定む

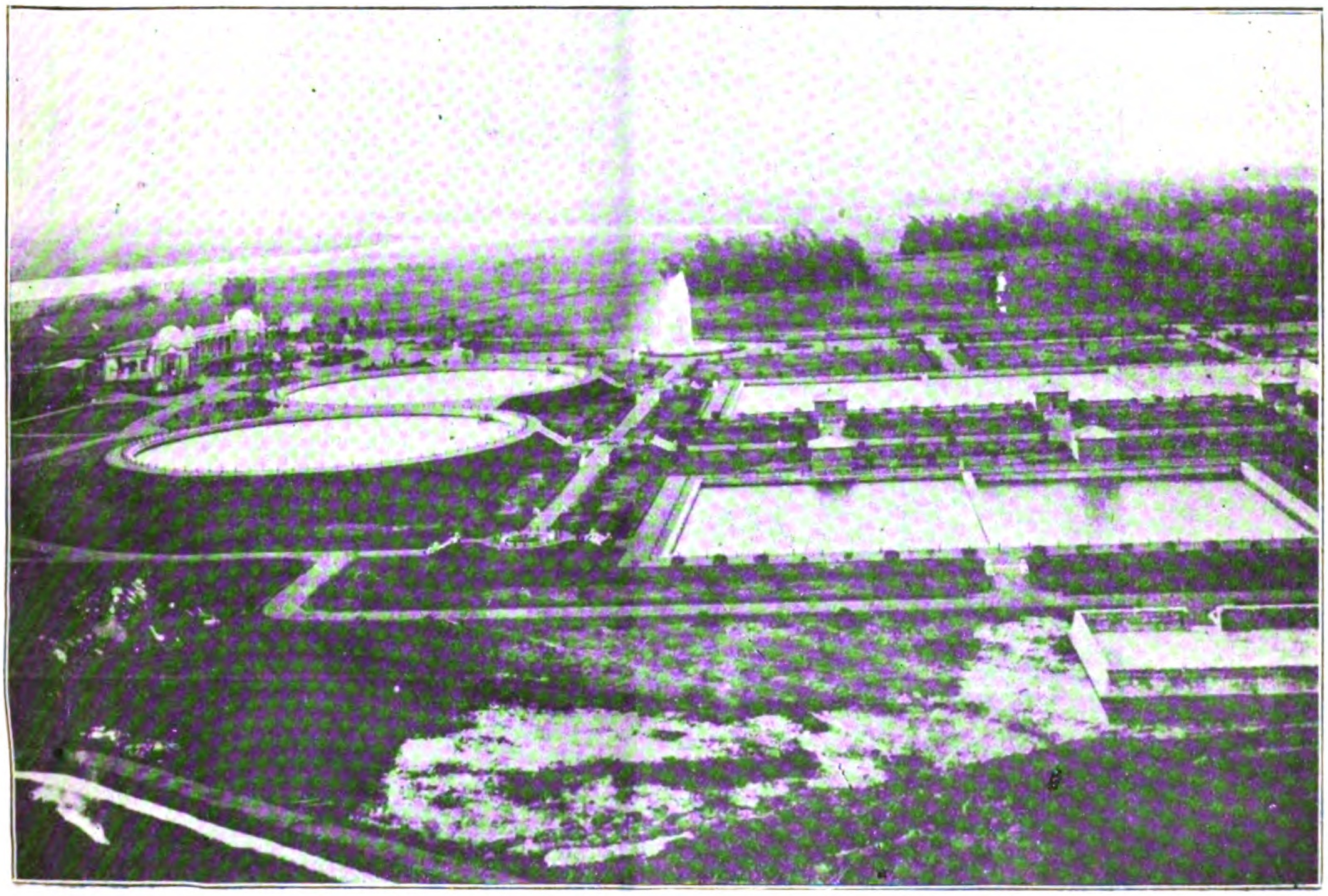
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣電力會社の電力工事を施行すべき臺灣南投廳埔里社の日月潭

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



龜山發電所



臺北水道水源池

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報
大正九年三月號

論説

社會的救濟事業に就て

內務局地方課長　水越幸一

一

凡そ國家社會の健全なる發展を期せむと欲せば、須らく先づ其の構成分子たる各個人々々の健全なる發達に其基礎を置くべしである。即ち各個人の健全なる發達は頓で一家の健全なる發達となり、惹いては一村一郷一地方より遂に國家社會の全體に及ぶからである。國家社會の發展は之を精神的方面と物質的方面との二種に分つことが出來るが、兩者の關係は恰も車の兩輪の如く、相互に連結されて駢進すべきものであつて、若し其の一を缺ぐときは片輪其の用を爲さゞるが如く、國家社會の圓滿なる發達を期する譯に行かぬのである。

而して精神上の進歩も物質上の發展も、畢竟國民の智能の啓發、德性の涵養に依りて其の目的を達成するのである。此の如くにして國民間には浮浪の徒、遊惰の民、貧窮に惱める者、又は疾病に苦しみ乍ら醫療を受くること能はざる人等の絕無を欲するのであるが、社會は中々複雜であつて、容易に其の理想を實現することは出來ぬのである。夫故に是等の不幸なる人々に對しては、或は感化薫育を施し、或は職業を授け、或は衣食の糧を給與し、或は醫藥を施し、以て公共の安寧と人民の幸福とを計り、國家の繁榮を期せなければならない。之れ社會救濟事業の必要なる所以である。

抑も救濟事業なるものは、人文の未だ發達せざる時代に於

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ては、親族の關係或は隣保間の情誼に依つて相互に救濟するの美風を有つて居り、其の範圍も比較的狹少であつたから、之に依つて充分其の目的を達し、遺漏なきを期することが出事從つて近世に於けるが如き組織的の救濟事業は、未だ充分に發達するの機會が無かつたのである。然るに世の中が段々と進歩し、社會が漸次複雜となり、生活の程度が向上し、生存競爭が益々激烈となり、貧富の懸隔が彌々甚だしきを加ふるに及び、貧窮者は頻りに增加し來りて、復た從前の如く親族又は隣保の相互救濟のみにては、到底滿足なる効果を收むることが出來ぬ樣になつた。此現象は所謂歐洲に於ける近世期、殊に工業の革進時代以後、都會に人々の集中する情態を出現せる頃より、愈々其の度を加ふることとなつたのである。併し乍ら若しも是等の狀態を自然の成行に放任するとせむか、即ち國家の進運を阻害するのみならず、國家自體の存立に對しても危害を加ふることなきを保せない。是に於て國家は從來の如く救濟事業を單に親族又は個人相互間の手にのみ放任せず、自ら之に關渉して適切なる施設を爲すの必要を感じた。是れ近世期の初め歐洲に於て救濟事業が組織的となつた所以である。之を歐米各國の實例に徴するに、此種事業の整頓は其の國文明の程度と殆んど正比例を爲して居る。即ち文明の程度の高き國は夫れ丈け社會救濟制度の完備して居る國と稱しても敢て過言ではないと思ふ。

二

救濟事業は其の性質上之を二つに分つことが出來る。即ち既に貧民となつた者を救ふこと、及び未だ貧民とならざる以前に之を敎化善導して救ふことである。

救貧法を最も早く制定したのは、歐洲に於ては英國であつて、既に十七世の初エリザベス女皇の時代に其の基礎を定めて居る。此の救貧法なるものは、實に義務救助主義を採用せる諸國の制度の淵源を爲すものである。此法に依れば、救貧の事務は各寺區の義務と爲し、救貧稅を起すことを許し、疾病者を撫養し、健康者を勞役に服せしむるの制であつたが、當時猶は實際上の適用は餘り多くはなかつた。而してチャールス第二世の時に至り、救貧籍法を發布し、寺區に於て救助の義務なき者は之を管轄外に放逐することを許し、又健康なる貧民は必ず强制勞役に就くこととの原則を確定し、其の後千七百八十二年、ヂョージ第三世の時に至り、ギルベルト條例を發布せられ、老衰疾病不具の爲め自活すること能はざる貧民の外は、漫りに强制して勞役所に收容すること能はざらしめ其の他の貧民は自由に職業を求めしめ、若し職業に就くも其の給料が生計費に足らざるときは、其の不足額は之を公費を以て補給するの制度を樹てた。然るに此制度は貧民社會の弊風を助長し、徒らに惰民を養ひ、勤勉なる農民をして其の負擔に泣かしむるの結果を生じ、公の救助を受くるを毫も恥辱と爲さゞるのみならず、寧ろ當然の權利と思惟するの傾向を生ずるに至つた。是に於てか維廉第四世に至り千八百三十四年救貧改革條例の施行を見るに至つた。本制度は以前の强制勞役制度を復活し、賃金補充制度を全廢し、勞働者の移動を自由ならしめ、中央に救貧委員を設け、地方に於ける救貧事務

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の統一及び監督の勵行を嚴にすることゝなつた。其の結果、漸次受救者の減少を見るに至つた。後ち數寺區を結合して救貧組合となし、組合に監督局を置き、組合には一つの勞役所を設け、健康なる受救者を收容し、又勞役所外の救助は食物又は金錢其の他必要なる物品を給與することゝなつた。然るに最近に至り、從來の方法のみにては到底其の目的を達する能はざるに至り、十年程前に現英國首相ロイド、ヂョージ氏は、有名なる養老年金法案を議會に提出し、其の協賛を得て該案は終に法律となつた。其の法律に依ると、英國臣民たる七十歳以上の男女であつて、過去十二年間國内に居住し、一箇年間三百十五圓以下の收入を得るに過ぎざるものは、救助を受くる資格あるものとせられたが、之に該當する受救人員は、千九百十八年三月末日に於て、九十三萬人、其の經費は概算一億八千萬圓の巨額に上つて居る。

佛國に於ては、現在各地方に慈惠局の設置がある。之は官憲と人民との聯合機關であつて、救貧の事を管掌して居るが、英國の如く貧民に救助の權利を認めて居らぬ。又中央には中央救濟事務局があつて、救貧行政のことを管掌して居る。又獨逸に於ては從來エルバーフエルド主義の救貧制度があつた。之は貧民を防問して救貧に陷らぬ前に、或は職業を授けたり、其の他の方法を講ずる仕組であつたが、此制度が現時猶は行はれてゐるや否やは全く不明である。要するに英・佛・獨等、戰後幾多の改造問題に關聯して、必ず此方面に於ても從來の遣り方に改革を施すべきことは、豫想に難からぬのである。

我國に於ける救濟施設は、上古より明君賢相が其の位に涖むに當り、最も力を盡したことの一つである。例へば光明皇后の癩病救助に於ける、淳和天皇の御妃正子内親王の棄兒孤兒を救はれ、或は濟治院を設けて僧尼の疾病を救治せしめたる如き、又た藤原冬嗣の施藥院、鎌倉時代に於ける北條泰時の慈善事業、僧忍性の施療院等は歷史上明かなことである。殊に又義倉の制度は、上古垂仁天皇の治世、既に凶歉に備ふる爲め屯倉を置きたるに始まり、文武天皇の御宇に至つて此制度の整頓を見るに至つた。降つて德川時代に至りては前田松雲翁の非人に對する授產制度、松平樂翁の强制勞役制度、或は佐藤信淵先生の農業殖民制度等、地方的の救濟制度は隨所に勃興したのであつた。明治に入りてより、一般的の救濟制度としては恤救規則あり、又不時の災厄を救助する爲めに設けられたる罹災救助基金法、行旅病人及行旅死亡人規則、不良少年の感化を目的とせる感化院法等は其の重なるものである。

三

然れども、救貧事業は元來消極的のものである。即ち貧困に陷らざる以前に於て之を豫防することを講ずるは、既に貧窮に陷つた者を救濟するよりも、より遙かに大切なことである。是に於て防貧事業の必要が起る。其の方法は種々あることゝ思ふが、先づ精神的方面の防貧制度としては、健全なる人間を造らなければならぬ。即ち普通教育の普及を計り、貧窮者の子弟は或は之を寄宿舍に收容し、食料を給與し、疾病あるものには適當なる保護を加ふること、或は補習教育を强制的とし、初歩の實業的智識を授け、或は圖書館を設置し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各種の展覽會を設け、通俗的公開講演を試み、廣く智能の開拓を試み、又不良の性質を有する少年に向つては、家庭主義・授產主義等によりて感化敎育を施し、或は節酒等の矯風事業を起し、出獄人を保護する方策を講じ、善行者の表彰を爲し或は人事相談所を設けて煩悶者の相談に應じ、又經濟的防貧制度としては、貯蓄機關を設けて貯蓄を奬勵し、浪費を省きて將來に對する計を爲さしめ、或は保險を奬勵して不時の災厄に對する用意に備へしめ、或は失業者に職業を紹介し、或は託兒場・授產場を設け或は產業組合を普及せしめて小資本家・小生產業者に低利の資本を供給し、或は質屋を設けて庶民の金融を圖る如き、孰れも防貧上の施設として重要なものである。而して是等の防貧施設は、歐米に於ては國家・地方團體又は個人が相協力して其實績を擧ぐることに、非常なる努力を盡して居る。

此の如く社會救濟事業の範圍は頗る廣汎に涉つて居るが、我國に於ても、最近此の方面の施設は中央に於ても地方にも相當に發達し、漸次改良の域に進みつゝあるのである。勿論此の救濟事業と云ふものは、何れの國に於ても、單に國家又は公共團體の經營施設のみに依りて、其の目的を達することは頗る困難である。故に官公の救濟施設の發達せる國程私設事業が旺盛を極めて居る。卽ち公私の施設相俟つて始めて其の目的を達せらるべきものである。

四

以上は單に救濟に救貧・防貧の二方面あり、其の內容如何を論述したのであるが、之に關して臺灣は果して如何なる狀態に在るか。

臺灣に於ても救濟的事業の機關は、官の經營に屬するものと私人の經營に屬するものとがある。卽ち前者は慈惠院及び慈惠院附設盲啞學校・行旅病人救護所・錫口養生院及び最近に設置せらるべき質局等であつて、後者に屬するものは、明治救濟會・大正救濟會・澎湖島各種救濟基金團・護國十善會・臺灣婦人慈善會・愛國婦人會臺灣支部・臺灣救濟團・樂施社・施棺社濟善堂・基隆公益社・羅馬加特力セントインファンシー・林本源博愛醫院・日本赤十字社臺灣支部・臺北仁濟團・臺中爲善團・臺北成德學院・臺灣三成協會等が其の重なるものであつて、或は民法上の公益法人あり、或は團體あり、或は一個人の事業もあるのである。其の目的とする所も多種多樣であつて、鰥寡孤獨の救濟を目的とするもの、無料宿泊所、職業紹介を目的とするもの、育兒を目的とするもの、施療救療を目的とするもの、不良少年の感化を目的とするもの、免囚保護を目的とせるもの等があつて、相當に成績を收めて居るのである。

官設の救濟事業中、最も組織的なるは慈惠院である。由來舊政府時代に於ける各種の慈惠事業は、改隸の際多く廢頹に歸して居つたが、明治三十二年兒玉總督の提唱によりて復興せられ、若くは舊慣を參酌して新設せられたのであるが、更に明治三十七年に至つて臺北・臺南・澎湖の慈惠院規則を發布し、爾後改正を加へて明治四十三年三月には府令を以て臺灣慈惠院規則となし、以て今日に及んで居る。現在の慈惠院は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北仁濟院・臺南慈惠院・彰化慈惠院・嘉義慈惠院及び澎湖普濟院の五箇所であつて、而して其の設置區域は臺北仁濟院は臺北廳・宜蘭廳・桃園廳及び新竹廳の四廳、臺南慈惠院は臺南廳・阿緱廳・臺東廳及び花蓮港廳・彰化慈惠院は臺中廳及び南投廳・嘉義慈惠院は嘉義廳下一圓、澎湖普濟院は澎湖廳下一圓である。院長には所在地の廳長を以て之に充て、院長の下には之を補佐する職員があつて夫々事務を受理して居る。被救濟者の資格としては、帝國臣民中獨身者にして自活する力なく又他より扶助を受くること能はざる者であつて、不具・廢疾・病傷・老衰・幼弱又は寡婦にして貞節なる者たること、此の內何れかの一條件を具備することを必要とする。尤も獨身者にあらざるも、其の家族が不具廢疾等に該當し、又は失踪入監等の事故に因りて自活する能はず、又は他より扶助を受くるの途かなき場合には、之を救養することゝなつて居る。而して其の救養は生活に必要なる衣食或は衣食に代へて金品を給與することゝなつて居るが、救養の方法は院內に收容して居る者と院外に於ける者とある。院內救養者は多くは院に於て衣食を給與して居るが、院外に於ける救養者は衣食料として定額の金錢を給與して居る。大正七年中新に給養を開始せるは百二十七人であつて、同年末の現員は各慈惠院を通じて五百五十八人、此の內院內救養者は百三十九人、(內盲啞生八十九人)、院外救養者は四百十一名である。由來救養者にして勞働能力あるものは、之に對して一定の勞働を課することは至極必要のことであるが、慈惠院の收容者は盲啞生を除きては多くは老衰廢疾者であるから、現在に於ては院內の清掃以外の勞働は殆んど之を課して居らぬ。臺南慈惠院に附設した盲啞部は、卽ち盲啞の子弟を教育して獨立自營の途を授けむがため、普通學科及鍼按等の技術を課して居る。此の外臺北仁濟院に於ては、一般の貧困者に對して特に施藥を行ふて居るが同年中の延施療患者は一萬一千百九十九人の多きに達し、而して同年中の經費は約四萬圓に上つて居る。慈惠救濟事業に就ては、我々國民が皇恩の洪大なるに感泣措く能はざるは、御內帑金の御下賜されて居ることである。卽ち　明治天皇の御大葬に方り、御內帑金を地方に頒賜して慈惠救濟の資に充てしむるの旨の勅語あり、畏くも本島には四萬八千六百圓を下賜されたるに就き、右勅語の趣旨に基きて慈惠救濟の事業を舉け、聖恩を無窮に傳へ、長へに叡旨の存する所を紀念する爲め、大正元年十一月、恩賜財團明治救濟會を設立し、又大正三年八月　昭憲皇太后の大喪に方り、地方の慈惠救濟の資に充てしむる爲め、御內帑金頒賜の御沙汰あり。畏くも金二萬九千圓を本島に御下賜せられたるに依り、之を本會の資金に加へ、以て叡慮の存する所を紀念し、島內の臣民をして永く聖恩に浴せしめんとし、又其後　今上陛下御卽位の大禮に方り、地方賑恤の資として、御內帑金頒賜の御沙汰あり、畏くも金四萬八千六百圓を本島に下賜せられたるに付、聖旨を奉體して本島に於ける慈惠救濟の事業を舉げ、長へに叡慮の存する所を紀念する爲め、更に大正四年十二月、恩賜財團大正救濟會を組織し、之より生ずる收入を以て慈惠救濟の資に充て居るのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の如く救濟事業には種々の方面があるが、近時の趨勢を鑑みるに、救貧的方面に於ても、單なる施與主義より漸次授産主義に進み、又救貧施設よりも更に防貧施設に重きを置く様になつて來た。臺灣に於ける現狀は尙ほ救貧的方面に於て幾多の改良を施すべき餘地あると共に、更に防貧的方面の施設に付て、大いに力を注くべき必要があると信ずるのである由來本島人間には、隣保の情誼に依りて貧者の救濟が行はれて洵に美風ではあるが、社會が段々複雜に赴き、人口の移動が多くなるに從ひ、充分其の目的を達することは不可能となるであるから、今後は慈惠院の設備等を相當に擴張して、時代の要求に應せしむべき必要かあるであらうと信ずる。又感化院の如きも、内地に於ては府縣に設置することゝなつて居るが、本島に於ては私立の感化院に對し、總督府より補助金を與へて之が經營を爲さしめて居る。然るに本島に於ける不良少年の數は隨分多數に上つて居るとのことであるから、感化院に就ても相當に改善を加ふる餘地がある事と思ふ。殊に市街地を浮浪して惡事を働く少年は勿論、例へ惡事を爲さざるとも風儀上寛容することの出來ぬ浮浪兒は、之を一定の場所に收容して感化善導し、適當なる職業を與へて良民たらしむる必要がある。又將來臺灣が漸次農業時代より工業時代に進むことゝなれば、勞働者保護の爲め、或は無料宿泊所を設け、或は職業の紹介を爲す爲め、相當の機關を設けて失業者の救濟を圖るの必要があらうと思ふ。又本年より設置せらるべき質屋は、庶民の金融機關として相當の效果を收むることゝ信ずる。又公設市場の如きも、既に久しき間の經驗を經て段々改良を加へ來つたが、今後は一層物價の調節と云ふ方面に向つて、充分力を盡すことが必要である様に思はれる。又一般庶民の智識の向上を計る爲め、簡易圖書館或は巡回文庫等の普及により、一般智識の向上を計ることも忽にすべからざるのである。殊に本島は所謂亞熱帶に屬するので、傳染病其の他の疾病は割合に多く、其の死亡率の如きも内地に於ては人口千人に付平均二十二人であるが、本島に於ては二十七人である。勿論出生が割合に多いので、人口增加の上には割合に影響しない様であるが、所謂衛生上の施設に付て充分研究の餘地あることゝ信ずる。殊に幼兒の死亡率の多數なることは實に驚くべき程で、死亡者の四割は五歳以下の幼兒である。勿論此の幼兒の死亡率は何れの國に於ても割合に多いのであるが、本島に於ける幼兒の死亡率は殊更多い様である。之は勿論氣候風土の關係もあらうが、營養或は醫療等と密接の關係があるので、若しも營養の供給不良なる爲め、又は醫藥の行屆かざる爲めに幼兒の死亡率が多いとすれば、此方面の施設は最先に實行する必要があるのである。其の他精神病院・癩病院等擧げ來れば枚擧に遑ないのである。要するに救貧上の施設も防貧上の施設も今や其の緩急に應じて實行し改良するの機運に際會して居ると信ずるのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支那に於ける列國の商業的勢力の比較

臺灣總督事務官　奧　秋　雅　則

一

普通支那本部を分ちて北支那・南支那及中部支那と云ふ。其分界は明確ならず。北支那と稱するは大體黄河流域以北の地方を指すものにして、即ち山東・山西・陝西・甘肅・直隷の各省を稱し、揚子江を中心とせる附近一帶の地方を中部支那と云ふ而して福建・廣東・廣西・雲南・貴州の各省を通常南支那地方と稱せらる。

今右三地方に於ける列國政治上及經濟上の勢力分布の大要を述ぶれば、北支那は以前日露兩國の競爭地域なりしも、日露戰爭後より漸次日本の支配下に化し來り、最近露國潰裂の結果、今は全く政治上及經濟上共に我國の勢力範圍の下にありと稱するを得べし。中部支那は一八四六年舟山列島、一八九八年揚子江流域等に付、不割讓の條約を英國に對して締結せしより全く英國の勢力範圍と認められ、英國の商業上の勢力亦た鬱乎として累年其根抵を養ひ來れり。然りと雖も最近歐戰の結果、英國の優勝なる地位に動搖を來し、形勢漸く一變せむとする傾向あり。是れ即ち我國の中部支那に對する貿易上又は投資上急激なる進展にして、今や中部支那は日英商戰の混戰場となり、更に最近に於て米國の擡頭急激なるものあり之を加へて三國の争覇場と化せしが如し。

次に南支那に付きて説かむに、由來支那の對歐米貿易の濫觴は南支那なりしと稱せらる。即ち第十七世紀の初葉彼のEast Indian Co.（東印度會社）の澳門・廣東に至れる前後の時期を以て其端緒とす。斯くの如く南支は通商關係に於て他地方に比し早きを以て、外國の勢力亦た諸方面より侵入して各要所に勢力扶殖を務めたり。香港は一八四二年阿片戰爭の結果、南京條約により上海・寧波・福州・廣東の開港と共に英國に分割され、後ち舊新九龍の讓渡若しくは租借となり、澳門は一八八七年葡萄牙に讓渡し、佛國は海南島の不割讓（一八九七年）及び東京邊境諸省の不割讓（一八九八年）雲南鐵道布設權（一八九七年）更に廣州灣の租借（一八九九年）を要求せり。我國は日清戰爭の結果本島を領有し、同時に對岸福建省不割讓の條約を締結せしめたり。

以上の如く南支那は概括的に何國の勢力範圍とも稱することを得ず。各國皆其領土に近接せる地方を中心として各其勢力の伸暢に努力せる狀況にして確乎たる足溜を有せざる米國又は獨乙の如きは、或は宗教・教育等の文化的施設により、或は敏捷なる商略によりて鋭意其勢力の扶殖に怠らざりき。更に各國勢力の現狀に付きて概觀するに、葡國の衰頽は云はず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もがな、當初領土近接の關係上最も盛なるべき佛國は、目下雲南鐵道の維持にすら困惑の色を表し、折角得たる利權も之を活用することを得ずして、漸次列國角逐の埒外に逸し去られんとする趣あり、獨乙の戰前對支活動は目覺ましきものあり、南支に付ても亦た同様にして、香港に於て直接英商と競爭せしのみならず、更に汕頭を中心として將來香港の繁榮を此地に奪はんとして努力奮闘せし跡歴然たるものあり。然るに今や全く戰爭の結果其勢力驅逐せられ、殆ど捲土重來の時期想像し得ざる有様なり。米國は如何と云ふに、一般に對支經營に付ては手遲れにして南支に於ては特に然り、宗教、教育の方面に於ては全支を通じ各國中其右に出づるものなく、從ひて支那人の好感情を有するもの亦た米國に及ぶものなし。特に南支は米國留學生出身者多く、親米的傾向は最も著し。去れど其商業上の勢力に於ては未だ其大なるものあるを見ず且米國の對支貿易は殆ど中支北支にして、南支に於ては對香港を除きては其額は微々として數ふるに足らざるなり。然らば殘る所は日英兩國なりとす。南支に於ける商業貿易上の中心者も揚子江流域と等しく、目下の處國別に論ずれば日英の兩國にして、將來或は米の參加するものあらむとす。又た英國の勢力は香港を中心として發展し、我國の勢力は日本本國及我臺灣を足場として之に對應す。されば一面中心市場の關係より論ずれば、南支商業上の競爭は將來上海・香港及臺灣の三者對抗とも觀察することを得べき也。

然りと雖も由來南支に於ける日英兩國の勢力は其差頗る大なるものあり、未だ到底我國英國を凌駕すと云ふ如き域に達せず。恰も香港の勢力に我臺灣の遠く及ばざると一般なりき。然るに今次歐洲戰亂は對支貿易に關する日本の活動に最好の機會を與へたり。英商が屢々稱ふる如く、我國は此Wonderful Chance(好機)に於てFul Advantage(大利益)を得たる也。其結果南支に於て到底英商に拮抗し得ざるものなりしに拘はらず現今に於ては相當堅き根據を扶殖し得たるものありとす。以下全支那に於ける列國貿易の消長及び南支各港に於ける貿易狀況を概說し、香港及上海の貿易內容を檢覈し、更に南支貿易に對する臺灣の地位を明にし、以て南支に於ける列國商業上の勢力の實況を比較研究せむと欲す。

左に戰前戰後を比較して列國對支貿易高を表示す。

▲戰前戰後列國支那貿易表

	一九一三年			一九一八年			△増×減
	輸入	輸出	計（千海關兩）	輸入	輸出	計（千海關兩）	
日本(朝、臺共)	一二二,八七三,五四三	七二,三五七,一五四	一九五,二三〇	二四九,三一五,八〇〇	一七七,〇七九,四九三	四二六,三九五	△二三一,一六五
香港	一七一,六三六,〇九七	一一七,一二八,六六一	二八八,七六四	一六二,一九一,八一六	一一六,九八八,〇二三	二七九,一七九	×九,五八五
米國(布哇ヲ含ム)	三五,四二七,一九八	三七,六五〇,三〇一	七五,〇七七	六一,八七九,五六八	七九,二八七,二七九	一五一,一六六	△五八,〇八九

英（印度加共）	一四七、七七〇、八八九	二五、七二五、四五五	一八七、九八四	六九、一九一、二九六	五六、七四九、〇四七	一〇九、九四〇	×八二、〇四五
佛（安南共）	一〇〇、〇八一、五二八	四二、六五六、八五五	五二、七一八	四、五二八、一五九	五二、〇六三、一八一	五六、五九一	×一六、五二七
露（西比利亞共）	二三一、五二三、八八八	四、五五五、〇三三	六七、〇七四	六、五八八、六七八	一四、六〇二、五二九	二〇、九九二	×四六、〇八二
和蘭（蘭印共）	八、二六〇、六九六	一一、二九七、五一六	一九、五五六	八、五六六、〇〇七	二、三九二、〇四〇	一一、一五八	×八、三九八
獨乙	二八、三〇二、四〇三	一七、〇二五、二二四	四五、三二七	—	—	—	×四五、五二七
白耳義	一五、八三〇、八三八	六、五四六、三九八	二三、五七七	—	—	—	×二三、五七七
葡（澳門共）	六、五九七、三二一	四、九七〇、八二五	一一、五六八	三、一九三、五二四	二一、一五三、二二七	八、八一二	×二、七六六
伊國	六六三、六五一	八、三一八、〇二八	四、三七五	二五六、六七四	九、六三四、七八〇	九、九九一	×五、六一八
墺匈國	四、一二一、九一三	一、五五〇、一七五	五、六七二	—	—	—	×五、六七二
其他	一二、三七〇、六三六	一四、八八三、五八三	一一、七〇二	一二、三三二、四〇一	一四、七三三、六三四	二六、九六五	△一五、二六三
計	五八六、二九〇、四三一	四〇三、三〇五、五四六	九八九、五九五	五七七、六四三、八〇二	四八五、八八三、〇三一	一、〇六三、五二六	

本表によれば戰前支那市場に於て相當勢力を有せし白耳義は殆ど地を拂ひ、疾風迅雷的に侵入し來れる獨乙は絶滅し、又英香佛等は著しき減少を示し、其反對に日米が著大なる發展を現はす。而して今や我國は其首位を占め、戰前香港・英國・日本・米國の順序なりしを、英國は香港・米國の次即ち第四位に低下し、香港を英國と合算する時は一九一七年にありては尚英國の日本より多きこと六千五百六十萬兩なりしも、一九一八年に至りては美英兩者を合せるものよりも我國の貿易高は約四千萬海關兩を超ゆ、實に顯著なる發展として列國驚目駭心する處なり。更に我が大藏省の統計による我國外國貿易中支那貿易額の增加を示せば左の如し。

	一九一三年 全額	一九一三年 對支那	一九一八年 全額	一九一八年 對支那
輸入	七二九、四三一、六四四	六一、二二三、〇三八	一、六六八、一四三、八三三	二八一、七〇七、五三三
輸出	六三二、四六〇、二一三	一五四、六六〇、四二八	一、九六二、一〇〇、六六八	三五九、一五〇、八一四
計	一、三六一、八九一、八五七	二一五、八八三、四六六	三、六三〇、二四四、五〇一	六四〇、八五八、一四七

即ち過去五箇年間に於ては對支貿易額は約三倍の增加をなし我對米貿易と共に益々重大なる地位を占め來れり。

三

本支外國貿易の狀況は右の如くなるが、其内我南支に於ける貿易は斯くの如く未だ我國の爲めに有利なる數を示すものに非す。戰前戰後を通じ各港貿易狀況を表示すれば

各地 ＼ 年別	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年
三都墺	二、七三六、一九一	二、九六四、八八一	四、〇二八、〇三一	三、九二七、四六〇	二、五〇〇、九八〇	一、七三九、九七三
福州	二八、一八五、四八四	二四、三四九、〇四〇	二四、九八九、〇九三	二四、三三九、一八一	一八、九九五、三三三	一一、四四九、〇〇三
夏門	二〇、九七九、三九九	一九、五二六、一九七	二一、四〇九、五七〇	一八、五〇四、八五九	一五、三八九、八六〇	一四、四八七、五五四
汕頭	五三、〇〇三、九九三	五五、〇二一、三九六	六〇、八五〇、七六六	六一、〇一五、四七三	五三、六一四、六四九	五一、四五〇、四四九
廣東	二四、〇七三、〇八	一〇六、五七二、五九三	一〇六、九〇二、八三五	一一一、九四六、七三七	一〇四、六二一、五五九	一〇五、五一九、二七九
九龍	四七、三七六、二七二	四五、三〇一、三〇二	四六、七三八、二七二	四七、〇四三、四八三	五三、八三八、七〇九	五七、六九二、四一二
拱北	一八、〇一八、五〇八	一六、七一五、八三四	一七、五九六、五九八	一四、三〇三、二三五	一六、二八三、五〇二	一三、五一三、九九〇
江門	八、六五六、七八九	六、八八八、一〇九	四、六八一、五一六	八、三九八、八四九	五、一九〇、三〇七	四、五八九、五三九
三水	七、六四〇、六一四	七、〇四一、七九三	六、七六六、九一〇	七、七三六、二三六	六、一三四、五六九	四、六七六、二二四
梧州	一六、一四一、九二八	一五、六五五、三〇二	一五、九九三、七八四	一七、六三〇、八八二	一七、四九三、四五一	一八、三一九、三五七
南寧	七、六〇七、六三三	六、八九三、六二〇	七、八一〇、六九一	七、一六七、八九〇	七、〇一九、七九六	六、六四四、〇一五
瓊海	六、六三四、三二六	五、八三五、七七三	六、二四九、五七七	六、一三〇、〇六三	五、九二四、〇七〇	四、五六一、一二〇
北海	二、七七三、四〇六	二、二〇二、六三〇	三、〇五六、六九八	二、九九七、七六一	二、七二七、九六〇	二、八四三、三七三
計	二三四、八一五、六六〇	二三四、五七八、三二九	二三五、九七五、四四一	三一九、八八一、一〇九	三〇九、七三六、七五一	三〇〇、二四三、一四九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右の内最も貿易額の大なるは廣州所謂廣東にして各年共一億兩を越え、次は九龍・汕頭・拱北・梧州・厦門・福州の順序なり以上各港に於ける列國の各貿易高に付きては明細に示すこと頗る困難なり。その理由は支那海關統計之を明示せざるのみならず、よし之を明示するとなすも香港貿易の内容が各仕向地仕出地別に明白に知り得ざる限り、其支配下にある各市場の實數は之を知ることは困難なり、例せば廣東の如きは大部分輸入品が香港に於て仲繼せらるゝが爲め各國貿易の實際上の勢力を確知することを得ず、たゞ右各港に於て列國商人の貿易上の勢力の大様は税關統計中に掲げらるゝ各國商人別海關税納入額及各國々籍別船舶により之が大體を判斷し得べきのみ。

▲南支各港海關收入表（一九一七年）（單位海關兩）

港＼國	英	支	米	日	其他
三都澳	二二・六〇四	一〇二、三七五・九八二	〇・一六八	一一、四一八・一一一	五一八・一四五
福州	一六二、四〇〇・二七一	一九〇、五九六・八四四	七九・五九〇	七九、一六二・五九〇	八七七六・〇九四
厦門	一三三、八〇〇・四三五	一二八、九七三・〇五一	一、四七四・一六五	一四六、一八一・五四一	二七、四三八・六九八
汕頭	六一一、一九五・一八七	四六、二八八・六八四	六五四・九一二	一八六、三七六・三六〇	—
廣東	一、八八四、〇五三・〇六六	二九九、七四二・二一三	四二、四五七・一五二	三八、三四一・四四四	一六、三四六・七九四
九龍	—	三六、九三四・六二三	—	—	—
拱北	—	一三二、八一四・三二七	—	—	—
江門	一一〇、四三八・八六五	一四、四七八・六〇七	九八、四四八・五三〇	—	一六四・八〇〇
三水	三一、九五五・〇八二	八六、一二四・六九七	三七〇・一三四	—	九〇・八〇〇
梧州	一二八、八四三・〇二〇	三二八、一四〇・四〇九	一一、四一八・〇九五	七二・一八一	二、五四・七七五
南寧	三〇、一九二・四四四	九八、〇三五・一三五	〇・七〇〇	—	—
瓊海	一二、七一八・三九〇	七七、三六七・五〇二	四二四・一八七	—	二七、七三九・一六二
北海	六、八八七・五六〇	五、九一二・二四四	—	—	六〇、七四二・四八四

▲南支各港出入汽船國別表（一九一七年）

港＼國		英	支	米	日	其他
三都澳	隻	—	三四四	—	—	二
	噸	—	六八・八八八	—	—	二・一六八
福州	隻	一五八	五八二	六	一七四	一四
	噸	一九八・一七二	二四九・三〇八	一・九一〇	一五四・六三四	一六・五七二
厦門	隻	四八一	一〇六	九	五一五	三七
	噸	五九六・二七五	七四・九七四	六・六九〇	四八一・六三四	九〇・五三八
汕頭	隻	一、〇四六	八六	四	四三二	一一六
	噸	一、二三三・九五一	六五・二〇二	八・二九二	四二八・七六四	一二〇・四一四
廣東	隻	二、九三八	四、六〇六	一三一	九四	一六
	噸	二、二五九・七〇二	八〇二・六八一	三・九九二	七九・四六二	一一・九九八
九龍	隻	—	四、一七八	—	—	—
	噸	—	七一、七一三	—	—	—
拱北	隻	—	一一六	—	—	—
	噸	—	七・八五〇	—	—	—
江門	隻	一、一九〇	二五〇	五八	—	—
	噸	四三六・三〇八	六〇・〇四四	二・八四〇	—	—
三水	隻	一、三〇六	三、五〇八	六四	—	—
	噸	三五一・七九四	九七一・七四八	一・六二三	—	—
梧州	隻	八六八	二、八三六	四〇	—	—
	噸	一八〇・四五九	五四四・二五九	〇・八六〇	—	—
南寧	隻	二五四	一、一九五	四	—	—
	噸	一〇・六六八	六四・二九五	一〇	—	—
瓊海	隻	二二〇	一六〇	二	二	三二〇
	噸	一九七・一七〇	五〇・四五〇	六五八	一一・五一二	一五〇・六四八
北海	隻	二〇	一六	—	—	二二〇
	噸	一一・四三三	四・九二八	—	—	四三・五四四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右表によれば我臺灣に接近し最も邦商の勢力扶殖さるべき厦門に付きては、漸く邦商英商に凌駕せるも、福州汕頭に於ては英は未だ彼に及ばず。若し夫れ廣東其他の南方諸港に於ては英商獨り舞臺の觀あり。然りと雖も邦商の地位斯く上昇せるは實に歐戰の賜ものにして、戰前戰後を比較する時は其增加頗著なるものあり。英商の經營は其歷史古く且常に土著的にして固定資本の投下を惜まず、堅き根據の下に活動す。香港經營の如きは云はずもがな、廣東沙面の建設を見るも南支沿岸各地の港灣に於ける設備卽ち倉庫棧橋等の經營に付て見るも、彼等の經營振り如何を知るに足るものあり。然るに邦商の南支經營の著手は其日極めて淺きのみならず、而も其業務たるや浮草の如き所謂Commission Merchant（仲買）のみにて何等の土著的又は地方的產業投資主義に進まず。資力の乏しき我小商人が巨額の資本を投下し土著的經營に著手し得ざるは是非なきも、堂々たる大資本を擁し戰時多大なる利益を占めたるものにして未だ永久的經營に著手せざるは眞に遺憾と稱すべし。例せば船舶業に於て戰後非常なる發展を爲し東洋に於て獨步の地位を有せし如きも、南支沿岸の所謂Coasting Line（沿岸線）に付きては殆ど無力なり。蓋し沿岸航路は太洋航路と異り倉庫棧橋其他港灣に於ける設備を要し、貨物集收の便を計らざるべからず、從ひて固定資本の投下を必要とす。是れ常に邦商が英商に比して一籌を輸する點なりとす。我大阪商船の如きも漸く本島より一のDouglass & Co.（ドグラス）を驅逐し得たりとするも、尙はButterfield & Swire（バタフキールト、エンド、スワヤ）やJardin Matheson（ジャーデン、マセソン）に比すれば甚だ劣弱なる點多し。邦船出入繁き汕頭に於てすら大阪商船は未だ出張所の設けなく、英商を通じて商業せる狀態なり。以て其他を推するに足る。若し今後邦商の勢力ローカル（地方）に於ても尙發達せしめんと欲せば須らく其經營方法の一新を急務とす。斯く觀察し來り、南支那市場に於て邦商は到底英商に及ばざるやと云ふに否らず、既に前揭の如く全支貿易に於ける我國の地位は驚くべき進步をなし、列國より嶄然一頭地を拔けり。南支に於て亦其中心市場より達觀する時は、邦商並に本邦商品の著々其勢力を穫得しつゝあるを見る。以下上海・香港・臺灣の各市場を通じ、列國南支貿易の內容を研究せむ。

四

香港は南洋に於ける新嘉坡、中支に於ける上海と共に由來南支に於ける唯一最大の中心市場なり。其特色とする所は南支南洋に對する好個の中心點を占め、所謂公海に於て無比の良港を有し、且つ英國元來の政策たる自由貿易主義に則り、何國の船と雖も自由勝手に出入貿易することを得る最大便利なる港なり。從つて此地域狹少にして何等の天產なきに關せず天與の仲繼港として開港以來隆々繁榮す。香港貿易の內容は全く仲繼貿易なるを以て、其貿易の實質內容は英國の貿易に非らずして列國貿易の總計算なりと稱すべし。然るに香港は英國主權の下にあるを以て、縱し單に積替若くは一時「ストック」を止むるに過ぎざるものも、全部英國の對支貿易の內に算入せらる。されば香港貿易の內容を明にするは一面支那

市場に於ける英國の眞の勢力を暴露し、且南支に於ける列國貿易の實質上の勢力を明示するものにして其意義極めて重大なり。只茲に遺憾とするは香港政廳が最近に至る迄香港貿易の內容を敢て明示せず、漸く一九一七年の後半より簡單なるTrade Return(商業報告)を出版せることゝす。其結果漸く香港貿易の總額及各國貿易高を知ることを得たるなり。香港貿易は普通五億弗と稱へられしは十年以來に屬す、右簡單なるTrade Return(商業報告)によれば一九一八年の貿易高は輸出入合計壹億貳千八百萬磅に達す。卽ち近時急激なる貿易の增減なきを證すべし。右の內各國別貿易高を揭ぐれば左の如し。

▲香港貿易表(一九一八年)

國別	輸入(磅)	輸出(磅)	計(磅)
英國	四、四三九、二二三	一、一一二、三八一	五、五五一、六〇四
濠國	一、二四〇、三九二	三六二、五七四	一、六〇二、九六六
加奈陀	一一二、一九〇	六六一、四四〇	七七三、六三〇
ニュージーランド	八、四〇七	四〇、九三五	四九、三四〇
印度、セイロン	三、六〇六、二四七	二、二七六、一八九	五、八八二、四三五
ビルマ	一二三、一九〇	三三五、八八六	四五九、五二三
海峽殖民地	二、七一六、六八五	三、一〇四、二九〇	五、八二〇、九七五
英領ボルネオ	三〇〇、六九六	一〇〇、一八八	四〇〇、八八四
支那•及臺灣	九、三六一、七九三	三七、〇一一、三九六	四六、三七三、一八九
日本及朝鮮	九、八一九、二七一	四、四九四、四八三	一四、三一三、七五四
蘭領印度	一、三二〇、九四三	一、五九二、二〇二	二、九一三、一四五
佛領印度支那	一五、二八九、二七五	五、八五四、三四五	二一、一四三、六二〇
シアム	三、五九七、九三五	一、一二六、八三五	四、七二四、七七〇
米國(比島共)	八、八九二、五三五	六、九二一、〇三四	一五、八一三、五六九
佛國	三〇、三一〇	三二七、七七九	三五八、〇八九
伊太利	六、二七〇	九、二六四	一五、五三四
其他	六七、五八三	一、七二六、二六八	一、七九三、八五一
計	六〇、九三三、四九〇	六七、〇五七、四八七	一二七、九九〇、九七七

右表によれば香港輸入貿易六千萬磅の內、日本及朝鮮よりの輸入約壹千磅卽ち總額の六分の一に達す。而して英本國よりの輸入は我國の半にも若かざる有樣なり。更に我大藏省の統計により日本對香港貿易の累年比較を揭ぐれば左の如し。

▲對香港貿易統計(臺灣對香港貿易ヲ含ム)

年次	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年
輸出	三七、九八一、一一五	三三、六六九、〇二二	二七、九八五、〇九四	三六、七六八、四〇一	六五、三一九、一〇一
輸入	一、三九一、五六九	九二四、一二七	一、六一四、八〇一	一、〇四一、五八五	一、八六五、六九三
計	三九、三七二、六八四	三四、五九三、一四九	二九、五九九、八九五	三七、八〇九、九八六	六七、一八四、七九四

右により戰前戰後を比較するに其增加や眞に驚嘆に價すと云ふべし。縱し南支の「ローカルポート」に於て邦商の勢力英商に未だ到底及ばずとするも、其中心市場たる香港に於て我貿易上の進運右の如き有樣なるに於ては、其大勢の赴く處察知し得べきなり。更に香港に於ける邦商の戰後の活躍亦實に目覺しく、今や自國品中心主義の狹少なる政策を棄て、外國品の賣買を旨とし、三井・鈴木・岩田等盛に所謂國際商人として活躍す。邦商及商品の兩者を通じて觀察する時は、香港市場に於ては我國の勢力必ずしも英國に追隨するのみに非ざるなり。

更に一轉して補助商業とも稱すべき金融業船舶業等に付きて述べんに、南支各港に於ける出入船舶は既述の如く邦船到底英船に敵せず、然れとも香港出入の船舶に關しては邦船必ずしも英船に劣るものに非ざるなり。たゞ香港政廳は各國別船舶出入の統計を明示せず、故に邦船增加の狀況を明白にする

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を得ざるが一九一七年の香港青書により香港入港船舶の國籍別を掲ぐれば左の如し。

▲香港入港船舶國別表

國別	隻數 一九一六年	隻數 一九一七年	入港個數 一九一六年	入港個數 一九一七年	噸數 一九一六年	噸數 一九一七年
英國	二八一	二五九	一、八五八	一、五〇三	三、四〇四、四九七	二、五八五、七二六
日本	二七二	二六九	九八八	一、五〇八	[illegible]、〇〇四、三八二	三、一一〇、五七四
ノルウェー	三三	三七	一六四	一二八	一六八、一五六	一六五、五三六
支那	四五	五四	三〇九	三二八	三〇六、七九三	三二五、四七五
デンマーク	四	六	四	六	一三、四四〇	一六、三六〇
和蘭	二四	四一	一三五	一五六	三五九、七一三	四一七、五八五
佛國	一九	二四	一三四	一五五	二六九、四三七	二六〇、八三一
葡萄牙	五	一五	一〇一	一四一	一四八、一五一	六七、九七三
露國	四	二	一六	五	一六、六四一	六、七二一
シアム	一	二	一	二	八一〇	四、〇七[illegible]
スヰス	八	二	八	四	二四、五八二	五〇、八二九
米國	二四	三六	四七	七四	一一八、六〇一	一六四、七九三
伊太利	—	一	—	一	—	三、四[illegible]〇
無國籍	—	一	—	一	—	四四五
計	七一七	七七〇	三、七六一	四、〇三三	四、八五六、一六四	六、一五〇、三三四

右表によれば一九一六年に於ては、英船は邦船に比して噸數に於て三分の一强多きも一九一七年に於ては英船の多きこと僅に二割に達せず、一九一八年香港 Shipping Return（商船報告）は更に一層香港出入英國船の著しき減少を示せり。勿論斯くの如き狀況は戰亂に伴ふ變調にして、今後は其傾向の如何なる程度迄打破せらるゝやは疑問とする所なるも、現今香港に於ける邦船の勢力亦盛なりと謂ふべし。又香港に於ける我銀行は正金・臺銀のあるのみなるも、後者の活動は特に著しく、此地の中央銀行たる香上銀行を除いては其營業振り幾多諸國銀行の上位にありと云ふも過言に非ず。

既に支那外國貿易は南方より發達せし關係上、香港の發達は他港に比して頗る早く、從ひて又た南支各港の全く香港市場の勢力範圍の下にありたる觀ありき。然るに近時上海の勃興著しく漸次其勢力南下し來り、動もすれば香港の勢力を驅逐せむとするの概を示す。例せば福州・廈門・汕頭の如きは今や上海と香港との勢力伯仲の間に變化し來る。上海の地位右の如くに進展し來れる以上、吾人は上海に於ける列國商業上の勢力消長の大様も亦研究するの必要あり。

五

上海に於ける列國貿易狀況は戰前戰後を比較するに左の如し

國別／年別	一九一三年	一九一八年	増減（×）
英國（印濠加共）	一四八、四五六	九〇、三二一	× 五八、一三五
香港	二二、二四七	三七、八〇六	一五、五五九
日本（朝鮮共）	五九、五一二	一四八、三八六	八八、八七三
米國（比共）	五七、四五〇	八四、一七三	二六、七二三
佛國（安南共）	三九、三六四	三二、〇七一	× 七、二五三
獨逸	二五、二三八	—	× 二五、二三八
白國	一四、九二六	—	× 一四、九二六
和蘭（蘭印共）	一二、九七四	六、二一三	× 六、七六一
露國（西比利亞共）	一二、〇二一	四、二二一	× 七、八〇〇
伊國	八、四〇九	九九七七	一、五六八
墺匈	五、〇九〇	—	× 五、〇九〇
其他	—	—	七、四六五
計	四二一、三一〇	四一六、二五八	× 五、〇四二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上海の對外貿易は戰前英國首位を占め日米之に亞ぎ佛・香港・獨乙・白耳義の順序にして日米の勢力伯仲の間にあり、獨乙の如き新進の勢を以て戰前數年の間に非常なる發達をなし來りしも、歐州戰亂勃發と共に閉息するに至り、白耳義も亦其影を潛むるに至れり。一九一七年迄は尙英國首位を占め香港貿易を合計するに於ては遠く他國之に及ばさりしも、遂に一九一八年に於て右表示す如く我國首位を占め、香港貿易を合するも尙は約二千萬海關兩を超過するに至れり。我國の輸出額は戰前に比して約二倍半の增加を示す。上海貿易に於ける最も急進的なるは全支貿易に於けると等しく、日米兩國にして、今此日英米の貿易の內容を究むるに、米國は輸入輸出の半にして其輸出たるや歐戰參加の結果、軍需材料の供給激增せるによるものにして恒久的發展を示すものに非ず。即ち一九一七年に於ては貿易額一億海關兩を突破せしも一九一八年は右表の如く八千四百萬臺に低下せり。日英共に輸入輸出の倍以上を占む、而して英國より上海に輸入せらるゝ主要なるものは綿製品を第一とし、卷煙草・石鹼其他の雜貨品にして日本よりの輸入品は同樣綿製品其首位を占め、砂糖・石鹼・燐寸及雜貨等此に次ぐ、故に大體に於て英國輸入貿易の減退は本邦品の輸入增加と見るべし。上海貿易の競爭は日米よりも寧ろ日英兩國間に存するものと謂ふべきなり。而して貿易發展の狀況は右表の如く我國の勢力疾風迅雷の趣あり、全支貿易に於けると同樣上海貿易に於ても英國の榮冠は今や地に落ちんとす。

尙上海に於ける邦人の活動は最近益々活氣を沿え單に Commission Merchant としての發展のみならず、土著的經營に深入し吾人の理想とする所謂地方產業投資主義に接近し來れるなり、特に近時異常の發達をなしたる上海紡績業の如きに付きては多年經營に務めたる英商の後に瞠若たるものあり。

南支各港を支配する上海、香港に於ける邦商及我が商品の勢力の狀況以上述ぶるが如し。更に之に加ふるに我臺灣亦近時南支貿易に關し漸次重要なる地位を占め來る、以下之に付き少しく述ぶる所あらむ。

由來臺灣の貿易政策は外國貿易よりも寧ろ內臺貿易の發達に力を注げる趣あり。されは其結果外國貿易は內臺貿易十箇年每に五倍する勢に比すれば頗る貧弱なるものなりき。然るに歐州戰爭は本邦外國貿易の刷新と共に本島外國貿易にも發展を促し戰前に比すれば約三倍强の增加を見たり、而して其最高點に達せる大正八年に於ては九九、七五五、〇四九圓即ち約一億圓に垂んとし內臺貿易に比敵せむとする勢を示し來る。其主なる相手地は南支南洋なること勿論なり、左に地理的遠近の關係上南支各港の內最も臺灣貿易の影響を受くる厦門・汕頭・福州・泉州・香港の各地に對する臺灣貿易の大樣を掲ぐれば左の如し。

仕向地別	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年
廈門	円 三、一三二、八四四	円 二、八三三、五〇六	円 三、六四四、八八七	四、二七八、五一四	円 五、七〇九、三九七	円 六、二四一、五〇三
汕頭	九一二、五七六	八四九、六〇一	一、四二六、三三八	三、三三七、九九二	三、四二八、一〇二	四、二五六、七一五
泉州	六一四、五七七	七二八、六四八	八〇〇、二六五	七九六、五二八	八二一、四三一	九五二、四九六
福州	一、二九六、〇五一	一、七〇三、五四七	一、七〇六、一九五	二、六八五、九四〇	三、七八九、七八八	三、八八九、二四〇
廣東	一〇〇、五二九	七一、二九九	九九、四三三	一〇八、八一四	八三九、〇九三	四四三、〇一二
香港	四五五、九三九	四四〇、〇〇六	六〇四、四三六	一、八一四、一八六	八、二三〇、七八一	一四、二二一、七九六

右貿易表を厦門・福州・汕頭の全外國貿易高と比較するに一九一七年厦門に於ける全外國貿易は九百八十四萬海關兩なるに内臺灣貿易は五百七十萬圓、福州に於ては外國貿易六百七十萬海關兩なるに、内臺灣貿易は三百七十萬圓、汕頭に於ては二千三百三十萬海關兩中三百四十二萬圓にして臺灣貿易の勢力亦中々に侮り難きものありて存すと云ふべきなり。

更に本島外國輸出貿易の内容を檢するに、本島輸出貿易は本島土產品の輸出と母國製品の仲繼的輸出との二種よりなる、特に本島の如く地域狹少なるものに於ては大工業地と化せざる限り、其貿易額の增大は土產品に待つことは困難にして、本島の仲繼貿易は主として南支南洋に對するものなることは論を待たざる處なり。之が累計增加の狀況は次の如し。

一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年
七九四、二七〇円	一、三八九、七四九円	三、二〇四、〇一二円	五、八一九、八三二円	一〇、二四九、三九一円	八、六二一、三一九円

仲繼貿易の增加も戰前戰後を比較すれば頗る急激なるものあり即ち大正貳年と大正六年とを比較すれば其增加比率は約十四倍强に當れり。

本島仲繼貿易の將來に關しては幾多の問題伏在す、但し本島の南支南洋に對する通商上の地位の利用せらるれば、せらるゝ程仲繼貿易は發展すべきものにして、戰時の比率を以て今後增加し得ざるは勿論なるも尙前途益々發展の餘地あるものなるは明也。

六

以上各段に記述する所を要約するに南支に於ては英・日・米の順序を以て各自勢力進展に努めつゝあるものと稱すべし。而して新進氣鋭旭日昇天の勢を以て進み來れるは我國にして勢力扶殖上所謂底力あるものは英國なり。米國の商業上の活躍は蓋し今後にあり、最近疾風の如き勢を以て進み來れる我商權の擴張に對し一大頓座を生ぜしめたるは夫の山東問題と共に誘發せる日貨排斥なりとす。之が我對支貿易に對する影響は未だ之を正確に調査發表し得る時期に達せず、よし一時的の傾向なりとするも其影響や尠少ならずと稱すべし。日貨排斥は偶々英商に取つては戰時中失墜せる商業上の勢力恢復に絕好の機會を與ふるものなるべく、又機敏なる米國商人に於ても必ずや此機會に於て邦商の勢力驅逐を計るべく、此結果果して邦商の地位如何に變化すべきやは今日に於て逆賭すべからず。最近南支よりの通報によれば、米國製雜貨の如き呂宋仲繼にて盛に進入し來り、本邦品に比して優良廉價に供給せらるゝ模樣にて、本邦品に對して頗る勁敵なる如し、亦更に平和克復と共に英商の猛然奮起せし一例を上ぐれば、最近上海に開催せられたる英國人商業會議所の聯合會なりとす。即ち彼等は盛に英國品販賣の方法の改善英國商標の保護官民融合等を唱へ、英商の對支經營に關し緊張氣分の旺溢せるを示せり。我對支貿易や實に前途樂觀を許さず、特に近時漸く進展の途に上れる我南支貿易に於てをや、邦商たるもの今後一層の奮勵を要す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

領臺二十五年誌

明治三十三年（接前）

六月

▲一日 北清擾亂の端を開く
▲二日 後藤民政長官臺中より歸る
內地人組合存廢問題起る
▲四日 臺中監獄囚徒破獄を企つ
▲六日 第一旅團長原口少將去り土屋少將其後任となる
▲八日 內地人組合廢止に決す
▲九日 臺北監獄無期徒刑囚四人破獄
▲十五日 杉山外務書記生北京にて殺害せられたりとの報に接す
▲十六日 水野遵氏十四日逝去の報に接す、賜瑞芳金山を擬ひ砂金四袋を贈る
▲十七日 第六回始政紀念の宴會あり、清國太沽にて戰鬪を開始す
▲十九日 故水野遵氏の追悼會を擧行す、臺東に於て蕃人三百六十名に行從す
▲二十日 添田頭取歸行
▲二十二日 天津日本領事館燒かるとの報あり
▲二十三日 廈門にて各國領事會議を開く
▲二十五日 日本軍太沽に上陸す
▲二十八日 北京列國公使天津到着
▲二十九日 福州大洪水
▲此月總督府に於て打狗港灣の調査に着手す

七月

▲一日 原口第十七旅團長赴任、總督府に於て始めて電話を一般公衆の使用に供す
▲二日 殖民行政學校開校す
▲五日 暴風雨にて花蓮港大慘狀
▲六日 暴風雨あり淡水河增水一丈
▲七日 兒玉總督歸府す
▲十日 臺灣協會學校設立認可せらる
▲十二日 臺南に臺灣殖産會社興る
▲十三日 福州大洪水の報に接す
▲十四日 後藤民政長官上京す
▲十六日 聯合軍天津城を占領す
▲十七日 日本銀行利子を引上ぐ
▲十九日 司法警察官署會議終了、吾妻山噴火
▲二十五日 臺灣製糖會社補給利子の請願を爲す
▲二十八日 臺灣礦業株式會社設立の議あり
▲二十九日 臺灣守備兵を廈門に派遣せんとして中止す
▲二十九日 伊國皇帝暗殺せらる
▲三十日 臺北城內の市區改正委員會を開く

八月

▲一日 銀貨二錢方騰貴す。旅團長會議を總督官邸に開く
▲二日 福州より孫保瑠、王孝繩の二氏來臺す。伊太利皇帝兇刃に斃りて崩御せるの報あり。臺南監獄重罪囚二百餘名破獄を企つ
▲四日 旅團長會議終了す
▲六日 基隆にペスト發生す
▲七日 後藤民政長官歸臺す
▲八日 臺灣民報初號出づ
▲九日 軍夫募集事件起り大稻埕組店員就縛
▲十日 臺北大稻埕の車夫七百餘名同盟罷業す
▲十二日 臺灣家屋建築規則發布せらる
▲十三日 基隆築港局官制發布。鐵道營業法に關する律令を發布せり。巨堂參與氏逝く
▲十四日 添田臺灣銀行頭取歸臺す
▲十五日 古物商取締規則發布、聯合軍北京攻擊を始む
▲十七日 雲林の匪首張大猷逃走す
▲二十日 三角湧辨務署第三課長市川巨生蕃に殺さる、臺灣事業公債第二回の發行あり
▲二十一日 日本軍北京占領の報に接す
▲二十二日 地方長官會議を總督官邸に開く
▲二十三日 臺北市區の改正に着手す。漳州地方不穩の報あり
▲二十四日 廈門に暴徒起り本願寺布教所出火し和泉艦より陸戰隊を上陸せしむ
▲二十六日 黑田樞密院議長薨去。立憲政友會成る
▲二十八日 臺灣總督府は高千穗艦長の請求に依り其筋の命を奉じて陸兵を廈門に派遣せんとす
▲二十九日 地方官會議終了す。內地に大暴風雨ありたりとの報に接す
▲三十日 廈門への派遣軍隊基隆にて待命を命ぜらる。大嵙崁生蕃討伐開始

九月

▲一日 臺灣銀行株主總會を南京に開く。英國陸戰隊廈門上陸の報あり。後藤長官上野廈門領事上京す
▲二日 大嵙崁方面蕃社大討伐を行ふ。立憲政友會創立委員會を東京に開く
▲十日 松村侍從武官來臺す。室田駐韓公使來臺、歐洲漫遊中の閑院宮殿下御歸京
▲八日 監獄官制發布、從來地方廳の管理に屬せしを改めて總督府直轄となる
▲九日 室田公使廈門に赴く。大嵙崁地方にて隘丁百四十名行衛不明の報あり。土匪臺中沙仔崙派出所を襲ふ
▲十一日 松村侍從武官南行す
▲十三日 大嵙崁生蕃の砲擊を始む
▲十四日 全島大暴風雨あり被害多し。天皇皇后兩陛下より御救恤として金一千五百圓を下賜せらる
▲十六日 上野廈門領事來臺す
▲十七日 臺灣神社官幣大社に列せらる
▲十八日 水返脚辨務署を廢す
▲二十二日 米國侍從來臺。後藤長官歸臺す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲二十四日　圓銀價格の改定ありて三錢を引上ぐ
▲二十五日　土地測量保管規則發布
▲二十六日　内閣更迭の報あり
▲二十九日　ドクラス汽船會社株主總會を開く
▲三十日　臺北縣廳内に日本赤十字支部篤志看護婦人會開會式を擧行す
▲此月阿片の害毒と題する册子を總督府に於て編し各學校に於ける修身衛生の材料と爲す

◉十　月

▲一日　改正郵便規則を實施す。福州新航路を開始す
▲三日　臺灣官鹽の委託販賣を小栗氏に許す
▲八日　烏龍茶佛國博覽會にて金賞牌を受くと報あり
▲九日　米國侍從歸東の途に就かる
▲十二日　坪林尾方面土匪大斬獲の報あり
▲十三日　廣東に暴徒蜂起の報に接す
▲十五日　全島辨務署長會議を開く大稻埕怡悅銀行破產す。前參謀長木越少將來臺
▲十六日　總督府にて樟腦製造請負契約を鈴木池田の兩人と訂結す
▲二十日　伊藤新内閣成る。總理伊藤博文、大藏渡邊國武、司法金子堅太郞、内務末松謙澄、外務加藤高明農商務林有造、文部松田正久、遞信星亨、陸海軍大臣留任
▲二十四日　石塚參事官長歐洲より歸る
▲二十五日　松村侍從武官歸京の途に上る
▲二十六日　苦力及苦力頭兩歸規則縣令にて發布。内務省及地方官更迭
▲二十七日　圓銀公定相場一圓に付五錢騰貴。西園寺候樞密院議長となり臨時總理を兼ぬ
▲二十九日　厦門に大火あり
▲三十日　臺灣慣習研究會成る
▲此月總督府に於て島内道路を一二三等に分ち道路設備準則を設定し各地方廳に通達す。各醫院及公醫をして阿片癮者治療の研究調査を遂げしむ。臺北龍匣口庄に民政部直轄苗圃を開く

◉十一月

▲一日　元檢察官石山愼一郞拘引さる
▲三日　各官衙にて天長節の祝典を擧ぐ
▲七日　木村匡氏の送別會あり
▲八日　議會召集の詔勅出づ。臺灣度量衡條例發布
▲九日　臺灣保安規則發布せらる。臨時海港檢疫所官制の發布あり
▲十日　後藤民政長官奉上す。嘉義匪首張六經以下歸順式を行ふ
▲十二日　兒玉總督坪林尾地方の蕃界を巡視す
▲二十三日　兒玉總督村上知事臺南に赴く
▲二十四日　銀貨公定相場改定あり二錢方下落す
▲二十八日　公學校職員退隱料規則公布。打狗臺南間鐵道開通式を擧行す
▲二十九日　臺中監獄にて囚徒二百餘名の破獄騷動あり。事業公債四十萬圓餘の發行あり

◉十二月

▲二日　臺南縣鳳山に於て饗老典を擧行す
▲五日　黑岡東宮武官長發去
▲七日　石塚參事官長歸臺す
▲八日　臺北縣公醫會議を開く
▲十日　兒玉總督臺南より歸臺す。臺灣製糖會社第一總會を東京に開く
▲十一日　北投地方にて秋期演習を行ふ
▲十五日　臺北城内にペスト發生す
▲十六日　秋期演習部にて圓山に祝宴を開く
▲十七日　兒玉總督上京す。三板橋に觀兵式あり
▲十九日　淡水砲臺にて榴彈破裂す
▲二十一日　星遞信大臣辭表を提出す
▲二十二日　帝國議會召集せらる。原敬氏遞信大臣となる
▲二十三日　操觚者懇親會を開く。兒玉總督陸軍大臣の兼任を命ぜらる
▲二十四日　深坑廳下業主權查定了る
▲二十七日　臺北縣廳構内にペスト發生す
▲二十八日　土地調查局の清賦一班成る

■明治三十四年

◉一　月

▲一日　四方拜各官廳新年祝賀式あり。名刺交換會を行ふ
▲二日　嘉義竹頭崎支署に土匪襲來す
▲六日　臺南蕃仔山の土匪大搜索に着手す
▲八日　陸軍始。百斯篤發生す
▲十一日　元檢察官石山愼一郞所刑を受く
▲十二日　臺灣新聞發行。臺銀厦門支店盜難に罹る
▲十三日　臺灣商報發行禁止（條令規定以來嚆矢）
▲十四日　兒玉總督歸府
▲十五日　初て保安規則執行。高山國發行。宜蘭廳頂雙溪附近にて巡査臨勇十九名行衞不明の報あり
▲十七日　地震。兒玉總督奉上の途に上る
二十一日　淡水丸沈沒
二十二日　英國女皇崩御の報あり
二十七日　臺灣文庫開院式を行ふ
二十八日　微震。巴里博覽會列席の奐文秀氏歸臺

◉二　月

一日　匪徒匪首詹阿瑞大學臺中を襲ふ。銀貨公定價格一圓に下落
二日　殉難六教育員紀念會あり
三日　福澤諭吉氏逝く。臺南灣裡鐵道開通式
五日　大屯山上に雪降る
六日　赤十字社厦門委員部設置。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演

濠洲の產業

臺灣銀行助役　安西千賀夫

此一篇は舊臘二十日臺北城南小學校に於て東洋、南洋兩協會及び臺灣教育會の爲に安西氏の講演せるもの、速記錄にして氏の校閲を經たるものなり

一

私は濠洲視察の爲め八月の十日に臺北を出發しまして先月の二十六日に歸りました。此の間費すことか約百十日而も約六十日と云ふものが往復に取られまするので、濠洲の陸上を旅行致しましたのは僅に五十日、即ち九月の十二日から十月三十一日迄、僅か五十日の期間であります。僅か五十日位の日數はドーカすると內地を往復するのにも要する樣な次第であるが故に、我邦に十數倍の面積を有つて居る濠洲を此の僅少の期間に於て的確に觀察しやうと云ふことは、千里眼や大本敎の樣なものなればいさ知らず、吾々凡夫に取りては到底不可能の事なのである。從て今日玆に御話を申上けるのも餘りに大膽千萬の樣にも感じまして、衷心恐懼に堪へない次第であるが、併し今回の旅行は單に銀行の方から出張の辭令を受けたるのみならず、又總督府からも囑託の辭令を受け、尙は臺北の商工會からも南洋に於ける產業調査の依囑を受けて居りまするので、申さば各位に對しても御報告の義務のあることを感じまして、敢て本日玆に罷出てなしたる次第であります。斯樣の譯でありまするから出來得る丈け正確な資料に基き、又信憑すべき人士のみの談話を基礎として御報告を申上ける積りでありまするに拘らす、誤謬誤解の點も少ならぬ事と存しまするが、其の點は幾重にも御容赦を願ひまして暫く御淸聽の程を願ひます。

尙御斷り申上げて置き度いのは、今日は產業上の事を主として申上げるのであるが、元來此の產業上の事は文學や政治論なぞと違ひまして、自然計數なぞの數字を羅列しなければならない樣な場合も起り、興味の薄いものであるのみならず、又時間の都合上說明が詳細に亘り兼ぬるので、或は各位の御倦怠を招く樣な場合がありはしないかと恐れるのであるが、何卒此の點は豫め御含み置き下さいまして、是亦た免恕の程を偏に願ふのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

顧みるに、私が八月の初旬濠洲に參ることが確定して、頂戴致した辭令が三つあるのであります。即ち銀行からは濠洲に出張を命ずと云ふ辭令で、總督府からは南洋に於ける商工業の調査を囑託すと云ふので、臺北の商工會からのは南洋に於ける產業云々と云ふのであつたと記憶致します。そこで先づ私の胸に浮びましたのは、第一南洋と云ふのは一體どんな所であるか、濠洲は南洋の範圍内に入るかと云ふことゝ、第二濠洲の意義如何と云ふ疑問なのであります。

元來此の南洋と申しまする言葉は、極めてポピユラーに使はれて居りまするが、其の意義は必ずしも判明して居ない樣である。爪哇やボルネオやスマタラの方面が南洋に屬することには異論がない樣であるが、印度が南洋に入るや否やに付ては已に議論があり、濠洲が南洋に屬するや否やに付ては更に意見が岐れて居る。英語では南洋の事をSouth Seas又はSouthern Ocean と申して居るが、其の意義も亦明かでない。新渡戸博士は印度や濠洲は南洋中から除くと云はれたが、是は學問上妥當とするや否やは別として、博士一個の意見で確定義でないのは勿論である。臺灣に於ては從來印度は勿論濠洲をも南洋中に包含せしめて居つた樣であります。

斯の如く南洋と云ふ觀念は極めて曖昧なもので人に依て其の意義を異にして居るのであるから、申さば其の解釋は極めて自由である。否な南洋の意義を確定する權能を有つて居るものは、貿易上、事業上、政治上等に就て最も緊密の關係を有し、又我邦南洋經營の礎石を爲して居る所の本島でなければならぬ、と云ふことを私は信して居るのである。職を本島に奉して終始本島本位である私共の觀念としては、南洋の意義は成る可くならば其の廣きに從ひ度いので、啻に爪哇やスマトラの如き地方のみならず、亞米利加も歐羅巴も阿弗利加も共に之を南洋と云ふ意義の中に加へて、現在爪哇其の他の地方に爲して居る發展、否な夫れ以上の大發展を以て本島に立脚して、五大洲を脚下に踏み付けて見たいと云ふのが吾々の理想でありますから、其の御手近の、直ぐ御隣りの濠洲が南洋中に入ることは確信して居るのであります。

斯くの如く濠洲が南洋中に包含せらるゝものとしても、之を以て爪哇やスマトラ等の地方と其趣を同一に致して居るのではありませぬ。否な寧ろ是等の地方とは事情が全く相違して居るので、例へば動物學上から見ても、馬來半島やスマトラの方面に居る所の象は濠洲には全く見ることが出來ぬ。又ボルネオなどに有名なオーランウータンと申す猩々の樣な猿も濠洲には居らぬ。又濠洲の特色とするカンガルーの如きものは是等の地方には見ることが出來ない。又植物の分布から申しても、濠洲の到る所に見受けるガム即ちユーカリプタスと申す木は、所謂南洋の方面には餘り無いのであります。英のウオーレスと云ふ學者の說に依ると、動物學上並に植物學上から亞細亞と濠洲との境は、今のボルネオとセレベスの間に北から南に線を引張つて其の線が亞細亞系統と濠洲系統の區別であるなどと申して居ります。斯く動植物の分布に於て差違があるばかりでなく、其の住民、風俗、習慣、政體其の他百般の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

制度に至りましては、所謂南洋の地方とは全く其軌を一にせず、正反對の事が多いことは申上げる迄もない事と存じます即ち濠洲が南洋中に包含せらるゝと云ふ事は、其の自然上又は社會上の狀態からの結論ではないので、便宜上の事であると云ふ事は御諒解を願ひ度いのであります。

之で總督府や商工會の辭令は解決が出來たとして、次は臺灣銀行の辭令である。即ち濠洲と云ふのは一體どんな所を指すかの問題である。—辭令の解釋にも中々骨の折れる事でボーナスの辭令の樣な譯には參りませぬ—地理學上から濠洲、私は濠洲をオーストラリヤと解したのであります。一寸申上げて置きますが、聯邦政府の所轄である所謂濠洲大陸及其の屬地と之にニユージランドを加へたるものとは區別があるので前者は之をオーストラリヤと稱し、後者は之をオーストラリシヤと申して居る。而して此オーストラリヤと申すのは南緯の十度から四十五度、東經の百十三度から百五十四度に亘る範圍の島嶼を指すことになつて居る。又政治上に於てオーストラリヤと申せばパプーア即ちニユーギニヤ・ロードハウ・ノーフオーク等の諸島を包含して居るのである。併し普通にオーストラリヤと申せば所謂彼の大陸及タスマニヤを指すのである。斯樣に濠洲と云ふのは其の意義を異にして居るが、私の旅行致したのは此の普通の意義に於ける濠洲でありまして今日御話を申上けるのも亦此の意義に從ふのであります。

三

以上の意義に於ける濠洲は其の廣さがざつと三百萬平方哩、我邦の十一倍幾ら、臺灣の二百幾倍の大さを以て居る。斯樣な廣い所で其の中には熱帶もあれば温帶もあるので、濠洲の氣候は一概に申すことは出來ぬが、之を北半球に比べると概して穩かであるのではないかと私は思ふ。即ち熱帶の部分に於ても北半球よりは餘程凌ぎよく、又温帶の部分は我邦などよりは非常に暖かい樣に思ふたのである。之を緯度から申すとシドニーの邊を貫いて居る南緯の三十四度と云ふ線は、之を我邦などに直すと下關や紀州の陽淺の邊を通つて居る北緯に相當し、又メルボルンの少し南方タスマニヤとの間を貫いて居りまする四十度と云ふ線は、我邦に於ては能代と秋田との間を通つて居るのであるが、其の温度たるや非常の相違でシドニーに於ては雪は勿論霜も降りませぬ。メルボルに於ても霜の降ることは極めて稀である。メルボルンの平均温度は五十七度、最高の平均が八十度で最低が四十三度である。シドニーに於ては之より平均六度高く、アデレードに參ると今一度高いと云ふ話である。從て一年中常に快き氣候で、殊にシドニーなどになると寒くとも外套を用うることは要らぬ。暑くとも白服を着ける要なく、合服一着で一年中通すことが出來、殊に其の一點の曇りなき快晴が毎日續くことは何とも云へぬ快感を與へるのである。濠洲は俗にドライの國と申しますが、一體に雨の非常に少ない處で、其の中央部分などに參ると一箇年僅に五吋も降らない樣な處が譯山あるのであるシドニー等は適度の降雨があるそーであるが、それでも私共には非常に早燥して居る樣に感せられた。參つてから當分の間は毎日唇の乾きを感するので、試みに夜の九時頃單衣を十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分水に浸して室に掛けて置いた所が、翌朝には立派に乾いて居りました。之には私も一驚を喫したのであります。斯様の次第で空氣は乾燥し雨は少ないが、是れが即て此地の特有たるメリーノと云ふ種類の羊に最も適して居るのである。

人口はざつと五百萬、即ち臺灣の人口に毛を掛けた位しかないのである。即ち一平方哩に二人に足りませぬ。其の中央の部分は勿論其の他の地方に於ても人跡の全く絶えて居る所が少くないので、其の開けて居るのは主に其の東南の海岸部一帶の地方にあるのである。

汽車などで旅行すると、何處迄行つても際涯なき千里の沃野にユーカリプタスと云ふ木がぼち〳〵生へて、其の間にちらほら羊が草を漁つて居るのを見受ける樣な有樣で、之を我邦の猫額大の土地迄も耕し盡して、山迄も削り落して一平方哩に三百幾十人と云ふ人が住んで居ると云ふ土地柄に比べると誠に思ひ半ばに過ぐるのである。能く人は濠洲を以て荒削りと申すが、私共の見た處では未だ荒削りも行きつかない、所々に斧鉞の跡を見ると云ふ位に形容しても多くの誤りはあるまいかと思ふ。學者の説に依ると二億の人口は裕に收容することが出來るとか書いてある。以て如何に其の未開の部分が多いかと云ふ事を想像することが出來ると思ふ。尤も濠洲は全部土地が肥えて居る譯ではない、探險者の報告によく表はれて居る樣に、一滴の水なく一本の草もない全く不毛の土地が少くない事は勿論である。殊に此の不毛の土地は濠洲の中央の部分から北及西の海岸にかけて多いので、濠洲の開發が比較的新らしいのも初めの探險者が多くは是等の地方に到着したからの事であるとか歴史に表はれて居ります。

右申述ぶる樣な次第で濠洲は全部肥沃の土地ではないが、現在開發して居る部分即ちクヰンスランドからニユーサウスウエルス・ビクトリヤ・サウスオーストラリヤ及ウエスターンオーストラリヤのパース附近の土地は相當に肥えて居るのであります。

住民は殆ど全部が英國人と申しても宜しい程で、總人口の九割七八分迄は英人である。從て英人特有の氣質と其の文明とを備へ、社會制度から政治の組織等、總て英國に異らないものであると御承知あつて可からうと思ふ。土人に關しては未だ正確な統計がないので、人に依つて其の計算を異にして居るが、大體十萬と云ふのが最も正確な説の樣である。其の中シビライズして居る者、即ち英人などに使はれ又は之と接觸を持つて居る者がざつと二萬、之は正確なる統計に上つて居るのであります。

四

濠洲と云へば直ちに羊毛を連想する樣に、濠洲は實に羊毛の國である。あのシドニーの港灣、シドニーの港灣は世界中の船舶を收容することが出來るとか出來ないとか申して居る廣大なる立派な港灣であるが、其の港灣に浮かんで居る無數の大船巨舶は實に此の羊毛運搬の爲に來て居るので、廣大なる倉庫、巍峨たる建築物も亦此の羊毛の爲に出來て居るのである。否な倫敦に勝るとも劣らないなど向ふの人が誇つて居るシドニーの市街は、直接間接に此羊毛に依て成立つて居るの

である。啻にシドニーのみならず、メルボルンに於ても亦其の他の市街に於ても、申さば羊毛に依りて出來て居る樣なもので、眞に濠洲は羊の國なのであります。若しも濠洲から羊を取つて除きましたならば、其の產業の七分方は無くなるであらうと思ふのであります。

元來此の羊は濠洲固有の動物では無いのであるが、現在居る羊の總數は約八千五百萬頭、羊毛の產額が百五十萬俵內外、價格にして三億圓位と思ふ。八千五百萬頭とすると假りに一英反に一頭の羊を入れるとして、臺灣の總面積に羊を放つとしたならば、全島に僅か七百四十萬頭しか收容し切れないと云ふ結果を來すので、二頭平均とするも尙ほ千四百八十萬頭しか收容することが出來ぬ。以て如何に其の數の多いかを想像することが出來ると思ふ。最も羊の數は年に依つて非常に差異があるので、一億近くもあつた事もあり、又七千幾百萬頭と云ふ數に減じた事もある。斯く年に依て相違のあるのは全く雨量の關係如何に依るのであります。

羊毛は年一回、春の終り夏の始めの頃、即ち彼地に於ては九月から十月の頃最も多く剪るのである。一寸申上げて置きますが、南半球の天地は北半球とは全く異つて、六七月頃が一番寒い冬で、十二月から一月が最も暑いのである。即ち私の參つた頃が剪毛の時機でありました。羊毛を剪るには馬と犬殊に犬の力で驅り集めるのである。即ち集める人は馬に乘つて長い鞭の樣なものを持ち、Sheep dog と云ふ特殊の犬を指揮して廣い牧場の羊を集める。犬は前後左右縱橫に驅け廻つて後方の峯こちらの谷と思ひ〳〵に草を漁つて居る所の羊を集めるので、夫れは實に巧妙なものであります。斯くして二百なり三百なりの羊を集めて來て之を狹い柵の內に入れ、先つ之を甲乙二種位に分ち、更に之を剪者に送るのである。而して剪る方法は從來大鋏を以て人力で剪つたと云ふ事であるが、今日は恐く機械の力で電力を起し、之をバリカンに通して剪るのである。私の實見致した所では、電力の通じたバリカンが三十許りも竝んで居て、之に二十四五人と記憶するが、剪毛者が竝んで剪毛を仕て居りました。非常に巧みなもので其の中で一番早い人は一日に二百頭以上も剪毛すると云ふ話である。斯樣に熟練した者が數十人相竝んでバリカンを動かして居る有樣は全く目の醒むる樣なもので、一頭の羊を剪るのに物の五分とは掛らない、三分か四分で立派に剪つて仕舞ふ斯の如くして剪りました羊毛は更に之を五六の種類に分類して三四百封度の大なる俵となし、之をシドニーなどの問屋へ宛て送ることとなるのであります。

羊の飼方は全くの放牧で野獸の生活して居る狀態と少しも違ひませぬ。好める所に遊び、望む處で食を求め、寐たい時に睡るので、毛も肉も申さば放つて置いて出來る樣なもので、牧羊業者生活は極めて豐かなものであります。

私の見ました牧場などは餘り大きなものではないが、それでも一萬七千英反の土地に二萬の羊を養ひ、自動車なども二臺備へ、瓦斯も自分で起し、見渡す限り自己の所有地と云ふ廣い所に廣大な邸宅を構へて、ソレハモー話を聞く昔の御大名の樣な生活を營んで居る。二萬位の羊飼で右樣の有樣であるから之が五萬十萬の羊を所有して居る者に至ては更に豐かな

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものであらうと思ふたのであります。

斯く牧羊業は豊かなもので、又如何にも暢氣千萬なもの丶様であるが、又此の羊飼に付ても心配は絕えないので、其の最も大なる患が例の旱魃で、一朝大なる旱魃が參りますと今迄元氣の好かつた羊は將棋倒にばた〳〵と倒れる。年に依ると一千萬頭以上の羊が倒れるさうで、本年なども餘程旱魃が激しいらしいので、歸朝後に接受した新聞電報などでは數百萬頭の羊が已に倒れたとか報して居ります。實に濠洲に於ける旱魃と云ふものは其の產業を根本から覆沒するもので、是程恐ろしいものは無いのである。迚も我國の地震・雷・火事・親父の四つを合計した位な比ではないのである。從て政府に於て草の無い地方から草の有る地方に羊を移すに付き種々の便宜を與へ、汽車の割引などの制度まで設けてあるが、到底是等の事では未た以て其の害を除くに十分でないのであります次の心配は兎で牧羊業に付て旱魃に次ぐ大敵は兎である。何故に兎が大敵であるかと申すに、奴さん羊の御先廻りをして羊の最も大切な草を失敬するからで、兎害の爲に牧場を荒される事が非常なものである。そこで濠洲では此の兎を除くことに全力を用ひ一頭取つた者には幾何やるとか、又毒を兎に食はせるとか—市中を步くと兎の毒と云ふ廣告を所々で見のであります—奬勵の方法を盡して居るが、其の效果が十分でない。兎を絕やすのには其の巢窟、之は多く木の根の穴を堀つて居る、夫れを堀り起して親子共に根絕やしするのに如くものはないのださうであります。

斯くして絕やした牧場では再ひ之に兎を入れない様にするのが最上の策で、此の爲に牧場の柵に金網を張つて其の周圍を取り圍んで居ります。私の見た牧場でも此の金網がありましたから、試みに幾哩あるかと聞いた所がめ百哩はあると云ふ答で、其の廣大なる事に一驚を喫したのである。然るに斯く苦心して居る兎も近時は兎毛に非常な價が出てから—之は帽子になるのださうであります—兎を取ることが非常に盛んになつたとか申して居りました。又羊は非常に弱い動物で種々な病氣に罹るのみならず、羊の消毒、牧場の手入、他の牧場の羊と區別する爲に其耳を剪み之にマークを付けることなど數へ立てると中々手數が掛るが玆には之を略して置きます。只私の一寸驚いたのは牧場の所在地の事で、私は僅か郊外に出づれば牧場は見られる樣に思つて、成る人に羊を剪るのを見たいと申したら、其の世話をして吳れた所は汽車で三百哩も走つて、又た幾哩かを自動車で走つた所であつた。後に折角世話をして吳れるならあんな遠い所を世話せずとも、もつと手近な所に世話をして吳れたらと申したら、羊の牧場を見るのに三百哩位走つて更に自動車で四五十哩位走るのは普通な事だ、四十哩や五十哩の場所に適當な處はないのだと申されました。三百哩走つて四五十哩も自動車を驅るとすれば、大阪から東京に行つて更に宇都宮邊の地方迄も自動車を驅る樣なことになるので、日本あたりでは迚も出來ない事である流石に廣い所は違つたものだと云ふ感じを起したのでありました。

五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

羊の御話が稍や長くなりましたが、濠洲には羊のみならず牛も居る馬も居る、豚も居る。卽ち牛が千二百萬頭、馬が二百五十萬　、豚が百十六萬頭と云ふのが最近の數字に表はれて居ります。從て羊牛の肉、生皮骨等の產物も亦少くないのである。尙は濠洲が名馬の產地で、我國などから種馬の買出しに參ることは改めて申上げる迄もない事と存します。

農產物の方面では小麥・オーツメーズなどが澤山出來る。就中小麥の產額が最も多いので、最近の統計に於ては耕地面積が千四百萬英反、產額が一億一千四百萬ブッセルーブッセルは二斗一合ーと云ふ大數を表はして居る。而して此の小麥は其の儘又はフラワーとして每年多額の量が外國に輸出せられる。併し小麥は雨量に依りて其の豐凶を支配せられことが羊毛よりも甚だしく、年に依りて產額に非常な相違があるのである。之を統計で見ると一九一七―一八年期は前陳の數字であるが、其の前年は一億五千二百萬ブッセル、其の前年は一億八千萬ブッセルと云ふ大數を表はして居るのに拘らす、其の前年卽ち一九一四―一五季に於ては僅に其の七、八分の一たる二千四百萬ブッセルしか產額が無いのである。是全く天候の爲に支配せられたので、濠洲が原則として多量の小麥輸出國であるのに拘らす、時に却て其の逆輸入を見るのは全く其の爲である。換言すれば濠洲の農業は我日本などの樣にステッディではない、稍や危險性を持つて居ることは御承知置きを願ひたいのであります。

小麥の種類は、我邦のものなどよりは雨量の關係上稍や丈短くして出穗する種類を撰び、農業は大農仕掛けで機械力と馬とを用ゐて、出來る丈け人力を省いて居る。農業は極めて發達した方法に依りまして、又近時はアメリカ等に行はれて居る乾燥耕作とか云ふ比較的少い水分を利用して耕作する方法なども實行して居ると云ふ事でありました。農產物の產額は小麥を外にしてオーツが一千萬ブッセル、メーツが八百八十万ブッセル、ヘイが二百七十萬ブッセル、甘蔗が二百七十萬噸であります。

牧畜及農業に次いで濠洲の鑛業も亦た中々盛んなものである鑛產物の種類は金・銀・鉛・銅・石炭・錫等を其の最として居る就中濠洲の金は殊に有名なものである。

濠洲に於ける金鑛の發見は千八百五十一年の交であるが、濠洲が今日の如く發達したのは全く金鑛の發見に起因すると申してもよい程で、濠洲に於ては全くイーホックメーキングの出來事なのである。初めはニューサウスウエルのブルーマウンテン中に發見せられてビクトリヤに移り、是等の地方を最としたのであるが、今日は却てウエスターン、オーストラリヤを以て其の最として居る。產額も近來は非常に減じて一九一八年の統計に依ると五百四十萬磅と云ふ數字を表はして居る。之を千九百三年頃の千六百萬磅に比べると僅に三分の一位に減じて居るのである。斯の如く金は其の產額が減少の傾向を有して居るに拘はず、銀・鉛・銅・石炭は却て增加の傾向を有して居る。而して是等のものは各々五百萬磅の產額と御承知を願ひたい。尤も錫は餘程少く百萬磅位であります。

六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濠洲に於ける工業は大體に於て振はないのである。尤も之は比較的の事で、絶對としては非常な發達を爲し、政府も其の發達に非常な努力を爲して居るのであるが、之を比較的に申せば濠洲の工業は未だ發達して居ないのである。是れ蓋し濠洲の人口の增加が勞働の需要に伴はない事と、濠洲は所謂勞働者の樂天地であつて勞銀は高いが勞働時間の少いこと、竝に勞働者の權力が强くてストライキなどが屢〻行はれる結果なのである。從て此の國狀が一變せぬ限りは近き將來に於て濠洲が大なる工業國になると云ふことは到底望まれぬ事で、此の點に付ては亞米利加から來た(一九一四)商業調査委員なども痛罵して居ります。尤も產額としては相當にあるので、統計に於ては六千四百萬磅と云ふ數字が表はれて居る。就中織物及フラワーの工業が發達して居る樣に存じます。

以上述べた事を要約すると、濠洲は原則として原料國である卽ち牧畜業を最とし、農業鑛業等の產物を以て成立つて居る國である。工業は比較的發達して居ない。否な近き將來に於ても大なる發展を期することは出來ないであらうと云に歸するので、從て貿易の狀況が全く其の通りに表はれて、濠洲は原料品の輸出國で、製造品の輸入國であります。

七

濠洲の貿易は總額に於て一億五千萬磅、卽ち我國の半額位なものである。其の內輸出の輸入に超過して居ることが千萬磅內外の多きに達して居る。之を統計に照して見るに濠洲は例年輸出超過の國である。尤も年に依りて輸入超過を示して居ることが無くもないが、是は濠洲の產業開發の爲に英國に起したる公債や私債が機械などの姿で入つて來た爲なので、生產的の輸入超過とでも申す樣なものであります。

而して輸出入の方向は英本國が第一で總貿易額の約七割四分を占めて居る。之に亞いで米國及日本と云ふ樣な順序になるのであります。戰爭前迄は獨逸が中々活動して居たが戰爭の爲にバタリと杜絕して、其の貿易は米國と日本が奪ふた樣な姿になつて居ります。日濠の貿易關係は戰爭前迄は僅に二百三四十萬磅しか無かつたが、戰爭となつて急激に膨脹し、今日に於ては戰前の三倍半にも相當する八百三十萬磅に達して居るのである。而して其の貿易の內容に付ては從來常に輸入超過であつたものが、一九一七―一八年度に於ては日本よりの輸入の總計が五百萬磅、日本への輸出の總計が三百三十萬磅卽ち日本よりは輸入超過になつて居る。而して日本より輸入品の主なるものは左の如き順序になつて居る。

絹	百二十五萬磅	綿織物	四十七萬磅
硫黃	三十萬磅	硝子及陶器類	三十萬磅
藥品類	二十六萬磅	玩具類	十五萬磅
紙類	十萬磅		

又日本に對する輸出品の重なるものは左の順序である。

羊毛	百八十萬磅	鉛	四十五萬磅
錫	二十三萬磅	小麥	二十萬磅
タロー	二十萬磅		

更に臺灣と濠洲との貿易關係は誠に微々たるものである。卽ち本年などは比較的多い年であるが、輸出入合計尙十萬圓に達して居らぬ。卽ち本年十月迄の累計に於て濠洲に對する輸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

出が四萬六千圓、濠洲からの輸入が三萬三四千圓であつたと思ふ。而して輸出品は殆んど茶と砂糖で、輸入品は眞珠が最も主なるもので、少量の海參と鉛があるのであります。

斯くの如く本島と濠洲との貿易は今日の處微々たるものであるが、年に依りては臺灣から意外の輸出を爲して居ることもあるのである。卽ち一九一六年に於ては砂糖の五百萬圓と云ふ大輸出があり、又一九一七年に於ても百萬圓の輸出を爲して居るのである。之は濠洲に於ける砂糖の豐凶に歸因して居るのであらうと思ふ。蓋し濠洲に於ける砂糖の產額は年に依つて非常の豐凶があるので、二十五萬噸も出來るかと思へば僅に十五萬噸しか出來ない年もあるから、從て其の輸入に非常なムラが出來るのかと思ふ。併し大體に於て濠洲の砂糖は年二十萬噸位のものと御考へになつて宜敷からうかと思ふ。併し此の產額では到底濠洲の消費に足らぬので、每年十萬噸弱(百五十萬磅)位な砂糖を外國から仰いで居ります。而して現在之を最も多く供給して居る國はヒヰジー・爪哇・モーリシヤス・ペルー等であります。

茶は濠洲では出來ませぬから悉く之を外國から仰いで居ります。其の額四千萬封度、價格百五十萬磅乃至二百萬磅のものであつたと思ふ。茶の供給國はセイロン及印度を最とし、全輸入額の四分の三以上を供給して居る。其の他支那・爪哇からも大分參つて居ります。我邦からも歲に依つては二十萬封度內外の輸入があり、殊に一九一七—一八年度の如きは百萬封度の輸入がありました。右樣な次第で臺灣と濠洲との貿易は現在に於ても茶と砂糖であるが如く、將來に於ても茶と砂糖ではあるまいかと思ふのであります。日本品に對する先方の意向は例の粗製濫造の非難と、契約の履行に就ての非難例へば見本と相違し又は引渡期日が正確でないと云ふ樣な非難があるのである。先方に參つて日本品を見ますと、之を歐米品に比して確に惡いのは事實であります。併し日本品は價が安いので、安からう惡からうで致方が無いではないかと私は所々で辯じたのでありまするが、先方の非難は此の安からう惡からう以上に粗惡であることゝ現に燐寸などは全く發火しないのがあると申して見せ付けて居りました。又引渡期日の不確實や見本と不一致等の苦情も、如何にも尤もと思はれるのもあるが、中には先方の商人も中々質が惡い、殊に休戰になつて歐米品が自由に入て來る見込が付くと、故意に難癖を付けて其の引取を拒んだと云ふ樣な例も少くないのである從て日本品に對する苦情、日本の商業道德に對する非難は、一から十迄先方が善いのではないのであるが、併し日本品の粗製濫造や見本品と全く違ふこと、又商業道德の低いことは確に事實である。此の點に付ては本邦の關係者は確に一顧を要することゝ思ふ。殊に私の感じました事は、日本の商工業の組織と申すものが全く此の急激に發展した貿易狀態に合致して居らなかつた事が、日本品をして粗製濫造とならしめたる主要の原因でなかつたらうかと思ふのである。勿論中には一時限りで後は野となれ山となれ主義でやつたのも澤山ありませうが、自分の能力には不相應であると知りつゝも、註文が參りますれば之を逸したくないのが人情である。それに又追つかけて註文が來る、之り取り度いと云ふ風になつて自分

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の力以上に註文を取りましたが爲に、あつちの工場に駈付けこつちの勞働者を驅り集めても到底之に應ずることが出來ず心ならずも粗製濫造の品物を送つたり、期日が後れて發送したりすることになつたのではないかと思ふのである。此の點に付ては有力なる當業者も左樣に申して居りました。從て責任を貴ぶ有力なる會社の製品等に對しては比較的非難が少いのであります。

若し果して左樣であるとするならば、日本現在の工業組織が惡いので、宜しく家内工業若くは小仕掛の下に於て行はるゝ工場工業は之を廢止して、大企業大會社組織に依る工場工業に引き直し、商取引の方法も之に應じて改良すると云ふことが今日の急務ではないかと思ふたのである。次に商工業者が品物を賣込むに付て先方の市場を知るには、勿論民度・嗜好風俗・習慣を能く呑み込むことが最必要であると信ずる。之が爲に當業者は是非其の市場を旅行視察することを要する樣に感じたのである。此事を疎かにしたが爲に濠洲に於ても往々失敗して居るので、只濠洲が南洋であると云ふので、爪哇やスマトラなどに送る樣な粗品を濠洲に廻したものがあるのであります。然るに濠洲は是等地方とは全く事情を異にして良いものならば價は高くとも買うが、安物などは振り向きもせぬ所なので、是等のものは全然失敗に終つて居るのであります。是等は全く賣込むべき市場を知らなかつた罪に坐するのであります。

要するに商工業組織の改善と當該關係者の市場視察と云ふことは、貿易上最も必要なるものであらうと私は信じたのであります。若しも是等の事が行はれますならば、日濠貿易の將來は有望であらうと信ずるのであります。蓋し前陳の如く濠洲は原料國である。日本は工業國である。貿易の原則は茲に成立して居るのみならず、濠洲は産物豐富にして國富み購賣力の旺盛なる處であるが故に、邦人奮發の如何に依りては現在の貿易額を二培し或は三倍にすることは必ずしも難事ではないと信ずるのであります。

八

以上申上げた所に依つて大體濠洲の産業狀態及び貿易上の關係は御分りになつた事と思うが、貿易上の關係以外に於て日本人發展の餘地ありやの問題に關しては、誠に遺憾ながら現狀の儘では日本人發展の餘地が無いのであります。

蓋し濠洲立國の基礎を尋ねると、三個の有力なる主義若は國是とでも申すべき樣なものが存在して居る樣に觀察するのである。一は民主主義、即ちデモクラシーの思想で、二は社會主義、三はホワイトオーストラリヤ、所謂白濠主義と稱へる有色人種排斥の主義なのである。前二者の主義は濠洲が民主主義であらうが無からうが、社會主義であらうが無からうが、吾々の發展に毫も關係する處はないのであるが、只此の白濠主義の爲に、邦人の濠洲に於ける發展は全く阻止せられて居るのであります。

抑も此の白濠主義と申すのは、前申上げた通り、氣候温和、土地豐饒なる、申さば理想的の國であるが故に、永く之を白人のみの所有物となし、兼て種族血統の純潔を保たん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とする、極めてセルフヒッシユな主義である。彼等の說明に依ると、濠洲の國是は所謂勞働者の樂園を現出せんとするに在るのである。卽ち勞働者に多額の給料を與へ、其の勞働時間を短縮して、常に其の生活を向上せしめんとするに在るのである。然るに支那人、日本人などの樣に時間には御構いなく、又少額の給料に甘んじ、喜んで勞働に服するが如き人種に對して自由の入國を許すならば、吾々が多年の間苦心して培養したる國は忽ちにして荒廢せらるゝ結果を來すのである加之、濠洲は他の英國植民地と異り、血統上異人種を包含せざるを以て、何處迄も此種族の純潔を保持し、永く濠洲の天地を吾人の子孫に傳ふるは吾等の義務である。人若し白濠主義は濠洲の產業を開發するの途にあらずと難ずる者あらば、吾は之に向つて答へん、濠洲は已に富めり、是以上の富は其の必要なし。否な若し富の必要あらば吾人は吾人の力を以て漸次之を拓かん。國是並に血統犧牲の代償に於て、敢て異人種を招くの必要あらんや、と云つて居るのであります。

九

此の白濠主義は濠洲に於て極めて有力なる主義でありまして啻に排日派の新聞や排日政治家が主張して居るのみならず、勞働黨の如きは明かに其の政綱中に加へ、近時益々其の勢力を加へた樣であります。彼のヒユースー講和會議に於ける我邦の要求を一蹴し去つたヒユースは曾て米國に於ても濠洲モンローを唱へた事があつたのであるが、歸來連りに濠洲モンローを唱へ、委任統治の範圍を以て其の勢力範圍と爲し、米國にしてモンロー主義を唱ふるならば、濠洲亦た其濠洲モンロー主義を唱ふるに於て理由があると結び、且つ曰く日本全權牧野男は講和會議に於て、日本人民は貴國の同盟國にして貴國と結んで戰時中も共同の敵に當りたる程自負心の强き國民なれば、若し講和會議に於て平等の待遇を受くること能はずとせば、到底其の屈辱に堪へざるべしと云へり。然るに予は之に對して、予は日本人は其の智力に於て其の體力に於て、其の他凡ての方面に於て敢て劣れりとは云はず、之を異にするのみ。予は日本人に對して敬意を拂ひ、永く友人として交らんことは予の望む處なり。然れども友人なるが故に其の晩餐に招かさるべからざる理由なしと答へたりと。措辭圓滑なりと雖、濠洲の國是を說明して餘蘊なきものであります。

卽ち白濠主義なるものは實に時代後れの鎖國主義で、人類平等の觀念に悖り、誠に不都合千萬なるものであります。而して此主義の始めて立法上に表はれたのが千九百一年に制定せられたる移民制限法で、歐洲語五十語の書取試驗に合格した者でなければ濠洲に入國を許さぬと云ふのである。單に此の法律の表面に於ては歐洲語五十語の書取試驗とあるので、單に有色人種のみならず歐米人に對しても等しく適用せらるゝ樣であり、且つ書取試驗に合格したものは入國が出來さうであるが、此の法律の精神が有色人種の移民を許すのではないので、之を許さぬのにあるのであるから、法律は其の文字通りに適用せられて居ないのである。卽ち濠洲が初め此法律を制定せんとするに當つて、政府は斯樣な手緩い方法に依らず直接の方法で有色人種を禁止しやうとしたのであるが、英本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國から夫れでは餘り露骨である、何とか方法はあるまいかと云ふ切なる依頼に依つて、南阿のナタールに採用せらるゝ所謂ナタールロー、卽ち此の書取試驗と云ふ表面は如何にも體裁の好い、而して事實は悪辣極まる方法を採つたのである。そこで立法の精神が根本から有色人種の入國禁止にあるのであるから、事實に於て法庫の適用はないので、一槪に有色人は排斥せられて居るのである。反之歐洲人には決して此の書取試驗を課せぬ、又決して入國を拒絶した事は無いのである。尤も縱令有色人種と雖も移民制限法のの出來前に入國して居る者は、非常に嚴格なる取扱の下に矢張り既得權として其の入國を認めて居る。斯く申せば私はどうして入國したかと云ふ御質問が起ることゝ思うが吾々に對しては特別に入國を許して居る。卽ち一九〇四年の頃と思うが、勞働黨內閣の時に於て勞働大臣のワットソンと云ふ人と我政府との間に取極めがあつて、定住の意思を有して居ない商人・旅行者・學生等に對して特に入國を許可することになつて居る。斯樣な次第であるから濠洲に於ける邦人の發展は微々たるもので、在留邦人は商人を主たるものとしてシドニーに於て日本人會の會員はざつと八十五名あつたかと思ふ。メルボルンに於て日本人らしいのは、三井に四人と他に出張員が四人あつたと思ふ。此の外數に於ては木曜島とブルームに居る貝取、卽ち眞珠貝や高瀨貝を採取するダイバーで、之は統計で千五百人位もあるとか聞いて居る。然るに濠洲の政府は是等の者も禁止しやうとして調査した事があるが、元來此の種の仕事は荒海に出て四十尋の深さに沈み、命掛けの様な仕事であるので、白人には到底適しない關係上、特別の取扱を爲して居ると申して居る。尙此の外、日本人としてはクヰスランドの砂糖耕作に參つた者が今はチリ〱バラ〱になつて、洗濯屋やホテルのボーイなぞを仕て居のが多少あるのであります。

以上之を要約するに、私の武きました所、卽ち現在開發の部分は極めて良い處で、人口少く國富み、誠に人生の樂園の樣な氣が仕ました。參りかけは左程にもなかつたが、歸途南支那の各地を廻、又基隆埠頭に參りますと、其の人口の多いのと、貧乏の狀況がありありと目に著くのであります。例へて申すと濠洲は切り立の甘蔗株に二三の蟻が留まつて居る樣なもので、支那あたりの有樣は枯枝に無數の油蟲が群居して居る樣な氣持がしたのである。勢ひ貧乏ならざるを得ずと思つたのである。而して我邦の現狀も亦多く顧みる事を要するものと思ひなした。此の際に於ける吾人の覺悟は特に重要なものがあると信ずる。最早や時勢は進んで居る。時勢の趨く所を洞察して之に處するの道を誤るべからざる事は國として或る人も個人としても必要の事と信ずる。私が彼の地に於て或る人と會談中、談會々講和會議の事に及び、日本の失敗などの事に及びましたる時、今やミスターウィルソン、ミスターロイドジョージ、ミスターヒユスの時代であつて、プリンス、マークヰスの時代は疾くに去りましたねと申された事がありました。日本人としては聊か癪には障つたものの、考へて見れば桓武天皇九代の後胤や僧正遍照前關白太政大臣の時代は、あれは昔の夢であつたのであります。

（終）

二百年前の臺灣探險

●臺灣縦貫鐵道の全通式を擧げたのは早や十年餘りも昔のこと。今では縦貫的自働車運轉の計劃もあるとやら。飛行機もやがて南北大飛行を試むるに至るべしとやら。扨ても領臺以來僅か二十餘年で誠に急速な進歩を遂げたものである。が然し今日コヽ迄に開けた臺灣もズッと昔の草莽未闢の時代に於ては、其の社會狀態は果してドンなものであつたらうか。夫れを一回顧して見るのも亦た一興であらう

●清朝●康熙三十六年と云へば、大正九年の今日から丁度二百二十五年前である。其頃の臺灣は、行政區畫と云つても僅かに臺灣(臺南)諸羅(嘉義)鳳山の三縣があつた計り、謂はば南部が少し開けて、中北部一體は野蕃棲息の窟であつたので、當時清國の役人などは其の開けた南部に於てすら、自分の任地には能う行かずに、孰れも臺南の一郭に屛息して居た位のものである。然るに其頃、福建から臺灣へ押し渡つた人で、今の臺南から臺北の淡水まで陸行二十一日、萬難を排して目的地まで旅行を續けた上、約半歳を北投の地に送つて硫黄を採取した、といふ誠に愉快な實事談がある。夫れは外でもない、郁永河といふ快男子で、其の探險の事實を記したのが「裨海紀遊」といふ其の自著である。夫れを見ると古昔の臺灣がドンな狀態であつたかゞ彷彿として眼底に映じて來る

●郁永河といふは浙江仁和の人で、支那人ではあるがヒョロ〳〵した風流子ではない。誠に旅行好きな探險好きな快男子で、既に辛未の歳から福建の榕城(福州)なる王司馬の役所に來て居て、甲戌の歳まで四年の間に福建全省を踏破したといふ剛の者、自ら記して「凡そ山川幽遂の區は足歷て目覩ざるなし、是に於て八閩(閩は福建)の遊は遍し」と豪語して居るのである。偶々臺灣の鄭氏が清朝に歸服した結果、臺灣が福建の管轄に歸したので、探險好きな彼の壯志はムラ〳〵と押へ難く、一たび海に航して臺灣の概を探り得ざるを慊らず思うて居たのであつた

●時しも康熙三十五年丙子の冬、榕城の火藥庫が破烈して硝磺火藥五十餘觔といふを燬消して仕舞つた。サア事だ。典守の役人は之を辨償しなくてはならぬ。聞けば臺灣の雞籠淡水には硫黄を産するとのこと。誰でもあれ今から其所へ採磺に出かけにゃならぬぞ、といふことになつて來た。郁永河は是に於て欣然として笑つて「吾が事成れり」と壯語した。ソコで翌年の正月二十四日、同行七人及び僕三人と共に榕城の南門を出て渡臺の途に上つた。之が抑も本題「二百年前の臺灣探險」の振り出しで、而して本文の記事は即ち彼の著「裨海紀遊」の大要を意譯したものである

●彼是して彼が厦門を出帆したのは二月の二十一日例の支那船で臺灣海峽を横ぎり、黒水(黒潮)を突ッ切つて澎湖に這入つたのが其の二十一日。其所に二泊して二十四日に復た出帆し、二十五日無事に安平に着いたのである

●彼は暫く足を臺南に留めて諸般の準備を爲しつゝあつたが、當時彼が臺南に就て記述した所の一節は亦以て二百年前の臺南の一面を窺うに足るのである曰く、海外初めて開け、規模草創にして城郭は未だ築かず、官署は悉く垣墻なく、惟ゞ竹を編みて籬と爲して内外を蔽ふのみ……曰く、稼を收むることは内地(支那)に倍せり、更に糖蔗あり、雜糧も種うれば獲る。故に内地の窮民は輻輳して其の市に出るを樂む。惜むらくは蕪地尚は多く未だ開けず……曰く、郡治には樹なし、惟ゞ綠竹最も多く、一望猗々として渭濱淇澳の盛に減ぜず……曰く、街市は一を以て三に析ち、中は車行を通し、旁ら市肆を列ぬること京市の大街に彷彿たれども但だ隘陋なるのみ……。曰く、文武官は肩輿に乘り、正印以下は出入するに皆な黃犢に騎る、市中の百物を挽運する者民間の男婦の遠く行く者、皆な犢車を用ふ……曰く、市肆は百貨露積し、之を門外に委くも敢て竊む者なし……曰く、市中の用財は獨り番錢を尙ぶ番錢は紅毛人(和蘭人)の鑄る所の銀幣なり、圓長一式ならず、上に番花を印す、實は九三、華人之に非れば用ゐず、習見する所に非るが爲のみと。時は是れ清の康熙三十六年。即ち和蘭人の據臺より七十四年目。而して清治を創めてより十五年目の臺南は正さにコンなものであつたと見える、が然し足一たび臺南を出づれば、多くは皆な土蕃の群社であつたやうに見えるのである

●偖て郁永河は臺南に居ること二閱月、此間彼は採磺に關する機械器具―硫黄を煉る大鑊(大鍋)薪を伐り草を薙ぐべき刀斧、蕃人と礦土に交易すべき綿布其他種々の機械、從業者一百人の用に充つべき食糧厨具等―を買ひ込んだ。其費用は九百八十金に上つた。シテ是等の機械器具類は總て海上輸送の見込で之を積込むべき船を二艘まで買ひ入れた。斯くして彼が出發の用意を仕て居ると、臺南の役人共は頻りに助言を與へて郁の北行を止めさせやうとした。夫れが如何にも當時の支那官吏の言ひ相なことなので面白い。曰く「君聞かずや、雞籠淡水の風土の惡しきを。至れば即ち病み、病めば輙ち死す。人夫僕役の輩すら雞籠淡水への派遣と聞けば欷歔悲歎して絶

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

城に使するやうに思ひ、水師の春秋に更迭する者も生きて還るを幸として居る。コンな危険な場所へ荏ますとも、君は峯南に居て遙かに指揮命令を下して人夫等にヤラせて置いたらドーだ」と。ダが郁永河は「既に人の委託を受けた以上、自ら往いて監督せにやならぬ」とて、折角の忠言も之を聞かなんだのは、ドコ迄も面白く出來た男ではある

●處へ同郷人の顧敷公といふ臺灣通がヤツて來て、海路は風浪暗礁の險があつて却つて危険だ、といふて頻に陸行を勸めた。郁は固より好奇の變り者、忽ち其の言に同意し、荷物は一切船送りとして自分等は陸行することに決めた。併し王云森といふ男は船の方が安樂ぢやといふので、ドーしても陸行に加はらなかつた。ソコで郁は顧及び從者の不頭外數人と共に笨車に乗り、人夫五十五人を随へて四月七日といふに峯南を出發した

●峯南を出ると直ぐに、新港、嘉溜灣、麻豆などいふ諸社がある。皆な土番の村落であるが、此邊は草木陰森と生ひ茂り、屋宇は完潔して支那内地の村落にも劣らない。夫れも其筈、此の社は歐王社と共に鄭氏時代からの四大社で、郡近くではあり教化行はれて、以前から開けた部落であつたのだ。郁は番社に入るや直ぐに車を易へたが、夫れは黄牛車で、御者は社中の土番であつた。然るに麻豆社から倒咯國社に至るべきを、御者の誤解からして佳里興社へ引ッ張り込まれて仕舞つて。夫れが夜の十時(二更)モウ喧嘩にもならない。仕方なしに趙君の幕中に投宿して世話になつた

●明くれば四月の八日、郁は前日の車で一旦麻豆社へ戻り、更に車を易へて茅港尾溪を渡り、倒咯國社に至れば日は早やトップリと暮れた。ダが初日から路を間違へられて誠にヘマな事になつたので、船で出かけた王(云森)は定めし南風に乗じ、巨艦に駕して瞬息千里の行をやつて居るだらう、と想うと郁の氣象としてグツ〱して居られない。急げ〱と、夜に乗じて急水溪を越え、又た八掌溪を渡り、夜通しヒタ押しに押して夜の明け方、諸羅山(嘉義)へ來た頃はもうヘト〱に疲れ、路傍に仆れて息を吐いたやうな譯だ。が然し日が出ると、復た急行を續けて牛跳溪を渡り、打猫社、山疊社、他里霧社などを經て柴里社へ來て、此處で漸く泊ることになつた。二晝夜の車行だから堪らない。車上で居眠を仕つゝ深崖險塹に至る毎にガタピシとやられるので、驚いて眼が覺めるといふ始末である。御者の番人も、此の邊のは最うズット野蠻じみて全身怖ろしい彫青(ほりもの)だらけの奴ばかりである

●四月十日　虎尾溪、西螺溪を渡つた。西螺溪の廣さは二三里(六丁一里)一面の砂であつて車の迹は少しも付かぬ。其所から又三十里來て東螺溪へ出た。廣さは西螺と略ぼ同じだが、水は深く湍は急で誠に怖ろしい。ソコをザブ〱と車で渡ると、牛が急湍に懼れて溺れかける。コレは一大事と番人が十餘人して車を押したので、ヤツと流れを渡ることが出來た。漸く溪を越えたかと思うと、今度は雨がザアザアやつて來た。駈けた〱、三十里の間を駈け通しにして、ヤツと大武郡社へ來て泊ることになつた。此日の番人共は相變らず文身のが多く、中には耳を大きくしたのや、頭髮を束ねて角を二本生やしたやうに仕たのや、或は又た雉尾の羽毛を三本束ねて頭に挿したのなどもある。番女の可愛いのも居たが、裸體で客に對して意色泰然たるには恐れ入つた。大體が峯南附近の開けたのと違つて、北に向ふ程野蠻の度が加つて來るのが明かに分かる

●四月十一日、大武郡社を出發して三十里で半線社(今の彰化)へ著いた。休んだ家の主人は頗る鄭重で、縉紳なども非常に心を込めたものであつた。「是から先は非常な石路で、車行は随分と困難だから、今日はマアゆつくり休んでおぢやれ」との主人の言に、トウ〱此處へ泊ることに仕た。諸羅山(嘉義)から此方の番婦は白晳妍好なのが多く、コンな番地としては案外に感じた

●四月十二日、啞束社を通つて大肚社へ來た。此の間、一路ドコまでも大小の石が積み累なつて居る。終日、車で其の上を行くのだから堪らない、彼方へガタリ、此方へガタリ、身體の困苦は非常なもの、殊に林莽は荒穢し、宿草は肩を沒するばかり、そして溪や澗が幾つとなく次ぎ〱に出て來る。番人の狀貌も段々醜陋を加へて來る

●四月十三日、大溪を渡り、沙轆社を通つて牛罵社に著いた。宿とした社屋は誠に陋隘、殊に雨上りのジメ〱で、屋内には迚も居られない。せう事なしに簷屋の額外に榻を設けて其上に居つた。門戸は無いが此の方が餘程高潔で氣持が好い

●四月十四日、暗慘たる大風雨で旅行などは思ひも寄らぬ。午後に雨は止んだが、海吼の聲の怖ろしいこと、丁度錢塘江(浙江の)の怒濤のやうだ。夜になつても其の聲は息みさうに無い。社人の言うに、海吼は雨の兆だと、此の上雨が降つては閉口する計りだ

●四月十五、十六日、二日ブッ通しの雨で、前の溪流は出水が怒號して迚も寄り付けない

●四月十七日、雨が霽れて天氣開朗となつたので、二三日見えなかつた前方の山麓が覩えて來た。其所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

へ登つたら、野蕃の跳梁するといふ奥蕃山の様子も定めし好く分かるだらう、といふ例の探險好きから郁は社人の引き止めるのも聽かずに、山登りを初めた譯だ。扨て荊を拔き、草を拂つて登りつゝやがて山巓に登り立てば、千古斧鉞の入らざる所、荊棘は糾結して足の踏み込む場所も無く、林木は蝟毛の如うに枝を聯ね葉を累ね、陰翳して晝尚ほ暗く、野猿は噛み付くやうに人に向つて奇聲を發ち、人間位ひの大きな老猿が飛び付きさうに怒視して居る。風の音は颯々として物凄く、渓流は何處ともなく潺々と聞こえ、長い蛇がニョロ／＼と足元から這ひ出る。道がの郁も氣味が惡るくなつて、トウ／＼引き返して仕舞つた

●四月十八日　今日は又た大降りで、嵐氣は盛んに襲ひ來り著衣は濡れて水に洗うた如う。階前は泥濘で一歩も出ることが出來ず、徘徊悵結するばかり、辛氣臭いこと夥しい

●四月十九日　朝起きて見ると、空が霽れて稍や氣持が好い。モー二三日したら水も引いて渓流も渡れやう。スレば前途は左まで遠くもないことだと獨か氣を慰めた。午の頃から南の風も吹いて來て、著衣の濕氣たのも頓に乾いて誠に氣持が好い。今頃王の船はドーしたかと郁は頻りに案じたが、日暮に海岸から來たもの丶話に、二艘の巨船が南風に乘して北の方へ進航したのを見たとのこと、さては此の風に出かけたのかと、此の夜三更枕に就いたが、終夜心が安まらなかつた

●四月二十日　明け方風が落ちついた。ダガ二船の消息は未だ分らない。顧は案ずるに及ばぬとて、頻りに郁を慰めた。此の日土官をして蕃人に渓流の深淺を探らせたが、マダ／＼雨後の水流は急且つ深くて、迚も渡ることは出來ぬとのことだ

●四月二十三日　船の安否が氣になるので、郁は馭者の嫌やがるのを叱り付けてトウ／＼出發した。行くこと二十里で渓流に至れば、衆蕃は行李を頭上に載せ、肩まで水に沒して渓を渡るのである。郁の車も衆蕃に擔がれて辛くも渓を渡つたが、車上の人は全然ツブ濡れであつた。斯くて大甲社、雙寮社を過ぎ、宛里社へ來て泊ることになつた。此日の渓以北の蕃人は益々馴附になつて來た。蕃社などでも何處を見ても空屋ばかりで、一勺の水すら求めて得られない。人一人でも偶に出逢へば懐かしいやうな始末である

●四月二十四日　呑霄社、新港社を經、後龍社に來て初めて車を下りた。處が意外千萬にも海路行の王も弊衣跣足で此處に來て居るではないか！郁は驚いて其の由を尋ねると、王は泣く／＼船が此邊の海岸近くで難破した事情を物語り、且つ船貨一切を失ひ、王は僅かに死を免れてコヽ迄やつて來たことを話つた。ア、百事休す。郁は直ちに車を臺南に回さうかと思つたが、他の一船が前進したといふので、其の安否を確むべく暫く旅行を續けることにした

●四月二十五日　郁は王と同車で出發し、山越えして中港社に著き、此所で午餐を食ひ、夫れから海岸傳ひに三十里餘りも來た。其所は王の言ふ難破の場所で、船の附木艙板が遙か沙洲の彼方に哀れげに觀える。兩人相對して浩嘆するばかりであつた。扨てソコから進みて又た一渓流を命から／＼で渡り、漸く竹塹社（新竹）へ辿り著いたが、雞籠淡水から來た者の話に、二十日の大風後、一巨船が淡水へ著いたといふので、郁は飛び上つて喜んだ。ソコで王を竹塹に留めて難破船貨の中から採礦用の大鍋や機械類を引き上げさせることゝし、郁は復た竹塹から大嵙ぎて南崁社までやつて來た。竹塹南崁間は八九十里もあるが、其間は寂々寥々たるもので一人一屋も見當らない。飯を食ふにも湯を沸かす方便が無く、澗水を汲んで水でお茶づけを搔き込んだやうな始末だ途中驟鹿の群に逢ひ、犬をケシ掛けて三鹿を獲つたとは、コンな場合でも餘裕綽々たる郁の態度が窺はれる。斯くて南崁へ來て見ると、別に道路らしいものも無いので、深菁の中を押し歩行き、荊を拔き莽を度つて行くのだから堪らない。冠履皆な破れるといふ始末。「眞に狐貉の窟で人類の至るべき所で無い」とは郁の所感である

●四月二十七日　南崁を發し、小嶺を越えて海岸の近路を行くと、巨浪は雪を捲いて車の轍下を拍ち、衣袂は爲に濕うのである。八里分社へ來ると前面に大江が見える。夫れが郎ち淡水ぢや。深山の渓澗は皆な此に注ぐので水の廣さも五六里はある。潮汐は去來蓄淺、一櫓てない程、誠に大きな江水である郁は車を下りて江を渡らうとすると、ソコへ數隻蟒甲といふ飛龕が急雨の如くバラ／＼とやつて來て人を盤すのである。沙間には獨木舟が繋がれて、兩人相對して各々一樹を操るやうになつて居る。蕃語に之を蟒甲（艋舺）といふのである。暫し江を渡れば、淡水社長の長大なる者が其所に來て居て、懇懃に出迎へて呉れた。斯くて郁は終に長大の家に留まることになつたが、恰も好し前進した一船が既に到著して居たので、不幸中にも誠に都合が好かつた。ソコで長大に命じて採礦に從事すべき屋合を造らせ、郁は長大の家に宿して夫れが出來るのを待つことにした。（つゞく）

（口〇子）

談叢

官場拾有八年の回顧（下）

臺灣電力會社長　醫學博士　高本友枝

最後に、之れは恐らくは全世界中獨歩の事業にして、吾が臺灣の最も誇るべき一大組織たる市場及び屠場竝に公共衛生費の成り來りを一括してお話しすることゝしやう。即ち此等は互に相關聯し、箇々別々には說明が能きぬからであります

領臺當時賣買市場といふのは、何等特殊の設備といふは無く、所謂黃塵萬丈の街路の兩側にあらずんば、例の廟宇の近傍等交通の頻繁な場處を目當てに多數の商買は群集し、其處には衛生上默過すべからざる幾多の缺陷あるのみならず、また何等の組織も統一もなく、取締りやうにも方法がないので當局に於ても先づ之れを改善せざる可らざるの必要を感じ、私人の經營に托して一定の市場を建設せしめ、衛生上充分に取締をなさしむることゝした。

一方屠場問題であるが、本島人が絶好の珍味たる豚の屠殺といふは、年々數拾萬頭（大正七年の屠殺數は約七十六萬頭）の高額に上つて居るのに、夫れが何等屠場の設備もなく、各人任意に勝手の場處で屠るのみならず、豚屍を賣つたり水を注入した肉を賣ると云ふに至つて、是亦市場問題に遜らぬ風紀上衛生上の大問題となる。ソコデ領臺後間もなく軍政府に於て是れも亦、竹の柱に萱の屋根と云つた極めて簡單な屠殺場を民間に設けしめ、一切畜類の屠殺は必ず此處でせねばならぬことゝし、ソシテ其建物や事務上の經費に對しては、一頭に就き十錢宛の手數料を徵收せしむることゝした。乍併經營者に取つては、當初は決して之れは有り難い御命令ではなかつた、否反つて酷だ迷惑を感じたところであつたが、總督府でも其邊の呼吸はチャンと呑み込んでるものから、少し位は自腹を斬つても不平の言へないやうな一街一鄕の有力者とか團體とかに下命したものだ。此厄介もの視されたる市場と場、夫れが後年圖らざる美花を開いて、今日の公共衛生費といふ立派な結果を見るに至るとは、當時誰か能く之れを想像し得たところであらふか。今其次第を物語りませう。

以上の如くにして出立した二大衛生設備中、豫想外の收利を得るに至つたのは屠殺場であつた、謂はゞ僅かに五十圓か

百圓で出來止がつた帆つ立て小屋が唯一の資本で、此處では年に何百圓儲かつた、否彼處では何千圓だ、全體を合計すると何萬圓の收利だ、恁う云ふやうな事實が總督當局の耳に響いて來ると、前申した、現新公園の地均しに千圓を要するからとて手を控へた總督府の財政は、誠に良い氣持はしない、が尋常一般の手腕では、夫れは今更如何ともすべからざるものとして、徒らに指を啖へる計りであつたらふが、こゝが有繋に後藤民政長官の非凡の腕前と云ふべきであらふ。乃ち機を捉へて、市場も屠場も共に之れを民間の經營に委するに於ては、衞生管理上尙ほ遺憾の點が尠くない、仍つては自今此兩者の收益を合して公共衞生費なるものを設け、其等の經營は擧げて此公共衞生團の直管としやうと、此主意から先づ明治三十三年九月を以て一度び各地方長官に通達し、三十五年三月重ねての通達に依つて、爾來市場や屠場の新設は斷然許可せざるは勿論、既設のものは漸次之れを買收し、許可滿限のものは其繼續を拒絕することゝした。斯くして年月の進むに隨つて、市場の收入も增加せば、一頭十錢の屠料も漸々値上げをして、之れに渡船場（是亦公共衞生費創設の際より繰り込められたるもので、其收益の大なるを看取し後藤長官の創意に發せるもの）からの收益を合した全島總計が、大正七年に及んで百十三萬圓の高額に上るとは、恰ど粟粒程の櫞の種子が、後年に至つて亭々天を摩する巨木となつたやうな譯さ。

却說、後藤民政長官の發意に依つて、先づ以て玆に公共衞生費なる新財源が出來上がつた、が夫れは當初は單に範圍の最も狹い街庄を本位としたもので、何街若しくは何庄の市場や屠場やから得た費用に限つて、當の地方の衞生に費やすを得といふに止まつたのだから、資金融通の途が甚だ少く衞生事業の經營上不便甚しきを感じた折しも、三十七年三月中、當時は地方廳の所在地であつた蕃薯寮の廳長から、在來の街庄本位ではなく、セメテは支廳下を一費區として、支廳內に得たるところは、其管內何れの街庄の衞生事業にも融通し得るやうとの願出があつたので、總督府は之れを許可して三十八年度から實施せしめたが、間もなく全島を擧げて之れに倣ふことゝなつた。然し島運の進展は年と共に急迅なるに連れ、單に市場や屠場の新設や改築のみを以て滿足すべきでない、上下水の改良其他衞生諸設備の急を要するものが頻々として相繼ぐも、督府一般財政が一々其れ等に應ずるの餘裕なきに至つて、更に公共衞生費の管理區域擴大の必要を感ずるやうになつた。恁うして明治四十年中の臺北廳長の出願を許可し翌年度よりは廳本位となし、廳下一圓を一費區とする制を實施せしめ以て今日に至つた次第である。此結果として市場は臺北、臺中、臺南の各市は勿論のこと、苟くも島內樞要の地には其設立を見ざるはなく、大正七年末現在、大小を合して百六拾箇所を算し、又屠場は同じく八百八拾箇所に上り、其他大小市街に於ける下水設備、主要市街の上水工事、墓地、火葬場の設置、或地方の避病舍の建設、細民家屋の築造等を見るに至つたのだ。

爰に一應附言すべきは、既に其管區を擴大する程、其成績の良好なる以上、百尺竿頭更に一步を進めて、廳本位を擴大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して總督府全體を本位としては如何との議論の顯はれたことである。之れは隨分有力なる說となつて、樞要大官の間にも唱へられ、高壓的に迫られたことが一再ならずであつたが、之を拒絕するにはナカ〳〵骨が折れた、拒絕の理由とするところは恁うである。若し全島に涉る此等の收益を總括して、一手に之れを管理すること〻なつたとせば、或地方から當然必要な經費の支出を申出たとしても、當の管理者も人間である以上、彼の廳長の申出やうが氣に喰はぬとか、態度が嫌やであるとかいふ一片の感情に支配されて、公平を失したる處置に出づることは無いとも限らぬ、私が衛生課長として廳長の申出に對して可否の意見を付する場合にも誤のないと云ふ保證がつけ兼ねる、之れが先づ第一の理由。次には、此等の資金といふものは、性質上其收益を得た地方に使用するのが先づ以て順當な處置といふべきなのに、主として衛生課長の考で他廳下に使用することになつては、當の廳下に對して濟まぬこと〻、此等の收益の性質上自分が努力し勵行して得た結果、自分が之れを處分するといふところに妙味があり、發展の道が開かれるので、若し之れを總督府が全部取り上げて、萬事其手で處置すること〻なつたならば、各廳に於ても恐らくは他人事として之れを閑却し、一旦此處迄漕ぎ附けた仕事を、反つて萎縮せしむる傾きが生せぬとも限らぬこと等の缺陷が生ずる。此意味に於て私の衛生課長時代は、每度反覆說明して御取止を願つたものである。

更に今一つ私の我を張り通したことがある。夫れは、今日では年收百萬圓の壘を超ゆるの大巨額をなし、私の當時でも六拾萬圓といふ大金である以上、唯り衛生上のみに限らず、何の方面に向けても立派な一と角の財源となつた。ソコデ總督府の部局中には、其幾部分なりとも自分の方へ流用さして貰ひ度い希望を持つのは當然で、就中當年の學務あたりでは隨分强硬に此說を主張して上司をも動かしか〻つた時代もあつた、が私は之をも御免蒙ることに努めたのである。有ゆる苦辛慘憺の結果、此處迄築き上げ謂は〻無より有を作つて、本島衛生をして斯く迄發達せしめ、屠場といひ市場といひ、異に世界に誇言すべき完備を示すに至つたのを、夫れがムザ〳〵と隱に捕らる〻と云つた愚に陷りたくはない。ソコデ上司から此問題が話し出されると、私は何時でも夫れは私に辭表を出せとおつしやると同じ事でありますから寧ろ辭職せよと云つて戴きたいものであります」と云つて夫れで御止みになつたものだ。否、其「何時でも」と云つたのは少し言ひ過ぎで、實は私も罷めさせられては困るんだから、是位强く出ても、向ふは大丈夫「然らば辭めよ」と出られんやうな機會に丈け言つたのだよ。夫れから是は畢竟公共衛生費の法律上の基礎が薄弱だから餘義なくこんな無理を云つたものさ。

要するに公共衛生費といふ本島獨特の新財源の創設、並に今日に至る迄の功程は、全く後藤長官を主とし、以下關係諸官の賜もので、若し私にも幾分の功績がありとせば、以上のやうな頑陋一點張りで、忠實なる金庫の番人を務めて來たといふ點になりませう。私は唯二十年來、時には戰々兢々として時には最も大膽に、此財源を覬覦する敵を防ぎ、毫末の微も他人に費消せられぬやうにと心懸けて來た。されば今日に於て最も不安に感せらる〻ことは、公共衛生費と立派な名目があつても、其處には何等法律上の根抵のないことで、一介以て直ちに之れを破壞し去らるべき薄弱なる基礎の上に立つことは何より遺憾至極とする次第である。願はくば其組織を進めて財團法人ともなし、確固不動の基礎を定めさせ度いものである。又市場をも時勢に適する樣な經營振にしたいものと祈つて居る。細葉を拔きにした私が拾有八年の官場生活の回顧は先づ恁麽ものであります。（終）

談は記者の書い綴つたもので、文章上の責任は悉く記者之れを負ふべきであると共に、記者の魯鈍、先生が談中の痛快なウイットやユーモアの百出するを忘却し、若しくは蕪文、克く之れを寫し得なかつたことは、切に先生に謝すると共に、讀者諸君にも心から申譯けするところであります（杜生）

茶烟竹話

●全世界に亘つて飛行熱の宣傳な試みつゝある彼のダービー一行が、比律賓馬尼拉を訪ひ官民要路と重要會見を遂ぐること前後三回、ハリソン總督が一席の演説に左の如くであつた。「世上飛行交通を必要とすること比律賓の如きはなし試みに吾が國情に見よ浮上點々たる三千の諸島は一として相援助するなく島と島との間相隔つること數拾哩而かも三千島中未だ曾て中心地との聯絡の完全なるものあらず之れ政府當局が諸階の島に迄其行政を波及せしむるの困難なる所以目下汽船の交通ありと雖も暴風雨等の被害の頻々たるあれば其損害決して尠少ならず而かも近時吾が社會上經濟上の發展は甚大なるものあるが故に若し今回來島の世界飛行ダービー委員諸氏一行が從顯の機會を利し飛行交通事業を起さば各孤島上なる比島民族を連結接觸せしむるの功蓋し大なるものあらん云々」と。

●傳染以來內地や滿洲を散々荒らし廻はつた流行性感冒は暮れからかけて香港にて流行し出し、正月以來二月の中旬迄に此災神のお見舞を受けたものが其數實に六萬人と傳へられるが、死亡者に至つては頗る少數で、僅かに八拾七人と云へば先づざつと七百分の一に過ぎぬことゝなる▲患者の大多數は矢張り人口の最大多數を占むる支那人で、英人其他の外人は之れに亞ぎ、日本人は最も少數、是迄の總計五人に過ぎぬとは先以て何よりのこと。▲死亡者といふは孰れも肺炎を併發したためとあれば全く豫防のと同一のもの、何んといふ執念深い風の神だらふ。

●眞の巴里婦人とは極めて質素な多くは黑と白との調和から出來た上品な衣服位に滿足することは今では大方の諸君が承知のことであらふ。▲彼の所謂巴里美人と稱へられ、金銀珠玉を以て滿身を鏤めたやうな艶でやかな婦人、それは概れ外國婦人（三百萬巴里住民中の五拾萬人迄は華美を事ふ。外國の富豪か貴族とかさなくば例のオペラ女優や客商賣を事とする賣笑婦の類ひ）▲就いて思ひ合はさるゝはつひ先日巴里ラルースといふ書店から出版された地理書のことで、其の日本の記事中には日本風俗を介すること京濱地方賤業婦の寫眞を載せられ、之れが日本の代表的婦人で御座ると説明せられたる一事である▲彼の地の婦人を以て華奢虛榮の權化であるかのやうに誤解せられるのも、所詮は係歷行き違ひからであらればならぬ。

●スマトラのジャンビーと云へば、大正五年の南洋觀光團當時は、邦人僅かに二三名のみと聞いてたのが、今日では三十餘名にも上り護謨栽培地として最も有望視せらるゝところの一。▲雜貨店はあり寫眞師はあり、珈琲店は二軒迄あつて此種の土地には無くてはならぬ吹矢店迄許可せられ盛んに土人の財布の底を叩かせてるとの事。▲企業家として昨年高木氏の永代地八千英を讓り受けた池田總氏といふが既に事業地に事務所も設け追々と植附けも始めつゝある處頭に其他二三の小規模のもあり、特に此處二箇月も經たば、資本だに抱いてる人には相應廉價な土地も手に入る筈。▲といふのは例の回教徒の靈地メッカへの巡禮時期も近付くので、旅費の調達に大事の持地を手放すものも尠くないから。▲其相場は現に五年木で採液可能のものが一本一盾半、之れを一噫二百本植三百盾とせば、千盾現金さへあれば三噫六百本の護謨樹を手に入れ、尙は百盾を剩して相應の手入れの費用にもなる譯。ソシテ之れが一噫からは內輪に一斤半の護謨を産するから一日六盾以上の收獲を見ることゝなるさうだ。▲千圓內外の投資で月百六拾圓の收益とは餘りボロ過ぎるやうだが、彼の白いッンク（メッカ參拜濟みの帽子然らざるものは黑色）は、自分の生命より有り難いのだから、此弱點を利用さへしたら、係歷ボロ儲けも能きぬでもあるまい。

●戰時中から問題となつてた英國の二十四時間時計の計劃は委員の調査も着々として進捗し內相に對つて斷然之を採用するに決せられたしと復命することゝなつたさうだ。▲『二十四時間時計採用！』藪から棒に斯う云つたとこで、先々の行き掛りを知らんものには何んのことやら頗る變に思はれるでせうが夫れは恁うだ。同じく一晝夜二十四時でも、在來の時計の計り方では、之れを午前と午後の二ッに分ちて之れを十二時間宛とした、ア同じく三時といつても午前にもあれば午後にもあるといふ譯であつたが、今度は夜半の一時を起點としてノベツ幕なしに十一時十二時、十三時、十五時、二十四時と言つた樣に數へて行かふとするので、今の午後三時なれば新時計法では十五時となる譯だ。▲調査委員が之れを採用するに決した理由は澤山あるが、先づ第一に時間の上の誤りを少くする、午前とか午後とか一々書き附ける必要も亂腦に訴ふ必要もなくなる、第二には電報等の場合には午前、午後の文字が省ける丈けに經濟的だ。第三には時間の計算に甚だ便宜で、工場や會計での時間稼ぎをするものにも、午前九時半に始まつて四時に終へたとすると、愚渡計算が面倒になる。ところが新式のでは、午後四時は十六時であるから、夫れから九、五を引き去つたもの即ち六時間半といふ答が簡單に得られる譯だ▲之れを又逆に八時間勞働として午前九時半に始めたとすると午後五時半に終へるのだが、其計算が愚渡小面倒なのを、九、五に八を加へば立どころ十七時半の答が出て來る。大體のオヴアー、タイムの際の計算などは最も敏活に行はれる。▲此方式は戰時中海軍が始めて用ひ出して、陸軍に及び、夫れから飛行軍に及び、更に主要の鐵道界に及んだのださうだが、特に鐵道では常に生じ易い時間の誤りが尠くなつて、誠に結構〳〵と賞讚してるとのこと。いやはや吾々も追々は十六時迄動務しればなるまい。（もり）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査報告

東蒲寨の蠶絲業

臺灣總督府技師　吉田碩造

大正七年（一九一八年）九月中旬より十月末に亘り、余は佛領交趾支那及東蒲寨産業視察の爲め西貢に滯在す。時恰かも東京農商課蠶業主任技師にして佛領印度支那蠶業監督官たる「オーギュスト、ガッション」氏同地方蠶業視察の爲め出張せらるゝに會す。共に相携へて交趾支那農商課長「モランヂ」氏の東導により農林業に關する諸般の施設を視察せり。其際兩氏に就き機會ある毎に佛領印度支那に於ける蠶糸業施設の實際及奬勵に關する事項を聽取することを得たり。交趾支那の視察を了り東蒲寨に赴かんとするや「ガッション」氏も又同國蠶業の視察を行ふ豫定なりしが故に、其首府プノン、パン市に於て再會を約し小官は獨り先發せり。後二日を遲れ同氏は「モランヂ」氏と共にプノン、パン市に向ふ途中眉毘河に於て乘船沈沒の凶變に遭遇せられ、爲めに再會を得ず。從つて東蒲寨蠶業に對する同氏の意見を直接聽取する能はざりしも、幸に東蒲寨農商課長兼養蠶試驗所長「マルタン、ド、フラクール」（Martir De Flacourt）氏に就き親しく同國蠶糸業の狀況を聽き、又バサック河沿岸にあるプチイ、タケオ（Peti-Takeo）に設置せる蒸汽力製絲工場及蠶業試驗所等を視察するを得たり。而して本編は視察の當時「フラクール」氏が同國蠶業の現勢に就き小官に語られたる談話の大要なりとす。若し之れに依りて佛領印度支那蠶糸業の現狀を推知するの一資料たるを得ば幸なり。

養蠶は東蒲寨（サンボチャ）に於ては一般に行はれ如何に僻陬の村落と雖ども之に從事せざるものはあらず。安南、交趾支那、東京地方に於て甚だ限局せられたる範圍に蠶業の營まるゝに反し、此地に在りては全國に渉りて斯業普及せられ、殆んど住民の風俗習慣の一なりと云ふも可なり。

產額

諸國に於けるが如く、此の地に於ても此の生産品の消費せらるゝ中心地に近き地方が、然らざれば消費地と交通の便容易なる地方は殆んど専ら養蠶業に從事するが如し。卽ち「プノン、パン」より交趾支那に達する眉毘及「バサック」河岸は養蠶地の中心點と見做され、此等河岸に連れる村落の過半は大部分養蠶業に從事す、換言すれば年々の養蠶高は莫大にして繭生産高は尠くとも一百萬基瓦と計上することを得べし。東蒲寨の他の地方にても眉毘河の沿岸殊に「プノンパン」（Pnom-

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

n-Penh)の上流より「クラチエー」(Kratié)に達する迄の地方ば同じく注目すべき部分なり。其他「カムポー」(Kampot)の大半コムポン、トム(Kompong-thom)「シエムレアップ」(Siem-réap)「トポン、クミユム(Thbong-Khmum)「ミモー」(Mimot)等の地は蠶業遲々として進まざるも、若し其の生產繭にして確實なる捌け口の見出さるゝに及はゞ、現在唯家族用のみに養蠶するに過ぎざる狀況を改めて一層其生產額を增加するに至るならん。

故に繭の地方消費の現狀にして良好に改良せられんか、養蠶業は柬蒲寨に向つて甚だ顯著なる運命を與ふるものと云ふべし。

絹物の地方取引

現今の狀態にては絹物は柬蒲寨に於ては明かに左の三種に區別せらる。

生繭、土人製生糸及土人製織物(「サムポー」(Sampot)「股衣の如きもの)、「サロン」(Sarongs)及其他の織物)

にして凡て家內工業により製造せらる。而して養蠶業の起れるは繭にせよ生糸及織物にせよ何れも地方的取引を目的とせるに初まれり。

最も舊弊なる安南人及或支那人等は移住と共に其の本國の習慣を其儘輸入するを例とす。柬蒲寨に於ける或安南村が唯養蠶を爲し生繭を販賣するのみに止まるが如き即ち一例にて、又他の村落が唯繭を買入れ繰糸するに過ぎざるもの亦一例なり。「キムロン」(Kimlong)の二村落(「バーナム」(Banam)附近の安南人村落)及「プノン、バン」附近の村落は最も著しき例なりとす。

之に反し柬蒲寨人は一般に繭を產し且絲繰をなす、即ち生產品として賣る所のものは所謂此地方製の生絲なり。柬蒲寨の或村落中には宗敎上の理由により單に養蠶村落より絲のみを買入れ機織丈けに從事するものあり。勿論養蠶村落に於ても其絲の一部分は彼等の機織用に供する場合も尠からざるなり。

生繭の市價

吾人の所謂完全なる機織の上より見れば價値少きとは云へ、兎に角柬蒲寨生繭の市價幾何なるやを見んに、其養蠶中心地(殊に安南人村落)に於ては市場取引にて生繭六百「グラム」を一斤(日本斤と同じ)とし〇弗二十五乃至〇弗三〇にして一基瓦は品質に應じ〇弗四四乃至〇弗五〇なり、(弗は「ピヤストル」なり。

生絲の方は安南人又は柬蒲寨人の何れが繰絲せるを問はず六百「グラム」を一斤として五弗乃至六弗にて取引し、一基瓦にては八弗三十四乃至十弗なり、但し出所及品質により價格に多少の相違あり。

「バサック」(Bassac)兩岸より產出する生絲は他の中心地產に比すれば最も價値あるものとして注目せらる。蓋し繭の問題を別とし(繭も稍々品質優れるならん)絲繰に付最も注意を拂ふものは其品質も從つて優良なるは爭ふべからざる事實なり。即ち「バサック」兩岸の柬蒲寨人は最も絲繰に巧みなるのみならず尙ほ之に付細心留意苟もせざるが故に其品質特に上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等なり。

土人家庭産の繭より製絲する時は其土産生絲重量は繭重量の百分の五乃至六にして、右は製絲上注意の多少により一様ならず。右の既知數（精査の結果知り得たる）に準據すれば繭一基瓩は平均〇弗五〇に當ること〻なり、吾人は〇弗五〇なる値段を以て實際上の取引値段と認むることを得べし。何となれば生繭の直接賣渡の値段は一基瓩に付〇弗四四乃至〇弗五〇にして吾人の見る所と大差なく、且繭の値段〇弗五〇を減ずる時は其殘額が絲の價格に相當するを以てなり。從つて〇弗五〇なる平均値段は安南人に取りても東蒲寨人に取りても恐らく有利なるべし。現に安南人の方は良種の繭の取引には此價格にて取引しつ〻あるを以て見れば、東蒲寨養蠶家に於ても一基瓩に付同一價格を得るに於ては別に製絲に從事せざるも繭販賣のみにても利益を受くること明かなり。

繭工業の價値

土人製絲が全く幼稚の方法を以てして尙ほ繭より百分の五乃至六の土産生絲量を得ることは曩に陳述せる所なるが、右生絲の外に屑物百分の三乃至四を産す。然れども其製品は其價格甚だ低し。蓋し一般に其製法頗る拙なるを以てなり。土産生絲に至りても單に純粹なる生絲より成るに非らず、繭の毛卽屑物混入し其分量も決して少量にあらず、且つ多くは粗製にして繰絲不揃なるのみならず結纇せられず。要するに佛本國用の製絲として使用する能はず、從つて此地方的繭の工業上の價値を決定せんとするには、土人の製絲法によれる生絲歩留を以て之が標準となすこと能はざるべし。

此に於てか當局は一九一六年より家庭工業發展の上より「プノン、パン」に於ける農商課附屬として製絲織物講習所を設置したり。從是先東京（トンキン）農商課に於ては家庭製絲用として一種の絲取鍋（Bassine a feu vu）を採用し、各家庭に對し普く之を使用せしめたるが、此鍋は至極簡便にて且價も高からず、加ふるに規則的に歐洲式に絲取りを爲すことを得。而して從來に於ける幾多の經驗に據れば土産繭百基瓩より得る生絲量は少くとも四基瓩、屑物（毛綿毛）四乃至五基瓩を得るの結果を示せり、（其本場と稱せらる〻地にては百分の五又は五半を收穫す、大體に於て生繭二十五基瓩に付生絲一基瓩を收穫する比例なり）

歐洲式土産生糸の價値

結局東蒲寨繭に期待し得る生絲の生産歩合は、百分の四及屑物百分の四乃至五と見て差支なかるべく、絹原料として使用し得る總歩合は百分の八乃至百分九と計上することを得べし。

地方農事當局者が東京（トンキン）に於て使用せる「絲取鍋」を用ゐて得たる東蒲寨生絲の品質は、歐洲の良絲たる第三號に比肩し得るとの鑑定を與へられたり。而して此鑑定の與へられたるは一九一六年十月（大正五年）の事なり。

右は未だ學理的なるを免れずと雖ども在里昂の著名なる商館たる「トライユ、エ、パイアン」（Terrail et Payen）が、同生絲一基瓩を六十法乃至六十五法にて取引せんことを申込めるに考ふれば大に意を強ふするに足るべし。一九一七年五月（大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

正六年）の初め、當局は同商館に對し講習所の生絲十基瓦を送付したるが、同館より前同樣歐洲の良絲たる第三號に比敵し取引價格又六十五法內外なりとの報導に接したりと。但同生絲は最良なる工業的條件により得たる生絲の價値を具備するを以て、其の品質の良好にして價値充分なるは爭ふべからざるものなりと信ず。

要するに完全なる製絲法によれる東蒲寨生絲は、少くとも東京の製絲と同一價値を有するものたるは吾人の斷言し得る所なり。吾人は少くとも同一價値を有すと云はん。何となれば東京に於ける養蠶專門家（ガッション」(M. Gachon)氏も同一の自白を爲し、「東蒲寨の絲を以て優良なる品質を有す」と述べたればなり。左に農商課鑑定官たる同氏の一九一六年十二月二十日付書中に記する所の一節を紹介すべし。曰く、「余は貴下に對し東蒲寨絲が東京絲より一層優良なることを陳述したり云々」と。氏の東蒲寨生絲の品質に對する書翰は余の所見を確むるものと云ふべし。

其の後蒸汽製絲機械を採用すべきやの問題に付氏の意見を求めたるに對し、一九一七年一月三十一日付を以て之に答辯して曰く「吾人は今や製絲事業に向つて突進すべき好時機に遭遂す。十乃至十二「ドニエー」(Deniers)の蒸汽製絲機械（繭絲の重量に從ひ十「ドニエー」十一「ドニエー」(Deniers)等一樣ならず）を使用して得たる「キイエン、アン」(Kiên-an)（在東京）の生絲は里昂市場に供給するに六十五法乃至六十七法にして、保險料及諸費用を控除するも尙純益六十法乃至六十二法を餘すに非らずや」と、又曰く「以上の價格ありせば些の損失あるべからず」と。

故に東蒲寨の製絲の現狀は今後改良を要する一方なりと云ふべし。「キイエン、アン」製絲場は、蒸汽力を使用する工場として一九一六年六月中官憲の協力監督の下に土人團によりて創設せられたるが、其の監督に任じたるは「ガッション」氏なり。同工場は氏の監督の下に設立せる蒸汽使用工場中の最近のものに係るを以て、最も新式にして完全なる設備あるものなり。而して今や前記有利的器具（從來土人の使用せるものに比して優れるは萬々なるも蒸汽力を用ゆる新式のものにはあらず）によりて製絲せる東蒲寨の生絲の價格が東京の生絲と大差なきを見るに於て、若し一層進步せる工業的手段を用ゐんが、同生絲は更に幾段の高相場を附せらるゝなるべし。

生絲時報(Le Moniteur des Soies)（ルモニツールデソウ）は其の最近號に於て生絲の現狀に關する統計を掲載したるが其の計數は自一九一〇年至一九一四年五箇年間の平均生產額と一九一五年とを比較せるものなり。第一には西歐羅巴（佛蘭西、伊太利を最とし西班牙之に次ぐ）第二は地中海沿岸地方及中央亞細亞、第三は同上の年間に於ける極東地方より輸出額を稱せり。

右に據れば戰爭後極東諸國よりの輸出が一、三三四、〇〇〇基瓦を增加せるに過ぎざるに、西歐羅巴及東方諸國は二、七八三、〇〇〇基瓦の減少を示し、從つて輸入により補足せらるべき一、四四九、〇〇〇基瓦は歐羅巴の生產に待つ能はず。又極東よりの輸入に仰ぐ能はざるより一九一五年末にありて生絲の價格は唯騰貴に騰貴を重ねる一方のみなりき。

東蒲寨と密接の關係を有する佛本國市場に於て從來と同一條

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

件の下に製絲せられたる東蒲寨生絲が、二箇年間に其の價格を高めたるや蓋し自然の數なり。當時地方農事官憲は里昂市場の要求せる條件に從ひ「絲取鍋」を以て歐洲式に製絲せる生絲の二つの見本品を有したり。一は一九一四年二月に、一は曩に陳述したる如く一九一六年十月に製絲せられたるが、何れも里昂市場の專門家の鑑定に附せられたる結果、一九一四年の四十三法乃至四十五法に評價せられたるに過ぎざりしが一九一六年分に至りては六十法乃至六十五法に評價せられたり。見るべし僅々二箇年間に於て其の價格の約二十法を昂騰せるを。即ち三分の一以上の騰貴なり。而して是一時的の現象に非らずして戰爭終結と雖ども低落せざるべき形勢にあり戰爭に基づく不整理不秩序は一般の想像に反し意外に長日月に涉りたるは不幸の至りと云ふべし。佛國は戰爭前には自國内に於て一箇年間に三十五萬乃至五十萬基瓦の繭原料を生產したるが一九一五年に及び此の生產高は十三萬基瓦に減少せり。從つて其市場は伊太利及東方諸國より夥たしき供給を仰ぎたりき。

歐洲戰爭が佛國に影響を與へたる如く伊太利及東方諸國も又其の例に漏れず、恐らくは一層の打擊を蒙り其の產額減少甚しかりしならむ。殊に東方諸國に於ける養蠶中心地の混亂は西歐に比して一層大なりしが如く想はるゝなり。就中土耳其の養蠶業は殆んど全滅の狀態を示したりしなり。要するに戰爭前佛國は現在に於ける生產に比し三倍以上の生產ありしに拘はらず尙一箇年間に繭原料三百萬法以上を輸入したるに鑑むれば、此處數年間は殖民地生絲が本國市場に歡迎せらるゝものと信ずるの理由ありと云ふべし。

蒸汽機械製糸業の將來

上來陳述せる各種の觀察に據れば、東蒲寨に完全なる製絲工場を設置するは啻に此地の繁榮を來すべき望みあるのみならず其の生產上に甚だ有利的の影響を及ぼすや明かなるべし。吾人は此機に際し、一九一六年六月を以て終了せる東蒲寨に於ける養蠶調査會に關係ありし「ガッション」氏が養蠶問題に付陳述せる一節を紹介するの無益の業に非ざるを信ず。氏が一九一六年十二月二十二日付を以て陳述せる所左の如し。

「我等一行が養蠶中心地の視察は我等に優秀なる感動を與へたることは衷心より自白する所なり。我等は現狀の儘にても即時に此の地に或計劃に從事すべき急務あるを信ず、蓋し其の繭は品質良好にして價値を有し其の生產は發展の希望あり今若し技術的努力の之に加はるを得んか、本地方は實に完全なる養蠶業を開くに必要なる要素を具備するものと云はざるべからず。而して其の原料たる繭は容易に生絲及び屑物を製するに足り且つ品質良好にして、生絲製造上完全なるものたる以上は東蒲寨人としての事業たると、佛國商館事業たると、將た又官廳の直營事業たるとを問はず此地に絹產物製造事業及其の輸出業を開始して見込充分なりと云はざるべからず」と。

吾人は尙本國市場の狀態が斯業將來の繁榮を洞察するに足るべきことを玆に附言せんと欲するなり。

蒸汽製糸佛東無名組合

以上の理由は完全なる製絲所設立の必要ありとの結論を與ふるものにして、斯る製絲所の設立は將來の成功に重大なる機會を與ふるものと云ふべし。

地方官憲が在東蒲寨の歐亞商業家及東蒲寨人知名の士に對する熱心なる勸誘により、資本金十二萬法の無名組合の「プノン、パン」に組織せられたるは機運の然らしむる所なり。同組合は「佛東組合」と稱せられ、其の目的は云ふ迄もなく蒸汽力による製絲工場を設立せんとするに在り。機具機械の一切は日本に注文せるものにして發起人中には其筆頭に東蒲寨王あり、東蒲寨合同農商會議所長あり、其他王族、大臣及「プノン、パン」市場に於ける著名なる商工業家の多數加はれるあり。而して本工場は本年（一九一八年）より業務を開始し最新式の製絲を佛國に輸出せんとの意氣込なり。

同組合は最初製絲鍋百箇丈けを備へ、更に必要に應じ百五十乃至二百に增加するも其の原動力には不足を感せざる樣準備整へり。吾人は今後同組合の業務の必然擴張せらるべきを確信す。蓋し東蒲寨繭生產の現狀に見るも湄公及「バサック」沿岸、兩河交叉點地方及交趾支那國境地方のみにて一年に五百乃至六百鍋に供給すべき原料を生產しつゝあるを以てなり。

（備考）　本工場裝置の製絲機械は橫濱市蠶業器具機械商岩井商會の納入に係り技師を派遣して之れが据付けより運動迄請負ひたり。然るに三箇月に亙り据付は了したるも愈々試運轉を行ふに當り該機械は滿足に運轉をなさず、運轉すれば各部に破損と故障を生じ同商會より來れる技師も施す術なくして其儘歸國せりと云ふ。余が視察の當時一組全然運轉不能の儘放置し一組丈け運轉中なりしが不斷故障勝なりしを見受けたり。斯業に熱心にして發起者たり指導監督の責任者たる「フラクール」氏は憤慨の餘り余に向ひて曰く、日本商品の粗製濫造此一例を以て明かなり、將來少なく共日本機械工業品に對する信用と取引は皆無なるべしと。余は其際同氏に對して貴官憲の注文取引手續に愼重を缺く處あり、西貢及東京には三井、三菱の如き信用確實なる商事會社の出張所あり、是等商店と直接取引するか或は在東京駐劄佛國大使を經由日本農商務省に照會注文せば斯る失敗はなかりしなるべし、日本機械の悉く粗製のみにあらざるなりと答ふる處ありしも、顧みて漸汗の背を霑ふすものありき。

當該官憲の奬勵

茲に特記すべきは「佛東組合」の製絲事業が最も有力なる後援を得たる一事なり。今日本國市場の狀況が斯業に有利なる特種の事情を別とし、同組合は少くとも最初の二箇年間は植民地官憲より其の事業に對し財政上補助を受くることゝなりたること是なり。此の種の事業の創立時代は多くは悲慘なる且危險なる結果を示すを常とし、加ふるに從來此の地に於て繭買込に從事したる冒險的商估の直ちに起つて競爭するの虞あるに當り、斯る後援を有するに至りたるは甚だ氣遣はしき過渡期を容易に切拔くるの利便を得たりと云ふべし。

東蒲寨總監「ボードアン」(Baudoin)氏の提議を容れたる總督

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「アールベ、サロー」(Albert Sarraut)氏は、一九一八年―一九一九年兩會計年度豫算に佛東製絲組合補助奬勵金として年額一萬弗を計上せり。

官憲の施設

當該地方官憲の努力としては啻に製絲場設置を主唱し之を決定せしめたるの一事に止らず、歲月四年以上に涉り、絕えず養蠶事業に向つて盡せる多大の勞力を忘却せざるを要す。蓋し其製絲上の計劃が政府の補助及有効なる協力を得る迄の成功を收めたるは全く此等努力の賜ものと云はざるべからず。而して若し土人に對して唯一の保證たるべき完全なる工業を設け、同時に其の原料の販路を確實にし、併せて其勞力に相當して充分なる報酬を與ふる域に達せざらんか、從來家內養蠶業の改良及發展の意味に於て努力せる幾多の犧牲は果して何の効力ある。

上來吾人は地方養蠶業の現狀と完全なる製絲業採用により實すべき有望なる將來のみに付陳述したるが、同時に最近數年間に行へる當該官憲の努力と、保護國官憲が必要と認めたる養蠶上の計劃及地方技術官憲が全力を注ぎて其計劃の實行に著手したる事實に付ても一言する所なかるべからず。印度支那の他の聯邦國の例に從ひ、(殊に東京及交趾支那の例に依り）東蒲寨國も一九〇八年中土人に對して養蠶を奬勵するの策に出て、同年中「プチイ、タケオ」(Petit Takéo)に養蠶及蠶種製造試驗所を設立したり。(本問題に付ては印度支那經濟雜誌一九〇九年刊行分參照)

然るに不幸にも當時尙ほ未だ養蠶業微々として振はず、繭生產額の甚少なる爲め、土人の繭を買收して僅かに蠶種製造の供給を爲せるも、右試驗所の需要に應ずる能はず。原料に缺乏を告げ、事業は幾もなく中止の已むなきに至り、爾來養蠶地に實行せんとしたる改良計劃も共に放棄せられ、斯くの如き狀態を以て一九一三年の歲末に及べり。而して蠶種製造に必要なる繭の供給を保證すべく養蠶業の發展を計り、且此の計劃實行せらるゝに至りたるは實に此の時にあり、爾來土人養蠶業者は絕えず其の數を增加する一方なりしかば彼等が要求に據なくせられ、終に一九一五年に入りて所謂眞の蠶種製造所なるもの設置せられ、從來の蠶種製造所は養蠶講習所敎場に利用せらるゝことゝなりたり。

土人養蠶中央地事業の改良

「プチイ、タケオ」の新養蠶及蠶種製造所は一箇年に三十萬乃至四十萬箇の產卵紙（直徑約六糎の圓形產卵塊）を生產分配するに足るの設備あり。右蠶種は單に官廳側の養蠶により得たる繭より生產す。而して土產中の最良種を求むる爲め其の種類の選擇は極めて嚴密にして因て以て益々改良を計らんと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。爾來養蠶中心地より其の家庭養蠶に必要なる卵種を此所に要求するの風を爲し、從て此等地方の蠶業は漸次改良に向ひつゝあり。

吾人は當國蠶業に付最も了解し易き實際の事實を例證せしに未だ官設蠶種製造所產蠶種の配付を受けざる土人養蠶中心地生產の在來の繭は百基瓦に付多くも四基瓦半の生絲を得るに過ぎず。卽ち原料は百分の二十二を要する割合なるに。蠶種製造所より配付する蠶卵より生ずる繭は百基瓦に付生絲六基瓦を得。卽ち百分の十六乃至十七の原料にて足るべし。是れ地方技術當局が土產蠶種類の改良繼行に躊躇せず一方最も强壯なる蠶を得、他の一方には最良なる絹絲に富める繭を求めんとする所以なり。

當局は多くの地方產蠶の種類を試驗せる結果最も優秀なる性質を示すもの唯二種のみを採用せり。一は東蒲寨の黑色蠶（Aemoir du Combolge）にして同國語にて「ダン、ユー、クモト」（Dang Khau Khmau）と呼ぶもの、一は白色蠶にして「ペアム、レアン」（Péam Réan）と稱する種に屬するもの是なり。

（備考）　黑色種の方は交趾支那にも產し同地にては「タムソック」（Tam-soc）と稱す、此の種に付ては一九一七年刊行印度支那經濟雜誌第三〇一頁農商課技師「ガッション」の報告を參照のこと。

此の二種の孵化より上簇に至る發育日數は二十三日乃至二十四日にして形は紡錘狀なり。黃金色を呈し體積は小なるも甚だ稠密、絲繰容易なり。生絲は濃黃色を呈し甚だ强靱なり。其の他當局に於て育成したる第三種あり、右は白色の蠶にして繭も亦白色なり。

（備考）　此新蠶種は白色にして東蒲寨に最も普通なる蠶、卽ち白色蠶にして黃色繭を造る蠶の偶然變異種なり。五月六月及七月間に養蠶するときは其繭は忽ち變白し、其の他の月に養蠶する時は其の繭は依然黃金色を呈するが此の種蠶の特徵なり。而して五月より七月迄に養蠶せられたるものゝ內にて其の白繭に汚色したるものあるを發見すべし。勿論此等は其の數多からざるも、一般に甚だ脆弱にして、其の蛹は未だ蛾化せざるに先ち夭死するもの多し。一九〇六年七月中當局は黃金色繭を作る白色蠶少許を最も良好なる條件の下に養蠶し、多少純白色の繭十箇を得たるが、其の內より最良のもの四箇を撰擇して蛾化せしむることゝせり。然るに其の蛾の三箇は雌にして而かも二箇は格好甚だ惡しかりしが故に之を拋棄し、一箇の雌を殘して之れと同時の養蠶に係る黃色繭より出てたる雄と交配せしめたり。右に依りて得たる卵より生じたる蠶は孵化後二十三日にして繭を作れり。而して此等の作りたる繭は皆黃金色のものなりき。此等繭中にて最も優良のものと認めたるもの二つを選み、卽ち一雄一雌を撰み之より第二世代を得ることゝしたるが、此の卵より生じたる蠶の繭を作りたるは孵化後二十五日にして其の色は百分の二十四白色を帶び百分の七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十六は黄金色なりし、此白色種の繭より亦一雄一雌を撰み第三世代を求めたるに此度は其の繭は白色のもののみにてありたり。以來此の種類は毫も變化することなく「メンデル」法(Laloi de Mendel)適用の結果白色にして純粹なる此の地方産の繭を得るに至れり。卽當局は之に依りて第八世代迄を試驗し且つ嚴密なる規律正しき撰擇を行ひたる結果、製絲に適當せる白繭を得、茲に著しき改良を遂げたり。而して此の繭によりて得たる生絲は本國工業の一部分に供給するに足るべしとの鑑定を受けたるを以て當局は此機を利用し、迅速に此卵種をば東蒲寨各地の養蠶家に配付することゝせり。

此の新種の育成せられ實驗的養蠶を行ひて以來茲に一年有餘其の特性は絶對に確定せられたり。卽ち蠶は強健にして極めて鋭敏、其の繭は甚だ美はしき白色を呈し、小粒なれども極めて緻密、組織は甚だ細粒狀なれども手觸り粗糙なり。斯くの如き良好なる繭の供給せらるゝや繰絲も又良好に行はれ其步留常に高し(繭十四基瓦乃至十五基瓦に付生絲一基瓦の割)生絲は強靱にして白色なり。然れども之を束ぬる時は尙未だ些か「クリーム」色を呈するを見る。

「ガッション」氏は最近此の蠶より得たる生絲を試驗せる結果原料として廣東生絲と同樣の良品なりとし且其の白色は此の方一層純粹なるを發見せりと云ふ。此の絲の見本既に在里昂の「テライユ、エ、パアイヤン(Terrarl et Payen)商會に送致せられ鑑定を求めたるが、吾人は未だ此の有名なる商會に於ける鑑定の結果の通報に接せざるなり。兎に角地方農事官憲が成功の見込あるを信じて著手せる事業は、一方科學的の研究調査と相待つて茲に東蒲寨國に完全なる製絲工業を開始することを得るに至れり。

要之蠶種の益々改良せらるに從ひ地方養蠶業に愈々繁榮を加ふべきは明瞭なる事實にして、繭の家庭的生産も又製絲業も共に將來收入を高むべきなり。蓋し最近四箇年に涉り當該官憲が研究を重ね努力を費したる所以のもの實に此の理想に基つけり。而して其結果は東蒲寨に對し最も嚴密に改良せられたる純良なる地方産蠶の三種類を得たることゝなりたり。

桑畑税の免除

當局が尙實行を要する一事は、佛領印度支那の他の國に於て既に久しく適用し來れる彼の桑畑税を免除斷行することと是なり。地方官憲に於ては東蒲寨蠶業發達の爲め此の議を唱へたることは從來一再にはあらざりしが、終に一九一四年九月十五日付布告を以て實施のことゝなり、同年九月十一日付勅令にて一九二〇年迄桑樹栽培地に對する一切の税を免除したり。此は當局に取りては多少の犧牲に相違なきも一に蠶業奬勵上已むを得ざるものと謂ふべく、茲に特筆するの價値ありと云ふべし。

絹織物及製絲講習所

絹織物及製絲の家庭的工業が東蒲寨に於て大に發展するに至りたるは既に本論卷頭に陳述せり。但東蒲寨の識物が充分なる注意を以て行はるゝに拘はらず惜むらくは製絲に缺點ある

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を以て完全なるものを生產する能はず。玆に於てか此等地方の家庭製絲上に改良を加へ因て以て啻に最美の織物を供給し得るの途を啓くのみならず進んで其製絲を佛國に輸出するの策に出でざるべからず。而して一九一六年十一月二十四日の布告を以て「プノン、パン」農商課に附屬せる講習所の設立せられたるは實に此趣旨に基づけるものにして、同講習所は佛東女學校の職業部を以て之に充てたり。

當局は安南及東蒲寨婦人の傳習生を養成せん爲め此處に東京の製絲及織物の婦人教師數名を傭聘し、尙歐洲式の製絲を得ん爲め土人に取りて値廉にして且練習に手數簡易なる器具にして東京農商課にて使用しつゝある「絲取鍋」を採用することゝし、又一方には東蒲寨在來の織機に改良を施し、其の取扱の一層簡易衛生的なる樣成るべく完全に近かからんものを使用することゝせり。

講習所には佛東女學校職業部の生徒を就學せしめ且「プノン、パン」に於ける志願生の入校をも許可し此等の土人女子をして此所に製絲及機織竝に絹絲副產物を佛國輸出用に製造するの術を習得せしめたり。本校の設立は未だ日尙ほ淺きが故に東蒲寨蠶業に貢獻する所多からざるも、然かも他日東蒲寨內地諸洲の各養蠶中心地に數多の講習所の設立を見るに及んで初めて所志を達するを得べし。而して以上は最近數年間東蒲寨地方官憲努力の結果一班を示したるに過ぎず。

一　養蠶事業の施設計劃

今や東蒲寨に蒸氣力製絲工場の創設せらるゝに當り、一面養蠶業の要求に一層適應せる活動計劃を定め、又他面に於て養蠶業の大々的發展を實現せしむべく猛進するは殊に切要なるべし。卽ち當局が多年研究調査を重ねて得たる結果を此に實施すべき機會到達したりと云ふべし。(此計劃の實行は三年を期するものにして本年より實施せらるべきものなり)――計劃左の如し。

「プノン、パン」附近の養蠶中心地に、健全にして改良せられたる蠶種の生產を發展せしめんとするに最も有効なる手段として、「プチイ、タケオ」の養蠶試驗所に於て本年より新に養蠶を增加し以て官設蠶種製造用に供すべき選良せる繭の多量を生產せざるべからざること、卽ち一箇年に精選改良せる卵紙一百萬枚を無償配付するの準備を爲すこと其一なり。次に六箇所の養蠶試驗所(附屬として第二級蠶種製造所及家庭的製絲機織講習所あり)を東蒲寨內地の蠶業中心地に創設せざるべからざること其二なり。而して其の目的とする處(一)養蠶上衛生の大要及清潔に關する注意方を土人に普知せしむること、(二)此等の地方に健全且改良せられたる蠶卵紙を無償にて配付すること、(三)歐洲式に繰絲せる良質の生絲を家庭紡績にて生產し得る爲め「東京式絲取鍋」使用の普及を計ることにあり。

又此等地方養蠶試驗所は充分なる桑を備へ、「プチイ、タケオ」養蠶所より健全にして且改良せられたる蠶卵紙を受け、更に玆にて蠶種を生產し、其の地方の養蠶者に無償分配を爲し、而して尠くとも各養蠶所每に尠くとも一箇年に三十萬乃至四十萬の蠶卵紙を生產配付するの準備を行ふに至るべし。

結　論

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東蒲寨は氣候暑く且甚だ乾燥なるに加へて土地肥沃にして桑樹の發育極めて盛んに、土人は一般に養蠶事業に腐心するの風あり。所謂養蠶中心地と稱する地方たると否とを問はず、現在相當の生産高を供給するのみならず、將來の養蠶業に於て甚だ有望なるを豫察するに足るものあり。

養蠶業の確實なる發展を爲すに甚だ便宜なる條件を具備する點よりすれば、東蒲寨は佛領印度支那中唯一の國たることは特に着目を要す。而して現在の狀態に於ても五百乃至六百鍋に供給するに足るべき良品の原料を有するが故に、此の分量のみにても完全なる製絲場を建設するの見込充分なり。而して一度完全なる製絲場にして建設せられんか此の工業が東蒲寨繭生産業に與ふる影響の大なるべきは爭ふべからざる事實なるべし。

一面當該官憲は從來重要なる養蠶地に對し斯業に關する諸般の施設を行ふ所あり、且つ其の他の地方にも此の施設を及ぼさんとして計劃する所あり、加ふるに養蠶業の勸奬に全力を集注する所あり。是等相倚りて因を作し玆に地をトして所謂完全なる製絲工業發展の第一着手として蒸汽力使用の製絲工場を建設するに及べり。然かも此の工場は最も機會の熟せるに當つて建設せられたり。

要するに當局者が製絲業を興して此に著々東蒲寨地方養蠶業の發展に熱中するも、又現在此の地に生産せらるゝ絹原料を外國に輸出するの途を轉じ、擧げて之を本國市場に輸送せんことに腐心するも、皆是本國市場の要求に從ひ其消費に應せんとするに外ならざるなり。

外調週報

（摘載）

（外事課調査）

英國世界周遊博覽會

（香港デーリー、プレッス一九二〇・一一・六）

英國海外貿易局長サー、グリーンウッド氏の聲明する處に由れば、英國政府は南阿・濠洲・加奈陀・東洋等に於ける樞要なる商業市場に對し英本國の製産品を廣告發賣するの目的を以て周遊博覽會なるものを計畫し、大藏當局は必要の資金支出を承認せり。

所得税と海峽殖民地

（香港デーリー、プレッス一九二〇・一一・六）

昨年十二月十九日、新嘉坡立法會議に於て所得税案の提出を

見たり。之が提出に先だち出納長官は次の説明をなせり。曰く一八九九年法令第六條による國防寄附金（三、〇九九、四九二弗）及一九一六年六月十六日議會決議案に依る寄附金（二十萬磅）は既定の寄附金なるが此外吾人は一百萬磅を母國に寄附せんことを欲す。歐州大戰は好都合に終局を告げしも之に由つて母國の負ふ負擔は中々重く公債の利子のみにて一箇年三億磅を要する狀態にあれば吾々は今日之を袖手傍觀すべきにあらざるのみならず一九一六年の決議により當然援助を與ふべき責任ありと信ず。今一百萬磅を母國に送金せんとせば前記二種の寄附金の外二三、七七〇、〇〇〇弗の不足を來す事となる。顧みて吾殖民地の現狀を見るに益々多事にして著手すべき事業多く、殊に米の問題も輕々に看過すべからざるが故に、今一百萬磅を捻出さんとせば可なりの遣繰を爲さゞるべからず云々。斯くて議案は提出されき。元來本所得税案は從來の戰時所得税を繼續する謂にして只其戰時の二字を除くにあり。本案は滿場一致を以て第一議會を通過して委員附託となれり。

暹羅の鑛業

（シンガポール、フリープレッス一九一九・一一・一三）

暹羅の鑛業未だ發展の餘地多々あるべしとは一般に信ぜらるゝ所にして、從來採掘されつゝあるは運搬に便利なる都會地に接近せる場所のみなり。暹羅馬來國境の連峰は全然捨てゝ顧みられざる有樣にして、若し鐵道支線の延長と相俟て此地に採掘の手を延ばさんか、錫「タングステン」、「モルビデナム」等の鑛脈の發見は必ずや暹羅をして益々鑛業の中心地たらしめん。特に該國境地方に於ける「モルビデナム」附に就て過去數箇月間報告の來るもの頻々たり。

非律賓人私見

（マニラタイムス一九一九年十二月一日非律賓人の寄書）

非律賓島には居住耕作に適せる數百萬「ヘクタル」の未開地の存するあるも、是れが開拓に必要なる勞働者及び資本を欠如するは世人周知の事實たり。是に於てか外國人は巨額の資本を擁し來りて吾人の荒蕪地を占有し之を開墾するなり。然らば如何にして眞個國家的なる此の問題を解決すべきか、一例を引用すればダヴァオは日本人の資本及び勞働者に依りて侵略せられたり。自餘の地方をして斯かる悲境に沈淪せしめざらん爲めには吾人は如何なる政策を執るべきか。或る者曰く「吾人は日本人と競爭を敢てする事不可能なり」と、乍併余は斯くの如き言を以て眞を穿てるものと見做すこと能はず。假令吾人が日本人と角逐すること能はずとするも、日本人がダヴァオよりも比較的健康地なれど著しく不生産的なる米呂ヴィザヤスに於ては彼等の精力を消耗し盡すや必然なり。日本人はダヴァオの住民が資本と勞働者とを欠缺し居るの弱點に乘じて其の地に事業を畫策したるなり。惟ふに該地方の住民が資本と勞働者とを欠如する事は、實際多大の開墾費を支辨するに餘りあるべき資本を擁せる外來人（日本人）と角逐するに當りて過重なる「ハンディキャップ」を負荷するものと云ふべきなり。故に若しも政府にして大規模なる開墾事業を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

企て、資本の一半は政府自ら負擔し、他の一半は是れを洽く一般社會に募り、縣參事會及び郡會が其の經營に參與する事とならんか、ミンダナオの他の未開地を開發するに充分なる勞働者を雇傭する事極めて易々たるものあるべし。吾人は確信す、危殆に瀕せる有らゆる場合に際して斯かる防備策を實行する事が、此の最大緊急問題を成功的に解決する最良の鑰鍵たる事を。

菲律賓糖業者の樂觀

（「マニラタイムス」一九一九年十二月十五日）

最近日本に對する數日の百萬「ペソ」臺、砂糖賣買契約既に成立したるが故に、菲律賓の砂糖耕作業者及び砂糖取引業者は、目下收穫せられ居る砂糖は將來恐く日本市場及び支那市場に仕向けらるべしと豫想しつゝあり。而して目下收穫せられ居る糖蔗は來年一月早々壓搾せらるべく、糖蔗の總收穫高、二十二萬五千噸を下らざるべく概算せられ居れり。今一擔當り廿八「ペソ」とすれば最近成立したる大口取引の大部分は總收穫一億八千萬「ペソ」にして、昨年の砂糖收穫二十萬噸に對し今年の豫想高は二萬五千噸の超過なり。

現在收穫中の砂糖の幾分は支那商人に對して豫約せられつゝあれども、其最大部分は日本商人に依りて需要せられつゝあり。又需要せらるべしと傳へらる。日本人及支那人は能ふ限り多量の砂糖買付に付き努力しつゝあり。若しも取引狀態が今日の儘に推移せんか、現在の收穫は擧げて極東市場に積み出さるべし。日本人及び支那人が桑港に於て賣却する事に依りて得らるゝよりも一層高き價格を支拂ひつゝあるの事實は收穫の極少部分のみが亞米利加に仕向けらるゝならんと云ふ豫想の根據をなせり。

日本人及び支那人の買手に對して成立したる賣買取引は一口十萬「ペソ」以上百萬「ペソ」に及ぶ。百萬「ペソ」の取引契約が幾口成立したるかは明瞭ならざるも、兎に角數口なる事は疑ふの餘地なし。菲律賓の糖業者は是を以て極東の消費者が吾が砂糖に對する需要を示したる最初の年なりと云ひ居れり。蓋し過去に於ては日本人及支那人は彼等の消費する砂糖の大部分は是れを爪哇と臺灣とに仰げり。今年は臺灣の糖產不足なりしと爪哇糖の大部分が歐洲市場に仕向けられたるとに依りて、彼等は勢ひ砂糖の供給を菲律賓に仰がざるを得ざるに至りしなり。

砂糖の收穫及び壓搾は目下の所ミンドロに於て少許行はれつゝあるに過ぎず。來年一月初旬迄に菲律賓全島に涉りて壓搾の行はるゝや否やは豫期せられず。日本人の砂糖買入れ豫約者は比較的上等種を、支那人は比較的下等を注文しつゝあり。廿二萬五千噸の總收穫も多分來年早々壓搾開始せらるゝ迄に賣買契約成立するならん。斯くて菲律賓の糖業者は目下極めて前途を樂觀しつゝあるものゝ如し。

西貢米穀市場

（香港デーリー、プレッス、一・二九）

昨年十二月三十一日、印度支那政廳は新法令を發布して米穀賣却に際し賣價の五分の一は貨幣地金によらざるべからずて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ制限をも撤廢せり。故に本年一月一日以降米穀輸出は全然自由となれり。一月及び二月中に於て輸出すべき契約高も相當の額に昇り、中にも海峽殖民地向の輸出最も大なり。從つて相場は騰貴の傾向を有すれども、三月に至らば多量の糙米も市場に出現すばければ相場は下向きとなるに至る可し。本年一月一日より十二日に至る輸出高は一五、四三〇噸にして、昨年の同期間に比し約二〇〇噸の增加なり。

新嘉坡、波南、麻剌甲の輸出入額

（シンガポール、フリー、プレッス、一九一九＝一二＝一八）

一九一九年七、八、九の三箇月間に於ける左記三箇所の輸出入額と一九一八年同期間に於けるものとの比較表

	一九一九年七、八、九月輸出高	一九一八年七、八、九月輸出高
シンガポール	一一七、一九七、九二〇	一九四、一八三、六八八
ペナン	四六、八八一、二九一	四〇、七七六、五三七
マラッカ	五、三七七、〇九二	一四、一三九、九一六
計	一六九、一二〇、一三九	二六二、四八九、四九八

	輸入高	輸入高
シンガポール	一四三、二五七、二一三	一七八、三六七、五一六
ペナン	四六、八八一、二九一	四〇、七七六、五三七
マカッサ	四、〇三二、五六四	七、九七〇、〇七七
計	一九四、一七一、〇七八	二二七、一一四、一三〇

メルグイの將來

（シンガポール、フリー、プレッス、一九一九＝一二＝一八）

緬甸「テナセリム」地方長官は、一會合に於て述べて曰はく、メルグイは無比の良港にして全世界海軍と雖とも同時に來り碇泊する事を得べし。メルグイ・ムールマイン間の測量も今冬中には終了すべく、而してメルグイ・盤谷間の鐵道敷設せられし曉は、支那内地に通ずる最短の通路たるべし。又印度を通過する英國・濠洲間通路に於ける陸運の重要地點たる可し。斯てメルグイは將來東洋の中心市場たるに至らん（メルグイは馬來半島の根元に在り）

アムステルダムの一銀行神戸に支店設置

（アウトルック大正八、十二、十）

Netherlands Trading Society と稱するアムステルダムの一銀行は、蘭領東印度と日本との通商關係に鑑み、神戸に一支店を設置することに決定せり。支店長たるべきゼー、エム、スータース」(J. M. Soeters) は十二月中來神、開店準備中なり。店は元爪哇日本支那汽船會社の占有したる明石町卅一番Bに設置することとなるべしと謂ふ。目下大藏省に向つて開店許可申請中にして、許可せらるゝと同時に右番地に於て開店せらるゝの運に至るべしと謂ふ。支店長たるべき「スタース」氏は東洋の各地點に於て長く生活したる人にして神戸支店長としては恰好の人物なり。氏曰く日本と東印度との通商關係は日に月に濃厚を加へたれば支店の開設は最も時宜に適へるものなるのみならず、現に臺灣銀行・横濱正金銀行の如き蘭領東印度に支店を有せり云々と、「スタース」氏と同時に來朝せるエー、ストキング(A. Stokking)は副支店長たるべき筈なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Netherland Trading Society は八百三十三萬三千三百三十三磅(一億盾)の資本金を有し、拂込資本金六百六十六萬六千六百六十六磅、準備金一百二十一萬五千八百七十九磅、特別準備金一百四十一萬六千六十六磅を有せり。

バゴボ人の武裝解除斷行

(マニラ、タイムス一九一九年十二月卅一日)

今朝總督官房に到著したる報告に依れば、ベニト、デイ、ヴァレリアノ大尉(Captain Benito. D. Valeriano)はダバオに於けるバゴボ人の武裝を完全に解除する事に成功し、ミンダナオの該地方に居住する支那人及日本人に對する迫害侵寇を根絕したるが如し。ヴァレリアノ大尉は教務局をして該地方に於ける農業學校を發展せしむる事に依りて、漸次是等の非基督教徒をば平和なる文明生活に誘導せんものをと、强情にして傲慢なる有らゆるバゴボ人及びアタ人が、ミアラガスに於ける警察兵駐在地に近き專用居留地に集合群居する樣斡旋したり。

彼は更に徐々として文明的なる文物習慣を採擇實行する事をバゴボ人に推奬し、酋長頭目等が剛勇の象徵又は英雄の表象として好んで用うる頭飾りは、取りも直さず彼等の盲心を驅りて文明人の嫌忌し現行法の認めざる種々なる罪惡を犯さしむるの衝動となるが如ければとて、斯かる裝飾物を頭上に載く彼等の習慣を禁したり。

バゴボ人の武裝解除は、ダバオに於ける日本人及支那人移住者にして彼等蕃人の兇手に倒れし者少からざりし結果、兩國領事がバゴボ人の迫害に對して島政府に抗議を申し込みたるより實行せられたるなり。ヴァレリアノ大尉は去にし五月頃該地方に對する命令權を授付せられたるものなるが、其後間もなくして是等の山地蕃をして武裝を解除せしむるの難事業に著手せり。

ヴァレリアノ大尉は彼の報告書中に於て、彼は先つ第一に火器の所有を認可せられたるバゴボ人の購入し得る火藥の分量をば藥包五十個に制限し、次いでバゴボ人の所有せる總ての銃を沒收し、七月十一日には藥包を彼等に賣却すべからざるを嚴達し、八月廿六日には遂に有らゆる種類の火器を沒收するの事業を開始したることを申達せり。

彼は沒收事業の進行中に於て一挺の火器も隱匿せられざる樣警戒を怠らざりしが、該地方全體より沒收せられたる火器の總數は法律に明記されある致命的火器は其一挺だにも是等非基督教徒の手に留置せられ居らざる事を證明せり。

ヴァレリアノ大尉は又バゴボ人の武裝解除の結果として、彼等は今や銃を携帶して山野を馳驅する事よりヘンプを剝き又はヘンプの束を市場に運搬する事に轉業しつゝあること、及び彼等を文明的習慣に誘導する爲に彼等が土地に定著して彼等の迷信より脫却したる曉に於て、始めて銃の使用を再び許可せらるべき事を理解せしむべく苦心しつゝあることを報告せり。

ヴァレリアノ大尉の上官等は彼の事業を目するに、ダバオに於ける無法律の狀態を排除し、平和と文明の曙光を其蠻域に導く事に於て尠少ならざる寄與貢献を爲せる驚異すべき勝利

なりとして激賞しつゝあり。ハリソン總督も彼の事業に對して喜ぶ事限りなしと傳へらる。

ネグリットー問題

（マニラ、タイムス一九一九年十二月廿九日）

本問題を考究するに當りて吾人は政治的・社會的及び經濟的の三方面の見地よりするを以て常とす。經濟的見地より觀察する時は、ネグリットー(Negrito)種族は不必要にして堪ゆべからざる過重の負擔を吾人の上に負荷するものなり、彼等は租税の對照となるべき何物をも生産せず、從て彼等の生活狀態を向上せんか爲に腐心しつゝある政府に對して何等の代償をも與へざるなり。政府は彼等を低平地方に誘引し、彼等の同胞國民と相和し相擁して幸福なる部落生活を營ましめんものをと苦心慘澹たるものありき。加ふるに政府は彼等の現住地域を能ふ限り都市化し、以て彼等にも文明生活の恩澤に浴するの機會を提供せんと企圖せり。而して此神聖にして至難なる事業を遂行せんとする數多の副知事の任命を見たりしが、吾人の努力も今日迄の所殆んど水泡に歸したるが如し。政治的見地より觀實するに、ネグリッドー種族は未だ蒙昧野蠻の境を彷徨しつゝありと云ふも強ち過言には非さるべし。社會的には彼等は老幼病者を救濟し庇護するの法律制度を有するなくして生活しつゝある哀むべき種族なり。彼等の居住地域の間々盜賊若くは不逞者の巢窟となる宜なりと云ふべし。

是等の事實を綜合して考ふるに、ネグリットー問題は實際吾人の輕々に看過すべからさる重大問題なり。筆者は非律賓政府がネグリットー統御の事業を擧げて警察兵に委托するの得策なるを確信して疑はず。

ネグリットー統御の事業を一旦警察兵に委托しなば、警察兵をしてネクリットー居住地方の到る處に保壘を築造せしめよ。彼等蕃民に耕作用家畜・耕作器具及び該地方の地味に適合せる種子に頒與供給するを得しむる丈けの潤澤なる資金を具備せしめよ。勞働に堪ゆる蕃民をして强制的に一定の地所を耕作せしむるの權限を與へよ。收穫の一半は政府之れを徵收し他の一半をば生産者の懷中に歸せしめよ。又政府はネグリットーの便宜の爲に低平地方に於ける相場價格を以て生産物を買收するの政策を執れ。百尺竿頭一歩を進めて警察兵司令官をして該地方の知事たり、立法者たり、裁判官たらしめよ。而してネグリットをして司令官の通行許可證なくしては一地點より他地點に往復するを得ざらしめよ。如上の諸政策を斷乎として實行せんか、ネグリットーが寧ろ低平地方に永住するを以て便宜なりと思惟するに至るや明らけし。此際警察兵は鋭意移住を慫慂するの努力を獻げさるべからず。假令彼等蕃人にして吾人の豫期を裏切り奧地深く遁竄して吾人の行政權の到底及ばざる地域に居を構ふるの迂を敢てする事ありとするも、是れ畢竟するに彼等が吾れと吾が身を罰するものなり。如何となれば彼等は吾が優秀なる警察兵に依りて保證せらるゝ援護に浴し得ざることゝなればなり。

副知事の施設の可惜水泡に皈し終れるの事實は、職として施設其ものが餘りに近視眼的に流れ遠大的色調を著しく缺如し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たるに因由せずんばあらず。從て刻下の喫緊事の彼等と密接なる接觸を保てる父權的獨裁政治の形式を以てネグリットーの上に不斷の壓迫を加ふるに在り。衛生法規の强制的施行、學校の設立等も如上の政策をして其の成效を促進せしむるに資益する處蓋し尠少に非ざるべし。

印度支那鐵道擴張計畫

(一九一九＝一二＝三一、セ、シンガポール、プレス)

交趾支那鐵道はミトー線に連絡せしめて各方面に鐵道を延長せしむる計畫あり。卽ち(一)西貢カントー間(二)西貢プノベン間(三)西貢ハタンハン間の三線を新設せんとするにあり。而して此新設線延長哩數は未だ實測を經ざるを以て未定に屬すと言ふ。尙又安南線の完成に因る南北線の連絡は早晩實現するに至る可く、斯くて雲南と西貢とは玆に始めて一路直通するに至る可し。

新嘉坡船價昂騰

(新嘉坡フリー、プレッス一九二〇年一ー八)

新嘉坡に於ける新古船舶の賣買價格は目下著しく昂騰せり。一九〇四年建造のトイーダーレ號(四、三三二噸)は過般十五萬磅に賣却されたるが、又々廿二萬五千磅にて賣買契約成立せり。

ベルビュー號(四、四一六噸)は一九〇六年の建造なるが八箇月前九萬五千磅なりしに今回十六萬磅に賣却せられたり。H型標準船(二、五〇三噸)は昨年「ブリストル」にて建造されたるもが、十二萬五千磅の船價を示し、明年竣工の同型船も同價を告げ居れり。

日本船舶所有者も目下盛んに船舶の轉賣をなしつゝあるが、英國船にて日本の船旗を翻すもの續々たる有樣なり。

極東に於ける硝子製品(同前)

海峽植民地に於ける各地よりの輸入は、歐洲戰爭中著しく微弱となりしが、最近再び活潑となり、今日貿易市場の敢引高は年一〇萬磅にして其中護謨工業益々盛ならんとすると共に近來著く輸入額を增加せるは硝子製ゴム液コップにして、日本製コップは漸次英國製品を凌駕せんとす。一九一七年の硝子製品輸入額を示せば、

壜	二八、〇〇〇磅		
內日本	一八、六〇〇磅	英國	五、四〇〇磅
其他の硝子製品	七四、〇〇〇磅		
內日本	五四、〇〇〇磅	英國	一四、〇〇〇磅

過去二三年間は右製品輸入額日本と英國とは殆んと相半せり日本は硝子板を製造せざれとも薄板硝子を輸出し、頗る各方面の使用に好評を博せり。又當地にて鏡製造の爲め四分の一吋板硝子の輸入亦莫大なる額に上る。日本製品は品質惡しく輸送途中破壞する額を殆んど計算に入れざる程の安價なり。

蘭領印度の石炭狀況

(ロビニオン＝一九一九＝一二＝七)

最近の統計に據れば蘭領印度に於ける石炭消費額は六十萬噸を超過して百萬噸に達せり。戰前に於ては約四十萬噸を濠洲

及び日本より輸入し、其大部分を鐵道に於て消費せり。一九一五年の該消費額十五噸と稱せられしも、戰亂の結果船腹の缺乏を告げ、濠洲炭及び日本炭の輸入杜絶し、勢ひ島内炭のみを使用し居たるが、今や戰亂終熄して再び濠洲炭及び日本炭の輸入を見るに至れるを以て、爪哇寄港の日濠船舶は蘭領印度にて積取る可き原料品の代りに石炭を搬出し得べし。新嘉坡並に彼南は從前濠洲日本並に英領印度より約百萬噸を輸入せるを以て、蘭領印度產炭の販路を同方面に開拓する余地充分なり。

蘭領印度の主要石炭礦山はパダン附近のオンビリン並にボルネオの西南岸に近き一小島プーロ、ラウトとす。此兩礦山は共に政廳の開掘に係り、オンビリン礦山はプーロ、ラウト礦山に優り、一九一七年四十八噸、一九一八年四十七噸を產出せり。而してプーロ、ラウト礦山の平均年產額は十二萬噸なり。其他民間經營礦山の出炭年額は約十一萬噸あるに過ぎずと雖、スマトラ島レマンタン炭田よりは毎年二十萬噸を採掘する事容易なるのみならず、尚優に年々二萬噸宛の增產ある見込なり。更に又スマトラ島タンシユーに於ては炭質優秀なる炭田ありと云ふ。

オンビロン炭の島外積出はペダンのエンマハーフエン港に依る。同港は九十五哩の延長を有する鐵道を以て山元と聯絡を有す。オンビロン炭田は奥行十基米、幅員九基米あり。其礦脈の厚さ二十三米を數へ、一八九二年以來の出炭總額は七百萬噸に達せりと。

海峽植民地事情

（商工課調査）

酒稅率の改訂（一九一九年十二月十九日 海峽殖民地官報所載）

一九〇九年發布せし酒稅令に則り一九一七年一月八日發布せられたる官報號外第二十四號のAに規定せる酒稅率を立法會議の協賛を經て此處に徹廢し一九一九年十二月二十日以降左記の法令を實施す

第一條　アラ（Arrack）若くは强烈なるアルコールを含有する醱酵料水はガロン當二十弗の稅を徴す

第二條　ブランデー（Brandy）ウヰイスキー（Whisky）ラム（Rum）ジン（Gin）リコーア（Liqueurs）ビツター（Betters）日本酒支那サムスー及藥用サムスー等にしてガロン當り

（イ）酒精標準强度の八十五パーセント以下含有に對して六弗

（ロ）同七十パーセント以下八十五パーセント迄四弗八十仙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(ハ)同四十パーセント以上七十パーセント以下三弗
(ニ)同四十パーセント以下二弗

第三條　發泡酒にして酒精標準强度の四十パーセント以下含有三弗

第四條　揮發泡酒(藥用酒も然り)同四十パーセント以下二弗
但し酒精標準强度の二十六パーセント以下含有の赤葡萄酒は此限りに在らず

第五條　酒精二十六パーセント含有の赤葡萄酒及アレ(Ale)麥酒スタート(Stout)ポーター(Porter)サイダー(Cider)及ペリー(Perry)は六十仙

第六條　上記諸酒以外の發酵劑にして
(一)標準强度より以上强き酒十二弗
(二)酒精標準强度の百パーセント以下含有十二弗
尙ほ一九〇九年發布の酒税令に則り許可せし場所に於て酒を醱酵し若くは製造せし時は其の製酒に對して右記載の酒税の十分の九の税金を徵すべし發酵酒の强度が輸入後減ずる事あるとも輸入前の其强度に對し課税すべし

(波木　時記報告)

新嘉坡市場に於ける縫針

當市場に於ける本品の需要者は支那が其の主なるものにして、其の需要數量月當り一億五千五百萬乃至一億六千萬を算す。蓋し當市場に於ける本品は戰前は英國製品と獨逸製品とは當地に於ける二大勢力たりしが、時局以來は獨逸の勢力漸落するに伴れて英國の勢力益々旺盛を來せりと雖も、英國亦た自家頭上の繁忙にして當方を顧みる遑無きに乘じ、本邦品彼等の販路を浸蝕するに到れりと雖も、未だ以て永年の間當地に其勢力を扶殖せる英國製品に拮抗し得るに到るは尙ほ將來わりと云ふ可し。今時當地方に於ける二勢力とも謂ふ可き英國品と本邦品の勢力を具體的に數を以て表示せば、英國品は月當り一億本と算し、本邦品は五千五百萬乃至六千萬と稱す。

▲英國製縫針　英國品にして好評を博しつゝあるものは英國倫敦の The Best England Needle Co. Ltd. の製品なりとす。該製品は當地に於ける唯一の英國品にして當市場の需要數量月當り一億と算す。該品の包裝に二種あり、一は角罐にして他は同會社の專賣特許(パテント)になる丸罐なりとす。兩者とも五十本入と百本入ありて、大小數種の針は三組に分けられ、六號・七號・八號・九號を一組と爲し、九號・十號・十一號・十二號を一組と爲し、若くは八號・九號・十號・十一號を一組と爲し、錫罐に納め此等十二罐を束ねて一ボル箱に入れ、是等ボル箱一打(總計百四十四罐一グロスと稱す)を一綑にして木製箱に入れ、鐵帶を掛けて送荷す。專賣特許たる丸罐は針の銹を防止する目的を以て發明せられしものなるが故、筒の頭蓋に一の細孔あり該底より大小四種の針を得べく、筒の內容は四部に區劃せられ、各區內に上記附言せし大小四種の針を配納しあれば、細孔の設備ある蓋を廻轉せば意に應じて該四種の針を振り出す事を得べし。該品は南洋七箇所即ち馬來半島・印度・蘭領東印度・濠洲・支那・ニューギネア・暹羅に於て專賣特許を得、當新嘉坡の代理店を(Gait Brother Co. Limite

Singaporeなりとす。建値は兩者とも百本入グルス當りC.I.F.二十六弗の相場なり。丸罐は當地需要の外國品の三分の一を占む。

▲本邦製縫針　當地に於ける本邦製品には廣島物と東京物の二種あり。東京物は虎印にして其需要月當り五百萬本と算し廣島物は鷄印にして五千萬本と算す。從來當地に供給せられし本邦製品の包裝は組合は外品と大差無く六號・七號・八號九號若くは九號・十號・十一號・十二號を適當に組み合せたる二十五本を錫紙若くは油紙に包み、是等二百包みを一纏めにして錫罐に納め、尙百罐を一纏になして大なる錫罐に入納して木製箱にて其の外部を覆ひ、鐵帶を以て二箇所縛して送荷す。本邦品は一萬本を以て建値と爲し、廣島物C.I.F.新嘉坡十三弗五十仙、東京物四十弗、支拂は二箇月乃至四十五日のd/c決濟を普通とするが如し。日本よりの當地迄の本品の運賃は五十萬本入一箱五弗内外なりとす。當地の卸商は一割乃至一割五分掛けにて一箇月の支拂期限にて取引しつゝあるが如し新嘉坡に於ける虎印の代理店は新賀商店にして廣島物たる鷄印は支那商之を取扱へり。其主なるものを擧ぐれば吳震興・吳福興等なり。

近來本邦品にして上記 The Best England Needle Co Ltd.の專賣品たる丸罐を巧みに擬造し、百本入百四十四罐を三十五弗内外にて當地に販賣せし爲め、一般の需要該模擬に傾注するに到り、終に F. E. N. 會社の代理店たる Catt Brother & Co.の知る處となり、同社より目下告訴中なりと傳へらる。惟ふに英國製縫針と本邦製縫針を比較するに、本邦製品は英國製品よりも其價格に於て六割方安價なりと雖も、耐久力は非常に劣れり。即ち英國品は八箇月乃至一箇年使用に堪ゆると雖も、本邦品は三箇月もせばニッケルが剝げて錆を生じ易き大なる缺點なりとす。（新嘉坡木村囑託報告）

新嘉坡市場に於ける蓄音器用針

娛樂機關の設備の乏しき當地方に於て無聊に苦み單調に倦み易きは當然の事なり。蓄音器は之を慰むる娛樂機關にして、殊に支那人・土人間に愛用せられ、從つて蓄音器用針の需要は他諸外國に見るを得ざるの好現象を呈せり。當地方の本品は獨逸品の杜絕以來年々品不足を生じ、夫れが爲め目下の相場は戰前の夫れに五倍乃至十倍、甚しきに至りては二十倍するの高價を呼びつゝありと雖も、品不足の爲に其高價を以てしても尙は賣行頗る良好なり。

當市場に於て消化せらるゝ本品の數は月當り約八十萬本乃至百萬本と稱せらる、米國製品は其の大部分を占め、日本製品は之に次ぐと雖も甚だ僅少なりとす。

米國製品にして當地に勢力を爲せるは犬印 Vecterにして、月當りの販賣數二十五萬本乃至三十萬本と算す。時局前は一萬本當り九弗乃至十弗なりしが、目下の小賣相場は萬當り四十五弗内外なり。該品は當地に出張店を有するSee monson & Co.（Raffles Place）にて取扱ひ、盛んに當地の流行歌をレコードに吹込みて販賣し、非常なる好評を博しつゝあり。之に次で需要の多きは Colonfea なり。月當の販賣數量二十萬乃至二十五萬を算し、目下の小賣相場萬當り四十二弗内外なりとす。之に本品の當地の代理店を Lolin son piano & Co. となす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次でLondon米國々旗印にして月當りの需要數量十萬本乃至十五萬本を算し、萬當りの小賣相場十二弗内外にして、上記諸種の外月當り約十五萬本の米國製品當市に入み込居れり。卸相場は小賣値段の二割引き位なり。米國品の包裝は殆んど類似し、幅一吋半長さ二吋厚さ三分大の鐵葉罐に二百本の該針を包納し、該罐の內部は一葉の紙にし內面を覆ふ樣に仕組み、是等五個の罐を長さ七吋幅二吋厚さ四分大のボール紙箱に納め、是等十箱を一纒めにして大なるボール箱に入納し、其大ボール箱百個を一纒にして油紙にて包みて後其上を護謨ビキ布にて覆ひ木製箱に納め鐵帶を爲して送荷す。

本邦製品の當市場に供給せらるゝに至りしは、最近三年來の事實にして來た以て好評とは謂ひ難く、一般需要少く單に在留本邦人の需要に充つるに過ぎず。本邦品にして多少の需要あるは鷲印にして月當りの需要五萬を算す。二年前の相場は萬當り八弗乃至九弗位なりしが、目下の相場は十六弗乃至十七弗位となす。該品は長方形の鐵葉罐に針三百本を入る。上述の如く米國品は一罐に二百本なるが故、當地の需要者は二百本入罐を常用せしを以て三百本入を嫌ひて使用せざるが如し。故に當地にて本邦品の需要を喚起せんとせば一罐二百本入の包裝となし、マークは米國人若くは當地土人の嗜好に適するものを擇みて使用するを可とす。相當の基礎を建つるに至る迄では「Made in Japan」なる語を其の製品に記入せざるを良策とす。惟ふに本邦製品と米國製品との質を比較し見るに、米國品は其質頗る硬く、光澤も鮮明なりと雖も本邦品は其質脆く鈍色を呈せり。故に當市場に於て少くとも米國品と拮抗し得るの勢力を爲さんとせば、本邦品の惡評を來たすべき原因を攻究して之を改良するを要す。

（新嘉坡木村囑託報告）

大正八年の臺灣貿易概況

財務局稅務課調

大正八年中の本島貿易は前年に比し輸移出輸移入共に增加して總額三億三千餘萬圓に達し、空前の記錄を示したるが、輸移出に比し輸移入の增進一層顯著にして、前年には輸移出超過額三千五百餘萬圓を算したるもの、本年は二千三百餘萬圓に減退せり。即ち左表の如し。

	大正八年	大正七年	比較增△減
輸移出額	円 一七七、八三〇、五七	円 一三九、五五六、二六一	
輸移入額	一五四、七〇五、一九四	一〇四、二二九、三三〇	
計	三三二、五三五、七七一	二四三、七八五、五九一	
出超額	二三、一二五、三八三	三五、三二六、九三一	

本年本島經濟界は前年末休戰條約成立の後を承けて一時頓挫の傾向を示せるも、三四月頃より復活の兆を現し、軈て諸物價も再ひ奔騰に轉し、下半期に入りては事業の計劃、信用の旺盛、殆んと其の極に達し、八・九月兩度に亙る暴風雨被害あり、又虎列剌・惡感冒等の患疫流行せるに拘らず、依然として人氣沸騰を續け、戰時中に比するも尙ほ財界活況を呈し遂に十一月末各銀行の利子引上げ貸出警戒に會して稍々沈靜に歸したるも、近年の物價昂騰は企業家・勞働者及地方農家等一般の收益を增加し、其の根抵既に堅實を加へたるものあり、物質の賣行宜しく、尙ほ物價の先高傾向と相俟つて輸移入を激增し、又輸移出に於ては休戰後內地より上海及香港方面に對する船腹の益々緩和せられ、內地直輸出に便したるに加へて南支各地に瀰蔓せる日貨排斥事件未だ終熄するに至らず、內地品仲繼輸出を衰退せしめ、尙ほ島內一般物資不足の傾向あり、輸出は寧ろ不振の狀なりしも、本年島內石炭產出額著增を示し、恰も南支南洋方面に於て石炭の供給缺乏せるに乘じて販路を擴大せると、前年末來本島二三粗糖會社の製糖休止期間を利用して開始せる爪哇糖を原料とせる再製作業甚だ順調にして其の輸出旺盛なりしとに主因し頹勢を支へ、加ふるに內地市場の活躍に促されて移出甚だ好況を呈し、本島貿易は未曾有の繁榮を呈せり。更に之を外國貿易內地貿易及朝鮮貿易に分ち記述する所あるべし。

●**外國貿易**　本年中の外國貿易は前年に比し輸出入共に增進し、殊に輸入は殆んと前年の倍額に達せんとするの好況なりしを以て、多大の輸入超過を算するに至れり。左表の如し。

	大正八年	大正七年	比較增
輸出額	円 三五、六二二、二八七	円 三三、三九四、〇〇八	円 二、二二八、二七九
輸入額	六四、一三二、七六二	三三、五五四、五一三	三〇、五七八、二四九
計	九九、七五五、〇四九	六六、九四八、五二一	三二、八〇六、五二八
入超額	二八、五一〇、四七五	一六〇、五〇五	二八、三四九、九七〇

尙ほ左に輸出入各重要品の前年比較表を掲け各品增減の因由を概記し內容討尋の資に供す。

▲輸出重要品表

	單位	大正八年		大正七年		比較增△減	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額
石炭	噸	四七七、三四九	円 八、〇三七、三三四	二八二、〇八六	円 二、八九三、七五四	一九五、二六三	円 五、一四三、五八〇
砂糖	斤	三六、二一〇、四三二	七、五四二、二五二	五七、六九七、五七四	六、二二三、二四三	△二一、四八七、一四二	一、三一九、〇〇九
烏龍茶	同	一一、四〇七、〇二一	五、三四六、三二七	一二、七六三、一六四	五、六九二、三〇四	△一、三五六、一四三	△三四五、九七七
樟腦	同	一、六七二、一四四	三、〇七三、七三五	二、一七九、五五八	二、九四二、〇一一	△五〇七、四一四	一三一、七二四
包種茶	同	五、八九四、〇四三	二、八一二、五二一	五、九七三、三二四	二、八九三、五七四	△七九、二八一	△八一、〇五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

燐寸	哥	二、〇〇四、一七三	二、一一四、七〇四	二、六四六、八四七	二、三五六、六〇三	△六四二、六七四	△四五〇、八九九
綿織物	碼	三、六五六、三三二	一、二三九、八八三	六、五四六、八四〇	一、五九三、二一九	△二、八九〇、五〇八	△三五三、三三六
苧麻	斤	一、六七六、二四三	六八二、四二二	一、七六九、〇〇七	五五〇、七六九	△九二、七六四	一三一、六五三
乾魚及鹹魚	同	三、九七一、三九三	六一一、二九〇	七、三二九、七〇七	一、〇二〇、二五七	△三、三五八、三一四	△四〇八、九六七
酒精	利	八四五、三七一	三五七、四二〇	三、九五六、六六〇	八九七、一四二	△三、一一一、二八八	△五三九、七二二
落花生豆	斤	一、六一七、四八七	二二六、八八七	一二六、三三八	一五、二七〇	一、四九一、一四九	二一一、六一七

重要品十一種中前年に比し輸出價額增加せるは石炭の五百十四萬餘圓を主として五品を算し、減退せるものは酒精の約五十四萬圓最も多くして六品に達したるが、增進せるものゝ中石炭は炭界の好況に助成せられて八年中島内產額は前年に比し約五割を增加し、百二十萬噸内外を唱へられたるに、恰も内地炭撫順炭等の出廻不足は本島炭の需要を促進し、新市場たる馬尼剌へは春來引續き大口成約あり、下半期に入りては大正六年本島炭の品質低下に主因して薪材の代用を誘致し、爾來殆んど本島炭の影を沒せる廣東市場に於て再び其の聲價を恢復して香港市況順調に轉し、其の他新嘉坡・上海等益々販路を擴大して輸出貿易增進の主因を作し、次に砂糖は八年期本島糖は赤糖を合し產額四百七十六萬餘擔に過ぎずして、外國輸出の餘力なかりしも、爪哇糖を原料とせる再製白糖の產額五十萬擔を超え、歐洲方面を主とし支那・關東州・香港・青島等に向け續々輸出せられ、數量に於て未だ前年に及ばざりしと雖、價額を著增し、其の他樟腦は米國を始め英佛方面より注文頻々として殺倒したるも、島内產額稍減少し加ふるに内地市場の需要甚だ旺盛なりしを以て多少輸出供給を按排せるものゝ如く、又苧麻は内地移出不振にして供給稍々餘力を生せしも、元來本年收穫豐富ならざりし爲め、數量に減少せるも、市價騰貴の反映として價額を增進し、落花生豆は米國市場に於ける食料向油脂類の活況に伴ひ八月以降俄に香港仕向を激增せり。次に減退せるものゝ中、烏龍茶は前年米國市場に於て爪哇茶の輸入激增し、前々年の輸入額二百萬封度に對し約二千八百萬封度に達せるあり、尙ほ米國市況の活躍せるに煽られて各種製茶の入荷尠からざりしもの、休戰後人氣の沈靜と共に著しく在荷の停滯を感じ、引續き本年に入りても不況を呈せるに因由するものにして、下半期に至り市況漸く順調に復して相當輸出ありしも遂に挽回の域に達せす又包種茶は暹羅・佛領印度・海峽殖民地・比律賓諸島等各方面に向け益々販路を開拓し、尙ほ主要顧客地たる蘭領印度に於ても商況惡しからざりしが、蘭領印度仕向は前年九月彼地禁輸令施行前一時に積出を急ぎ輸出多かりしに及ばず、燐寸・綿織物・乾魚及鹹魚は内地々方筋の需要多くして輸出向供給尠く、酒精は内地市場好況の爲め移出に壓せられて激減せり。其の他龍眼は前年の輸出額約六十七萬圓なりしもの本年は不作の爲約十二萬圓に激減し、鰕・石油・カーバイト等亦各二十萬圓内外を減少し、本年輸出貿易の進展を殺きたるもの尠か

らず。

▲輸入重要品表

品名	單位	大正八年 數量	大正八年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額	比較增△減 數量	比較增△減 價額
砂糖	斤	七四、五七七、二一七	円 一五、五〇二、一五七	一六、三三〇、四七八	円 一、六八五、九〇二	円 五八、二四六、七三九	円 一三、八一六、二五五
豆ヽ油糟	同	一五六、九四九、四六四	一〇、一三二、六六七	一一八、八九四、二二二	五、九七二、六一一	三八、〇五五、二五二	四、一六〇、〇五六
米（籾共）	同	八四、一七七、九四二	七、七二八、三七六	六二、一八四、〇六三	五、一三一、三七二	二一、九九三、八七九	二、五九七、〇〇四
阿片	同	二〇五、四九三	六、四三三、九五〇	一九七、二一二	四、五五四、〇八〇	八、二八一	一、八七九、八七〇
包蔴	枚	一〇、八五〇、六五八	二、四六八、三三七	七、七九二、四〇〇	一、九三六、六三二	三、〇五八、二五八	五三一、七〇五
石油	瓦	二、五五九、七四五	二、三三五、九二三	一、七九四、七五七	一、二七一、九二五	七六四、九八八	一、〇六三、九九八
小麥粉	斤	一八、五九八、四八四	二、三二五、八四一	二、九七七、一九三	三六七、三六九	一五、六二一、二九一	一、九五八、四七二
木材	—	—	一、六五〇、八〇四	—	九三二、六三五	—	七一八、一六九
葉煙草	斤	二、四四一、〇〇四	一、五一八、三八二	二、一七四、一七六	一、二一一、七二〇	二六六、八二八	三〇六、六六二
綿織物	方碼	一、二三六、〇七五	八九三、八二五	八〇五、〇〇二	五一四、六一三	四三一、〇七三	三七九、二一二
大豆	斤	一〇、六八五、九二二	八七〇、三五九	五、〇三五、八一八	五七一、二七〇	五、六五〇、一〇四	四九九、〇八九
禮拜紙	同	一、六二七、六七四	六三三、九五五	一、九一〇、三六一	四七四、五八七	△二八二、六八七	一五九、三六八
苧麻布	方碼	一、七八五、四二八	五四一、八四〇	一、三七二、三七一	三〇一、一七三	四一三、〇五七	二四〇、六六七
黃麻	斤	二、一四九、四六四	四四三、一〇五	一、四〇四、七五二	二二九、一五八	七四四、七一二	二一三、九四七
ガンニー嚢	箇	一、〇一一、〇一七	四三四、四〇三	二、二三九、一一三	一、〇三七、〇九四	△一、二二三、四〇五	△六〇二、六九一
電鍍鐵線	斤	二、三六三、八〇一	三四九、一二五	一、五〇八、四六四	三〇〇、七九二	八五五、三三七	四八、三三三
小麥	同	四、四二九、四四二	三四三、二五四	三、六〇七、〇四〇	一九一、五一五	八二二、四〇二	一五一、七三九
鹹魚	同	二、六七六、六五八	二九七、〇七九	一、一八九、九六六	一一三、九三六	一、四八六、六九二	一八三、一四三
鐵塊及錠	同	二、〇八八、二六七	二六六、二一六	一、四〇九、一六三	一八八、〇一一	六七九、一〇四	七八、二〇五
コンデンスドミルク	打	三八、八一七	二三九、一一六	一三、五八七	六四、九九八	二五、二三〇	一七四、一一八
陶磁器	—	—	二三七、二二九	—	一八七、九四四	—	四九、二八五
葉鐵及葉鋼	斤	六六三、七二四	二〇六、八六八	六四四、九八六	三〇五、〇九二	一八、七三八	△九八、二二四

重要品二十二種中前年に比し輸入增進せるは砂糖の一千三百八十餘萬圓外十九品を算し減退せるはガンニー嚢と葉鐵及葉鋼の二品に過ぎずして輸入貿易高潮の趨勢顯著なるものあり而して增進せるものゝ中、砂糖は前年爪哇場の在荷停滯し價

格暴落せるに際し本島二三製糖會社が買付を決行せるものに係り、本年に入り益々入荷を增加し、多く輸出向再製糖原料に使用せられ、又麻尼剌糖も島內赤糖の在荷薄に加へ新糖出廻り遲延の爲め端境期の需要を見越し、年末に近つくに從ひ弗々輸入ありて本年輸入貿易增進の四割强を領し、次に豆油糟は農家の好況に需要を增し、米は島內米價の奔騰に年初以來入荷輻輳し、六月頃以降は產地高値に稍輸入鈍狀に陷りしも、尙は前年に比して著增し、包蓆は再製糖產額の增加に伴ひて需要を加へ、又糖業聯合會の產糖處分協定廢止せられ比較的有利なる直接消費糖賣出多かりし等に因由し、石油は內地油の供給不足と船腹緩和とに輸入を恢復し、小麥粉は內地品日に月に高値を追ひて益々上海粉の輸入を促進し、木材は經濟界の好調に連れ會社工場等の建設せらるゝもの多く、又市街地住宅不足の傾向著しき爲め相俟つて需要を增進し、大豆は味噌醬油等の島內製造增加せるに反して內地移入尠かりしを以て上海大豆の輸入を促し、綿織物は戰亂中壓迫の反動として休戰後一時の景氣を見せ、且つ三四月頃香港宛爲替下落の機に乘じて取引多く、苧麻布は綿布高値の折柄賣行宜しく、黃麻は島內ガンニー囊の增產と島內黃麻減收と相俟つて輸入を增加し、電鍍鐵線は河川工事材料として需要多く、小麥は麥粉市況旺盛に伴うて島內製粉會社の活躍を來し、靑島及對岸地方より入荷あり、鹹魚は加奈太產鰊の出廻り多く、勞働者及農家好況の際買行良好を報せり。次にガンニー囊の入減は島內分蜜糖の減產に主因し、尙は包蓆の割安に需要を恢復せるに控制せられ、葉鐵及葉鋼は相場低落の爲め價額に於て減少せり。

●**內地貿易**　本年の內地貿易は移出入共に空前の繁榮を呈し、總額二億三千餘萬圓に達したり。前年との比較左の如し。

	大正八年	大正七年	比較增
移出額	一四一、八八五、五四〇円	一〇五、六〇〇、五〇三	三六、二八五、〇三七円
移入額	九〇、五二六、七六六	七〇、五九一、三五七	一九、九三五、四〇九
計	二三二、四一二、三〇六	一七六、一九一、八六〇	五六、二二〇、四四六
出超額	五一、三五八、七七四	三五、〇〇九、一四六	一六、三四九、六二八

今左に移出入各重要品の前年比較表を揭げ各品增減の因由を概記し內容討尋の資に供す。

▲移出重要品表

	單位	大正八年 數量	大正八年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額	比較增△減 數量	比較增△減 價額
砂糖	斤	四八四、九一六、八九二	七九、一一二、三七一円	四五三、四九九、七六九	五四、六二八、六一八円	三一、四一七、一二三	二四、四八三、七五三円
米	同	二七六、四七六、五五五	三四、四九一、七三四	二五五、八〇三、四三五	二四、八三〇、五二九	二〇、六七三、一二〇	九、六六一、二〇五
酒精	利	一二、七七六、〇三六	一二、二三九、八四二	一一、二八五、一四八	一〇、四三九、二二九	一、四九〇、八八八	一、八〇〇、六一三
樟腦	斤	一、八〇六、四七六	二、五五七、四四五	一、六五八、一七七	一、七五七、一二〇	一四八、二九九	八〇〇、三二五
芭蕉實	同	四六、〇〇三、六六四	二、〇三〇、五四三	四六、八二三、七三七	二、〇一四、八〇七	△八二〇、〇七三	一五、五三六
切乾藷	同	三五、九一七、二三二	一、二四三、七二九	三〇二、七〇〇	二五、四〇六	三五、六一四、五三二	一、二一八、三二三
樟腦油	同	二、六〇七、二二一	一、一八二、六六八	二、九一二、一三四	一、三三二、八六九	△三〇四、九一三	△一五〇、二〇一
銅（金銀分含有）	同	一、四八〇、一八〇	九二五、一四四	九五二、一六九	七四五、九六二	五二八、〇一一	一七九、一八二
石炭	噸	五七、五七一	八四二、二二三	八、二六八	一六七、七一二	四九、三〇三	六七四、五一一
鰹節	斤	六七一、二三九	七七三、七五七	九五八、一八三	七二〇、二二四	△二八六、九四四	五三、五三三
木材	—	—	五七〇、八六二	—	六五一、五一五	—	△八〇、六五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名	單位	大正八年 數量	大正八年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額	比較增△減 數量	比較增△減 價額
鳳梨罐詰	打	一四九、〇六〇	五一四、八八七	一〇七、七二二	三八二、六〇九	四一、三三八	一三二、二七八
落花生豆	斤	二、九五〇、三九五	四一六、〇一一	三三、五八〇	五八七	二、九一六、八一五	四一五、四二四
麻織物	碼	一、二〇一、四二六	二七四、五七五	二、一六二、七五二	四六〇、九九五	△九六一、三二六	△一八六、四二〇
麻袋及ガンニー袋	同	四七八、七二〇	二六八、八一三	一一三、四〇〇	四四、八七六	三六五、三二〇	二二三、九三七
包種茶	斤	四三六、三六一	二二四、五二九	三七七、三五〇	一八一、〇七九	五九、〇一一	四三、四五〇

前揭重要品十六種中、樟腦油の減産に基因し、木材の島內需要に追はれ、麻織物の內地生産增加に制せられ、共に移出減少せる外一齊に好況を呈したるが、砂糖の出増は島內産額前年に及ばざりしも爪哇糖を原料とせる再製白糖の移出ありしに因由し、米は前年下半期頃より內地米界殊に活躍せるに伴うて移出漸增し、島內供給の不足を惹起せんとする虞ありて本年一月遂に本島移出制限令の發布となりしも、島內産額は一期二期共に各二百四十萬餘石を唱ふる豐收なりしを以て、特許數量も尠からず、又外米輸入免税額面に對し本島米移出を許可し、加ふるに糯米は年末に至るまで制限令より除外せられたるを以て內地米價高と相俟つて移出を增加し、酒精は內地に於けるセルロイド革布、油布製造其の他化學工業及混成酒の原料等として需要多く、切乾薯は酒精原料として糖蜜不足の形勢分明するに及び需要俄然勃興して五月頃より續々移出あり、石炭は前年移出のものは大部分鴻基炭の仲繼移出にして、本島産は試賣として二千噸內外の取引ありたるに過ぎざりしが本年に入り愈々好評を博し、大阪・名古屋方面へ殊に粉炭の仕向げらるゝもの激增し、又芭蕉實と鰹節とは共に上半期中好況にして引續き移出の增加を豫想せられたるに暴風雨被害に加へ虎列剌病流行の爲め産額減退し、或は船繰順調を失したる等遂に數量に於て前年に及ばざりしも、相場高の反映として價額を增加し、落花生豆は米國市場の食料油好況に促され內地油原料として九月頃より取引俄に好況に赴き、主として神戶に仕向けられ、又麻袋及ガンニー袋は年末に近く大連豆油糟包裝用として大口取引出來の爲め內地市場現物拂底して本島在荷の流出を促し、包種茶は沖繩地方に於て福州茶を排して徐々需要を增大し移出好況を呈せり。

▲移入重要品表

品名	單位	大正八年 數量	大正八年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額	比較增△減 數量	比較增△減 價額
綿織物	―	―	七、九八三、二六三	―	六、五三五、六五八	―	一、四四七、六〇五
乾魚及鯣魚	斤	三七、九九四、五六七	六、八一四、一五四	二九、〇一三、八六〇	五、八〇〇、八八九	八、九八〇、七〇七	一、〇一三、二六五
肥料	―	―	六、五〇五、一六四	―	四、五三八、四九三	―	一、九六六、六七一
鐵	斤	二一、〇二〇、一〇一	四、二四〇、二八五	一三、四九四、六六九	四、九四三、二三八	七、五二五、四三二	△七〇二、九五三
木材	―	―	三、九四七、七二二	―	二、三〇五、九二三	―	一、六四一、七九九
清酒 罎詰	打	二三七、三六三	二、〇八三、六八二	一七六、九四八	一、〇三〇、九八八	六〇、四一五	一、〇五二、六九四
清酒 樽入	石	七、五八三	一、〇二九、四一二	六、九四〇	六〇九、一三八	六四三	四二〇、二七四
清酒 計	―	―	三、一一三、〇九四	―	一、六四〇、一二六	―	一、四七二、九六八
製糖機械	―	―	二、九四一、六〇一	―	二、五九八、八五一	―	三四二、七五〇
燐寸	籮	二、五三四、七一二	二、六六九、三六七	三、三二七、九一一	三、一二一、五八二	△七九三、一九九	△四五二、二一五
紙	―	―	二、二二三、三〇四	―	一、六三〇、〇一九	―	五九三、二八五
鐵製品	―	―	一、九〇七、一四八	―	一、六九二、二一四	―	二一四、九三四
鐵道建設材料	斤	一〇、三〇四、二八四	一、七八二、八一三	七、七八六、七〇八	一、七七三、四一四	二、五一七、五七六	九、三九九
米	石	二六、四三四	一、三八一、三九九	七一、〇九五	二、一八四、二五九	△四四、六六一	△八〇二、八六〇
麥酒	打	三二六、三三三	一、三八〇、七一三	二〇八、九二三	七九〇、八五三	一一七、四一〇	五八九、八六〇
小麥粉	斤	七、七〇六、二一五	一、〇九八、三四一	一三、八〇二、〇三四	一、九八八、六九二	△六、〇九五、八一九	△八九〇、三五一
鐵道車輛	―	―	一、〇三四、四二九	―	五三四、六六二	―	四九九、七六七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石油	瓦	一、〇〇一、八八〇	一、〇一七、三九一	一、七五九、〇〇〇	一、一八二、三一三	△七五七、一二〇	△一六四、九二二
紙卷煙草	千個	五二〇、一〇〇	九〇五、六〇九	五〇四、一四〇	七六一、〇四五	一五、九六〇	一四四、五六四
大豆	石	三一、五九六	八七七、四八〇	五〇、五二八	一、〇三六、五六四	△一八、九三二	△一五九、〇八四
釘	斤	三、〇五九、一三三	七八二、一五二	一、七九七、九三一	六三六、二七四	一、二六一、二〇二	一四五、八七八
罐詰食物	―	―	七四一、二八二	―	四六六、四二四	―	二七四、八五八
銅	斤	九七一、八六二	七二三、三四三	二八五、七四九	二五九、二九四	六八六、一一三	四六三、〇四九
醬油	石	一二、六八三	七一一、四四二	一二、四〇八	五〇二、一三八	二七五	二〇九、三〇四
自轉車	―	―	六七三、二四六	―	三三九、七八九	―	三三三、四五七
石鹸	―	―	六五九、〇〇九	―	四七〇、七〇五	―	一八八、三〇四
乾鰮	斤	一、二四七、八七一	六四三、八三八	一、〇六七、二一二	四五六、九六六	一八〇、六五九	一八六、八七二
石炭	噸	三六、九八二	六一〇、三七四	四四、七二九	五三三、〇八五	△七、七四七	七七、二八九
セメント	斤	二一、九〇八、七三八	五八五、一一四	一一、九九九、五〇四	四〇二、九三八	九、九〇九、二三四	一八二、一七六
枕木	個	四二一、五七三	五八〇、二九七	四五六、一三三	三八七、七五六	△三四、五六〇	一九二、五四一
機械用油	石	一〇、六六四	五七八、六六二	八、六七七	四八四、五一〇	一、九八七	九四、一五二
錫	斤	八四九、三五八	五六六、〇九七	二、五三二、七三九	九〇二、五六八	△一、六八三、三八一	△三三六、四七一
製帽原料	―	―	五四三、三九六	―	五〇五、一七三	―	三八、二二三
ガンニー袋	個	一、一八三、六二三	五二九、一四二	九九六、三二五	四二八、七七八	一八七、二九八	一〇〇、三六四
陶磁器	―	―	五一七、五九六	―	三九九、六七八	―	一一七、九一八
砂糖	斤	一、三五一、九一〇	五一三、九九一	七九七、〇七八	二一五、六六四	五五四、八三二	二九八、三二七
メリヤス肌衣	―	―	五一三、六〇〇	―	三八四、九八八	―	一二七、六一二

重要品三十五種中、前年に比し移入增加せるは乾魚及鹹魚の三百餘萬圓を主として二十八品に達し、減退せるは小麥粉の八十九萬餘圓外六品に過ぎず。而して增進せるもの丶多くは島内の好景氣事業の勃興に伴ひ需要旺盛なりしに主因すと雖今各品に就き其の概況を窺ふに、綿織物は島内賣行相當なりしも伸繼輸出の不振に災せられ、結局增進の大部分は相場高の反映に歸すへく、乾魚及鹹魚は勞働者及地方農家等の購買力增進に加へ市價騰貴の爲め價額を增加し、肥料は米・甘蔗等農作物の高値に賣行き良く、木材は輸入の部に記述せる如く、財界の好況に伴ひ會社工場住宅の建築せらる丶多くして需要を增し、清酒・紙は相場高の反映に加へ寧ろ先高豫想に取引を增加せるもの丶如く、鐵道建設材料は大部分外國品の内地經由せるものにして、本島に於ては官線の建設延長に加へ事業界の高潮に伴ひ、輕便鐵道の敷設多くして鐵道車輛と共に移入を增加し、醬油は需要の增進と船運賃の低落に稍々移入を恢復し、石炭は貨車不足等の爲南部地方に於ける本島炭の供給順調ならず、恰も前年末來運賃界の不味と本年に入り一時内地炭多少弱氣配を呈したるを機とし九州炭の打狗移入を見たるものにして、又枕木は内地供給夥く本島製品の使用を增加し、共に移入數量を減少せるも相場高の爲め價額を增進し、ガンニー袋は時に應じ價格或は需要切迫等の關係にて内地在品の移入を見るものなるが、本年は春季休戰影響にて内地市價暴落せるに際し移入あり、又移出切乾薯包裝用等として故袋の移入增加し、砂糖は精糖需要の增進に加へ年末に近く、赤糖殘荷減少し、且新糖出廻り遲延の爲め馬尼剌糖の内地伸繼移入せられたるものありて著增を示せり。次に減少せるもの丶中、鐵は島内鐵工業の發展及各種工事の旺盛に連れ移入數量を增加せるも市價の下落に伴ひ價額を減少し、燐寸は伸繼輸出の不振に主因し、米は相場暴騰に連れ在住内地人間の需要も多くは本島米に轉し小麥粉亦た割高の爲め輸入粉に壓せられ、石油・大豆は共に内地市場需要多くして供給餘力尠く、錫は漁獲減少せるに内地農家の好景氣に賣行益々多く價格も奔騰したれは移入著しく減少せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●朝鮮貿易　本島朝鮮間の需給は多く內地市場を介して行はれ、直接取引未だ尠く、其の移出入額も殆んど一般經濟界の消長に伴はず、一二物品の增減に左右せらるゝを免れず。本年中の貿易額を前年に比較するときは左表の如く減退せり。

	大正八年	大正七年	比較增△減
朝鮮移出	三二二、七五〇円	三六一、七五〇円	△三九、〇〇〇円
朝鮮移入	四五、六六六	七三、四六〇	△二七、七九四
計	三六八、四一六	四三五、二一〇	△六六、七九四
出超額	二七七、〇八四	二八八、二九〇	△一一、二〇六

次に移出入各重要品の前年比較表を揭げ其の增減の因由を略記すべし

▲移出重要品表

	單位	大正八年 數量	大正八年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額	比較增△減 數量	比較增△減 價額
酒精	利	四五九、一五二	二〇九、五三〇円	九四五、四八三	三五九、九四三円	△四九〇、三三一	△一五〇、四一三円
石炭	噸	六、五〇〇	一〇九、二〇〇	—	—	六、五〇〇	一〇九、二〇〇

石炭は島內產額の俄然增加せるにて連れ販路擴張の必要に迫られたる際、仁川地方に於ける筑豐炭・撫順炭の出廻り充分ならざりしに乘じ、年末數回に涉り移出せられ、酒精は多く混成酒の原料として需要せられ、相應好望なりしも、本年は內地向取引の活況に押され閑却せられたる觀ありて移出激減せり

▲移入重要品表

	單位	大正八年 數量	大正八年 價額	大正七年 數量	大正七年 價額	比較增△減 數量	比較增△減 價額
人參	斤	五一六	二〇、一九九円	一、〇五一	四二、一一〇	△五三五	△二一、九一一円
大豆	同	一七八、三二〇	一五、三七六	七九、〇六八	六、八八七	九九、二四二	八、四八九

大豆は本島に於ける味噌・醬油製造の增加及豆腐賣行の好況等に需要多かりし際入增し、人參は全部小包郵便に依りて移入せられ、多くは出張販賣員の取扱に係るものにして、近年島內需要復興の氣配なりしも、本年頓挫して商況振はず移入の減少を來せり。(完)

◉英國對支貿易關係

英國は米國の先蹤を追ひ支那との貿易關係を密接ならしむることに最善の努力を爲せり最近組織せられたる英支貿易局は其の努力の一端を示すものなり該局は Factoration of British Industries の監督の下に立つことゝなれり

ジヤパンアドヴアタイザー一九二〇、一、一七、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十六年の臺灣文武官

（五月一日現在）

總督 兒玉源太郎 警務課長
秘書課長 大津麟平 警視
秘書官 横澤次郎 屬
屬 齋藤參吉 保安課長
同 南政吉 衛生課長
同 川中子安治郎 技師
文書課屬 高島虎雄 總務局屬
同 黒田清政 外事課翻譯官
參事官長 石塚英藏 地方課長
參事官 大内丑之助 屬
同 持地六三郎 法務課長
同 竹島慶四郎 屬
同 關屋貞三郎 同
翻譯官 草場謹三郎 學務課長
同 谷信近 屬
同 谷信敬 編修官
同 勝田拾次郎 編修書記
屬 瀬能莊一 財務局長
民政長官 後藤新平 主計課長
警察本署長 大島久滿次 屬
警視主事 高橋傳吉 同
屬 賀來倉太 同
同 山口德治 同

同
税務課長
岡師庄一郎 事務官
中田直温 同
柏蕃彌 屬
原修次郎 同
加藤尚志 同
岡田義行 同
大橋重衛 同
三好重彦 同
中村雅治 同
大橋綏 會計課屬
手島兵次郎 通信局長
志豆機源太郎 庶務課長
鹽田爲次郎 屬
佐藤弘毅 同
松山拾吉 通信書記
小川尚義 電務課長
平澤平七 屬
祝辰巳 海事課長心得
峡謙齊 技師
齋藤剛 海事官
岩瀬金二郎 同
掛場徹 技手
宮崎克己 分課未定事務官
臺北測候所長

石原研吉 殖産局長心得
宮尾舜治 農商課長
高山龍之助 技師
朝倉菊三郎 屬
渡邊與一 拓殖課長
島岩太郎 技師
山田壽造 同
野口有國 同
西岡健之 權度課技師
相良三熊 殖産局農事試驗場長
吉木廣允 土木局長心得
欧貝武平 土木課長
芳賀近太郎 技師
鹿子木小五郎 同
伊藤金彌 同
楠正秋 同
石井良松 經結課長
佐々木仙太郎 技師
小檜山鈴吉 同
蟻川猛德 陸軍幕僚參謀長
鳥井靜治 少將 參謀
千葉萬壽 步少佐
三村三平 同 步大尉
愛發時三郎 同 步大尉
保木利吉 副官 步少佐
關宗喜 同 步大尉
近藤久次郎 同 步大尉

新渡戸稻造 同 步中尉
横山壯次郎 副官部附一等副監督
藤根吉春 幕僚附步大尉
川田武彦 同 工中尉
柳本通義 通譯官
田代安定 陸軍經理部長
齋藤精一 部員
山田申吾 同
青柳定治 同
長尾半平 同
高橋辰次郎 同
濱野彌四郎 同
清水一德 同
山路魁太郎 同
田島稔造 同
野村一郎 同
片岡淺治郎 同
谷山文衛 技師
高橋義章 陸軍々醫部長
石藤市勝 部員
大野豐四 同
神田正富 陸軍獸醫部長
小野政治 部員
志田彪 陸軍法官部長

宮崎貞彦
松村文太郎
前田前
長橋助藏
關口長之
大野賢一郎
黒住弘毅
伊藤彰平
松川泰治郎
近藤勇
寺原直介
宗本辰五郎
岡崎內藏松
小村剛
古瀬增雄
井上德治郎
古庄興之一
福田東吾
松本三郎
峰直次郎
伊藤林作
神戸民之助
濱口鶴松
河村藤綱

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

部員 細谷五郎 判官
同 佐原寅三郎 同
海軍幕僚參謀長 大佐 成川揆 同
參謀 少佐 石川壽次郎 同
通譯官 岡田晉太郎 同
臨時臺灣舊慣調査會第一部長 岡松參太郎 同
委員 石井爲吉 通譯
覆審法院長 鈴木宗言 書記
判官部長 寺島小五郎 同
判官 櫻庭棠陰 同
同 安井勝次 同
同 渡邊啓太 同
同 高田富藏 通譯
同 藤井乾助 新竹出張所判官
同 土屋達太郎 同
通譯 鉅鹿赫太郎 書記
書記 田中勝三郎 通譯
同 伊藤正介 宜蘭出張所判官
同 荒谷喜代治 書記
通譯 横田次郎 同
覆審法院檢察官長 尾立維孝 臺北地方法院檢察官長
檢察官 西内金吾 檢察官
同 朽木義春 通譯
通譯 施錫文 新竹出張所檢察官
臺北地方法院長 牧山榮樹 書記

前川房二郎 宜蘭出張所檢察官
早川彌三郎 書記
村上武八郎 臺中地方法院長
柳原有助 判官
松岡十次郎 同
小野隆太郎 同
藤野貞順 通譯
大友傳三郎 臺中地方法院檢察官長
渡邊初二 檢察官
久保材三郎 臺南地方法院長
田中邦太郎 判官
角田泰館 同
增田多助 同
川合眞永 同
安田勝次郎 書記
伊藤政重 同
西川熊治 同
三浦權三郎 同
木村篤 同
帷子力 通譯
木村膺彦 同
松井四郎 嘉義出張所判官
小野得一郎 同
今田祝藏 書記
橋本折 鳳山出張所判官
庄野橘太郎 同

中井金松 書記
青柳俊夫 同 通譯
大津釚次郎 臺南地方法院檢察官長
原誠一 檢察官
高田鈫一郎 嘉義出張所檢察官
伊東愛敬 鳳山出張所檢察官
岡本忠平 臨時臺灣土地調査局長
渡邊助治郎 監督官 同
豐田俊助 庶務課長
宇野美苗 屬
望月恒造 會計課長 屬
原玄朴 同
白倉吉朗 調査課長
新井孝三郎 事務官
本田健吉 同
新田繁永 同
大山俊彦 監督官
岸隆躍 同
島田正穗 同
澤谷仙太郎 同
道鐘麟 同
矢野猪之八 同
大内信 同
關口篠三郎 同 屬
川上和一 同
增山泰次郎 同

羽中田一太郎 同
林茂實 同
池田忠吉 同
長谷川憲一 同
松井榮英 同
津田數一 同
森節太郎 同
中村是公 同
中田三郎 同
野呂寧 同
野村惜次 測量課長
高井清隆 技師
高雄晉 同
楠田金之丞 同
宇都宗一 監督官
佐藤謙太郎 同
木村大介 同
赤堀廉藏 同
久芳直介 技手
平井勢次郎 同
高橋龍之助 同
青木正元 同
横山虎次 同
高島貞彪 圖根課技師
中村雄藏 監督官
牧鼎 所屬未定事務官
中村次郎吉 鐵道部技師長
金子恒彌 運輸課技師
澁谷辰四郎 工務課事務官
廣瀬千代吉 技師

白石喜代治
河合千代喜
鎌田貞司
江崎龍雄
平井繁一
松尾甚一
福本正脩
菅沼正綱
秋山滿之助
野村方毅
本山理太郎
菅沼寬藏
德見常雄
志和池榮介
朝倉政次郎
志和池善介
松尾萬喜
内海金三郎
原田幾次
宮尾泰利
鐸木直之助
八田知義
山川學而
西島健藏
小野干城
梅田清次
小澤寬治
池田文友
東郷秀太郎
島村孝三郎
長谷川謙介
小池愼藏
赤松壽春
新元鹿之助

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同
同
同
同
同
書記
汽車課技師
經理課長
事務官
打狗出張所長
事務官
技師
同
專賣局々長官房主事
經理課長
書記
同
檢定課長
技手
製藥課長
腦務課長
技師
同
鹽務課長
書記
監査課事務官
翻譯官
同
臺中支局長
神戶支局長
分課未定事務官
技師
臨時基隆築港局庶務課長

渡部英太郎 工務課技師
稻垣兵太郎 同
菅野忠五郎 同
津田素彥 同
張介紀 臨時臺灣糖務局庶務課長
小寺一郎 糖務課技師
中根鉎七 臺南支局長
遠藤剛太郎 技師
服部仁藏 淡水稅關事務官
佐藤謙之輔
渡邊薰 鑑定官
阿部惠三郎 監視官
熊城鐘三郎 監視部監視
鈴木伊十 同 監吏
曾澤有 檢査課屬
神谷由道 [illegible]稅關支署屬
服部武重 鹿港稅關支署長
永井一雄 監吏
惠澤貞次郎 安平稅關監視官
鈴木益定 鑑定官
佐藤法潤 稅關長官房屬
後藤伊左之助 監視
小川眞一 監吏
兒玉史郎 同
竹內毗七 監査課屬
富永久之 同
石本鐵太郎 鑑定課長
青木喬 鑑定官補
河上左右 庶務課屬
松田茂太郎 同
古谷傳 北港稅關支署
大中太一郎 監吏 打狗稅關支署監吏
今井周三郎 東港稅關支署監視 定官補 [illegible]稅關支署監吏 [illegible]長

十川嘉太郎 國語學校長
川上浩二郎 教授
山形要助 同
青山重遠 同
淺田知定 同
小花和太郎 同
堀宗一 同
東條秀介 同
岩政憲三 同
本多銅次郎 助教授
布施謙太郎 同
龍岡資二 第一附屬學校教諭
平野九一 同
寺師直熊 第二附屬學校主事
五代陶四郎 教諭
濱田耕吉 臺北醫院長
竹內誨惠馬 醫長
吉田貢一 同
山口利文 同
三井榮次郎 醫員
佐藤得太郎 同
加藤眞二 藥局長
長谷川官 書記
法元仲二 宜蘭醫院長事務
板本忠章 取扱
田中茂二 書記
角倭太郎 臺南醫院長事務
糸井金次郎 取扱
山田[illegible]三郎 書記
岡本他之助 鳳山醫院長事務取扱
平田鐵一 醫員
本庄市太郎 臺中醫院長事務
筒井三野吉 取扱
南鄉徹吉 醫長
大友爲治 澎湖醫院長事務取扱

田中敬一 鳳山醫院長同
石田新太郎 宜蘭 同
鈴江團吉 臺東 同
中村忠誠 澎湖 同
永澤定一 醫學校助教授
渡部春藏 同
志保田鉎吉 臺北郵便電信局長
黄葉秋造 郵便課長
竹內左馬次郎 通信書記補
高橋二三四 電信課通信書記
內村藤太郎 同
鈴木金次郎 會計課通信書記
岡本要八郎 同
本田茂吉 工務課長
渡邊壽造 通信技手
高木友枝 庶務掛長心得
長野純藏 大稻埕郵便電信局長
松尾知明 [illegible]
岸一太 [illegible]
山田義雄 [illegible]
蒲池佐惣太 [illegible]
金子俊民 [illegible]
酒井愛次郎 [illegible]
河田守孝 同
中村豐一 同
高柳元六郎 同
新田光次郎 郵便課通信書記
富士田靜平 通信書記
青木大助 築課長
築山拡一 郵便電信
里見四郎 庶務同
加藤信平 打狗同 覆審法院檢察官及司獄官

鵜飼岩汀 同
米田昌英 舍監
橋本源太郎 基隆海港檢疫所長
澤田惣五郎 海港檢疫醫官
堀內次雄 臺南師範學校長
木下嘉七郎 教授
曾禰吉張 同
鈴木金之介 臺北監獄長
大島熊吉 第一課長
小野塚辰太郎 第二課監吏
分島藤彥 宜蘭支監分課未
鏑織光彥 定監吏
荒井信太郎 臺中監獄長
石津彥之進 第一課長
杉山鉎太郎 臺南監獄長
山本弐 第三課監吏
柔竹博 [illegible]支監々吏
早瀨己熊 鳳山支監長
當島茂樹 臺灣神社宮司
福原庸次 臺北廳長
中澤潤二 [illegible]務課長
久邇松太郎 [illegible]
岩崎房吉 [illegible]
脇田榮三郎 [illegible]
新名松吉 枋橋公學校長
森友太郎 基隆廳長
力尾三郎 宜蘭廳長
速見綱志 醫務課長
川本國藏 深坑廳長
岩切勇吉 [illegible]
小寺鉎次郎 坪林尾支廳長
向井田晋五郎 桃園廳長
堀和六 稅務課屬
鈴木重 新竹廳長
森孝三 苗栗廳長

木下龍
澤井瀨平
山田寅之助
芳澤應之助
澤村勝支
張間多聞
杉本正直
小松吉久
本多理三郎
東豐吉
松本助太郎
高尾常三郎
岡彌三郎
金子源治
片山勘太郎
稻田曇記
若林隆之助
山口透
菊池末太郎
木村松之助
金子忠敬
山科宜次
上條國太郎
高橋喜能
山名金明
佐藤友熊
本田正己
丹野英清
山內小藤二
竹內卷太郎
宮本一學
松元鐵次郎
里見義正
家永泰吉郎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

警務課長　市來半次郎
大嵙崁支廳長　宇野英種
臺中廳長　岡本武輝
總務課屬　志村屋貞白
警務課長　能勢靖一
稅務課屬　兒玉三次郎
彰化廳長　須田綱鑑
二林支廳長　隈元多市郎
南投廳長　小柳重道
斗六廳長　荒賀直順
總務課長　武藤針五郎
嘉義廳長　岡田信興
嘉義尋常高等小學校長　橋本路伸
嘉義公學校長　笠井源作
鹽水港廳長　村上先
臺南廳長　山形脩人
總務課屬　青木惠稔
同　猪狩三四郎
同　森　清吉
臺南尋常高等小學校長　江口　保
安平公學校長　板根十二郎
蕃薯藔廳長　石橋　亨
鳳山廳長　川田久喜
總務課屬　上田榮助
阿緱廳長　佐々木基
恆春廳長　森尾茂助
警務課長　荒卷鐵之助
警部　清水源次郎
同　松村儀十郎
臺東廳長　相良長綱
總務課屬　宮本信義
澎湖廳長　小林三郎
基隆要塞司令官　少將　野間　駉
參謀　少佐　石光眞臣
副官　工大尉　大島義豐

部員　工少佐　松山八郎
同　砲大尉　橋本清次郎
同　同　小倉行之
澎湖島要塞司令官少將　中田時懋
參謀　工大尉　谷田繁太郎
副官　砲中尉　大平善市
部員　工少佐　石川義仙
同　砲大尉　長谷川範
同　同　小林道夫
守備混成第一旅團長少將　竹內正兼
參謀　步少佐　志波今朝一
同　步大尉　西原爲五郎
副官　同　山田虎夫
同　步中尉　染河孝助
步兵第一大隊長步中佐　東鄉八郎左衛門
副官　步中尉　竹內鐵二郎
中隊長　步大尉　吉野有武
同　同　大沼府雄
同　同　松澤喜孝
同　同　井桁喜平
步兵第二大隊長步中佐　相原　透
副官　步中尉　鈴木義夫
中隊長　步大尉　三村親信
同　同　赤澤光雄
同　同　馬目辨治
同　同　大立目小一郎
步兵第三大隊長步中佐　吉岡竹次郎
副官　步中尉　松本友吉
中隊長　步大尉　長屋竹絲
同　同　武部繇松
同　同　川口金之助

同　同　塙　余吉
步兵第八大隊長步中佐　生井順造
副官　步中尉　田山富鎭
中隊長　步大尉　野治鐵太郎
同　同　馬渡秀雄
同　同　夏賀岩則
同　同　高坂知行
騎兵第一中隊長　騎大尉　阿部好韓
砲兵第一大隊長　砲少佐　山本磯城
副官　砲中尉　中島秀雄
中隊長　砲大尉　高山重次郎
同　同　松久清次郎
同　同　川村秀吉
工兵第一中隊長　工大尉　久保田義平
第二旅團長少將　平佐良藏
參謀　步少佐　佐藤僉毅
同　步大尉　酒井貞孝
副官　同　野島貫一
同　步中尉　有岡李太郎
步兵第四大隊長步少佐　水島辰男
副官　步中尉　奥村直也
中隊長　步大尉　加川市郎
同　同　惠利虎象
同　同　橋本四郎
同　同　岡崎平次郎
步兵第九大隊長步中佐　西山　敏
副官　步中尉　原田　覺
中隊長　步大尉　青木八郎
同　同　山口鎌吉
同　同　松本守雄

同　同　周防　精
步兵第十大隊長步中佐　島野　翠
副官　步中尉　小林直生
中隊長　步大尉　久保盛之助
同　同　野元彥二
同　同　稻川三五郎
同　同　別府方太郎
騎兵第二中隊長　騎大尉　田內憲次
砲兵第二大隊長　砲少佐　小野寺賢四郎
副官　砲中尉　西崎芳三郎
中隊長　砲大尉　森　勝太郎
同　同　佐伯幸之進
工兵第二中隊長　工大尉　則武勝之進
第三旅團長少將　山田保永
參謀　步少佐　石黑千久之助
同　步大尉　神頭勝彌
副官　同　山田兵三郎
同　步中尉　高橋虎次
步兵第五大隊長步中佐　谷岡　鑑
副官　步中尉　入交政宏
中隊長　步大尉　日根野周造
同　同　島居利剛
同　同　竹內升藏
同　同　岡本民三
步兵第六大隊長步中佐　關谷銘次郎
中隊長　步大尉　齋藤徹男
同　同　小出六郎
同　同　中村　驍
同　同　川畑宗次郎
步兵第十一大隊長步中佐　安東貞一郎

副官　步中尉　長岡長之助
中隊長　步大尉　高津幾太郎
同　同　望月銀吉
同　山內正生
同　同　前田市之介
步兵第十二大隊長步中佐　前田吉唯
副官　步中尉　大島正次郎
中隊長　步大尉　岡崎武麿
同　同　伊　變三郎
同　同　井原榮次郎
同　同　吉田勝三郎
騎兵第三中隊長　騎大尉　笠岡坦次郎
砲兵第三大隊長　砲少佐　庄司鏆四郎
副官　砲中尉　吉田庄三郎
中隊長　砲大尉　杉　與吉
同　同　角永　寶
工兵第三中隊長　工大尉　後藤馬次郎
基隆要塞砲兵大隊長砲少佐　阪本親義
副官　砲中尉　山田頭勉
中隊長　砲大尉　山下鏘太郎
同　同　野中三郎
澎湖島要塞砲兵大隊長砲少佐　飯田正一
副官　砲中尉　藤沼章六
中隊長　砲大尉　藏瀨誠次郎
同　同　久間盛一
同　同　栫崎忠也
臺北衛戍病院長　村井肇之助
臺中　同　岡田國太郎
臺南　同　中目成一
臺北衛戍監獄長　成相武治

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方事情

本島各廳の事狀

宜蘭廳

◉廳長交迭　明治四十二年十月蒞任以來茲に滿十年三箇月の久しき眞に十年一日の如く各種方面に亘り獻身的努力を以て廳下發展の爲に貢獻し、多大の功蹟を收められたる宜蘭廳長小松吉久氏は二月六日付を以て依願本官を免ぜられ、同時に臺南廳警視荒卷鐵之助氏新に宜蘭廳長に任ぜられ、二月二十三日着任の豫定なり。

因に小松吉久氏は今回日本拓殖株式會社に入社せられ、二月二十日頃當地出發の豫定にして、廳下の官民有志は多年の交誼に鑑み且つ惜別の意を表する爲、二月十八日宜蘭公園內に於て盛大なる送別會を開催する計畫なり。

◉學事會議　大正九年一月二十九日より同三十一日に至る三日間宜蘭廳公共埤圳聯合會々室に於て學事會議を開催せり。出席者は廳下各小公學校長及各分教場分校主任三十四名にして、庶務課長會長席に著き開會を宣す、次いで小松廳長より訓示ありて議事に移る。總督府よりは特に田中視學官臨席せられ各會議員は日々熱心に討議し頗る緊張せる會議なりき三十一日議事修了後田中視學官より咨問事項其他に就き懇篤なる講評指導を與へられ、最後に廳長より剴切なる訓示ありて同日午後五時半閉會せり。會議事項左の如し

協議事項

(一)公學校に於ける漢文科廢止の機運未だ到達せざるか(二)教員補充に關する件(三)農業實習の具體案を調製し各校實施上の標準としては如何(四)廳下教育會開催の件(五)小公學校連合實地業研究會開催の件(六)頭圍郊外殉難者建碑の件(七)廳下小公學校聯合運動會開催の件(八)夏期研究會開催の件(九)兒童轉退學の場合には各校に於て在學證明書を與ふるか又は一應照會し與ふるか(十)公學校農業帖を持たせては如何

諮問事項

(一)訓練實施方案に對する實施狀況如何(二)內地人本島人子弟の一部共學に關する件(三)部下指導に關する件(四)兒童出席獎勵上の最良方法如何(五)各學校に於ける卒業生との連絡方法及指導の實況如何(六)本島人幼稚園設立に關する意見如何(七)學校並家庭の連絡に關する件(八)公學校兒童に國語話方能力增進上普通教授以外に實施しつゝある方法如何

注意事項

(一)修養及研究狀態に關する件(二)小學校科目及教授時數改正に關する件(三)運動場の整理に關する件(五)學校兒童の鐵道線路往復に關する觀念を養成する件(六)兒童の醫事に關する件(七)統計報告に關する件

◉公學校教育研究會總會　二月一日廳下公學校教育研究會定期會を開く、百有餘名の公學校職員宜蘭公學校に參集し午前

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

九時より青宿敎諭の第五學年體操科實際の敎授を參觀し、終つて之れが批評會に移り。更に別項記載の協議事項研究事項の協定及發表あり。引續き田中視學官の敎授の實際に關する講演、野間總視學の各校視察後の感想談及廳長の訓示ありて最後に主事の改選を行ひ、午後五時半閉會を告げたり。

協議事項

(一)互助會設立の件(二)書籍共同購入の可否(三)明年研究會開催の件

研究事項の發表

(一)感情敎育と唱歌(高木礁溪公學校敎諭)、(二)教壇にて喚起したる心理學(今村大礀分校敎諭)

●區長會議　大正九年一月二日廳樓上會議室に於て定期區長會議を開催す、出席者宜蘭區長林澤蔡外十八名、參事駐督勵外一名、重藤庶務課長會長席に就き午前第十時開會す、會長の挨拶に次て廳長の訓示あり、左記諮問及注意事項を議了し午後第五時閉會せり。

諮問事項

(一)區長役場新築に關し意見如何(二)習俗改良に關し盡力の實況如何(三)森林令發布後に於ける一般民情如何(四)臺南製糖株式會社宜蘭製糖所大正九年期蔗作獎勵規程並に甘蔗買收價格に關し農民の意嚮如何(五)畑乾燥場普及に關する意見如何

注意事項

(一)備品保管方に關する件(二)法令周知簿整理方に關する件(三)出勤時間勵行に關する件(四)地租徵收に關する件(五)地租送付に關する件(六)流行性感冒豫防心得に關する件(七)共學に關する件

●沿岸貿易　逐年增額の趨勢にありし廳下沿岸貿易は交通機關の完備と產業の勃興とに伴ひ激增を來すに至れり今大正八年中に於ける各港月別移出入額を示せば左の如し。

▲宜蘭廳各港月別移出入品價額　大正八年

區分	移入				移出			
	頭圍	東港	蘇澳	計	頭圍	東港	蘇澳	計
一月	六四、〇三二	一六〇、八六七	一四九、四三三	三七四、三三二	五九、九五二	九九、〇二四	七四、六二三	二三三、五九九
二月	二九、六三一	一四一、九三八	二二五、四〇九	三九六、九七八	三六、二〇九	一五〇、七〇一	八二、三九五	二六九、三〇五
三月	八四、九九三	二〇七、八〇九	一七三、八五七	五六六、六五九	三一、五六一	一五七、八八六	一〇〇、二一七	二八九、六六四
四月	五九、五二〇	一五六、四二七	一八五、七三七	四〇一、六八四	五、〇八三	九八、七二五	二二九、五九〇	三三三、三九八
五月	二九、五〇七	一八八、〇八六	二四一、八四三	四五九、四三六	六、九四二	九七、八〇四	三〇三、〇〇四	四〇七、七五〇
六月	四〇、五四一	一四七、七五八	一〇四、一六一	二九二、四六〇	六三、四一〇	一六二、九二二	八二、一〇八	三〇八、四四〇
七月	三一、八五二	一四七、二一〇	二二六、七三五	四〇五、七九七	二五三、二二五	四〇六、九〇二	三〇三、四四七	九六三、五七四
八月	四七、四八五	七九、四九一	二五〇、四九五	三七七、四七一	四一、六八一	一一一、三七八	六三、九五二	二一七、〇一一
九月	一七、七九二	一〇八、七六一	一四五、六〇三	二七二、一五六	五九、〇七三	一四〇、七一九	一一八、四九〇	三一八、二八二
十月	一八、五五七	七六、〇六八	二〇九、三七二	三〇三、九九七	二六、〇三五	一〇五、七七〇	五八、五八七	一九〇、三九二
十一月	四六、一六一	一四一、二四五	一五九、六〇二	三四七、〇〇八	三七、五五八	一二三、一六五	五五、〇五八	二一五、七八一
十二月	五一、一三二	一六一、一二七	二〇〇、五六九	四一二、八二八	一三、五五一	六一、二四五	六八、三九三	一四三、一八九
計	五二一、二〇三	一、七一六、七八七	二、四七二、八一五	四、七一〇、八〇五	六三四、二八一	一、七一六、二四一	一、五三九、八六三	三、八九〇、三八五

●產業組合　廳下產業の狀態特に下級金融の狀況に鑑み產業組合普及發達の必要を認め指導獎勵の結果急激增加の趨勢を示し、現在信用組合五、信用購買販賣組合一計六にして尙目下設立手續中のもの七箇所あり。近く廳下全般に亘り設立せしむべく獎勵中なり。尙廳の施設として、本年四月を期し產業組合講習會を開催し、內容の充實を圖り、以て組合の堅實なる發達を遂げしめ、組合法の趣意精神を充分發揮せしめんとす。

本年一月通常總會に於ける各組合の決算概況及現況を示せば左の如し。

▲大正八年期決算況

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

區分	貯金受入總額	貸金總額	剩餘金處分 剩餘金額	配當金	積立金
有限責任宜蘭信用組合	八三〇、三〇四	一、五五八、一八〇	一五、七五五、一〇〇	八、九四八、九四〇 (年九分)	四、八〇八、一六〇
同　羅東信用組合	二二八、二五六	三六〇、四一二	三、九八三、〇二〇	—	三、九八三、〇二〇
同　民壯圍信用組合	一六〇	五二、九〇六	五八五、四五五	—	五八五、四五五
同　頭圍信用組合	六五九、六〇六	三五五、六六五	二、七六七、五六〇	一、〇九八、七二〇 (年八分)	一、六七〇、八四〇
同　港澳信用購買販賣組合	二、一七六	五五、六五五	—	—	—
計	一、七二〇、五〇二	二、三六〇、八一八	二二、〇九一、一三五	一〇、〇四七、六六〇	一一、〇四三、四七五

宜蘭廳管内信用組合表

大正九年一月末現在

區分 組合名	組合員數	出資口數	貸方 未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預金	現金	損失	合計
有限責任宜蘭信用組合	三一八	四、七二〇	一一五、二八〇、〇〇〇	二三八、三七〇、〇〇〇	三〇七、六四〇	—	八七、七二〇	一、一五六、〇八〇	—	三四三、四〇一、四四〇
同　羅東信用組合	二七八	一、〇六六	二七九、〇〇〇	六五、〇四五、〇〇〇	一〇七、三八〇	—	三二、二七一、一七〇	一、七一八、六四〇	—	七〇、四二一、一九〇
同　民壯圍信用組合	三三七	八八五	—	一四、八三五、〇〇〇	三一、七九〇	—	八四、六九〇	二八、七二六	—	一四、九七八、二〇六
同　頭圍信用組合	三二〇	二、二九一	三〇、九七五、二八〇	八六、六〇〇、〇〇〇	三二五、三二〇	—	三二九、七八〇	一、三六〇、三六〇	—	一一九、五九〇、七四〇
同港澳信用購買販賣組合	二六七	二、六〇六	四一、六九六、〇〇〇	八、五五六、〇〇〇	三、九八二、〇〇〇	—	一八三、九五〇	八二一、四四〇	九〇六、二三〇	五六、一五五、六二〇
同　四圍信用組合	二四〇	一、三〇四	六五、二〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	六五、二〇〇、〇〇〇
合計	一、七六〇	一二、八七〇	二五一、四五〇、二八〇	四〇三、四〇四、〇〇〇	四、九五四、一三〇	—	三、九五七、三一〇	五、〇九五、二四六	九〇六、二三〇	六六九、七四七、一九六

區分 組合名	借方 出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	剩餘金	未拂賞與金	合計
有限責任宜蘭信用組合	二三六、〇〇〇、〇〇〇	七三、八二六、一四〇	一〇、七五〇、〇〇〇	二六六、一六〇	八、九四八、九四〇	一二、五〇〇、〇〇〇	一、一一〇、二〇〇	—	三四三、四〇一、四四〇
同　羅東信用組合	三一、九八〇、〇〇〇	一六、一八〇、二六〇	一、八四六、九二〇	四、六五八、一四〇	—	一五、〇〇〇、〇〇〇	三七七、八七〇	三七八、〇〇〇	七〇、四二一、一九〇
同　民壯圍信用組合	八、八三〇、〇〇〇	一一〇、八〇〇	四〇三、一〇八	六三〇、七七三	—	五、〇〇〇、〇〇〇	三、五一五	—	一四、九七八、二〇六
同　頭圍信用組合	四五、八二〇、〇〇〇	六二、二二八、六八〇	七四四、九五〇	四二〇、八四〇	—	一〇、〇〇〇、〇〇〇	三八六、二七〇	—	一一九、五九〇、七四〇
同港澳信用購買販賣組合	五二、一二〇、〇〇〇	三〇、二二〇	五、四〇〇	—	—	四、〇〇〇、〇〇〇	—	—	五六、一五五、六二〇
同　四圍信用組合	六五、二〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	六五、二〇〇、〇〇〇
合計	四三九、九五〇、〇〇〇	一五二、三六六、一〇〇	一三、七五〇、三七八	五、九七五、九一三	八、九四八、九四〇	四六、五〇〇、〇〇〇	一、八七七、八六五	三七八、〇〇〇	六六九、七四七、一九六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●煙草賣捌狀況　煙草の需要は逐年增加を來し大正八年中の賣捌總額四十一萬一千二百餘圓に達し、前年に比し十萬六千六百餘圓の增加を算するに至れり。殊に近來紙卷煙草の需要激增し屢々品切を來す。之れ主として本島人嗜好の一般に向上したるに因るものにして、敷島は總賣捌高の三割强を占め、其の金額十三萬餘圓を示し、三等蜂蝶煙の十三萬餘圓ジャスミンの五萬四千餘圓、二等條絲煙の三萬四千餘圓等之れに次ぐ。

●鹽の需給狀況　食鹽の需要は漁業の進展に伴ひ逐年增加を來しつゝあるも、其の供給順調にして大正八年中の販賣高を示せば左の如し。（二月報）

宜蘭廳下食鹽販賣高

區分	斤量	金額
再製鹽	三二、三一三斤	九一七、五九六
上等鹽	七四〇、〇五五	一六、七〇五、四七三
下等鹽	二、〇六八、〇五一	四一、七〇八、六一七
計	二、八四〇、四一九	五九、三三一、六八六

桃園廳

●金融景況　（一）金融の繁閑竝其の原因結果　（イ）一般の商況　市場に於ける丸糯相場は前月下旬より急速度を以て昂騰し一石五十圓八十錢を唱へたるが、粳米の依然保合相場にて動もすれば下走らんとする氣配見へたる矢先、最早絶頂に達したるの觀ありし糯米のことゝて漸次低落の狀態と爲り、又移出制限の噂と共に忽ち取引閑散の姿を呈し下旬に於ては四十三圓十三錢の下値を見るに至れり。本月中廳下各驛糯移出總高六萬三千袋なり。

一般市況は農家購買力の增進竝改脩賞行の增加に伴ひ商業繁盛にして歲末の金融は案外緩漫の狀を示し、經濟界資力の充實を證すべく本島人間冬至季の取引決濟も滯りなく行はれたり。銀行及信用組合の狀況左の如し。

貸出金

區別	本月末殘高	前月末殘高	前年本月末殘高
臺灣銀行桃園出張所	圓 六、二〇[illegible]、[illegible]八一	圓 六、二五五、三〇二	圓 一、〇五五、一三三
彰化銀行桃園支店	一、三四二、四八六	一、四一五、一〇二	七八九、〇一五
新高銀行桃園支店	三五二、四八八	四八七、八一一	二五四、三九〇
桃園信用組合	二三九、九八五	一九九、二九三	一六六、四〇五
計	八、一二八、四四〇	八、三五七、五〇八	二、二六四、九六三

預金（貯金）

區別	本月末殘高	前月末殘高	前年本月末殘高
臺灣銀行桃園出張所	圓 一、四三四、六八九	圓 一、九八三、三七六	圓 二一四、八六二
彰化銀行桃園支店	四九七、六〇五	四四三、六六八	三二七、七九七
新高銀行桃園支店	一三三、二一〇	九一、四九一	一七〇、九三五
桃園信用組合	七一、一一四	三八、四六〇	五八、一三八
計	二、一三五、六一八	二、五五六、九九五	七七一、七五二

（ロ）產業の概況　廳下に於ける舊式糖廍中今期製糖を爲すは十三箇所にして、二箇所は本月下旬より作業を開始したるが天候順適の爲め步留良好を示せり。

（ハ）其の他金融の繁閑を誘致したる諸事項　廳農會肥料共同購買代金の回收に依り金融の繁忙を誘致せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(二)重要產物の價格竝其の變動の因果關係

品名	單位	本月ノ平均價格	前月ノ平均價格	前年本月ノ平均價格
		円	円	円
粳米	一石	三〇・九八三	三一・九〇〇	二五・五七〇
糯米	一石	四七・二三〇	四五・〇四〇	三二・二三〇
粗製烏龍茶	一〇〇斤	—	三三・〇〇〇	—
甘藷	一〇〇	二・〇〇〇	二・一〇〇	一・七〇〇
仔豚	一頭(三五)	一六・〇〇〇	一五・〇〇〇	一二・五〇〇
肉用豚	一頭(一三〇斤)	五二・〇〇〇	五二・〇〇〇	三九・〇〇〇
石炭	一〇,〇〇〇	五一・〇〇〇	五一・〇〇〇 切込炭	四五・〇〇〇

◉大正八年度茶期小作料高低概況　(一)大正七年期に於ける茶價は未曾有の高騰を來し、山方茶販人競買の狀態にありしを以て一層茶價昂騰の狀勢を示し、生產家は一般に賣腰强かりし爲め倍々緊張し非常なる好況を呈したるを以て前年冬至に於ける小作料は著しき騰貴を見るに至りしが、近時諸物價及勞銀騰貴の結果生產費の昂騰と本年春季來茶況の不振は茶園小作契約を爲すもの減少の傾向を示し、本年期々頭期末に於ける小作契約は敢て變動を見ざりしと雖も小作料は依然騰貴の趨勢を示せり。即ち左の如し、

期別	最高	最低	普通
期頭	八五	四二	六〇
期末	九〇	四五	六〇

(二)茶園の興廢及手入狀況　本年季に於ける茶況の不振は茶園の荒廢又は手入作業に多少の影響を及ぼしたるは事實なるも、大體に於て耕耘培養平時と異なることなく、殊に茶業奬勵の爲め茶苗の配付に係り新植茶園の開設缺樞茶樹の補植或は茶園更新等著しく面目を改むるに至れり。

(三)製茶狀況機械使用の趨勢勞銀及材料昂落概況　(イ)製茶狀況　一般の製茶況は例年と異なることなし。番莊は從來廳下海山堡彭福庄に五軒、海山堡三角湧に一軒、計六軒なりしが本年度茶期頭に於て彭福庄に一軒の番莊と輔家一軒の增設を見るに至り、本年春茶より再製に着手するに至れり。右は諸物價及勞銀騰貴の結果大稻埕に比し經濟上得策なるのみならず、材料蒐集上の便利なる關係に係るものにして將來益々增加するの趨勢を呈せり。

(ロ)機械使用の趨勢　製茶機械に依る製茶法は手製に比し生產費の節減と品位の優良なるものを生產するを以て當廳農會は年來極力指導勵の結果大いに當業者の自覺と自發とを促進し、家內的工業組織を變更して工場組織的の機械を使用するの傾向を示すに至りしを以て、本年度に於ては是等の茶農家糾合し、本年七月二日資本金五十萬圓の桃園茶業改良公司を創立し成福、銅鑼圈、龍潭陂、後寮庄、過嶺庄、大埔庄の六箇所に新式製茶工場を設置し、新式製茶機械は督府より六組の貸附を請け、之に依り大正九年春茶より製造を爲すの計畫を樹て目下事業進行中に屬す。今輕便手廻機械の普及狀況を表示すれば左の如し。

年次	萎凋機	釜炒機	採捻機	玉解機
明治四十四年	—	—	五二	—
大正元年	三〇	六	一〇〇	—
同二年	五五	一一	一六二	七
同三年	二〇〇	五〇	二五〇	一五
同四年	二八五	一四一	五七三	六四

同　五年	四四〇	三〇六	六五七	七八
同　六年	五〇〇	三五六	七五〇	七八
同　七年	五〇〇	三六五	七九三	七九
同　八年	五〇〇	三六五	八八九	七九

(八)勞銀及材料昂落概況　勞銀及材料の騰貴は殆んど低止する所を知らざる狀態にして、試みに茶農家日常の需要品に付前年と比較對照すれば左の如し。

種別	員數	前年	本年
米	一石	円 一五、四八	円 二八、四〇
木炭	百斤	一、七〇	三、二〇
薪	同	七〇	九〇
石油	一斗	三、二〇	六、五〇
甘藷	百斤	二、五〇	三、〇〇
豚肉	同	二八、〇〇	五〇、〇〇
鷄	同	四〇、〇〇	一〇〇、〇〇
家鴨	同	三三、〇〇	六〇、〇〇
日傭	一日	六五	七五
茶摘賃	生葉百斤	一、五〇	一、八〇
食鹽	百斤	二、〇〇	二、二五
石炭	同	七〇	一、〇〇
茶工賃	一日	七〇	九〇
耕牛及人夫	同	一、四〇	一、七〇

(四)各季節別製茶品質　本年春茶萌芽期中は氣溫低下降雨頻繁、陰鬱なる天候連日に亘りしを以て製茶期を遲延し、茶芽徒長硬化したるに依り收量は例年に比し約二割の減收を示せり。近年山方茶農家は製法の良否に依り、市價の高低に甚だ大なる關係あることを痛切に經驗せるを以て概して製法に多大の注意を拂ふに至りしと雖も、氣候不順の結果製品は自然粗大に失し、加之方今諸物價及勞銀騰貴の結果生產費の節減を見込み、曝日茶製法の弊害を釀生じ製品の統一を缺き且つ香味を失し、締りなき劣等品を產出するもの往々ありしと雖も、當廳に於ては之れが取締の忽諸に附す可からざる重要問題なるを以て臨時保甲會議を開き、嚴禁方に付說示し、直ちに保正甲長より一般に周知すると同時に警察官は巡廻を利用し、茶業者に付右粗惡茶禁止の勵行に努めたるを以て一時其弊害を釀生じつゝありしものも爾來大に覺醒し、品質の昂上に努め、殊に春季茶終末より夏茶季に入り天候順調に經過じたるを以て品質は著しく面目を更めたり。

(五)產地並に地方市場に於ける各季別取引狀況　本年春季來蘭領東印度に於ける包種茶及濠洲に於ける烏龍茶の輸入禁止令に米國市場に於ける持越茶の影響に依り山方徘徊の茶販人等は種々の蜚語を流布し、何れも買占を中止して相場下落を助成し、製茶業者は收支不償を以て賣付に手控を加へ、山方茶況は頗る不振裡に經過したりしが、五月十二日濠洲輸入禁止解除の結果包種茶市況活況を呈したるを以て烏龍茶も活躍の曙光を認め、六月二十二日頃より春茶二十三四圓を唱ふるに至り、茶販人の徘徊稍々賑盛を來したりと雖も生產數量の約七八割は生產者の持越に屬したりしが、七月初旬頃より一層活況を呈し春茶の取引も漸次賑盛を來し、春茶二十五六圓夏茶三十七八圓に上り漸く愁眉を開くに至りしが、秋茶以降は更に二十三四圓に低落し、山方茶況は多少沈靜の姿に在りと雖も無事本年期の取引を終了せり。要するに方今茶價は多少昂騰の傾向を示したりと雖も他の諸物價騰貴率に比すれば霄壤の差違あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●流行性感冒流行狀況　桃園廳下に於ては大正八年十一月中旬より氣温急に下降せし爲め多數の感冒患者を出したりしが當時臺北地方にありては流行性感冒既に流行しつゝありて同地と交通最も頻繁なる當地方は其の侵襲を免かれざるを察し、該病豫防心得書を廳下全般に配付し、自衞的注意の喚起を計り、呼吸保護器及含嗽劑の使用を奬勵し、防疫組合並に公共衞生費に依り「カメレオン」水及硼酸水を含嗽用として無料配付し、且つ十二月二十二日より希望者に對し豫防注射を無料にて施行し、一面該病の疑ひある患者は速に醫師の診察を受けしめ、患者は可成他に隔離し、看護者の外は之に接近せしめざることゝして病毒傳播の防止に注意し、且つ各保甲其他の會合に際して豫防心得方を説示し、尙ほ豫防歌の送付を受くるや速かに各學校其他に配付し大に豫防に努めたりしも十二月中旬頃より各處に散發したる該患者は漸次蔓延し其の下旬に於て流行の兆を露はし、本年一月中旬に及びて益々猖獗を極むるに至れり。而して今回に於ける流行性感冒は一昨年末に於て流行したる該病よりも一般に惡性を帶び、初め惡寒を以て熱發し四十度内外を昇降すること四五日間、頭痛劇しく咳嗽咯痰呼吸困難、胸内苦悶等の訴へあり、往々咯血々痰等の症狀を呈するものもあり。概して熱高く且つ持續期間長くして多くは全經過十日以上に及び且つ食慾缺損惡心嘔吐あり。隨て續發症を發せんか恢復甚た困難となり、幸に恢復するも病後の疲勞頭重眩暈及咳嗽は久しく去り難し。而して一昨年末罹病したる大多數の者は今回の流行に際し免疫性を有し居るものゝ如く、假令再感染を爲すも病症は一般に輕度なり。又該症に罹患せし姙婦及産婦の多くは豫後不良にして心臟衰弱並に肺炎に移り易く、幼兒の如きは容易に肺炎を併發せる爲め死亡殊に多きものあり。是等は看護及治療の手當不充分なるに因するもの甚なからざるべく、當廳最近の調査に係る患者關係の狀況は左表の如くにして、前回調査當時に比し稍々現在患者の減少を見るに至れるは至幸なり。

流行性感冒初發以來の罹患者數

調査回數	調査月日	內地人	本島人	外國人	蕃人	計	前回調査後新發生數
一	十二月二十二日	三五	一三二	—	—	一六七	—
二	一月九日	一八六	三九七	二	—	五八五	四一八
三	一月十五日	二七四	一、六五三	二	一五	一、九四四	一、三五九
四	一月二十日	三〇七	二、七二一	二	二五	三、〇五五	一、一一一
五	一月二十五日	四二五	四、〇五七	二	三七	四、五二一	一、四六六
六	一月三十一日	五三〇	七、八八九	四	七四	八、四九七	三、九七六
七	二月五日	五七八	九、七九〇	五	九〇	一〇、四六三	一、九六六
八	二月十日	七三五	一〇、八一九	五	一四六	一一、七〇五	一、二四二

流行性感冒初發以來の死亡者數

調査回數	調査月日	內地人	本島人	外國人	蕃人	計	前回調査後新死亡數
一	十二月二十二日	一	四	—	—	五	—
二	一月九日	五	五四	—	—	五九	五四
三	一月十五日	五	一〇六	—	—	一一一	五二
四	一月二十日	五	二三三	—	一	二三九	一二八
五	一月二十五日	五	三七〇	—	一	三七六	二四八
六	一月三十一日	六	六三六	二	一	六四五	二六九
七	二月五日	一一	九一〇	二	二	九二五	二八〇
八	二月十日	一五	一、一九八	二	四	一、二一九	二九四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

流行性感冒現在患者數

調査回數	調査月日	内地人	本島人	外國人	蕃人	計	前同調査數ト比較增減
一	十二月二十二日	三四	一一九	—	—	一五三	—
二	一月九日	五二	二五八	二	—	三一二	一五九
三	一月十五日	一二二	一、二七一	—	一五	一、四〇八	一、〇九六
四	一月二十日	一二〇	二、一七七	—	二七	二、三二四	九一六
五	一月二十五日	一四三	二、四五〇	—	二七	二、六二〇	二九六
六	一月三十一日	一五七	三、五六五	一	二五	三、七四八	一、一二八
七	二月五日	一三三	四、一六一	二	三九	四、三三五	五八七
八	二月十日	一一二	三、九四〇	—	九五	四、一四七	—

死亡者中豫防注射及從前罹患者

種別	豫防注射完了ノ者	豫防注射第一回ノミノ者	從前流行性感冒ニ罹リタルコトアル者
内地人	一	四	—
其他	—	六	一二
計	一	一〇	一二

種別	初發以來ノ患者	其内死亡者	現在患者
小學校	七七	—	二四
公學校	一、七八六	九	七九〇
計	一、八六三	九	八一四

感冒の爲め休校したるは中壢公學校一月二十一日より二月七日迄、石崗仔公學校一月二十六日より三十一日迄、咸菜硼公學校二月三日より七日迄、龍潭陂公學校二月三日より七日迄にして他に休校したるものなし。

流行性感冒狀況調

區分 種別	人口に對する初發以來の患者百分比例	患者に對する初發以來の死亡者百分比例
内地人	二、九	二、〇
本島人	四、四	一、〇
支那人	二、〇	四〇、〇
蕃人	二、一	二、七
計	四、五	一〇、四

桃園廳管内最近三個年死亡者數調査表（内地人、本島人、支那人）

月別／年別	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
八月	四九六	五五四	七〇五	—
九月	四七二	五六〇	五七〇	—
十月	四四六	四六九	四二七	—
十一月	三五七	六六八	四二一	—
十二月	三七八	六七一	四三二	—
一月	—	四五四	四五二	一、六三九
計	二、一四九	三、三七六	三、〇〇七	一、六三九

桃園廳管内最近三個年死亡者數調査表（蕃人）

月別／年別	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
八月	一一	一四	二〇	—
九月	一一	一一	一八	—
十月	一〇	二一	一一	—
十一月	六	一一	一二	—
十二月	七	三	一二	—
一月	—	九	三四	四
計	四五	六九	一〇七	四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

公醫及醫師取扱流行性感冒患死者調（二月二日期）

種別	初發以來の患者數			死亡者數			現在患者數		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
內地人	二七三	二一〇	四八三	三	一	四	五五	五〇	一〇五
本島人	二、二五六	一、八四〇	四、〇九六	一六四	一三二	二九六	六四一	四六三	一、一〇四
蕃人	六〇	三九	九九	—	一	一	三三	九	四二
外國人	二	—	二	二	—	二	—	—	—
計	二、五九一	二、〇八九	四、六八〇	一六九	一三四	三〇三	七二八	五二二	一、二五〇

醫生取扱流行性感冒患死者調（二月二日調）

種別	初發以來の患者數			死亡者數			現在患者數		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
內地人	一	一	二	—	—	—	—	—	—
本島人	二、六四〇	二、三九二	五、〇三二	一九六	一七三	三六九	一、〇三九	九九二	二、〇三一
蕃人	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外國人	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	二、六四一	二、三九三	五、〇三四	一九六	一七三	三六九	一、〇三九	九九二	二、〇三一

（二月報）

臺中廳

◉區長會議　一月十五日午前九時より管內區長會議を開催し諮問事項五件、注意事項十二件を議了し、同十六日終了せり。會議事項及廳長訓示要領左の如し。

▲諮問事項

（一）戰後民心民性の傾向及之に對する善後策如何（二）社會教育の普及竝發展策に關する意見如何（三）風俗改良實行に關する狀況如何（四）公業派下證明に關する意見如何（五）保甲役員が區長事務補助の實況如何

▲注意事項

（一）統計報告に關する件（二）區長報告例中報告期限訂正に關する件（三）報告用紙印刷に關する件（四）大正九年度家稅調査は大體の監督に止むる方針なるに依り區長は區書記を督勵し指定の期日迄に報告を要する件（五）購買組合設立件、（六）產業獎勵資金貸出に關する件（七）地租後期分徵收に關する件（八）納入告知書配付に關する件（九）各種公金の保管に關する件（十）各種公金の送付に關する件（十一）相續未定事務取扱方の件（十二）業主名簿取扱方件

▲廳長訓示要領

御多忙中に拘はらず今日は早朝から會議に臨み熱心に答申せらるゝは深く感謝致します。訓示事項と申しましても既に昨年御話したことで或は重複することがあるかも知れませんが、よく御聞き取りを願ひます。

第一に申上ますことは常に問題になる國語の普及と風俗改良のことであります總督閣下が赴任せられて、第一番に實施せられた大きな事と言へば共學實施の問題であります。卽ち臺灣人の小供が小學校に入學することが出來る樣になつたのであります。然し斯樣な道を開かれたにしても、素より內地語を解し得ない者や、行儀の惡い生徒は入學させることは出來ませぬ。總督閣下が本島人の爲め如斯幸福な道を開かれたに就いては風俗改良や國語の普及を計り、臺灣人の兒童を一人でも多く小學校に入學せしむる樣に努めねばなりません。諸君の內には子供を內地に留學させて居られる方もありませう、年若い者を遠方に出し多額の學資を費してしかも動もすれば出來損ひが出來ることがあります。夫れよりも相當の準備をして本島の小學校に入學させるのが得策であります。素より無資產の人ならば至し方もありませんが、金のある人は第一家庭に於て小さい時から內地の風俗や言葉に通ずるやうに、內地人保姆を置かれたならば一番良い方法だらうと思ひます。然し夫れ迄の餘裕の無い人も有りませうから、夫等の人々は多數話し合つて各所に幼稚園を設立することが必要だと思ひます。諸君は地方に於ける資產名望ある有力者でありますから總督閣下の此の趣旨を體し盡力せられんことを御願ひ致します。尙諸君に於ても會議の際等に通譯を用ひずして內地語を解せらるゝやうにありたいと思ひます。又私自身に致しましても臺灣語の研究に努めて居りますから是非諸君も充分御勉強を願ひます。國語普及に就きましては今日直ちにといふ譯には參りますまいが、婦女子に普及せしむることが最も肝要のことであります。若し婦女子が充分國語を解しますれば他日子供が出來た際に內地人の保姆を置く必要はありますまいと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

思ひます。然るに臺灣の學校には女子の通學率が甚だ少なく近頃勞銀が高い爲め其の方面に奔て學校に行くことを厭ふことは殘念であります。臺灣永遠の幸福を想へば女兒の通學を獎勵し、國語の普及を圖ることが必要であります。

次に風俗改良のことに就きましては私が本年の正月元日の臺灣日日新報の三十五頁に「風俗改良と辛中」と題して書いて置きました。夫れは其の新聞の五枚目後藤男の寫眞の次の頁にあります。國語を解せらるゝ諸君は是非一讀あられんことを望みます。抑も強固な一國を組織するには言語、風俗、習慣、法律、宗教等が同一であると云ふことが最も重要なことであります。例へば英吉利に於ける「アイルランド」の如く同一國家にありながら風俗、宗教を異にする爲めに團結心を欠ぎ、戰時中敵國たる獨逸に欵を通じはせぬかと大に疑へられたる實例があります。獨逸は結局敗戰しました、けれ共彼の多數小國の聯合に依つて成立して居ますが一國として言語、風俗、習慣、法律等も全然同一でありますから國民の團結が強固で最後まで戰ふことが出來たのであります。故に國の隆盛を計る上から申しましても國語の普及を圖り、風俗改良を企て、內地と臺灣と全く同一のものにせねばなりません。是れ迄行ひし風俗改良は斷髮、解纏足、新居、週年等實施せられ眞に結構のことであります。或は冠婚、葬祭等に關し其の冗費を節約する目的を以て生れた東勢角の風俗改良實行會の如き最も良い企てだと思ひます。然し之等は單に形式的にして表面の模倣に過ぎぬ憾があります。一國家として其の風俗習慣の同一を期する上からは夫れが直接國民生活に觸れる迄行かねばなりません。國民生活に最も重大の關係あるものは第一婚姻及相續問題であります。婚姻に依つて內地人臺灣人の結合を計り、相續は內地と同樣に長子相續と云ふことになつたならば他の問題は自ら是れに附隨するものと信じます。現在に於ては未だ戶口上の共通法實施せられず正式の婚姻は出來ませぬ。假に正式婚姻が出來るにしても現今の臺灣では婚姻の條件として聘金の受授が行はれ、名は聘金でありますが事實は體の良い賣買婚姻であります。甚しきに至つては妻を轉賣する者すらあります。斯麽有樣では內地人の男は命迄出して臺灣婦人を娶るものは決してなく、又女は臺灣人を亭主に持つことを望むものはありますまい、若しありとすれば夫れは善良な婦人の婚姻で無くて醜業婦の結合に過ぎないのであります。故に臺灣人にして眞に同化せんとするならば斯樣な惡習慣を第一に打破せねばなりません。又媳婦仔、婚媒嫺、期限付招夫の如き人身賣買の嫌ある惡風習は、同化上大なる障害でありますから是非改良の必要があります。相續問題に付て申上げますれば、臺灣では權利として兄弟各々が親の遺產を平等に分配するものでありますから多くの遺產のあるところ等では、父の死體を眼前に橫へたまゝ未だ葬儀も營まない內に兄弟が遺產分配を相爭ふ例は甚だ多いのであります。實に遺憾なる制度であります。今日直ちに長子相續に移ることは困難でありますが此の如き惡習を絕つには親は生前に遺言書を作り、尙ほ明確を期するならば法院の公證人に依賴し、確實に遺言したならば死後兄弟の爭も避けることが出來ることゝ思ひます。併し之れは當座の問題でありまして結局內地と同一の民法に依る相續法を採るのが最も必要であります。私は臺灣の人が最も幸福であることは立派な日本國民になることであります。私は部下の吏員に對しては常々本島人に日本國民であると云ふことを其誇とすることを思はしめる樣に努力するやうに話して居ります。何卒諸君は純粹な日本國民として幸福を享けんが爲め風俗改良、國語普及に努力せらんことを望みます。

私は昨年中は主として殖產興業に重きを置き、其發達に力を致しまして各種組合の設置を慫慂しましたので只今では稍々各種の產業は其の緒に就きました。本年からは社會教育、風俗改良に主力を傾倒しやうと考へて居ります、是非諸君の御助力を願ひます。

第二に申上げたいのは道路開鑿のことであります。今月十日の臺南新聞を見ますれば嘉義廳下では西螺から臺南廳界迄十間幅の道を作ることに決定したといふことを書いてありますが、夫れに依りますれば長さ十七里三十二町、之に要する人夫の延人員は九十九萬九千人、卽ち約百萬人からを要するのでありまして、二月末迄に竣工する豫定で勞力は保甲の寄附土地は業主の寄附といふことであります。道路を開鑿しますれば其地方の便利は云ふ迄もなく一帶の土地は騰貴し、作物製造品の運搬も容易となり、夫れ丈利益を增す譯であります。然るに總督府に於て基隆から打狗までの縱貫道路を開鑿するとすれば約八千萬の經費を要するのであります。是の巨額の經費を一時に支出することは財政が許しませぬ。例年の通り經費を年々約百萬圓づゝ支出するものとすれば八十年を要します、さすれば人民は其間不便を忍ばねばならぬのであります。故に本廳に於ては強て嘉義廳と同樣な方法を採つて一日も早く縱貫道路の開通を計畫し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て居たのであります、一日遅るれば一日の不利であります。故に是非本年は道路新設に就て諸君の御盡力を得たいのであります。近頃貨物の輻輳甚だしく汽車の輸送力は之に伴ひませんので將來には貨物運送用自働車の出現を見ること思ひます。此の時土のみで砂利を敷かなければ自働車の運轉は不可能であります。此の砂利にしましても金が要るのであります、橋を架けるにして臺中廳では彰化、臺中間の大肚溪の架橋だけで約五十萬圓を要し、他の地方にしましても、若し沙鹿から員林迄開鑿するとすれば五十萬圓でも不足するのであります。然し百萬圓有れば本廳下の道路は大體出來上るのであります。臺南廳は既に昨年實行しましたから嘉義廳の西螺から打狗まで道路が出來る樣になりますれば、濁水溪により中斷されますが牛罵頭から打狗迄の道が出來るのであります。諸君が極力奮發して道路の完成に努力せられんことを望みます。

第三に公學校設立區域のことに就て御相談申上げたいのであります。現在の學區は三十三に分れ、各區の負擔も區々高低があり、平均一圓五拾錢であります。斯樣に多數に分れて居りますから、各學校の校長や先生は其の區の總ての事務打合せや面倒な會計のこと等に忙殺せられ、專心教育に從事することが出來ないのであります。諸君も御承知の通り、校長や先生達が授業を終つても子供と校庭で遊んで居るのを見たことはありますまい。之は先きに御話した教育以外の仕事が忙しいからであります、學校では數學や國語等を教えるばかりで無く、子供をして國民的思想即ち氣分を注ぎ込むといふことが最も必要であります。運動場で子供と遊びながら其性質を見拔いて個々臨機に訓育を施し公德心を養成することが必要であります。それで會計のやうな教育者本來の仕事で無いものに忙殺せらるゝことのないやうに學區の負擔を一定し、廳が中心となり、總ての學區を統一し一區となつたならば專心教育に從事することが出來ることゝ思ひます。又校長は年度末に學級增加の豫定で机を作つた際若し總督府が認可しなかつたならば其机を他の學校に賣却すればなりません。如斯例は澤山あるのです。それに就て今年は廳に於て机を若干個作ることに致しました、それは直接材木を買つて監獄に依賴しましたので運賃迄加へて六圓餘りで出來上るだらうと思ひます。今日の如く材木の高い勞銀の高い時に他所に依賴したならば安くとも十二三圓は要するのでありますが、斯く半値位で出來るのは多數一纏に作つた爲で結局諸君の儲けになつた譯であります。學區統一のことを今日直ちに實施するとすれば或は問題が起るかも知れません、夫れは或學校は基本財產を有し、或學校は負債があるといふ有樣でありますから少々困難でありますが、永久のことを慮つたならば此の方法を講ぜねばなりません。即ち如何なる點から見ましても學區の統一を計ると云ふことが最良の方法であります。或る學區は現在では負擔額が少ないにしても若し火事にても罹つたならば一時に多額な負擔せねばならぬことであります。ところが廳下統一して居つたならば別に苦痛を感じないで復舊することが出來るのであります。此の點から見ましても面白いと思ひます。兎に角現在問題としては少々無理なことがあるにしても永遠の幸福を計るといふことは我々の義務で結局諸君も亦利益であります。充分御考へを願ひ度いのであります。

第四に此の頃　天皇陛下より、歐洲戰爭が終つて一般の人心が浮靡に流れつゝあるやうな傾向があるから國民は氣分を緊張し、儉約を旨とせねばならぬといふ意味の詔書を下されました。之は是非我等の遵奉して御趣旨を貫徹せねばならぬことゝ思ひます。

戰後に於て直ちに起るのは經濟上の戰爭であります。今日のやうに一般の風潮が浮靡になり、華美に流れたならば他日列國との競爭に負けることゝ思ひます、近來勞働者等は身分不相應の生活を營み、動もすれば多數集合して賃金の增給を要求しますが、彼等は決して生活難ではなく贅澤難であります。こんな惡風潮は國家の爲め是非拒まねばならぬことであります。勤儉を獎め危險なる思想を防止することは日本國民として大なる覺悟を要するところであります。是又諸君の御努力を願ひます。

◉郵便局の設置　葫蘆墩支廳下潭仔墘庄、彰化支廳社口庄は從來郵便局の設置なく該地方民の不便とする所なりしが、今回當局に於ては三月末より三等局を開設することに內定し、目下事務所宿舍等に充當すべき建物の手配中に係れり。

◉甘蔗萎縮病發生　甘蔗萎縮病は曾て大正四年南部地方に大發生を見たることありしが、爾來本病の豫防に留意したる結果其の弊を潛むるに至れり。然るに本年當廳下に發生したる萎縮病に極めて激甚にして未だ曾て見ざる慘害を呈せり。其

の最も猖獗を極めたる帝糖蔗園は殆んど全域に蔓延し、被害面積(見込)六百八十有餘甲の内激甚なるもの(罹害五十%以上)三百十七甲に達せり。其他の會社に於ても罹害を見ざるものなく、就中新高及林本源區域比較的多し。想ふに本病は從來と雖も多少の發生ありたるが會社は自ら永遠の處置を講ぜず、專ら連作を行ひ、尙は品種の更新を爲さゞりし爲め次第に本病を誘發し、加之昨夏の大暴風に際會して生理的作用を傷害したること與つて大なるものとす。

尙ほ罹害園に就き品種並耕種法と本病との關係を按ずるにチエレボン最も罹り易く、ローズバンブ之に次ぎ、實生及讃谷山は殆んど罹害無くデメラ、一一七號は稍罹り易きが如し。今ローズバンブらデメラ、種に就き比較調査せし所を示ば、

品種名	罹病率
ローズバンブ	七〇%
デメラ、	一六%

尙ほ之を新植、株出別に見れば新植には比較的少く、株出就中三年株出及永く甘蔗を耕作せし土地に多し。又肥培手入の本病に關係すること大にして被害の激甚なる地方は刈取期の後れ(五月以後)たるものに多し。而して施肥量に至りては各社により異なるが、一般に有機質肥料就中土糞、綠肥、過少にして帝糖の如き株出には殊に減量せる爲め地力消耗し本病の誘因となりしが如し。

而して本病の驅除豫防に付ては曩に本廳に於て各製糖農務主任を召集し協議する所ありしが、尙は各支廳に亘り被害蔗園に就き精密なる調査を施行し此の程終了せる以て、其の結果に基き驅除豫防の方法に付き愼重研究中なるが、被害蔗園に對しては本病に對し抵抗力強き實生種を以て可成品種の更新を圖り、株出を避け、蔗苗の撰擇を嚴にし、栽培に留意し、堆肥、綠肥等有機質肥料の增施を計れば之を防遏すること難からずと信ず。

要之合理的栽培法に叶はざる爲め以上の結果を見たるものなるが、其の根本に遡りて探究すれば總て小作制度の影響する所大なるを知らざるべからず。

今廳下に於ける被害面積調査表を擧ぐれば左の如し。

▲被害面積調査一覽表（全管內）

被害庄數	大正八年管下甘蔗植付面積	被害庄に於ける同上	被害面積	大正八年期蔗作面積を一〇〇としたる場合の被害面積歩合
八九	一八、二〇〇・〇〇〇〇甲	三、五九三・五八五三甲	一、一五一・六四九七甲	六%強

備考　面積ハ見込面積ヲ示ス

▲同（支廳別）

支廳別	品種別	新舊別	被害地植付面積 田（甲）	被害地植付面積 畑（甲）	被害面積 田（甲）	被害面積 畑（甲）
直轄	ローズバンブ	新植	二三六・一二九二	三〇・〇〇〇〇	一七一・五〇〇〇	二一・〇〇〇〇
		株出	一、一九一・四三三一	—	六二五・九五五〇	—
葫蘆墩	ローズバンブ	新植	—	—	—	—
		株出	四〇九・〇〇〇〇	—	一四五・〇〇〇〇	—
沙鹿	ローズバンブ	新植	一一一・〇七五六	一〇五・九一一五	一〇・二七九二	六八・六一〇一
		株出	六七・四四一四	六七・四四五二	一四・四〇〇〇	五八・五三六五
	其他	新植	二四・八〇〇〇	一・三〇〇〇	八・八〇〇〇	一・三〇〇〇
		株出	五〇〇〇	一・八〇〇〇	—	一・五〇〇〇
二林	ローズバンブ	新植	三五・〇〇〇〇	—	二三・〇〇〇〇	—
		株出	—	七・〇〇〇〇	—	二・〇〇〇〇
員林	ローズバンブ	新植	八一・三二一九五	七・六三七八	三二・二五〇〇	三・九〇〇〇
		株出	七二・七二四八	八・〇五七九	三三・〇〇〇〇	五・二〇〇〇
彰化	ローズバンブ	新植	一七四・〇一八〇	四一・三七二〇	五〇・二五〇〇	一六・九〇〇〇
		株出	一八一・六〇八〇	三・三五七〇	七四・〇〇〇〇	—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他（デメラ）	新植	二九九・四六一〇	四〇・五九七〇	二四・七〇〇〇	—
	株出	一五四・七八二〇	二六・五〇〇〇	六・〇〇〇〇	—
六甲 ローズバンプ	新植	七三・〇〇〇〇	—	三・八〇〇〇	—
	株出	—	—	—	—
東勢角 ローズバンプ	新植	一六九・九二〇〇	—	一九・二九〇〇	—
	株出	—	—	—	—

●地租官稅徵收狀況　大正八年後期分地租及官租、官設埤圳水租の納期は二月二十五日迄にして、目下各區吏員を督勵し徵收中なるを以て計數的に其成蹟を揭上する能はざるも、大體に於て納期內完納の見込なり。今其調定額及前期分に於ける徵收成蹟を揭ぐれば左の如し。

▲後期分調定額

科目	納定額	人員
地租	五七五、八九〇・五〇円	一〇七、五九七
官租	四五、二九二・八〇	二、一〇九
水租	一〇、三二八・二四	三、七六三
計	六三一、五一一・五四	一一三、四六九

▲前期分納期內徵收成蹟

科目	納定額	收入濟額	未收入額	步
地租	五七五、八一九・〇八円	五七五、二四八・九七円	五七〇・一一円	九・九九九弱分
官租	四四、一九五・四〇	四四、一九五・四〇	—	完納
水租	一〇、三四六・五〇	一〇、三四六・五〇	—	完納
計	六三〇、三六〇・九八	六二九、七九〇・八七	五七〇・一一	九・九九九强

南投廳

●民事爭訟調停狀況　大正八年中に於ける調停件數は新規受付に係るもの三百一件、前年受付のもの十六件にして合計三百十七件なりとす。之を前年に比するときは三十二件の增加なり。其の調停成績は調停百九十九件、不調二十七件、取下五十五件、却下二十九件、未濟七件なり。又之を種類別となすときは人事九十件、土地九十五件、建物船舶七件、金錢九十九件、物品二件、穀類七件、證劵六件、雜件十一件なり。就中前年より增加したる主なるものは人事二十一件、土地九件、又減少したるは金錢の七件なりとす。右の內人事件數の增加は大率招夫に對する離婚關係にして、土地件數の增加は産業の發達と米價の騰貴に依り土地觀念の旺盛より來るものゝ如し。又金錢件數の減少は勞働賃金の騰貴に依り、一部下層民を除き他一般人民間の金融圓滿なるに由るものと思料せらる。

●南投花蓮港間の道路開鑿の狀況　大正八年度即ち第一期計畫に於て、東埔より八通關まで約七里の間を竣功せしむる豫定にて昨年六月十六日東埔方面より着手したる工事は斷崖絕壁多く、開鑿頗る困難なるのみならず八通關附近は標高九千尺を超え、氣候寒冷なるに加へて冬期に入りたるを以て隊員の勞苦言語に絕するものありしも、隊員は克く危險を冒し、困苦缺乏に堪へ殆んど豫定の工事を終り、目下沿道三箇所の駐在所建築工事中にして、年度內に所期の工事を終り、更に來年度には第二期計畫として八通關大水窟間約四里及東埔水裡坑間約十里の開鑿工事を繼續する目的にて銳意工事を急ぎつゝあり。然るに近來同方面蕃社は流行性感冒蔓延猖獗を極め蕃人の出沒意の如くならず、工事の進捗及糧食輸送等に非

常の困難を感じつゝあり。

◉視察者の來往　司法制度視察の爲め來臺せられたる東京控訴院部長判事須賀喜三郎氏は、望月臺南地方法院長と同行一月十五日より廳下水社、埔里社、霧社、南投等視察の上十九日臺中に向はれたり。又蘭領印度政廳日本人事務取扱ファン、テ、スタット氏は一月三十一日南投着二月一日水社視察の上翌日二八水を經て臺中に向はれたり。

◉南投購買組合の設立　諸物價の昂騰底止を知らざるの今日一般生活上に及ぼす變動は勿論なるも就中一定の俸給に衣食せるもの、而かも交通不便なる南投地方在住者に於ては特に著しき影響を受け、日常苦痛を感ずる處尠なからざりしが、幸ひ前年總督府の共同購買組合設立の勸誘に逢ひたるを以て南投廳員及附屬團體員他官衙員等の一團は前年末凝議の上愈之れを設立するに決定し、直に定款を作成し、其筋に向て認可申請中なりしが、大正九年一月十九日認可ありたるを以て同月二十七日第一回拂込を了し、其旨屆出たるが不日登記せらるべし今其內容組織の一班を擧れば左の如し。

一、本組合の目的は組合員の生計に必要なる物を購買し之に加工し又は加工せすして組合員に賣却するものとす
一、本組合は有限責任南投購買組合と稱す
一、組合の區域は南投廳管轄內とし事務所を南投街に置き便宜の地に出張所を設くることを得
一、組合の存立時期は十箇年とす
一、出資一口の金額は五圓とす
一、出資第一回の拂込金額は一口に付金一圓とし以後は剩餘金より拂込に充つるもの丶外出資一口に付每月末日迄に金一圓つゝ拂込ものとす
一、組合に理事三名監事二名を置く理事は組合長一名は互選す其任期は理事は三箇年監事は一箇年とす
一、組合に於て購買する物品は左の範圍內に於て理事之を定む
米、雜穀、味噌、清酒、麥酒、醬油、薪炭、砂糖、干物、酢、味素、紙類、洗石鹼、燐寸、茶其他總會に於て定めたる物品
一、組合に於て加工する物品は左の範圍內に於て理事之れを定む
木炭、洋服及靴の製作其他總會に於て定めたる物件

現在の組合員は總て百四十三人、出資口數四百六十六口にして其事業は不日登記濟を待ち直に實行の豫定にて目下準備中に屬せり。因に組合の理事は宮本信義、片山定、石原眞砂の三氏、監事は齊藤透、金子恒彌の二氏なり

◉電力會社出張員詰所設置　臺灣電力株式會社に於ては日月潭水力電氣事業に要する用地及立木拂下事務の簡捷を圖る爲め、南投廳下南投街百四十六番地に臺灣電力株式會社出張員詰所を開設し、大正九年一月二十一日より執務せり。

（二月報）

嘉義廳

◉畜產業　(一)民有種牡牛設置　總督府產牛改良の方針に基き當廳は種牡牛改良獎勵規程を發布し、(一)年齡一年六箇月以上五年六箇月以下、(二)體格優良にして種畜として必要なる資格を具備するもの、(三)遺傳病及惡癖なきもの、(四)飼養管理善良なるもの。以上の條件を有する牡黃牛の飼養者には一頭一年金三十圓宛三箇年間獎勵金を交付して主要產牛地に種牡牛を置き、優良系統の蕃殖を目的と爲し、明治四十二年以降本事業を繼續して黃牛箇體の改良を圖りつゝあるが、其成績良好なるを以て大正八年度より更に範圍を擴張し、從

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來種類は黃牛に限定せし廳令の一部を改正し、水牛にも該獎勵金を支給し得る規定を設けたり。而して創業以來督府獎勵金の配賦額竝に業績の概要左の如し。

種牡牛獎勵金交付竝に蕃殖成績表

年次	補助金 旅費	補助金 獎勵金	計	種牡牛數	種付數	生產數
明治四十二年	一〇〇円	一、一一〇円	一、二一〇円	三七	二二三	—
同四十三年	二〇〇	一、八六〇	二、〇六〇	六二	八二四	八〇
同四十四年	二〇〇	二、六一〇	二、八一〇	八七	一、一七二	一九二
大正元年	二〇〇	二、六一〇	二、八一〇	八七	一、三一九	五三三
同二年	二〇〇	二、六一〇	二、八一〇	八七	一、三一九	六〇九
同三年	二〇〇	二、七六〇	二、九六〇	九二	一、二五〇	七二五
同四年	一五〇	二、七三〇	二、八八〇	九一	一、三〇〇	七四〇
同五年	一五〇	二、七三〇	二、八八〇	九一	一、四二四	一、〇〇九
同六年	一五〇	二、七三〇	二、八八〇	九一	一、三四一	九六八
同七年	一五〇	二、七三〇	二、八八〇	九一	一、六六四	一、一二三
同八年	二二八	三、七八〇	四、〇〇八	一二六	—	—

大正八年度の種牡牛百二十六頭中にて水牛三十頭を含有す、尙種付及生產數は事業年度內に付記載せす

古來の慣習に依り野合を遂くるもの不尠、從て人爲的交配數は未た理想的普及の域に達せさるも表中の蕃殖數は廳下黃牛生產の約五割に達し、當業者は益優良種牡牛の供用を歡迎し本事業は逐年進境を示しつゝあり。

(二)牛市場　廳下現在牛市場は十五箇所に開設せられ、其多くは領臺前牛墟と稱せしものゝ遺物にして從て之が經營方法の如きも概して舊慣に準せり。而して近年一箇年間の市場出場頭數は水牛四萬頭、黃牛三萬頭、賣買水牛一萬五千頭、黃牛九千頭、其價格水牛七十五萬七千圓、黃牛三十九萬二千圓に達せり。然るに廳下の畜牛總數は約七萬頭なるが故に移動數は其五割に達せんとす。又牛價は戰前に比し二、三倍の騰貴を來し、目下特に優秀なるものゝ單價は三百圓を突破せんとするの盛況に在り。左に最近一箇月間の市場狀況を表示す。

牛市場狀況表（其ノ一）

市場名	入場數 水牛	入場數 黃牛	賣買數 水牛	賣買數 黃牛	移入 水牛	移入 黃牛	移出 水牛	移出 黃牛	開市日數
嘉義	一、三二五	二九六	一九〇	六五	五	二	一〇	三	九
鹽水港	五九七	六三四	三三三	二一九	四二	二三	五一	一二五	九
菁寮	一二四	二五	四六	六	—	—	—	—	九
鐵線橋	五九	八三	五九	八三	三	一	一	二	一〇
店仔口	一三五	五六	一二六	二四	六	—	三	—	一〇
前大埔	五	三一	五	三一	—	—	二	二	九
他里霧	四五	一二	二八	五	三	—	一	—	一〇
麥寮	五二	六六	七	一八	三	二	—	一	九
崙背	一三	二	八	一	二	—	一	—	九
西螺	一三九	二〇	七一	一三	五	二	一九	二	一〇
斗六	一〇一	一二〇	六二	六八	一五	一〇	三〇	四二	九
撲仔脚	四一八	一一三	一九二	四二	四九	五	四	二	九
海口厝	二	四四	二	三七	—	—	—	—	九
土庫	六四二	一九八	二二〇	六六	四	二九	九	二	九
北港	八〇三	二三九	四五八	一二三	六	一	三	—	一〇
計	四、四六九	一、九三九	一、八一六	七九八	一四三	七四	一三五	一八〇	一三六

本表中の賣買頭數多き北港牛市場狀況を左に表示す。

北港牛市場狀況表（其ノ二）

年齡	種類	入場數	賣買數	賣買平均價格	同上最高價格	同上最低價格
二歳迄	水牛	三三	一五	円 七四.〇〇〇	円 一一六.〇〇〇	円 一五.〇〇〇
	黄牛	八	三	三九.七〇〇	五四.五〇〇	一四.五〇〇
自三歳至六歳	水牛	七七	三三	九四.五〇〇	二二七.〇〇〇	七〇.〇〇〇
	黄牛	一五	四	一五〇.〇〇〇	二四五.〇〇〇	九〇.〇〇〇
自七歳至十一歳	水牛	二五〇	一一四	一〇三.〇〇〇	二二〇.〇〇〇	四〇.〇〇〇
	黄牛	八七	四二	一〇九.〇〇〇	一六〇.〇〇〇	四二.〇〇〇
自十一歳迄	水牛	四四一	二九六	九三.〇〇〇	一九六.〇〇〇	二八.八〇〇
	黄牛	一一九	七四	九一.〇〇〇	二一五.〇〇〇	三五.〇〇〇
計	水牛	八〇三	四五八	—	—	—
	黄牛	二二九	一二三	—	—	—

(三)養豚奬勵　養豚は廳下產業上重要なる位置を占め、飼養頭數年々二十四、五萬頭、屠殺頭數十三萬頭に上り、其價格三百萬圓を算せり。從て斯業の盛衰は農家經濟に多大の影響を及ぼすのみならす、食料問題の喧傳せらるゝ今日時勢に順應ずる對策を講するは最も緊喫の事項と認め、本廳は農會をして專ら其衝に當らしめ、明治四十三年以降斯業の改良を圖りつゝあるが成績顯著にして、體量の增加率時價に換算して年々五十餘萬圓の增收を得ることゝなれり。然れども逐年人口の增殖と生活の向上に伴ふ食肉の需要劇增し供給不足の現況なるを以て、廳農會は臨時特別事業として大正七年度より同十一年度迄五箇年間年々經費六千圓を投じ、(一)種豚の撰擇、(二)種牡豚の普及、(三)種牝豚の增加、(四)種豚購入補助、(五)種豚の運搬費及飼料費補助、(六)養飼管理方法の實地指導、(七)去勢術施行の勵行、(八)豚舍の改良、(九)養豚講話及養豚業者の視察、(十)種豚場經營の各項に別ち殊に第二項は改良上の眼目として之に主力を注ぎ事業實施中にて本年度は其第二年目に相當せり。左に種豚の配付豫定表を掲ぐ。

種豚配付豫定表

年度別＼支廳別	直轄	竹頭崎	中埔	打猫	店仔口	斗六	鹽水港	東石港	西螺	捒仔脚	北港	土庫
大正七年	八〇	六〇	二〇	一〇	—	—	—	—	—	—	—	—
同八年	四〇	一五	一五	八〇	八〇	—	—	—	—	—	—	—
同九年	一〇	一〇	一〇	一五	一五	九〇	—	—	八〇	—	—	—
同十年	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	九五	六五	一〇	—	—	—
同十一年	四	二	二	二	二	二	二	二	二	八〇	七〇	六〇

(四)種牡豚規則施行　大正五年十一月廳令第九號を以て種牡豚規則を發布せり。然るに該規則の實施期日は種牡豚供給の關係に係り廳農會事業と連繫を保つの要あるを認め、大正七年度内に直轄及竹頭崎、中埔の二支廳下同八年度に於て打猫支廳下を施行區域と定め、該區域内の種牡豚飼養者に交付せし證明書左の如し。

種牡豚證明書交付表

支廳別	直轄	中埔	竹頭崎	打猫
證明書交付數	三九	五	一七	一九

(五)緬羊の飼養　殖產局附屬種畜場嘉義支場に飼養すべき緬羊百六十八頭は內地及滿洲方面より購入し客年十二月中に到着せり。然るに其內十三頭は一月中に病死し、又仔羊八頭は收容後生產せり。該種羊は羊舍設備の都合上目下廳農種畜場に假羊舍建築收容中にて昨今全部健全なり。而して飼料は乾燥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

期にて野草の供給困難なる爲生草の外に少量の甘蔗葉を利用し、又極めて少量の乾甘藷を給與し、現今の飼料費一頭一日平均約六錢弱を要しつヽあり。

●埤圳　嘉義廳下は東北より南東に亙り新高山系の諸山重疊起伏して分水嶺をなし、南西に向ひ漸次展開して耕地實に十六萬七千餘甲步を算す。然れども廳下を環流する大小十數條の河川何れも水量豐富ならざる故に田園灌漑の便に乏しく、從ひて規模大なる埤圳なく、數に於て公共埤圳十六認定外埤圳百三の多きを以てして尙且つ三萬二千餘甲步を潤すに過ぎず。殊に年二回の稻作を安全に期待し得べきは僅に其の四分の一を出でざるに至りては奈何に資源の水量に乏しきかを想像するに足らむ。夫れ斯の如く常時灌漑水に乏しきに反し、南部臺灣の特徴として六月より九月の交所謂雨期の間は驟雨連日到り、河川氾濫して雨水耕地に停滯し浸淫日久しきに涉り、排地及耕作物の被害太た鮮少ならざるものあり。之れ分水嶺高峻にして河川の勾配急なると、一面古來より灌漑水を需むるに切にして停滯浸淫の害を顧みるの遑なく、即ち排水施備を閑却せるに因らずんばあらず。されば嘉義廳下にては灌漑にのみ偏せず排水設備を充實して流利の調節を計り、先以て停滯浸淫の害を輕減して土壤の改良を期すると共に更に排水を再び灌漑に利用するに如すとし、公共埤圳又は製糖業者と地方農民を團結せしめて努めてこれを奬勵せり。而も灌漑の積極的なるに反し排水は消極的なるを以て。始は農民間に之を厭ふものなきにあらざりしも、漸次効果を現實に認むるに從ひ自ら進みて其の施設をなさんとするに至りしは洵に喜ぶべき現象にして大正三年以來左の施設を遂げたり。

一、排水面積　六萬一千四百八十六甲
二、排水利用に因る灌漑面積　五千三百八十九甲
三、排水路延長　百十八里十九町六間
四、工　費　百三十五萬一千三百八十八圓

以上の他尙施設を要する地區なきにあらざるも大體に於て粗ぼ豫期に達せしを以て、今後は個々分立せる各埤圳を併合して水利の統一を期せんとす。而して玆に特筆すべきは總督府の計劃に係る嘉南埤圳(所謂官佃溪圳)の近きに成立を見んとするにあり。同埤圳にして成立せんが嘉義廳下は新に十萬餘甲步の灌漑區域を增加し、如上排水施設の地區は殆んど全部同圳の區域内に包容せらるべきを以て、灌漑排水共に完きを得て土壤の改良に伴ふ生產能率の增加著しきものあるを疑はず。之を要するに同埤圳成立の日は嘉義廳下埤圳水利の一大革命期にして、一般に多大なる希望を以て其の成立の一日も速ならんことを期待しつヽあり。　（二月報）

臺南廳

●區長役場管內狀況一覽簿改正　區長役場處務規程に依り每年調製すべき區管內狀況一覽簿は、今回其の樣式を改正し記載事項を增加し、區內全般に涉りて其の大要を網羅するを以て從來のものに比し頗る周密となれり。之れが爲め近日廳下各區より區書記一名宛を召集し、二日間の豫定を以て改正樣式に依る各事項の調查及記載方に關し講習會を開催するの計畫なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉埤圳　廳下の公共埤圳中大正八年度歲入出追加豫算を提出せるもの左の如し。

(一)公共埤圳組合楠梓仙圳　一四二、五〇〇円
但水租十分の三を增徵し風水害復舊費に充つ

(二)同　阿公店圳　九四八、八九〇円
但自然增收を以て修繕費土工費に追加充當す

(三)同　楠梓坑圳　一、五五八、〇一一円
但自然增收を以て修繕費土工費に追加充當す

(四)同　依仁圳　五六四、七五〇円
但水租十分の三を增徵し修繕費土工費其他に追加充當す

(五)公共埤圳組合曹公圳　一〇、〇七五、八〇四円
但水租十分の二を增徵すると共に其他の收入追加を爲し修繕費土工費に追加充當す

◉教務打合會　大正八年度に於ける第三回小公學校教務打合會は左記の如く開催すべく決定せり

(一月二十五日)	臺南第二小學校に於て	小學校全部
(二月一日)	林鳳營分校に於て	公學校第四部
(二月八日)	仕隆分校に於て	公學校第五部
(二月十五日)	阿公店公學校に於て	公學校第一部
(二月二十二日)	安平公學校に於て	公學校第三部
(二月二十九日)	蔴荳公學校に於て	公學校第二部

右決定に基き一月二十五日臺南第二小學校に於て開催せる小學校全部の教務打合會は特に小學校長竝分教場主席教員を召集し、從來各部打合會にて問題と爲りし事項中複式學級に關し研究を爲したるが、當日臨席の枝廳長よりは本島小學校教育に關し剴切なる訓示ありたり此會合に於て研究問題として討議せる主なる事項次の如し。

(1)複式學級の机黑板の排列に關する件(2)教授時間割に關する件(3)豫習復習に關する件(4)體操唱歌遊戲に關し特に復式學級に於ける教材の撰擇竝實際の取扱方に關する件(5)複式學級に於ける助手の取扱に關する件(6)兒童自習用參考書撰定の件(7)教案に關する件(8)學用品に關する件(9)複式學級に於けるカード使用の件(10)將に實施せられんさする尋常科第四學年の理科に關する件

◉四廳學事會　二月六日七日の二日間、臺南公館に於て臺南嘉義阿緱及澎湖の四廳下各小公學校竝學事關係職員約四十名の學事打合會を開催することに決し、議題其他に關し目下商議中なるが、四廳を網羅せる學事會議は本年始めて開催するものにして地方教育界に稗益する所蓋し尠少ならざるべし。

◉教員養成計畫　地方向學心の勃興に伴ひ漸次公學校教育の擴張せらるゝに由り教員の不足を來すを以て、之が補充を爲し且つ公學校教育の進步改善を圖る爲め、從來當廳に於ては臨時教員養成講習會を開催し教員の養成に努め來れるが其の成績見るべきものあり。目下臺南及鳳山の兩所に於て講習會開設中にして二月末九十三名の講習修了者を出すの豫定なり。大正九年度に於ては臺南鳳山及蔴荳の三箇所に於て百二十名の講習生を養成すべく計畫中なり。而して女子教育の普及發達を圖るには適當なる女教員を得るを先務とするを以て、之れが養成には從來特に意を用ひ、既に數十名の講習修了者を出し各學校に配置し居るも、來九年度に於ては更に其の員數の增加を圖ると共に一層優良なる者を得んことに留得しつゝあり。

◉本島人幼稚園の現況　共學實施と共に本島人幼稚園の價値愈々昂上し、本島人子弟の入園希望者漸く多きを加へ、所在

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

幼稚園設立の聲を聞くに至れるは誠に喜ぶべき現象にして、現に計畫進行中のもの二三箇所あり。而して一月末現在に於ける廳下の幼稚園及園兒保姆等次のの如し。

園名	園兒		保姆	
臺南第二幼稚園	男	四十名	內地人	一名
	女	二十三名	本島人	二名
打狗第二幼稚園	同	三十九名	同	一名
	同	十四名	同	一名
鳳山幼稚園	同	四十一名	同	二名
	同	三十一名	同	一名
蔴荳幼稚園	同	五十九名	同	一名
	同	十六名	同	一名
安平幼稚園	同	四十四名	同	一名
	同	十二名	同	一名

◉臺南消防組出初式　一月四日臺南消防組第一回出初式を擧行せるが各種の操作演習等漸次熟練の跡見るべきものあるを證するに至れり。

◉打狗消防組出初式　打狗に於ける消防組は創設以來已に數年を經過し本年一月五日第五回出初式を擧行したるが其の訓練操作等較々習熟するに至れるを認めたり。

◉流行性感冒狀況　廳下に於ける流行性感冒は一昨七年秋季各地に發生し多數の患者及死亡者を出したるが、昨八年十一月初旬以來再び臺南打狗等に發生し、本年一月に入り天候兎角不順の爲め漸次各方面に瀰蔓するに至れり。就中臺南打狗の如きは病勢猖獗を極め比較的內地人間に多發の傾向あり、而して此患者は如くは肺炎等を續發し不幸の轉歸を見る者少なからざるを以て一般に警戒する所ありたり。而して本病發生の絕頂と認めたるは一月十五日前後なりしが、其後氣候の順調に向ふと共に病勢漸く緩漫となり、患者も逓減するに至れり。今後此の有樣を以て推移せば其終熄も亦遠きにあらざるべし。

當廳に於て施設せる本病の豫防新法としては先づ管內一般に對し豫防心得書を配付して各個人の注意を喚起すると共に、含嗽藥鼻口覆布の廉價供給及豫防液注射等を施行し、一面に於ては檢病的戶口調查を行ひ、本病の疑あるものは直に醫師の診斷を受けしめ且つ患家には豫防上必要の注意を與へ、獨身患者、若は一家數人の患者を出し通院入院藥取及看護人等に支障ある者は防疫組合、保甲等に於て充分救護をなす等機宜の措置をなしつゝあり。

本病發生の影響としては患者多發の地に在りては固より多少の影響を被るは免れずと雖、之れが爲め通信、交通、農工業等公私の事業をして著しく澁滯せしむるが如きことなきも、一般の狀態より觀察すれば一家擧て罹病し、父兄同時に斃れ、或は妻子相踵て逝く等名狀すべからざる悲慘事を現出したること尠しとせず。之れが爲め都鄙の商況も自然沈靜の狀況にあるも、獨り藥舖のみは此の例外に在るもの、如し。

流行性感冒患死者表（大正九年一月二十日迄ノ調）

直轄支廳別	種族	初發以來ノ患死者累計 患者 男	患者 女	患者 計	死者 男	死者 女	死者 計	患者百ニ付死者比例	現在患者 男	現在患者 女	現在患者 計
合計	內地人	一、三六四	一、一一〇	二、四七四	四一	三三	七四	二・九九	三八一	二九六	六七七
	本島人	三、一二四	二、三七四	五、四九八	一八七	一三〇	三一七	五・七七	一、〇二四	八四〇	一、八六四
	外國人	三二	七	三九	八	三	一一	二八・二〇	七	二	九
	總計	四、五二〇	三、四九一	八、〇一一	二三六	一六六	四〇二	五・〇一	一、四一二	一、一三八	二、五五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

備考　臺灣總督府臺南中學校は生徒三百九十八名の內約二割の患者ありて一月十六日より一週間休校を爲し、又臺南高等女學校は生徒二百六十九名の內患者五十三名を出せる爲め一月十九日より一週間の休校を爲せるも、其後患者減退せしを以て期間經過後開校することゝなれり。其他の小公學校等は何れも患者一割以內に止まりしを以て休校するに至らざりし。

（二月報）

阿緱廳

◉紳章授與　左記十三名に對し臺灣紳章條規に依り紳章附與相成、大正八年十二月二十三日阿緱街屏東會館に式場を設け廳長、各課長、其他關係々員及會議の爲め參廳中の廳下各支廳長竝に廳直轄各區長參事紳章佩用者等列席し、左記の次第に依り午前十時擧式同十一時極めて嚴肅に式を終へたり。右終て一同屏東會館入口に於て紀念の撮影を爲したる後ち阿緱神社に正式參拜幣帛料を献納せり。

紳章受領者氏名

東港街	黄景謨	觀音亭庄	陳忠修
同	蔡贊	古亭坑庄	柯常
枋寮庄	董興	山杉林庄	呂保生
枋山庄	董知高	六龜里庄	江德明
龍泉水庄	尤炳文	番仔厝庄	林明經
太平頂庄	陳水生	歸來庄	陳從賢
阿里港街	藍高臨		

▲廳長訓示の概要　臺灣紳章條規に依り今般紳章を下附せられたる諸氏を玆に召集し擧式を擧行することを得たるは本官の最も愉快とする所なり抑も本條令を設けられたるは明治二十九年十月にして全島三百五十六萬の人民中學識資望を兼備し紳章を下附せられたるもの僅かに六百三十二名即ち五千四百人に對し一人の割合に過ぎず然るに今回當廳下に同時に十三名なる多數の授與者を見たるは諸君の名譽は勿論本廳の誇りとする所なり諸氏は此荷ふたる名譽と共に將來地方の發達に一層努力せられ從來修められたる學識經驗と資望を一段輝かされんことを云々。

右に對し紳章受領者總代董知高は一同を代表して左の意味の答辭を陳べたり。

本日不肖等一同の爲めに盛大なる紳章授與式を擧行せられ且つ御懇篤なる御訓示を賜り誠に感激の至りに堪へす今後愈々感奮努力以て本日の光榮に報ひんことを誓ふ云々。

◉臺東廳下暴風雨罹災者救助金寄附募集　大正八年八月臺東廳下暴風雨罹災者救助の爲官民有志協議の上、廳下にて義捐金三千圓募集の件其筋の認可を得て着手したるに、一般の同情深く募集金五千〇一圓三十錢を計上し、其內諸雜費を控除し第一回金三千圓は大正八年八月送金し、第二回金一千八百八十圓合計金四千八百八十圓を臺東廳長宛て送金せり。

◉地押調査の豫定　地押調査は七年一週の計劃にて廳管內を七區に分ち、本年は第四區即ち東港支廳管內一圓にして一街三十八庄に涉り、總甲數一七、一三九甲二七、二〇〇筆なり。之れが施行の時期は事務は四月一日より六月三十日まで。測量は五月一日より八月末日までに外業を完結し、之に伴ふ土地臺帳及地圖の整理十月一日より十一月三十日までに全部を完了する豫定なり。

◉營業稅及雜種稅の消長　明治四十四年度以後大正七年度に至る已往八箇年度間に於ける營業稅及雜種稅の消長を觀るに、左表の如く大正元年度より同四年度に至る四箇年間に於ては稍之れか減限の傾向を示せり。其主因は米糖價格の下落に因るものゝ如し。而して大正五年度より大正七年度に至る三箇年度間に於ては前五箇年度に比し著しき增加を見る。之れ即ち時勢の進運に伴ふ農事の獎勵乃至改良に依り、生產の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

增加竝製糖其の他諸工業の順況に趣き其生產物の增大及此等の生產物の價格の騰貴に依り一般地方民の經濟力發達し、爲めに諸般の營業及其の他の課税物件發展又は增進に依る結果なることは論を俟たさる所なりと雖、又之れを詳細に觀察するときは一概に其税額の增加を見て課税標準卽ち營業及物件の發展又は增加とのみ視るべからず。只單に諸物價の騰貴其の他勞働賃金の膨脹等の事由に依り、賣上又は收入若くは請負等の如き課税標準となるべき金額の增加に過ぎざるもの蓋し尠しとせず。故に税金增加の割合と實際の營業及物件の發展又は增加の度合は此間幾分の差異ありと見るを至當とす。

營業税收入豫算額實收額對照表

年度	收入豫算額	實收額	摘要
明治四十四年度	六一、五三七円	六五、二一〇円	
大正元年度	五六、七四〇	六一、七九二	
大正二年度	六一、五一一	六四、〇二一	
大正三年度	五八、一四五	五九、七九六	
大正四年度	五九、二三九	六〇、八五五	
大正五年度	六三、三〇七	六八、三三六	
大正六年度	七七、一二八	八四、一〇六	
大正七年度	一一二、〇七四	一二一、二四三	
大正八年度	一三六、六四五	一四七、八六七	實收額欄は見込

雜種税收入豫算額實收額對照表

年度	收入豫算額	實收額	摘要
明治四十四年度	八八、〇一三円	九〇、四四七円	
大正元年度	九〇、四七四	一〇二、六四四	
大正二年度	九九、一七九	九六、八七一	
大正三年度	一〇二、七五一	九六、三六三	
大正四年度	一一六、〇七〇	一二四、八〇二	
大正五年度	一二二、八四五	一三九、七六五	
大正六年度	一三七、〇一五	一四二、四六八	
大正七年度	一四三、六五六	一四八、〇一九	
大正八年度	一四四、七七五	一六六、三八五	實收額欄は見込

●阿緱水道現況　阿緱水道は大正三年七月工を起し大正五年十月全く工成り、大正六年一月より給水の開始を爲したるものにして當時給水人員數は二百五十名に達せざりしが、其後漸次增加して現今に於ては正に五百名を超越し尙日を追ふて增加せんとするの好況なり。其各年度別收入及給水員數は左記の如し。而して本水道の經營は從來總督府作業所の所管なりしが、大正八年七月作業所官制廢止と共に當廳の所管となりたるものなり。

阿緱水道費各年度別收入表

年度	收入金額	人員	摘要
大正五年度	八、七五〇円	二四一人	收入金自大正六年一月至三月末日三箇月分
大正六年度	一三、〇九六	三三二	
大正七年度	一一、〇一九	四一八	
大正八年度	一三、六七〇	五〇一	分收入金は見込

但し大正五年度給水料金は七百七十六圓、六年度四千三百七十圓、七年度七千三百八十六圓にして大正八年度見込額六千七百七十圓なり、前掲收入金の各年度共に工費及其他の雜入を含む

●公學校歲入現況　本島人教育年を追ふて發達普及すると共に、之れに隨伴する校舍の新設增築改造又は其の他の施設に要する支出の增加するは到底免かるべからざる必然の事實に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して尙今後益々本島教育事業の發達普及を督勵助長せざるべからざるの狀態にあるを以て、此意味より推すも將來歲入の增加するは豫測するに難からざるべし。

現今廳下に於ける公學校數及就學兒童數竝に已往七年度間に於ける公學校歲入は左記の通りにして、其歲入の大部分は負擔金なりとす。

公學校歲入年度外表

年度	負擔金	授業料	基本財產收入	其他の收入	計
	円	円	円	円	円
大正元年度	七〇、五七〇	四、九二六	四、四一七	六九、四〇八	一四九、三二一
大正二年度	八七、六八一	五、四六三	七、四八一	五六、〇二五	一五六、六五〇
大正三年度	七五、九六七	五、七五五	一一、二五二	八三、四二七	一七六、四〇一
大正四年度	七四、五一〇	一二、四九七	一六、三四九	五七、九七六	一六一、三三二
大正五年度	七五、三三六	一五、二五二	一〇、〇九三	三〇、九三七	一三一、六一八
大正六年度	七四、四二一	一六、一一九	一〇、〇六五	一八、五〇七	一一九、一一二
大正七年度	七六、九一一	一七、九四〇	八、四七七	三一、二九二	一三四、六二〇
大正八年度	九二、四九六	二一、二六六	六、四六一	四五、二五五	一六五、四七八

備考　自大正元年度至大正六年度間に於て歲入の多きは主に此間に於て廳下大部分に亘り校舍の改築又は新營を爲したるの結果なるへし。

公學校數　二十六校　　就學兒童數　一萬六百三十三名

●學租現況　廳下に於ける學租所屬財產としては建物敷地七厘餘田地十六甲餘、畑地十四甲餘、養魚池二百八十四甲餘、計三百十五甲餘を有するのみにして、之れが學租は四千百六十圓納人十四人なり。之れを借受人の種類別に依り取調ふるに養魚池の全部は阿緱公學校外八校管理者阿緱廳長に貸付し其他の田畑及敷地は總て本島人農民に貸付せり。

學租は督府の方針に依り之れが統一整理を爲しつゝあるを以て、大體に於て公正を保ちつゝあるも當廳下に於ける一部のものは今尙領臺前の租率を其儘踏襲せるが如きものあり。此等は他との權衡を失し租率著しく低廉なるものとあるを以て速に改定の要ありと信ずるものなり。

尙近時一般土地熱の旺盛につれて學租地の拂下を要望するもの頗る多し。（二月報）

臺東廳

●學事會議　大正八年十二月十九日より二十一日まで三日間廳下小公學校、蕃人公學校長及分教場主任を召集し臺東尋常高等小學校に於て學事會を開催し、劈頭第一市來廳長の懇篤なる訓示あり、次に左記諮問事項・注意事項・協議事項と順次進行し、孰れも熱誠なる態度を以て答申及議事をなし頗る緊張したる會合なりき。

諮問事項

（一）公學校蕃人公學校生徒募集及兒童出席督勵の狀況如何（二）小學校兒童の遠路通學及寄宿舍の狀況如何（三）蕃人公學校に於ける本島人生徒の狀況如何（四）實科實習の狀況如何（五）卒業生指導の狀況如何（六）國語普及會の狀況如何

注意事項

（一）學校長の部下職員監督に關する件（二）教授の準備に關する件（三）學校諸帳簿及一覽表の整理に關する件（四）陸軍六週間現役兵に關する件（五）外人事に關するもの三件

協議事項

（一）御大典記念林に關する件（二）農作物病虫害驅除豫防に關する件（三）水產獎勵に關する件（四）職員兒童呼稱に關する件（五）學用品給與及使用に關する件（六）物品請求及傳票に關する件（七）寄附受納及修繕工事に關する件（八）教員參考書購入の件（九）單級小學校の時間割に關する件（十）移民村兒童の方言矯正に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

關する件(十一)成績考査標準に關する件(十二)公學校兒童國語使用に關する件其他教授訓練に關するもの十五件

◉ブヌン族歸順狀況　本廳里壠支廳ブタン族二十四社中十八社に對しては一昨年二回に假歸順を許し、以來引續き鋭意操縱に努めたると一面封鎖の効果として物資供給の途絕へ困憊窮窮の餘り、昨年十月以降歸順蕃を介して屢次會見を乞ひ、各社個々に歸順哀願するもの日に多きを加へ來りたるも未だ未歸順蕃全部の意思に非るを以て悉く之を斥け居りたるに、偶々昨年十月十日リト社の一部蕃人等が玉里支廳下不良蕃の煽動に乘し、輕學同支廳下八通關道路隊襲擊に加はりたることありて未歸順蕃全體は深く之を遺憾とし、且出草蕃人等に於ても自己の言動を悔ひ以來恭順の意を表し居りたり。昨年十二月十九日右出草蕃を除く外未歸順蕃各社頭目勢力者百十四名同道ハイトトソン警戒所線外に來り會見を乞ひたるを以て同警戒所勤務齊藤警部補をして會見せしめたるに、彼等は只管前非を悔ひ現在の窮狀を訴へて投誠歸順を哀願して止まざるより、同月二十日市來廳長は村田警務課長、中村里壠支廳長、竹内理蕃係長以下を隨へ、ハイトトワン警戒所に之を引見し、既往の罪惡を詰り、將來を訓戒し一、絕對官命に服從すること二、將來駐在所復舊及新設に際しては之が道路開鑿を命に違背せざるべきを誓ひ、衷心寬大なる措置を感謝せり。することの二條件を付し假歸順を許したるに、各社頭目は官終て救濟品を交付し、若干の酒肴を惠與したるに嘻々として之を酌み、歌舞徹宵頗る安堵したるもの丶如く、翌二十一日歸社の途に就けり。歸順を許したる蕃社戶口左の如し。

社名	戶數	人口
パカス社	七	九一
ブルブル社	三	六三
マスホル社	二一	一六六
暇未社	一四	一〇三
ミホ・マ社	一〇	九三
リト社	三〇	三八九
計	八五	一,〇〇五

出草蕃タタアク四戶、スパラナン三戶、ハイモス四戶ヲ除ク

◉區長會議　廳下の區行政は住民の大部分蕃人にして區長の如きも未だ曾て開會したることなかりしが、時勢の進步は漸く配下に屬せざるを以て極めて幼稚の域にあり。區長會議の如其の必要を促し來り、大正九年一月二十九日廳構内に於て其の第一回を開催し、先づ市來廳長は總督閣下の御訓示に基き、一視同仁の聖旨に關し諄々として說き、進んで區長の職責、產業の開發、交通の改善、教育の奬勵、生蕃人との接觸、相續未定地整理、勤儉貯蓄等に就て訓示する所あり、次に諮問事項、注意事項と順次進行し、翌三十日午後四時終了せるが孰も眞摯なる態度を以て之に適み、豫期以上の好成績を收めたり。今其の事項を列記すれは左の如し。

諮問事項

(一)區内住民の生活狀態如何(二)區書記の勤怠狀態如何(三)普通公學校設立區域外に在る本島人兒童父兄の意向如何(四)公學校兒童以外に國語を今一層普及せしむる方法如何

注意事項

(一)區長の勤務に關する件(二)日誌其他諸簿册の記錄に關する件(三)管内一覽表樣式の改正に關する件(四)書類及物品の保管に關する件(五)林產物拂下者に關する件(六)流木採取に關する件(七)蕃人より林產物買受に關する件(八)地租の徵收に關する件(九)相續未定地の登記に關する件(十)家稅分賦に關する件

(二月報)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

花蓮港廳

◉購買組合設立　時世の要求に鑑み疑に之れが設立許可申請中なりし花蓮港廳購買組合は一月十五日設立を許可され、既に第一回拂込を了し、着々組合事業の進渉を計り組合員の利便を計りつゝあり。

組合現況

(一)區域花蓮港區一圓(二)組合員數百五十五人(三)出資口數四百七十四口(四)一口金額五圓(五)拂込濟金額一千四百二十二圓(六)取扱物品米、雜穀、味噌、醬油、酒類、乾物類、乾鹽魚類、菓子類、紙類、薪炭、履物類

◉廳下國語演習會　一月十一日午前九時より花蓮港公學校に於て廳下各公學校、蕃人公學校の上級學年並に各國語會より優秀者各一名を選拔招集し國語演習會を開催したり。一般に成績佳良なりしが中にも全く學校教育を受けたることなき蕃人夜學會員が、發音語調正しく流暢に談話したるには一同覺えず感嘆の聲を發したり。閉會に先ち宇野廳長より出席者一同に訓示の後夫々賞品を授與せられたり。當日は同地官民有志廳下各支廳長の臨席ありて頗る盛會なりき。

◉學事會議　花蓮港廳に於ては一月二十一日より三日間廳下小公學校長を招集し大正八年度學事會議を開催せり。督府より平野視學官の臨場あり、廳長及視學官より夫々剴切なる訓示ありて豫定の事項を議了せり、會議事項左の如し。

諮問事項

△小公學校共通の部

(一)本年度學校經營計畫實施案實施の狀況如何(二)訓練要目實施案實施の狀況如何(三)學校敎育内容の充實並社會敎化事業振興上急に施設改善を要すべき事項及之が實行方法如何(四)小公學校實科(高等小學校は實業)は將來地方產業と最も密接なる關係を保ち殊に蕃人公學校に在りては授產の目的を以て廳殖產係及農會と連絡を計り本廳產業奬勵の方針に據り率先して地方に適切なる農事の改良を實施して之を兒童に會得經驗せしめ進みては更に地方一般にも及ぼさんとす之に對する意見如何(五)部下職員の指導並勤務の狀況如何(六)國語普及會活動の狀況並將來發展に關する計畫如何(七)學校の衞生狀況如何(八)共學制度に對する情況如何

△小學校の部

(九)青年會活動の狀況並將來發展に關する計畫如何

△公學校の部

(一〇)本島人に青年會を設立せしむるの可否

△蕃人公學校の部

(一一)蕃人公學校國語敎授時數增加實施後の狀況如何

注意事項

(一)中學校入學志望者推薦に關する件(二)公學校國語敎授に關する件(三)校地の整理利用に關する件(四)流行感冒豫防に關する件(五)運動器具器械に關する件(六)學用品の使用に關する件(七)報告回答に關する件(八)發着信の件(九)出張旅費精算の件(一〇)物品要求の件(一一)物品購入に關する件(一二)寄宿舍に關する件(一三)國語普及會等豫報に關する件(一四)會計書類整理に關する件

打合事項

(一)職員補充に關する件(二)職員島外出張の件(三)卒業生指導の爲め蕃人公學校卒業級數年間農閑を利用して一箇月間程繼續的に一般知識を補充せしする件(四)蕃人公學校卒業生を收容する實業科設置の件(五)蕃人公學校國語假名遣を公學校と同一ならしむる件(六)祝祭日儀式に關する件

（二月報）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

澎湖廳

◉遣外艦隊の入港　遣外特務艦隊の僚艦たる利根は十二月三十日午前八時二十分媽宮港に入港せり。依つて川中子廳長、上瀧内地人協會長、陳媽宮區長、其他官民多數の訪問あり、次で一月七日午後一時旗艦日進入港、同二時同樣訪問、同艦隊は翌二十五日午前八時二十分抜錨相踵み打狗方面に向け出動せり。

◉廳參事及區長會議會開催　一月十日午前十時より廳公室に於て廳參事及各區長を召集し會議を開催せり。川中子廳長訓示あり、次で左記二項を諮問し正午十二時閉會せり。

一、物價騰貴の影響如何
二、習俗改良の狀況如何

◉民事調停成績　大正八年七月以降下半期に於ける民事爭訟調停成績は左表の通りにして、上半期に比し受理件數人事四件を増し、土地三件、建物及船舶二件を減じ、又本年の受理件數は總計七十件にして之を前年の二十二件に比し三倍餘の増加を示せり。

民事爭訟調停成績表　大正八年下半期

種別	受理 舊受	受理 新受	受理 計	既濟 調	既濟 不調	既濟 取下	既濟 其の他	既濟 計	未濟
人事	—	三	三	八	—	四	—	三	—
土地	一	一七	一八	四	二	一	—	七	二
建物及船舶	一	—	一	—	一	—	—	一	—
金錢	—	五	五	三	—	一	—	四	一

◉金融狀況　大正八年七月より十二月に至る六箇月間の金融狀況左の如し。

大正八年自七月至十二月六箇月の金融狀況（一）

月別	區別 種族	金融繁閑	金融繁閑の原因
七月	内地人	閑	風櫃尾部に虎列剌發生の爲め一般衛生に深甚の注意を拂ひたると要港部に於ける外出の禁止及引續き諸物價の騰貴等に因る、
	本島人	同	虎疫發生の影響を受け近海の漁業を一時停止したると、天候不良の爲め漁獲物少なかりしに因る、
八月	内地人	同	米價の奔騰及諸物價依然として下落せざる等に依り一般に貯蓄行はれざりしに因る
	本島人	同	天候の不順、漁況の不良、戎克船の交通少なし爲め移入品の減少、農村は甘藷收穫期に入り購買力を減ぜる等に因し、
九月	内地人	同	大演習の爲め軍艦全部内地に廻航、引續き米價其の他の騰貴等に因る、
	本島人	同	天候不順にして戎克船の交通少なく漁業亦良好ならざりし等に因る、
十月	内地人	同	大演習參加の爲め軍艦全部内地に出動、米、其の他生活用品の相場昂々奔騰し更に先上りの氣配を呈し居たる等に因る
	本島人	繁	落花生及甘藷平年作以上の收穫を得たると、漁獲物の價格騰貴に依る增收、諸職工勞働賃銀の增加等に因る
十一月	内地人	閑	出入船舶の減少せしに因る
	本島人	繁	農作物の豐收、落花生豆、油其の他漁獲の騰貴、勞働賃銀の增加等に因る、
十二月	内地人	同	大演習參加の爲め内地へ出動中の軍艦全部歸港、演習艦隊及遣外艦隊に屬する利根艦の入港、貯蓄金の集金歩合良好なりし等に因る
	本島人	同	鰮漁等の漁期に入りて好況を呈したると落花生油同油粕活豚等の價格騰貴地方勞銀の增加、蓄積米の稍々下落等に因る

大正八年自七月至十二月六箇月間の金融狀況（二）

區別	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
	円	円	円	円	円	円	円
郵便貯金（受）	六、七七五	一〇、五一九	六、三三八	四、七三七	五、一四〇	一一、七〇一	四五、一〇〇
郵便貯金（拂）	五、三六八	九、四七九	七、一八六	七、〇九二	八、六九六	五、九六五	四三、七八六
郵便爲替（受）	一三、四九七	一一、一一九	一三、五一一	一三、四七九	一三、三四七	一三、五〇四	八五、四五七
郵便爲替（拂）	一一、一三八	九、八七三	一〇、七六〇	八、〇六四	一六、一六六	一一、九六一	六七、九六二
振替貯金（受）	一二、八五三	九、五五九	八、〇三三	一四、五一七	九、八八八	二一、二六三	七六、一〇一
振替貯金（拂）	五九四	二、四五九	六〇四	五四三	一、一四八	一、一〇四	六、四五二

代金引換（受）	五、六二三	三、三六〇	三、九四〇	六、七三五	七、六七二	一〇、六四九	三七、九七八
代金引換（佛）	二、二四三	一、二四〇	一、五八九	一、三二四	二、〇一三	三、二五〇	一一、六七九
銀行預金（受）	一六〇、七八一	一六六、一五八	二八九、六五八	二〇一、八〇一	一五八、四七一	二九一、九〇〇	一、二五八、七七一
銀行預金（拂）	一六三、〇九四	一五七、三八五	二六三、二一一	二三八、八〇一	一七九、二二五	三〇二、八二五	一、二九五、五四一
銀行取引（回收）	七〇、〇三八	六五、一六六	七一、五九一	八四、五二一	六五、七一八	一〇九、六六一	四六八、六九五
銀行取引（貸出）	六三、五二二	七一、一四五	九九、〇二二	七〇、〇六九	八三、九五三	九三、一二九	四七九、八四〇
計（受）	二六九、五六八	二五五、八八一	三九一、九五〇	三二四、七九〇	二六〇、三三六	四六七、六七七	一、九七〇、一〇二
計（拂）	二四七、九五九	二五一、五八一	三八一、三七二	三一五、九〇二	二九〇、二一一	四一八、二三四	一、九〇五、二五九

大正八年自七月至十二月六箇月間の金融狀況（三）

區別＼月別	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
媽宮信用組合（回收）	二七、九〇〇	三七、九〇一	二八、六〇五	二七、七八〇	三四、七七五	三一、七〇五	一八三、六九〇
媽宮信用組合（貸出）	二八、六〇〇	二五、〇五五	三五、六五五	二七、八五〇	三五、四七五	三二、九二五	一八四、五六〇

賴母子講（講座數）	三九	四〇	三九	三九	四一	三〇	（月平均）三八
賴母子講（集金額）	九、五四四	九、六五二	九、四九二	九、五七六	九、九九六	六、六九三	五四、九五三
出稼（人員）	一〇、七一九	一〇、四七五	一〇、六三六	一一、二六四	一一、七四五	一三、一五〇	（月平均）九、一一二
出稼（送金額）	一〇、三五七	一〇、〇一六	七、〇〇〇	七、一三〇	八、一六三	一三、一〇六	五四、六七二
媽宮魚市場取扱高（斤數）	八九、〇一五	六一、三九四	九六、八五九	五八、七五二	五一、七七六	八〇、四二四	四二八、二二〇
媽宮魚市場取扱高（價額）	九、一八九	八、〇一七	一一、八九九	八、九八九	一〇、一一〇	二〇、九一〇	六九、一一四
計　金	八四、四八〇	一〇〇、六四九	七七、六五一	八一、三二五	九八、五一九	一〇四、三五九	五四六、九八九

◎貨物集散の狀況　大正八年七月より十二月に至る六箇月間媽宮に於ける貨物集散の狀況左の如し。

大正八年自七月至十二月六箇月間の貨物集散の狀況（一）

月別	區分	集散貨物代	前月に對する比較增△減	增減の原因
七月	媽宮南支那間（輸出）	円 五、六九七	△一七、八七九	落花生油、同糟、乾魚、鰹魚の出少なかりし爲め
	同（輸入）	五、五二七	△三〇、七〇四	木材、石油の入少なかりし爲め
	同內地間（移出）	三、七〇〇	二、八九八	石炭、炭、鋼、田鉄等の出多かりし爲め
	同（移入）	七四、〇六四	六五、七七八	大豆、綿布、木材、其他雜品の入多かりし爲め
	同臺灣各港間（移出）	三五、〇〇八	△四一、二四六	乾、鹹魚類の出少なかりし爲め
	同（移入）	八〇、六三二	△五五、〇九二	米、切干藷、砂糖の入少なかりし爲め
八月	媽宮南支那間（輸出）	五、二三七	△四六〇	落花生油、糟、活豚等の出少なかりし爲め
	同（輸入）	一六、二〇六	一〇、六七九	玄米、砂糖、貝類等の入多かりし爲め
	同內地間（移出）	八、一〇五	四、四〇五	落花生、豆、鰯、乾魚の出多かりし爲め
	同（移入）	三三、〇一一	△四一、〇二三	精米、綿布、燐寸、木材等の入少なかりし爲め
	同臺灣各港間（移出）	四〇、二八五	四、三七七	落花生、豆、鹽、乾魚の出多かりし爲め
	同（移入）	四二、三六五	△三八、二六九	玄米、薪、木炭、其他雜品の入少なかりし爲め
九月	媽宮南支那間（輸出）	二八、〇五七	二二、八三〇	落花生、同油、干鯵等の出多かりし爲め
	同（輸入）	五、四三三	△一〇、七七三	玄米、木材、唐紙、煉瓦等の入少なかりし爲め
	同內地間（移出）	—	△八、一〇五	移出無かりし爲め
	同（移入）	一九、九七五	△一三、〇六六	米、木材等の入少なかりし爲め
	同臺灣各港間（移出）	三六、三八五	△四、〇〇〇	活豚、鹽漬魚、鹽干鰮等の出少なかりし爲め
	同（移入）	七〇、一三一	二七、七六八	玄米、木炭其他雜品の入多かりし爲め
十月	媽宮南支那間（輸出）	二、九三五	△二五、一二二	落花生油、同糟、鹹魚、乾魚等の出少なかりし爲め
	同（輸入）	二、二一四	△三、二一九	玄米、木材等の入少なかりし爲め
	同內地間（移出）	四、七〇〇	四、七〇〇	落花生、豆、同油、鹹魚、乾魚等の出多かりし爲め
	同（移入）	三三、六七二	三三、六九七	白米、酒、綿布、砂糖木炭等の入多かりし爲め

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	同 臺灣各港間	移出	五〇、四〇三	一四、一一八	落花生豆、同油、鹽魚、乾魚等の出多かりし爲め
		移入	八六、一六三	一六、〇三三	白米、酒、綿布、砂糖、木炭等の入多かりし爲め
十一月	媽宮南支那間	輸出	一三、一九六	九、二六一	落花生油、同糟等の出多かりし爲め
		輸入	二一、〇三八	一八、八二四	米、木材、陶磁器、布帛、麥粉、木炭の入多かりし爲め
	同 内地間	移出	三九、〇八〇	三四、三八〇	落花生油、同糟等の出多かりし爲め
		移入	一六、四七六	△三七、一九六	白米、砂糖、綿布、雑貨の入少なかりし爲め
	同 臺灣各港間	移出	四五、〇八一	△五、三三二	海産物及落花生油等の出少なかりし爲め
		移入	九一、六三三	五、四七〇	米、木材、陶磁器、布帛、麥粉、木炭の入多かりし爲め
十二月	媽宮南支那間	輸出	一五、五七七	三、三八一	落花生油、同糟の出多かりし爲め
		輸入	一〇、三二七	△一〇、七一一	米穀、木材、其他雑品の入少なかりし爲め
	同 内地間	移出	八、九三五	△三〇、一四五	落花生豆、生皮、海産物等の出少なかりし爲め
		移入	三五、一五二	一八、六七六	白米、豆類、酒類、砂糖、綿布、薪炭の入多かりし爲め
	同 臺灣各港間	移出	二八、四三三	△一六、六四八	落花生豆、生皮、海産物等の出少なかりし爲め
		移入	九四、九一四	三、二八一	白米、豆類、酒類、砂糖、綿布、薪炭等の入多かりし爲め

大正八年自七月至十二月六箇月間の貨物集散の状況（二）

區別		七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
媽宮南支那間	輸出	円 五、六九七	円 五、二三七	円 二八、〇五七	円 二、九三五	円 一三、一九六	円 一五、五七七	円 六九、六九九
	輸入	五、五二七	一六、二〇六	五、四三三	二、二一四	二一、〇三八	一〇、三二七	六〇、七四五
媽宮内地間	移出	三、七〇〇	八、一〇五	—	四、七〇〇	三九、〇八〇	八、九三五	六四、五二〇
	移入	七四、〇六四	三三、〇四一	一九、九七五	五三、六七二	一六、四七六	三五、一五二	二三二、三八〇
媽宮臺灣各港間	移出	三五、九〇八	四〇、二八五	三六、二八五	五〇、四〇三	四五、〇八一	二八、四三三	二三六、三九五
	移入	八〇、六三二	四二、三六三	七〇、一三一	八六、一六三	九一、六三三	九四、九一四	四六五、八三六
計	移出	三九、六〇八	四八、三九〇	三六、二八五	五五、一〇三	八四、一六一	三七、三六八	三〇〇、九一五
	移入	一五四、六九六	七五、四〇四	九〇、一〇六	一三九、八三五	一〇八、一〇九	一三〇、〇六六	六九八、二一六
	輸移出	四五、三〇五	五三、六二七	六四、三四二	五八、〇三八	九七、三五七	五二、九四五	三七〇、六一四
	輸移入	一六〇、二二三	九一、六一〇	九五、五三九	一四二、〇四九	一二九、一四七	一四〇、三九三	七五八、九六一

◉重要産物價格　廳下に於ける大正八年七月より十二月に至る六箇月間重要産物の價格左の如し。

大正八年自七月至十二月六箇月間重要産物の價格

品名	月別	單位	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
落花生豆	本月中平均價格	一升	五二	五五	六〇	六五	七〇	八〇
	前年本月中平均價格		五〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
落花生油	本月中平均價格	一斤	三二〇	三四〇	三四〇	三六〇	三六〇	三八〇
	前年本月中平均價格		二八〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三五〇
甘藷	同	同	一六	一八	二〇	二〇	二三	二三
	同		一四	一九	二三	三五	三〇	二五
切干藷	同	同	三三	三五	四五	五〇	五〇	五〇
	同		四四	六三	六二	七〇	六〇	五〇
乾魚	同	同	二二〇	二二〇	二六〇	三三〇	五〇〇	四八〇
	同		一一〇	三〇〇	三二〇	三一〇	三〇〇	三〇〇
鹽魚	同	同	一四〇	一四〇	一九〇	二四〇	二五〇	三三〇
	同		八〇	一五〇	一六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
生魚	同 上	同	一五〇	一六〇	二〇〇	二五〇	三五〇	三三〇
	同 下		六〇	六〇	九〇	一六〇	二二〇	一八〇
	同 上		一〇〇	二四〇	二六〇	二五三	二六〇	二〇〇
	同 下		八〇	八〇	一〇〇	一五〇	一八〇	一二〇
活豚	同	同	二四〇	二四〇	二四〇	二五〇	二七〇	二八〇
	同		一六〇	二二〇	二三〇	二二〇	二二〇	二五〇
活鶏	同	同	四〇〇	四二〇	四二〇	四〇〇	四〇〇	四五〇
	同		二〇〇	三〇〇	三二〇	三八〇	三八〇	三二〇
鶏卵	同	一箇	二三	二三	二三	二五	三九	四〇
	同		一三	一六	一八	二〇	三〇	一五
鍋田鉄	同	百匁	七五〇	八〇〇	八〇〇	九〇〇	一、二〇〇	一、三〇〇
	同		七〇〇	七五〇	七五〇	八〇〇	七五〇	七五〇

海南漫評

夢裡客

僅見廣告無遲疑。株式申込投巨資。
一攫萬金夢裡客。事業成否非所期。

二三四

亭仔脚心得物置。行人迷惑不介意。
雨天尙更冷騰頻。汚自轉車二三四。

春分節

陽曆實行奬勵頻。百年習一朝難新。
張替門聯休職業。春分節至始迎春。

昔無替

堂堂廣告値上際。下落時不知顔濟。
大正既迎九回春。商人根性昔無替。

用意深

黴菌廣存無邊際。防之以僅鼻口蔽。
諸君自信用意深。側目却笑猿智惠。

又一年

毎度承禁酒宣傳。御尤至極敬服專。
唯爲積習還難改。一年一年又一年。

麗名陳

平生面識有無人。死亡廣告麗名陳。
遺族注文逝者意。虛榮徒買識者顰。

無置身

朝塋一人暮一人。墓地擴張不見垠。
吾憂幾萬千年後。生者却無地置身。

（百十八萬里）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

研究資料

日本の原稲神話に伴へる餅の的の承傳

蕉　鹿　夢

清少納の枕草紙うらやましきものゝ項下に、『稲荷詣』といふ事の見ゆるにても知らるゝ如く、京都の伏見に近き、深草山の北方、稲荷山の麓なる、稲荷神社は、古來世の崇敬尤も厚く、今に詣賽の盛んなること、優に他の諸祠に超ゆると謂はれて居る殊に二月初午の日に行ふ神事は、元正の朝以來の由緒で、所謂る稲荷詣とは、聽で之を指し示したのである、さて此イナリといへる社の名の起原に就きて、

伊奈利と稱ふるは秦の中家の忌寸等が遠祖伊侶具の秦の公稲を積みて、富裕を有てり、仍餅をもて的と爲せるに、化して白き鳥に成り、飛び翔りて山の峰に居、稲成り住ひき、遂に社の名と爲す、（山城風土記逸文）

といふ傳承がある、乃ち秦公伊侶具が、名族を以て、家富み榮ゆる儘に、米の裕かなるに任かせて、餅を以て的に作り、矢を射るに用ひしに、其時的の餅、白鳥に化して飛び去つたといふのであつて、而かも其鳥の止まつた處は、稲荷山の三箇峰で、こゝに稲が成り生ひた事の、甚だ靈異なので、伊侶具は之を神とし祭り、イネナリの社と稱したのが、元明天皇の和銅四年で、其裔孫中家に至り、祖先の過ちを悔悛し、社の木を根こしにして、己が家に移し植ゑ、其靈を齋き祭つたのは、現在の神社である、故に後々までも、其木を植ゑて生ひつけば、幸を得、若しも枯るれば、福あらずと言ひ傳へ、凡そ此社に詣づる者の、杉の葉を折りかざして家に歸るを例とせしも、此因みであるといふことである、夫木集に、『きさらぎや、今日初午の。しるしとて。いなりの杉は。もとつ葉もなし』と見ゆるなども、之を其詠草に取つたのであらう、餘談はさておき、斯種趣味ある傳承の分布は、啻に近畿の一方のみではあらぬ、西は山陰を經て、海を隔つる九州にまで及んで居る、豐後の國に行はるゝ田野の長者の物語は、即ち是れの一つである、

速見郡田野、此野廣く大に、土地沃腴なり、開墾の便り、此土に比へるなし、昔郡内の百姓、此野に居り、多く水田を開き、糧を餘まし、畝に宿し、大に已が富に奢り、餅を作

りて的と爲す、時に餅白鳥と化し、飛て南にゆく、當年の間、百姓死に絶えて、水田造らず、遂に荒れはてたり、それより以降、水田に宜しから　、今田野と謂ふは其緣なり、（豐後風土記）

或は別に異說があつて、是れは玖珠郡の田野の誤りらしく、其他の物語の混入であらうとも言ひなされ、而かも玖珠の傳說では、「和邇部藤彥といふ人、神功皇后の征韓に從ひ、凱旋の後、病と稱して、玖珠の田野に隱れ、其孫大に土田を開きて、田野の長者と呼ばる、後數世、驕奢無狀、嘗て餅數千を作り、以て地塼と爲し、米を礎りて假山と爲す、榮華盡き果て丶、漸く貧困となり、且つ子孫死に絶えて、水田復た耕す者なきに至れり」といふのであるが、要するに、驕奢の限りを盡し丶餘り、米の濫耗を縱にしたといふ筋は、前後同一である、そして米の餅と白き鳥との聯想は、兎角過去の日本人を支配したりしもの丶如く、

景行天皇の御代、豐國直等の祖、菟名手に詔し、豐國を治めしむ、豐前の國仲津の郡中臣村に往き到る時に、日暮れて宿れり、明くる日の昧爽に、忽ち白鳥あり、北より飛び來りて、此村に翔けり集まる、菟名手卽ち僕を勸めて、其鳥を見せに遣れり、鳥化して餅と爲り、しばしの間に、又芋數千株と化し、花葉冬榮ゆ、菟名手之を見て、異瑞と爲し、朝廷に奏す、天皇歡びまし、「天の瑞物、地の豐草、汝の治むる國は、豐國と謂ふべし」と宣ひ、重ねて姓を賜はりて、豐國直と曰ふ、（豐後風土記）

との古るき語り繼ぎなどもある、之を前者に合せ考ふれば、餅と鳥と主客を一轉して居るが、同圏說話の變體に屬することは、固より疑惑の餘地を持たぬ、而して斯種思想の發顯は、漸次に後世にまで影響しだものあるらしく、今昔物語に、次の如き興ある情話の一齣を載せて居る、勿論之に餅との交涉は見えぬとしても、詮する所、源を類似の傳承より汲める、換骨脫體たるを失はぬであらう、

今は昔………男ありけり、其妻、形美麗にして、有樣微妙かりければ、夫去て難く思て棲みける程に、妻夫寢たりける間に、男の夢に見る樣、此我が愛し思ふ妻、我れに云く、我れ汝と相棲むといへども、我れ忽に遙なるに行きなむとす、汝を今は見るべからず、但し我が形見をば留め置かむ、其れを我が替りに哀むべきなりと云ふと見る程に、夢覺めぬ、男驚き騷ぎて見るに、妻なし、起て近き邊に、此れを求むるに、無ければ、奇異と思ふ程に、本は無かりつる枕上に、弓一張立ちたり、此れを見るに、夢に形見と云ひつるは、此れを云ひけるにやと、疑ひ思て、妻若し尙はや來ると待てども、遂に見えずして、夫戀ひ悲ぶといへども、甲斐なし、此れは若し鬼神なんどの變化したりけるにやと、怖しく思ひけり、さりとて今は何かはせむとすると思て、其弓を傍に近く立て、明け暮れ、妻の戀しさま丶には、手に取り、搔巾ひなどして、身を放つ事なかりけり、さて月來を經る程に、其弓前に立てたるが、俄に白き鳥と成て、飛び出で、遙に南を指して行く、男奇異と思ひて、出で見るに、雲に付て行くを、男尋ね行て見れば、紀伊の國に至りぬ、其鳥亦人と成りにけり、男されぱこそ、此れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は只物には非ざりと思ひて、其れよりぞ返りにれる……又降りて文政初年の著作と覺しき、中川顯允の石見外記に據れば

昔那賀郡波子村に、富農あり、其子正月に、破魔引を射る遊戯を爲せし折ふし、的なかりければ、歳德の神へ供へ置きし、鏡餅を廻はして射たるに、不思議なるかな、矢鏃に血附きたり、其神罰にや、其年よりして、餅を搗けば、いつも凶變ある故に、餅を搗かず、此一族を的場黨と呼ぶとぞ

との逸事を掲げてある、そして個人關係の風俗であるが、日本の諸地方に通じ、正月に餅を搗かぬ家、將た餅を食はぬ家筋の、往々存在するなども、恐らく餅の的系統の古るき信念に導かれたる、習慣の惰力であるまいか、鎌倉時代このかた、年の始めに、病といふとを忌みて、歡樂といひし故事（吾妻鏡の承久二年の條）など、對照するときは、緣喜を主とする新正の節儀に、須らく爾かあるべき事態であるが、併しながら、其淵源は更に遠きに討ねゝばならぬ、

餅の的、畢竟するに、稻穀の天惠を保てる日本に於て、米の餘裕に伴へる、或る驕奢の濫耗を戒めたりし、尊重すべき古代思想の顯はれと謂ふべきである、

千九百十九年度 比律賓貿易概況

越村生譯

千九百十九年度比島貿易は異常の發展を來し、世界をして比島の貿易の進展及財源の開發の無制限なることを首肯せしむるに至れり。千九百十八年度に於ける貿易の大發展に驚かされ、樂觀者悲觀者共に斯現象は決して普通のものにあらざれば、戰時狀態終止後必ずや平時の貿易狀態に復歸すべしとなし、且つ毎月の輸出額は必ず減少すべしと當時豫想せしが果して輸出額は著しき減少を來せるも、島民一般の不安を減ずる程度のものならざりき、

千九百十九年度を回顧すると共に、吾人は貿易に對する批判の標準と將來發展の礎信と、更に新世紀の大問題を容易に解決し得るてふ自覺とを得たることを確信す。生活費の膨脹せると同樣戰爭に依りて起りたる比島内各類の發展は益々擴大たらざるべからず。今や比島は一大國となれるを以て將來に於て必ずや前年度の貿易を凌駕すべき貿易の出現するに至るべし。

千九百十九年度比島貿易額は二千一百萬ペソの輸出減を示せり、本年度は恐らく前年度同樣輸出減の狀態を示すならんも斯る大差額は或は生せざるべし。亦輸入に於ては千九百十四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年以降一億七千一百萬ペソの輸入超過を示せり。而して今一二年間は農工業の發展に緊要なる機械類を輸入せざるべからざるを以て輸入超過の狀態を持續すべし

◉輸入輸出　左記表は最近六箇年間の輸出入額及貿易總額を示す(單位ペソ)

	輸入	輸出	貿易總額
千九百十四年	九七、一七七、三〇六	九七、三七九、二六八	一九四、五五六、五七四
同　十五年	九八、六四二、三六七	一〇七、六二六、〇〇八	二〇六、二五六、三七五
同　十六年	九〇、九九二、六七五	一三九、八七四、三六五	二三〇、八六七、〇四〇
同　十七年	一三一、五九三、六五一	一九一、三〇八、六一三	三二二、九〇二、二六四
同　十八年	一九七、一九八、四二三	二七一、三六五、〇七一	四六八、五六三、四九四
同　十九年	二四七、二七八、一〇四	二二六、二五五、五二二	四七三、五二六、六二六

右表に依れば比島貿易總額は、千九百十四年以降絶えず增加せるが、千九百十八年迄は主として輸出增加なりしも、十九年度に於て輸入著しく增加せり。恐らく千九百二十年度に於ても比島貿易額は前年度と同額なるべし。

千九百十八年度に比し本年度に於ける輸入の大宗は鐵及鋼鐵製品、自働車及其他の奢侈品なり。紙の輸入額亦著しく增加せるが、其他の輸入品としては米魚及其他の食料品及綿布を除き一般に增加せり。

◉貿易の分布　左表は各國との貿易の分布百分率を示すものなるが、合衆國との貿易は逐次增加し、英國は唯々名目のみとなれり。

國／年	一九一四	一九一五	一九一六	一九一七	一九一八	一九一九
合衆國	四九	四八	五〇	六〇	六〇	五七
日本	六	六	八	九	一三	七
香港	二	六	三	四	｜	二
英國	一一	一二	一二	八	三	二
佛領印度支那	三	六	五	三	七	二

◉財政　千九百十九年中流通せる貨幣の增加を示せば左の如し

	千九百十八年十二月三十一日	千九百十九年十二月三十一日
比島貨幣	二五、五九〇、一四七・八八	二四、一七八、九四五・〇一
國庫證券	九五、一一二、五二三・〇〇	九九、五二九、六三五・〇〇
比島銀行券	五、九六二、八五二・五〇	八、七八五、八四〇・〇〇
比島國之銀行券	四、四〇七、三五九・六五	一四、〇八二、五三六・一〇

千九百十八年十二月三十一日現在國庫金銀殘高は一億七千三百萬ペソにして千九百十九年同日殘高は一億二千三百萬ペソなりき。

◉貿易の發展　現在比島の會社總數は二百七十二社にして公稱資本四一、七二六、七〇四ペソ、內一三、三七〇、三三八ペソは千九百十九年中に拂込まれたり。今此會社を種別せば

自然財源開發目的のもの	五九	商事會社	九〇
製造工業會社	四六	雜	七七

更に利源開發會社中四十九會社は農業に從事し、公稱資本總額三、三二九、八〇〇ペソなり。商事會社中五十一は一般商事に從事し、總資本額一〇。六八八、五〇〇ペソを有す。一般製造會社中に八箇の精米場を入るべく、其資本額三三五、九〇四ペソなり。雜種會社中私立學校三十ありて其資本金五萬九千ペソなり。

此外千九百十九年中登記せる組合二百九十七ありて資本總計九、八九六、七五二ペソ。又外國人會社十ありて其總資本金三五、九一〇、一〇〇ペソなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

千九百二十年度に於ては、萬般事業の發展と共に成立すべき會社の數増加すべく、外國資本の投下せらるゝもの又増加すべし。

◉マニラ麻　最近三箇年に於ける麻輸出額を示せば左の如し

	噸	價格（ペソ）	一噸當價格（ペソ）
千九百十七年	一六九、四三五	九三、六一五、五五九	五五二
同　十八年	一六九、二六〇	一一六、三八三、一〇〇	六八七
同　十九年	一三一、八九八	五三、七二五、〇五二	四一〇

千九百十年當初麻の比島及英國在庫高は三八〇、〇〇〇俵、米國には約二五〇、〇〇〇俵ありき。而るに千九百十九年中合衆國に三七五、〇〇〇俵、英國に五四五、〇〇〇俵、輸出されたるに拘らず、同年十二月三十一日依然比島に三五〇、〇〇〇俵の在庫品ありしを以て、同年末に於けるマニラ麻の狀況は同年當初と大差なかりき。

千九百十九年度の需要額は前年より少かりしと雖も、毎月絶えず四百乃至五萬俵輸出せられ、同年末數箇月は毎月十萬俵以上輸送せられたり。

價格は一般に高騰し、戰前上等品一擔一六ペソ乃至十八ペソなりしものも三十ペソを上下せり。七月「コミシオン、レグラドラ、ドヘネケン」會社破産せし當時、墨西哥サイザル市價に大變動を來し、サイザル價格一封度一五仙より十仙に下落せしが、延いてマニラ纖維市場の取引不活潑伴ひたり。

◉椰子油　最近三箇年間の椰子油輸出高を示せば

	噸	價格	噸當價格
千九百十七年	四五、一九八	二二、八一八、二九四	五〇七
同　十八年	一一五、二八〇	六三、三二八、三一七	五三〇
同　十九年	一三九、九三六	七三、七一九、三〇四	五三〇

千九百十九年の椰子油輸出額は前年度よりも約一割六分の増加を示せり。戰亂終了後及千九百十九年の當初、椰子油事業は極めて緩漫なる爲め、千九百十八年度中設立されたる椰子油工場は恐らく中止の止むなきに至るべしと豫測せられたり。されど同年度末に至り各工場は依然作業し、歐洲各國は自國工場を保護する爲め椰子油の輸入を禁止せるにも拘らず、同業は漸次活況に向へり。之は卽ち合衆國が實際、比島の全産油額を咀嚼し得たる爲めにして、却て同年度に於て椰子實の缺乏及價格の高率及工場に對する電力の不足等種々の困難の外、更に歐洲と比島爲替率の高價てふ大難關に遭遇し、之が爲め殆んど椰子油又は椰子實の輸出を阻止さるゝに至れり。

其後爪哇其他東洋各地に於ける椰子油工業の著しき發展に連れ、椰子實の充分なる供給を受くること困難となりし結果、他國よりの輸入を受くることを得ざるのみならず、更に椰子實産額増加の時まで、毎年二十五萬噸の自國産額に滿足せざるべからざる苦境に陷り、勢ひ隨所に落花生栽培を獎勵するに至れり。

世界各地の椰子油工場の椰子實需要額は到底今日の産額を以て充す能はず。爪哇は完全に自給自足の狀態なるも、比島は今日す倍する産額を要す。今日世界に於ける椰子油工場の數は知るを得ざるも、東洋の産額を全く消費するの數に昂るべし。簡言せば世界の椰子實に對する需要は無限とも云ふべければ椰子實の栽培又は落花生●大豆●カポックの種●護謨の種等の代用品の産額を增加せざるべからず。

●煙草　最近三個年間の葉煙草及葉卷煙草の產額を示せば左の如し。

▲葉煙草

	噸	價格	一噸當價格
千九百十七年	六、八九〇	四、五九九、八七五	七六六
同　十八年	二五、七四八	一二、六八五、二四八	五〇七
同　十九年	二〇、一七二	一二、四五九、二一二	六二三

▲葉卷煙草

	千本	價格	一本宛價格
千九百十七年	二八四、五二五	九、五八八、一九二	三二
同　十八年	三五九、六六五	一四、二三三、四三七	五九
同　十九年	三九二、三三四	一八、一五七、七〇七	四六

千九百十九年比島の煙草貿易は著しき變化を來せり。合衆國に於ける同盟罷業は引いて同國に於て比島製產煙草の大需要を齎せり。前揭統計表の示す如く千九百十九年度比島葉煙草等の輸出額はやゝ減少せるも、葉卷煙草は四百萬ペソ增加し、漸次同地煙草市場に於て益々好良なる地盤を固めつゝあり。歐洲及支那への輸出額亦極めて多く、概言せば同年度の比島

煙草貿易は可なり活氣を呈したり。斯る好況は合衆國煙草市場に於て比島葉卷煙草の永久的地盤構成の爲め行はれたる廣告運動に依ること亦大なりしこと言を俟たず。

●砂糖　過去四年間に於ける比島產精製糖及粗製糖の產額を示せば左の如し(單位噸)

	精製糖	粗製糖
一九一六年	五〇、〇〇〇	三二四、一〇二
一九一七年	七五、〇〇〇	三一〇、七九八
一九一八年	七八、〇〇〇	四五二、六八五
一九一九年	三〇、四五四	一〇六、一六七

千九百十九年度に於て糖業も亦極めて活氣を呈せり。同年度に於ける砂糖の世界生產額は前年度より約二百萬噸少く、且つ交戰國に於ける甜菜糖の產出は戰前の產額に恢復すること困難なりしを以て、世界各地は著しく砂糖の不足に苦みたり。價格勢ひ高騰し、日本市場に於ける比島需要額亦剩增し、マスコバド砂糖の支那に販賣せられたるもの多額に昂り、比島糖業の前途益々多望なるを認むるに至れり。(一月二十五日マニラタイムス所載)

臺灣に於ける蔬菜栽培に就て

安倍輝吉

筆者安倍氏は總督府農事試驗場技手として現に蔬菜栽培の專任たり、而して本篇は氏の實驗上本島の地理的位置より將來斯業の有望なるべきを記述せるものなり(編者)

一　蔬菜栽培ノ必要

近年「ヴイタミン」に關する研究の結果に依れば穀菽類を主食

物となす場合に於て蔬菜類は必要缺くべからざるものにして若し之を缺くに於ては動物體の保健生育を充分ならしめ得ざるのみならず特殊の疾病を醸し、或は繁殖作用を害し、遂に子孫の體質を著しく弱からしむと。古來穀菽類を主食品となす東洋諸國に於て蔬菜を副食物となすに至りしは、實に食物の配合衞生的に理に合せるものと云ふべし。斯の如く蔬菜は人類の生活上必要缺くべからざる特殊要素を含有するものとせば蔬菜栽培は東洋人に對して絶對的價値を有するものと云ふべく、單に食品嗜好の問題として考ふべきものに非ざるや明かなりとす。

本島に於ける蔬菜栽培は之を他の農作物に比し其進歩著しからざるものあり。殊に本島種蔬菜類は内地人の趣向に適せざるもの多く且つ之を得ること困難なる場合少なからず。遠く母國を離れて生活の慰安少なき本島に於て、日夜孜々として勤勞する同胞に對し、美味なる蔬菜を豐かに食膳に供へて、一日の勞を慰し、家庭の健全を計ること實に些事に非らざるべく、又本島人三百有餘萬の保健生育のため蔬菜栽培隆盛の途を講し、農家の福利を增進せしむるは當に吾人の務むべき所なりと信ず。是れ余が蔬菜栽培に關する經驗未だ完からずと雖も、敢て茲に本稿を草し本島に於ける蔬菜の需要供給、栽培の現況及將來に就き聊か卑見を述ふる所あらんとす。

二　本島に於ける蔬菜の需要供給

本島三百六十四萬人の消費する蔬菜類は其量決して少なからずと雖も、之に對する統計を缺くを以て其實量を知ること能はず、今假に一人一日平均一錢價の蔬菜を消費するものとして計算するときは一人一箇年三圓六十五錢にして、臺灣全島の消費額は實に一千三百二十八萬圓の多額に達するを見る、本島に於ける之が作付面積も亦た正確なる統計なしと雖も、最近殖産局の調査に依れば本島主要蔬菜蘿蔔(ダイコン)外十五種の作付面積一萬二千八百九十六甲なり。此外本島に栽培せらるゝ蔬の種類は五十五種の多きに達し、之れが栽培面積は前十五種に比し僅少なりと雖も本島に於ける蔬菜作付總面積は一萬五千甲歩を下らざるべし。

此外本島に於て消費せらるゝ蔬菜類にして内地及外國(主として支那)より移輸入するもの又少なからず。總督府統計(大正四、五、六三箇年平均)に依るときは移入蔬菜及同加工品價格三十六萬九千八百五十三圓、輸入蔬菜類加工品及種子十三萬四千三百六十八圓、合計五十萬四千二百二十一圓の多額に達す。之れに依りて察するも如何に本島に於ける蔬菜の需要盛なるかを知るに難からず。尙總督府統計(大正四、五、六三箇年平均)に依り移輸出年額を見るに移出額は四萬三千九百三圓、輸出額十一萬〇六百八十八圓、合計十五萬四千五百九十一圓に達するを見る。此外内地に郵送せらるゝ量少なからず。之れが總量を知ること能はずと雖も臺南、嘉義、臺北地方より一人年額數千包を送附するものあるは吾人の屢々耳にする所なり。而して現今本島に於ける移輸出入蔬菜の種類を檢するに、移入品としては主として玉葱、爪哇薯、澤庵大根、牛蒡、蕪菁、葱、慈姑(クワイ)、百合、乾燥大根等にして、輸入品(主として支那)は蒜頭慈姑、金針、菜、西瓜種子、蓮實、鹽漬大根等其の主たるものなり。移出品は茄子、蕃茄(トマト)、乾筍、甘藍、白菜豌豆、菜豆、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

皇帝豆、花椰菜を主とし、輸出品は乾筍最も多く胡瓜、西瓜等之れに次ぐべし。

三　本島蔬菜栽培の現況

蔬菜栽培の目的たるや自家用及營利的の二にして、前者は各自の家庭に於て消費する外娯樂的に栽培することあり。反之後者は專業なると兼業なるとに別なく主として營利を目的となすものなり。故に營利栽培は多く都會附近に於て行はるゝを常とし、田園地方に於ては多く自家用栽培行はるゝものなり。而して本島の栽培も亦其班に漏れず。栽培盛なる地方は都會附近にして各々其適地を選び栽培に從事し之れを市場に出すのみならず、人口比較的少なき田園地方の需要に應ずる狀態なり。前述の如く田園地方の農家は各自小面積の地域に自家用栽培をなすと雖も、蔬菜栽培たるや多くの勞力と周到なる技術とを要するものなるを以て其煩を厭ひ、僅かに栽培簡易なる種類を自作し、優良蔬菜は之れを地方市場及行商者に求むるを常とす。之れ或は本島舊慣として蔬菜栽培者を一般に卑しむ風習より生じたる事なるべしと雖も、近時世運の變遷と物價の騰貴とは彼等に其舊慣を墨守するを許さず田園地方に於ても蔬菜栽培稍々盛ならんとする傾向を生じたるは獨り斯業發展上のみならず本島農業開發上悦ぶべき現象なり。又本島交通機關の發達は當局の獎勵と相俟つて地方的特殊の蔬菜を産出すべき氣運を生せしめ、從來全く栽培せざりし種類も其適地に於て産出せられて、各地の需要に應じ地方的利益を擧ぐるものあり。例へば臺南廳下楠仔坑、新竹廳苗栗桃園廳下砂崙竹圍地方の西瓜、臺南、嘉義廳下の內地茄子等の如き之れを各地に分配し、或は北部地方に於ける牛蒡、人參、蓮根等を中南部に送り、南投、嘉義、臺南地方の筍を北部地方に搬出し、中南部の南瓜、胡瓜、茄子、大根、越瓜等を北部地方に於ける缺乏期に供給するが如き是實に近年に於ける新傾向なり。都會附近に於ける營利的栽培者中臺北附近にありては一般農家にして他作物と共に蔬菜栽培を行ふもの稍々多きも、他地方に於ては尙ほ專業栽培者少なからず。殊に中南部に於て多し。之れ該地方に於ける經濟的事情に歸因する所あるべしと雖も、其主なる原因は中南部に於ける蔬菜類の生育最も良好なる冬春の季節は乾燥期にして灌水を要すること多く、從て栽培稍々困難にして其勞を厭ひ、一般農家の好まざる所なるが如し。然りと雖も近時蔬菜栽培の有利なるを知りて蔬菜を栽培するもの增加し、小市街附近に於ける資力少なき專業者數を減ずるに反し、都市附近の普通農家にして舊慣を捨て、蔬菜栽培專業を行ふ者增加するに至りしは明かに斯業の發達に一新紀元を劃するものと云ふべし。

栽培者の耕作面積は位置、資產、經營法、就業人員の多少により一定せらるも、余の調査に依れば本島人專業者の栽培する園地は一人當平均一反五畝乃至二反歩にして年收二百圓內外なるが如し。故に一農家三人の就業者あるときは六百圓を得る割合なり。而して都會附近に於て最も集約なる經營をなす蔬菜栽培者にして、內地人料理屋を顧客となすものゝ如きは僅かに二三反の面積より千圓以上の收得をなすものあり。又斯の如く集約的ならざるも五反歩內外より五六百圓乃至千圓以上の收得をなすと云ふ。元より之等農家は蔬菜栽培を專

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

業となすものあると共に、花卉草花栽培を兼業するものありて何れも多數の勞夫を使役すること常なり。本島人普通農家にして蔬菜栽培を兼業となすものにありては栽培簡易なる白菜、甘藍、大根、葱、蒜、南瓜、胡瓜、茄子、越瓜等を間作又は輪作として品薄の時期に供給し意外の利益を得ることあるも、多くは其收益面積の割合に少なきを常とす。

本島の蔬菜は其種類內地及外國蔬菜と異なるもの多く、又同一種類にしても其品種を異にせるが故に內地人の嗜好に適するもの少なく、在臺內地人の苦痛とする所なりしが、農事試驗場及各廳農會に於て之れが試作の結果成績優良なるものは其種子を配布し、或は栽培法を指導し、之が奬勵に努めし結果近年に至りては本島人間に於ても之れが栽培の有利なるを覺り年々栽培者を增加するに至れり。一例を擧ぐれば十年前本島に於ては見ること能はざりし花椰菜の如き目下各地の市場に販賣せられ、或は內地茄子西洋西瓜の如き各地に於て產出せらるゝに至れり。然りと雖も市街を離れたる田園地方に於ては未だ品質良好なる內地及外國蔬菜の如何なるものなるものなるやを知るもの尠なきは遺憾とする所なり。

本島在來蔬菜は氣候風土に適合し、性質强健にして栽培容易なるもの多く、內地及外國種に比し特殊の技術を要すること少なきは本島種の特徵とすべき點にして、栽培法中一大秘訣とも稱すべきは灌水法にあるが如し。是れ本島は一般に氣溫高きのみならず中南部地方に於ける乾燥期（十一月乃至四月）にありては土地濕分を失ふこと激しく、且つ全島を通じ害蟲の繁殖迅速なるを以て是等の被害を免れんがため、屢々灌水を行ひ作物を速成せしむること必要なり。殊に多量の水分を要する葉菜類の如きは灌水の有無により生育收量及品質に影響を及ぼすこと大なり。

農事試驗場及各廳農會の試作狀況により見る時は本島の氣候風土は各種の蔬菜栽培に適し（玉葱を除く）、其生育良好なるのみならず品質佳良なるもの少なからず。例へば甘味を尊ぶ西瓜の如き其味溫帶地方產の比に非らず。又皇帝豆（ライマ豆の一種）の如きは其味他に比類なく「其名稱に添ひたる味を有す」。結球白菜、花椰菜、蕃茄（トマト）、胡瓜、越瓜等は栽培容易なるのみならず品質に於ても內地產に讓らず。其他茭白筍（菰）萱薯等の熱帶蔬菜產出す尙又栽培季節に就て述ぶれば、八月下旬より翌年四五月に至る期間は氣候溫和にして溫帶及寒帶地方の蔬菜に適し爪哇薯、甘藍、花椰菜、結球白菜、蕃茄等は冬春季に栽培すべく、胡瓜、越瓜、茄子、菜豆の如きは殆んど其時期を選はざるも生育最も良好なるは春季より夏季に至る期間なり。

本島夏季より初秋に至る七、八、九月は暑熱甚しく、之に加ふるに驟雨劇しくして蔬菜栽培甚だ困難なり。之れ即ち本島に於ける蔬菜缺乏の時期なりとす。此期間に於ては熱帶的蔬菜類にあらざれば生育不良なりと雖も余の經驗に依れば敢て不可能事に非らず。周到なる注意を拂ふときは尙能く蔬菜栽培を行ふことを得るなり。而して夏季蔬菜の缺點とする所は冬春季產に比し品質不良なると收量少なきとにありと雖も、將來夏季に適する蔬菜の種類及栽培法を講究して之れが將勵に努むるときは、缺乏期に於ける蔬菜の供給を豐ならしむるを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

得るに至るべし。

四　本島蔬菜栽培の將來

本島に於ける蔬菜栽培の狀況は以上の如しと雖も、今後本島の開發に伴ひ人口の增加と一般住民の嗜好の上向は其度を高め、到底現今の狀態に甘ずることなかるべく益々良蔬菜の產出を切望するに至るや必せり。されば斯業の改良發達を計り、本島住民の需要を充すと共に少なからざる移輸入を防ぎ、尙ほ進んで冬季寒國地方に於て栽培困難なる蔬菜を產し、或は移輸出用採種の業を營み、或は南洋地方の需要に應ずることを得ば本島住民の福利を增進せしむること甚大なるべし。冬季寒國地方に於ける蔬菜の需給の狀況を見るに、此時期に於ても多少の生蔬菜なきに非らざれ共多くは貯藏品にして一般に之れが缺乏を來し、一般人民の不自由を感ずること少なからず。近時大都會に於ては此時期に溫室栽培又は早春速成栽培等行はれ、不時品の供給ありと雖も價格高く數量少くして一般の需要力に比すれば實に九牛の一毛にも足らずして、暖國產の供給を待つこと甚だ切なるものあり。現に內地東京橫濱市場に於ける小笠原產蔬菜の歡迎せらるゝ如き、或は神戶大阪京都東京等の市場に會々本島品現はれ好評を博するが如き狀態なり。之れがため內地大都會の青物商にして蔬菜取引の希望を以て渡臺し、本島蔬菜の調査をなすものありと雖も不幸にして本島に於ては斯業未だ振はずして彼等の需要に應じ能はざること多し。本島冬季の蔬菜中寒國地方の輸送に適するものは南瓜、茄子、蕃茄、莢菜豆、莢豌豆、花椰菜、甘藍、結球白菜等(現今西瓜及胡瓜は內地移入禁止品)にして、之れが栽培困難なるもの少なきを以て將來寒國輸送は甚だ有望なるものたるべし。又將來益々開發さるべき南洋地方は冬季と雖も氣溫比較的高く栽培容易ならざる蔬菜少なからずと聞く例へば比島政府に於ては軍遂用として年々日本及支那地方に玉葱、瓜哇薯等を求め、其他南洋各地一般住民用として乾燥蔬菜を輸入すと云ふ。若し斯の如くんば本島產爪哇薯の如きは實に有望なる輸出先を有するものと云ふべし。本島冬季は爪哇薯の生育に適し畑地に於て栽培し得るのみならず。臺中以北の水田に於ては休閑せる期間裏作として利用するの便あり、而も其收穫期たる二三月は內地其他の寒國に於ける貯藏期にして品薄の季節なるを以て競爭品少なく、南洋地方に輸出するに甚だ好都合と云ふべし。故に本島に於て水田裏作とし爪哇薯の栽培を獎勵し、近時我國の一大問題たる食料自給の一助として島內の需要を擬め、猶ほ輸出品となすは有益なる事なりとす。此外花椰菜種子の如きは內地其他に於て採種甚だ困難なるため一オンス(約八匁)十圓以上に販賣せらるゝが、本島に於ては之れが採種稍々容易にして一反步二斗以上を收め得るを以て、尙ほ採種法を研究するに於ては斯業も亦有利の一事業たるを失はず。其他本島特產たる皇帝豆の如き靑果として販賣する外之れを罐詰となし、或は本島に於て栽培容易なる蕃茄を以てソースを製造し輸出品となすが如き其經營宜しきを得ば將來有利なる事業たるを信ず。斯の如く本島の蔬菜栽培は地理的位置、栽培の時期、市場の範圍に於て極めて有望なるは明かなりと雖も果して將來擴張すべき余地尙ほ存するや、之れ一考を要すべき問題なり。余は之を調査

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するの機會を有せざるを以て具體的に論ずること能はずと雖も、余が視察せる所に依れば現今蔬菜栽培の行はるゝ市街附近に於ても尙ほ之れを擴張するの餘地あるのみならず田園地方に於ても亦之れに適するの地少なからず。殊に臺中以北の水田に於ては第二期水稻作後冬季間裏作として利用し得るの便あるを以て擴張地の不足の如きは單に杞憂に過ぎざるべし。又勞力供給に關しても具體的に陳述するの材料を有せざるも余が實地農家勞力分配に就て視察する所に依れば本島主作物たる稻甘蔗等の植付手入收穫等繁忙期以外に於ては勞力供給の餘地を有す。殊に多くの蔬菜類は冬春の候普通農家の比較的閑散なる時期の栽培に適するものなれは勞力供給も之れを憂ふるの要なかるべし。近時農村振興策として主作物外一般副業の奬勵せらるゝ時機に於て、蔬菜栽培の如きは勞力配當上本島に於ける好適の業務たるべし。

實に亞熱帶に位する本島の位置は蔬菜栽培の前途をして有望ならしむるものと云ふべし。

以上述べたるが如く本島の氣候風土が各種の蔬菜栽培に適し又其季節內地と異なるを以て啻に島內の需要を充すに止らず更に歩を進めて蔬菜及其加工の移輸出をなし得るの便ありと雖も、現今に於ては尙ほ蔬菜の供給不足して年額五十萬圓內外の品を移入に仰がざるべからざるの狀態にあり。されば蔬菜栽培の發展は本島農業者の正に講究せざるべからざる所なり。殊に輓近農産物の價格騰貴して農家の經濟裕なるに際し、之れが將勵宜しきを得ば斯業の發達期して待つべき者あらん乎。(完)

印度に於ける獨逸人

(一九二〇年一月八日新嘉坡フリープレッス)

マドラス商業會議所の總會に於てゴルドン、フレーザー卿は獨逸が印度貿易の地盤復活苦肉策に就き一場の演説を爲せり曰く

余と獨逸の貿易業者が戰前取引せる印度の顧客に送れる手紙を見たるが極めて親密なる辭令を羅列しありたり昨年余が屢々言及せる如く吾人は獨逸商をして再び英國領土內に戰前に於けるが如き商業勢力を播殖せしめざる樣充分注意せざる可らず英國政府に於ては此の點に關し斷乎たる命令を發せんことは余が衷心冀望する所なるも遺憾乍ら首相及印度政府は對敵國人政策に對し因循日を延しつゝあり若し今にして斷乎たる處置を取るに非ざれば印度は再び獨逸商人の跋扈跳梁を默認せざるべからざるに至るべし

新會頭のシムプソン氏も此點に關し述べて曰く

一獨逸染料會社がマドラスの市價を參照しつゝあるを聞けりされど相場は北海渡にて現金は和蘭銀行の指揮ならざらべからざりしを以て右取引は中止されたりと

支那の言文一致

言文一致は支那でも其必要を認めたと見え此程支那に於ける全國教育聯合會が、支那の國文を言文一致に改正せんと決議し、又た國語統一籌備會は小學國文科に國語を用ひしめんと、孰れも北京教育部に向て實行を具陳したが、今回教育部は、彌々具體的に省署へ左の通牒を發した。

（通牒）我國言文の紛岐せるは、影響の及ぶところ第一學校教育上の進步遲滯の苦痛を感ぜしむる而已ならず、即ち人事社會に對しても精神統一の利器を缺ぐに至れり。若し此際急に言文一致を實行せざれば、文化の發展望む可らず。本教育部も統一に關しては積極的進行を圖りつゝあり。現時全國教育に關する輿論の趨向は、何れも國民學校國文科の國語を語體と爲すべきを主唱せり。情勢此の如くなれば、國語教育の提唱は實に今日の急務たり。就ては本年秋季を期し、凡ての國民學校に於ける一二年級より、先づ國文を語體文に改めて言文一致の效果を擧げんことを期すれば、宜く此主意を貴署より所屬の各學校へ傳達實行せしめられたし。云々（廣東七十二行抄譯）

支那人の觀た朝鮮人

朝鮮人の社會階級は從來貴族・兩班・中人・常人及び下賤の五類に區別され、貴族は即ち公侯伯子男の有爵者で、此類の者は全國僅に十數人に過ぎぬ。兩班は從前文武の兩班に列し政治上の權利を占むる者だが之には數種の區別がある。即ち現任の士大夫、或は一地方に於ける自尊の士、又は地方の富豪と京中の士大夫と姻戚の關係を結ぶ者、乃至は鄉黨に威勢を有する士族、並に嘗て成均館（經學院）鄉校等に於て孔子の學を修めし者或は書院に蟠居し科擧に應ずる資格を具有する者（儒生）等で中人とは嘗て醫學・天文・刑律・兵馬・通譯・書畫家技術官の經歷を有する者を云ひ、常人とは農・工商・民・宦官・僧尼・藝妓・卜巫等を云ひ、下賤とは公私の奴婢及び白丁を指稱する。然し通常兩班と稱するは士大夫及び未出仕の儒生のことで、其團體を儒林又は士林と稱す。又た班常とは貴族・兩班全體の稱で中人以下の全部に對しての區別である蓋し兩班は朝鮮民族中最も勢力を有する者で、道德文學藝術を目的とし、此の階級に在りては科擧に應じ官吏又は軍役に任用せされ、租稅を免ぜらるゝ等の特權がある。然し孰れも遊惰安逸に耽り、勤勉職に從ふの風は漸次頹廢して來た。故に常民は恒に兩班の使役となりて完全の人格を認められない。就中僧尼は最も卑められて居る又た中人以下の者は如何に奇才英俊の者でも兩班以上に列し高官に就くを許されない。且つ一般に階級の區域が甚だ嚴重で一階級差ふても交際婚姻を仕ない、是に於て上級者は自然下級者を凌辱する。然し今日では是等の風習が漸次改良されたがマダ／＼朝鮮の風俗は尙ほ古來の佛敎儒敎の風化や又は各種の迷信的思想に囚はれ、禮節の風、長幼の序の如きは天定の尊と認め、卑幼者は年長者を尊敬して居る又た既婚者は未婚者に對して年少者と雖も尊大の地步を占めて居る。隨つて未婚者を輕侮する風があり是が爲め早婚の惡習がある。一般に迷信深く當今稍々改良に向ひつゝあるが、鄉間村落に到りては依然迷信者が多い。

茲に朝鮮人の性質に對して概評を下して見やう。鮮人は溫柔・寬仁・謹厚・好古の風があるが、神經液質の者が甚だ多いので老衰し易い。表面は從順の長處あるが、而かも其深奧は實に強堅忍耐の性に乏しい。尤も其程度は地勢に依つて差異がある。今各道に分ちて之を言ふと、京畿道及び忠淸道は文化の程度が稍々高く、智慧に富み、辭令に巧みだ。全羅道の者は多幹多きも輕快奢侈の風がある慶尙道の者は淳厚梗直で樸質。平安道の者は强勁猛烈で淳美の風に缺けて居る。黃海道と平安道とは略々同じたが稍々淳良に近い。江原道の者は除味だが、素性儉樸だ。咸鏡道の者は性直忍耐だが巧才に乏しいと云はれて居る。（汕頭大風日報抄譯）

（寰）

記錄

教育短信

◉芝山巖祭　去る二月一日臺灣教育會の主催にて芝山巖に例祭を執行致候本島教育最初の犠牲者たる遭難六氏以外匪難番害及び風土病に罹りて此處に合祀せらるゝ者百四十九人と相成内女子十一人本島人二人有之候殊に最近一年間の殉教者は從來の記錄を破りて十六人の多きに上りしことは酸鼻の至りに候當日の參拜者は川崎副會長、曾田參謀長、富島警務、堀内學務、隈本高商、木村匡氏を始め無慮百數十人、山口宮司の祝詞につぎて川崎副會長は木村會長の祭文を代讀しそれより會衆一同順次參拜して式を終へ候。

◉理科教授要目　小學校の理科は從來第五第六學年に課せられ居候處文部省にては昨年四月より第四學年にも之を課することに改められ本島小學校にては本年四月より右改正規則實施の事と相成候然るに實際教授上準據すべき教科書未だ之なき爲今般督府にては小學校理科教授要目調査委員十五人を任命せられ候該委員は此程來大車輪にて右要目の調査編纂に從事し既に脱稿の上目下印刷中の由に候へば三月中下旬の交までには發行の運びに至るべしと存候。

◉地理教科書　豫ねて内務局編修課に於て編纂中の公學校地理教科書は過般脱稿致目下教科用圖書調査委員會に於て審査中の由に候然るに該審査は尚多少の時日を要し候由に付臺灣教育會は特に總督府の認可を得て該稿本の貸下を受けその儘印刷發行して他日總督府より正式教科書の發行あるまで便宜各公學校に於て之を使用せしむることゝ相成昨今印刷中の由に候へば是亦三月中下旬の交までには發行の運びに至るべしと存候。

◉國語普及會　國語の普及を目的とせる施設は今や全島到る處に有之大正八年十一月末の調査によれば分會支會支部等を合せて其の數八百八十七を算へ會員總數無慮四萬四千三百二人修了者總數實に二萬六千九百三十一人に上れる由尤も會の名稱、會期、會場、科目、學習時間等は地方により區々にして一樣ならず候へども其の組織内容は大同小異なる由今各廳別に其の數を示せば左の通りに候。

	會數	會員數 男	會員數 女	會員數 計	修了者數 男	修了者數 女	修了者數 計
臺北	五二	二、五三一	二三〇	二、七六一	七八〇	一一七	八九七
宜蘭	五五	一、七九七	九二	一、八八九	一、三六〇	一三七	一、五一七
桃園	二八四	八、五三〇	四、五七五	一三、一〇五	四、八二〇	一、四七二	六、二九二
新竹	五六	二、五九九	八七一	三、四七〇	三、五〇一	七九二	四、二九三
臺中	七二	二、七一三	四〇二	三、一一五	四、三八九	六六三	五、〇九二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南投	七	一七六	一〇九	二八五	四六九	一六五	六四四
嘉義	四五	一,九八五	六三	二,〇四八	九九八	四三	一,〇四一
臺南	三三三	一一,九六五	一,四六二	一三,四二七	五,三二四	七六四	六,〇八八
阿緱	四三	一,九六三	二四九	二,二一二	二〇六	—	二〇六
臺東	一九	七四七	—	七四七	一四七	—	一四七
花蓮港	一九	四〇三	四七九	八八二	四二三	四五	四六八
澎湖	一三	二五〇	一一一	三六一	二四〇	四六	二八六
計	八八七	三五,六三九	八,六四三	四四,三〇二	二二,六六七	四,二六四	二六,九三一

◉國語演習會　臺灣教育會が國語奬勵の目的を以て毎年一回開催し來れる國語演習會は二月二十一、二十二の兩日臺北師範學校に於て其の第六回を開く由公演者を廳別身分別にすれば左表の通りに候

	二十二日午前九時ヨリ正午マデ 公學校兒童 男	女	計	二十一日午後一時ヨリ午後四時半マデ 蕃人公學校生徒	國語練習會員	計
臺北廳	三	一	四	—	五	九
宜蘭廳	二	—	二	—	二	四
桃園廳	二	—	二	—	三	五
新竹廳	二	一	三	—	四	七
臺中廳	三	一	四	—	五	九
南投廳	二	—	二	—	二	四
嘉義廳	三	一	四	—	三	七
臺南廳	三	一	四	—	五	九
阿緱廳	二	—	二	一	三	六
臺東廳	一	—	一	二	一	四
花蓮港廳	一	—	一	二	一	四
澎湖廳	一	—	一	—	一	二
計	二五	五	三〇	五	三五	七〇

右の中公學校兒童は本年三月卒業すべき六學年生中より選拔せるものにて當日卽題を課して直に話さしめ蕃人公學校生徒及び國語練習會員は豫じめ題目を準備し置きて話さしむるものに有之何れも毎人四分以內の時間の由に候何れ其の實況は次號に御報道可申上候

◉高商の無試驗入學　總督府高等商業學校にては目下入學生徒募集中の處各地方より中等學校長の推薦により無試驗入學を希望し來れるもの左の通りの由に候（湖山生）

臺北中學校	九人
臺南中學校	三人
鹿兒島第二中學校	一人
鹿兒島加治木中學校	一人
佐賀市立商業學校	二人
高知縣海南中學校	一人
私立北陸中學校	一人
神奈川縣小田原中學校	一人
私立埼玉中學校	一人
千葉縣佐倉中學校	一人
東京私立目白中學校	一人
東京私立荏原中學校	一人
東京私立豐國中學校	一人
青森縣八戸中學校	一人
沖繩縣第二中學校	一人
計	二十六人

滋養の二大妙藥

小壺齋主人

□朝鮮人參が能く血液を增し、精力を補ふと云ふので一時非常に流行し出し何やら商店ダトカ、何やら會社ダトカ、人參專門の會社や商店がムヤミに出來る

□人參藥の種類も澤山出來た、人參錠ダトカ、人參エキスだとか、人參村だとか、人參酢だとか人參葉だとか人參屑だとか、數限りもないことになつた、果ては人參畑の土まで賣りに來る樣になるかも知れぬ、なんと盛んなコツテナイカ〳〵

□去年も或人參會社の株式募集の廣告を見たら、一年に五十萬圓？賣捌く豫算になつて居たが、斯んな割合で行くと、人參專門の會社商店が十箇所あるとすれば其賣下高が五百萬圓、若二十箇所あるとすれば二五の一千萬圓、大したヮケダが扨て材料が其れ程澤山あるかドーダカが疑問だ

□先年本家本元なる朝鮮の人參專賣局の或お役人の直話に依ると朝鮮人參朝鮮人參と大した景氣だが、悲しいかな其佳良品の產地と云ふのは、朝鮮の某地方に於ける一箇村しかないのだから、佳良品とも云ふべきものは鼻屎ホドシカ無ク、朝鮮人一箇月の需用にも足りないので困ります、トアツタツケ

□ダカラ當局者の認めて以て佳良品となす某村以外のものもドシドシ賣捌かれて居るわけだ越後あたりでは朝鮮人參の原料が大分栽培されると云ふ風說まで起つて來たのも之れがため

□斯う考へて見ると、こんな遠い臺灣クンダリに住んで居る吾々の口に垂らし込む人參エキスなどは如何なる成分から成立つて居るものか想像が付かぬことになる尤も昔しから人參を喰ふと精分を增すとか、助倍になるとか謂はれて居るのだから何に人參のエスキだつて多少効能のない事はあるまいが、遺體の分らぬものを垂らし込むのかと思ふとうんざりせざるを得ないれ

□其れよりか一層効能は鈍くとも、性の知れたもの丶方が餘ポドイイザヤアナイか其れザヤア何がいゝのかと來るだろうが私には其れが一つも二つもあるんだヤアありとスルンダネ

□此間巴拿馬運何開通紀念萬國博覽會出品目錄と云ふ馬鹿長い標題の本を見たら、支那の部に、蛤蚧酒と云ふのと白花蛇酒と云ふのがあつたが、私しが滋養の二大妙藥と云ふのは即ち其れなんだ

□一體蛤蚧と云ふのは井守や壁虎の兄弟分で、支那は廣西省の鎭南所屬の各縣から出る名產だ、其性陰に屬し、尾に非常な精力を持つて居ると云はれて居る小動物だ、本草綱目にある山蛤と云ふのとは少し違ふ

□之を捕へて頭と四肢とを去り、體部と尾部とを普通の酒の中に浸し置き、其れから十四五日經つと、酒が淡綠色になる、之れが出來上つた徵候なので、其れが即ち蛤蚧酒なるものだ

□蛤蚧の精は尾にあるから、專ら尾を取つて酒に浸したのを以て、佳良とする尙ほ其交接して居る所を捕へて浸したものを以て最佳中の最佳とするのださうだ

□之れを飲むと陰を滋し、陽を補ひ、兼て風濕を袪るの効ありとあるが、其れは所謂賣藥の効能書で何も彼も書立てたのだから眞の効能は前段にありと見ればよいのだ

□次は白花蛇酒なるものだ、之れも前のと同一目錄中にあるのだ、白花蛇は讀んで字の如しで、頭と尾とは少しく淡紅色を帶びて居るが、體部は青黑色で、其満身に白く模樣があつて、餘り見ばのよくないやつだ、之れも支那は廣西省の百色龍州の諸縣から出る名產だ

□其製造法は素燒罎に酒を一杯に入れ、其中に生きたまゝの白花蛇を投入すると蛇は酒を飲んで間もなく仆れる、普通一罎は蛇二匹を入れることにして居るが、罎の大小に依て或は四五匹或は八九匹まで入れても宜しい、

□蛇を入れたら、罎の口に栓をなし其上を蠟を用ゐて封して置く、斯くして十五六日を經ると、酒が碧色となる之れが出來上つた徵候だ、之を飲用すれば、同じく陰を滋し陽を補ふの効ありとあるのだ、

□偖て其陰を滋し陽を補さは、どんなことかと質問したがる人もあるが、其れは何とか博覽會審查報告文中にある一句だと云ふより外私には分りませんが、只何となく人參と同一効能を持つたものかの樣に感じたから、其代用品にもがなど書き竝べて見たまでのことだ尙精確の所を確めたいと思ふ方は同審查委員にはがきでもやつて見たらどんなものだらう

□尙ほ自分で蛤蚧や白花蛇を捕り得ない、お無精連に話して置くが同目錄の記入する所に依ると、蛤蚧は一匹五十錢、白花蛇は一匹四十錢づつで、廣西省は邕寧縣城の各藥種で店賣つて居るとあるから、御氣に召したら御逹慮なく御注文下さいぢや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

統計

金融及貿易統計

（財務局調査）

臺北手形交換所手形交換月表（大正九年一月分）

銀行名稱	枚數	借方金額	差引殘高	差引殘高	枚數	貸方金額
臺灣銀行臺北本店	四、三八七	五、七五二、二一八・三七	一九三、三四六・六四	三、五九〇、七八四・一〇	六、一八三	九、一四九、六五五・八三
三十四銀行臺北支店	四、三六二	五、四三九、八九一・〇二	一、〇五三、六〇五・六八	四八三、九六四・五九	六、四一一	四、八七〇、二四九・九三
臺灣商工銀行臺北本店	七、二三四	二、三三三、四八七・一八	六九〇、九五三・〇九	二〇九、三九二・三九	四、九九三	一、八五一、九二六・四八
彰化銀行臺北支店	三、五四六	二、〇〇五、八七一・三四	八九八、二七八・六一	六〇、〇八四・七六	二、二七六	一、一六七、六七七・四九
新高銀行臺北本店	五、〇二五	三、九八四、九一七・〇五	一、一四八、四九四・七九	三三八、六二九・一六	六、二二七	三、一七五、〇五一・四二
臺北郵便局	二、三六六	二、四四六、一五三・一八	八〇三、五一四・三六	一六八、九八五・三四	二、八八六	一、八一一、六一四・一六
華南銀行	二、二一八	七二、六八三・七八	六三、六三七・一七	—	一六三	九、〇四六・六一
合計	二九、一三九	二二、〇三五、二二一・九二	四、八五一、八四〇・三四	四、八五一、八四〇・三四	二九、一三九	二二、〇三五、二二一・九二
前月合計	四三、五七五	三四、七〇五、〇六八・九四	八、八六二、五七二・七九	八、八六二、五七二・七九	四三、五七五	三四、七〇五、〇六八・九四
前年同月合計	三三、三〇一	一七、八三五、二八〇・一五	三、四九八、五四六・七六	三、四九八、五四六・七六	三三、三〇一	一七、八三五、二八〇・一五

臺南手形交換所手形交換月表（大正九年一月中）

銀行名稱	枚數	借方金額	差引殘高	差引殘高	枚數	貸方金額
臺灣銀行臺南支店	一、三九八	一、四九九、〇八四・七九	五、四二八・三六	一、三九六、七一一・八五	二、四六一	二、八五〇、三四八・二八
三十四銀行臺南支店	二、二二〇	一、八五七、二一五・五六	二二三、一〇五・〇五	四〇二、一五五・五七	四、一三三	二、〇三六、二六六・〇八
臺灣商工銀行臺南支店	三、七〇二	二、一〇六、一五九・五七	五二六、七六五・二八	一一四、九八五・六三	三、二九二	一、六九四、三七九・九二
嘉義銀行臺南支店	四、四一二	二、二七四、五〇〇・四三	九四〇、九三八・一一	—	四、五一九	一、三三三、五六二・三二
臺南郵便局	二、一二八	一二三、五八四・一五	一〇八、三四一・五八	—	一八二	一五、二四二・五七
新高銀行臺南支店	二、一六〇	一、〇八一、五三一・四三	二二八、〇六六・八三	一二八、七九二・一六	一、四三四	九七二、〇九六・七六
合計	一六、〇二〇	八、九〇一、八五五・九三	二、〇四二、六四五・二一	二、〇四二、六四五・二一	一六、〇二〇	八、九〇一、八五五・九三
前月合計	二〇、四五九	八、五〇九、一〇五・七四	一、七一四、八五二・六八	一、七一四、八五二・六八	二〇、四五九	八、五〇九、一〇五・七四
前年同月合計	一四、四三一	五、〇五三、九九七・五一	一、〇一八、二二五・二五	一、〇一八、二二五・二五	一四、四三一	五、〇五三、九九七・五一

臺灣銀行券發行高並準備保證高（備考　△印ハ制限外發行高）

年月日	銀行券發行高	國庫在高	市場流通高	準備並保證	
				準備	保證
	円	円	円	円	円
大正九年一月末日	四九、〇四九、九八二・〇〇 △五、九八二、〇二〇・八〇	四、九七九、二七四	四四、〇七〇、七〇八	二三、〇六七、九六一・二〇	二三、九八一、〇二〇・八〇
前年同月同日	四一、三四一、二八〇・〇〇 △一二、二九九・九二	二、五八六、六五九	五八、九五八、六四一	二一、五二八、九八〇・〇八	二〇、〇一二、二九九・九二

各銀行放資額（大正八年十二月中重要物産に對する）

銀行名	區分	米	砂糖	茶	樟腦	金紙	酒精	石炭	計
臺灣銀行	放資額	円 一九、三一二、五一九	円 二七、五六六、二七六	円 五七二、三二六	円 四五二、一二一	円 六三、八二八	円 三二三、三九五	円 二、五七六、二六六	円 五〇、八六六、七三一
	月末貸殘高	一八、八五八、三七五	三〇、九〇一、〇六七	七、四〇四、三九六	一、五四九、五五六	七三、三六六	四九二、四六〇	四、四八五、二一一	六三、七六四、四三一
三十四銀行支店	同	四一〇、〇四八	二四三、三六三	三一、〇〇〇	—	—	—	—	六八四、四一一
	同	一、一七一、八九六	一、〇〇一、三七二	一八、七三七	—	—	—	—	二、一九二、〇〇五
臺灣商工銀行	同	三〇二、五四三	二三〇、六五七	—	—	—	—	—	五三三、二〇〇
	同	七一六、七一二	一九四、六〇七	—	—	—	—	—	九一一、三一九
嘉義銀行	同	一〇〇、六〇四	一八三、八五一	—	—	—	—	—	二八四、四五五
	同	二四一、二二〇	三六二、四〇六	—	—	—	—	—	六〇三、六二六
彰化銀行	同	一、九一七、七八一	八二六、七八二	—	—	—	—	—	二、七四四、五六三
	同	一、五三三、六八〇	六一三、二六八	—	—	—	—	—	二、一四六、九四八
新高銀行	同	一、七二五、八三九	一、一六三、五〇八	一四八、四一〇	—	五八、八〇〇	—	一一〇、三九一	三、二〇六、九四八
	同	一、八五三、七六六	一、一五四、五九九	三二三、二一九	—	三五、一〇〇	—	一三七、五四四	三、五〇四、二二八
華南銀行	同	二、〇五四、三六〇	七八二、九五五	六四八、五九一	—	—	六二八、六七五	一三八、六四三	四、二五三、二二四
	同	二、一〇四、六七八	一、二五四、〇〇八	七〇五、六一〇	—	—	六三四、八七九	一〇五、八一六	四、八〇五、〇三一
合計	同	二五、八二三、六九四	三一、〇一七、三九二	一、四〇〇、三二七	四五二、一二一	一二二、六二八	九五二、〇七〇	二、八二五、三〇〇	六二、五九三、五三二
	同	二六、四八〇、三二七	三五、四八三、三二七	八、四五一、九六二	一、五四九、五五六	一〇八、四六六	一、一二七、三三九	四、七二八、五八一	七七、九二九、五五八
前年十二月	同	一七、一九一、八三四	一六、九五二、四九六	一、二二九、四六六	二、三九三、五一六	五八、六七七	八二、五六二	一、〇六五、三八九	三八、九七三、九四〇
	同	一五、一二六、五九二	二二、七〇三、二三三	一、三七二、九八八	四、四二〇、八二〇	七三、三八六	三三九、四六八	一、四六四、四一二	四五、五一〇、八九九
累計	本年放資額	一七六、八七五、五一一	二三三、六四一、九九三	一八、八一六、五八六	一六、〇四〇、三一一	八三五、二九八	三、〇九四、八四三	二五、二二一、〇二一	四七四、五二五、六〇三
累計	前年放資額	一〇六、九八六、五九二	一四一、七三八、六〇七	二四、六三六、三五七	二九、五五九、九六八	二、五八九、三三七	二、九八四、七七九	五、五〇二、三〇七	三二三、九九七、九四七

預金貸出金及金銀在高表（大正八年十二月末）

銀行名	預金	貸出金	金銀在高
臺灣銀行	円 四二、八七八、八四三	円 一二二、五五七、七三九	円 三、七五五、一一四
三十四銀行支店	六、三二一、五五七	六、五四二、九七五	二七八、一三六
臺灣商工銀行	一一、一〇八、八一四	一三、一二五、九三七	三五〇、六八四
嘉義銀行	五、八一四、六八八	六、二七〇、九九一	一五六、五四〇
彰化銀行	六、九六二、六六四	一一、九〇〇、六六三	一〇七、六八八
新高銀行	六、六四一、五四〇	九、一八四、〇九五	五七九、五四八
華南銀行	六、一〇一、〇九七	八、六七〇、七七二	九、五九一
合計	八五、八二九、二〇三	一七八、二五三、一七二	五、二一七、三〇一
前年十二月	六二、〇五四、六七九	九八、九一一、六四八	四、七〇四、一七九

臺北物價調(別表)（大正九年一月末）

本表ハ明治三十五年一月ノ物價ヲ一〇〇トシテ算出シタルモノナリ（△印騰貴、▲印下落）

內地人側

品名	本月	前月	前年同月
白米	△四〇一・二七	三九一・七一	三〇八・九二
清酒	五六六・六七	五六六・六七	二七六・四七
麥酒	二〇四・五五	二〇四・五五	一五九・〇九
澤庵漬	二八二・六一	二八二・六一	一九七・八三
小麥粉	△三二八・二一	三〇七・六九	二五六・四一
鰹節	△三四五・二四	三二一・四三	二三八・一〇
醬油	二六五・〇〇	二六五・〇〇	一四七・五〇
白木綿	六七四・一六	六七四・一六	四〇四・五〇
石炭	△二八五・七一	二五〇・〇〇	二五〇・〇〇
煉瓦	△四七一・四三	四〇〇・〇〇	二二八・五七
日本形瓦	四三一・八二	四三一・八二	二九五・四五
平均	△三八六・九七	三七二・三五	二九一・一七

本島人側

品名	本月	前月	前年同月
玄米	三三八・九三	三三八・九三	三二三・七〇
紅酒	△二六四・〇〇	二四八・〇〇	二四〇・〇〇
砂糖	△六三一・五八	五七八・九五	二四五・六一
鴨卵	▲三五五・五六	三七五・三三	二八八・八九
綿布	四〇七・四一	四〇七・四一	三四二・五九
木炭	二六六・六七	二六六・六七	一六六・六七
薪	二二三・八八	二二三・八八	一七一・六四
石油	三三二・二六	三三二・二六	四二二・五八
火油	二七一・四三	二七一・四三	二三五・七一
平均	△三四三・五二	三三八・〇七	二七〇・八二
總平均	△三六七・四二	三五六・九二	二六〇・〇二
本月ヲ一〇〇トシテノ比較	一〇〇・〇〇	九七・一四	七〇・七七

信用並信用兼營組合事業一覽表

大正八年十一月末日現在

種別／廳名	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金（円）	貸付金（円）	土地建物什器（円）	有價證券（円）	預け金（円）	假拂金（円）	割引手形	其他（円）	現金（円）	計（円）
臺北	二三	八,九三七	五六,一〇六	五五九,六四七・三六〇	二,二六六,二六二・六一〇	一八,七五八・八一〇	—	五五,五三六・九八五	二,〇九九・三二〇	—	四八四・一二〇	二九,三〇七・二三〇	二,九五二,〇九六・六三五
宜蘭	五	一,五一九	一一,五六四	一九〇,四四二・〇〇〇	五二九,九六六・〇〇〇	四,八七七・四二〇	—	三四,七五一・五五〇	—	—	二六二・七〇〇	五,二一七・六〇六	五六五,五九七・〇七六
桃園	二四	一一,三〇八	四一,三〇六	一五一,八八九・〇〇〇	一,六九六,八八一・〇〇〇	三,九五一・五一〇	—	一四,五八五・五〇〇	—	—	—	四一,七九一・一三九	一,七七〇,一九九・九四九
新竹	二〇	六,七七九	五六,一五一	四二一,〇一二・〇一〇	一,二八九,五六一・五五〇	六,〇三八・九一〇	五三五・〇〇〇	六五,一六五・六四〇	一,二二二・〇〇〇	二〇四,二二八・〇〇〇	二二,八五八	四二,三四七・一五二	二,〇二八,五二〇・一二〇
臺中	二七	一九,四九五	四六,六四一	四二九,五二八・六〇〇	四,三二八,六六〇・五二〇	二三,四七八・七〇五	一,一九六・八二〇	五〇八,五五八・二四〇	一,〇六三・四六〇	—	—	八七,九四〇・七二五	五,二七九,二二七・〇八〇
南投	一四	一一,八一四	一六,九一四	一〇一,四四四・四七〇	一,〇七〇,一四〇・二八〇	八,五一九・六二〇	二〇〇・〇〇〇	三七,五五一・九五〇	—	—	六四七・四九〇	九,九六〇・六〇〇	一,一三六,七六四・四一〇
嘉義	三〇	一一,四六五	五四,八九五	三一五,七八五・二〇〇	二,一〇七,〇三五・五二〇	九,三九六・七〇七	六二・五〇〇	五八,二〇六・五七〇	—	—	六〇〇・六一〇	七〇,〇三三・七九二	二,五六一,一一〇・八九九
臺南	一九	八,〇四〇	四〇,二一九	二三二,七五九・二五〇	一,七八九,九四七・一五一	五二,〇七七・五七三	八,四二一・四五〇	一八,二〇一・二三〇	一六,八七〇・〇二〇	—	二五〇・二一〇	三三,九〇一・一〇三	二,一四二,四〇七・九八七
阿緱	一三	五,六二〇	一九,三八四	六八,六八四・〇〇〇	九六六,九七九・一八〇	二〇,六四八・四九	—	四,一六六・六八〇	一一二・七六〇	—	—	一二,六六二・六一六	一,〇五四,六七〇・〇八五
臺東	一	九六	三〇〇	—	三〇,二五五・〇〇〇	二〇〇・二六〇	—	二,七一一・七五〇	二四六・〇〇〇	—	—	—	三三,三九五・〇一〇
花蓮港	三	一九〇	四,四九五	六,七五七・〇〇〇	一四一,九八七・〇〇〇	四九九・五一〇	—	一,七六七・五八〇	五一五・〇〇〇	—	八三・二五〇	三五八・〇四〇	一五一,七六六・九八〇
澎湖	三	二八九	四,五七二	四六,五〇〇・〇〇〇	七〇,六四二・〇〇〇	四七五・四一〇	—	一七,七六一・三一〇	一五,四四〇・〇〇〇	—	—	七四二・七八八	一五一,五六一・五〇八
合計	一八二	八五,六五二	三二一,五四五	二,二九四,四二八・八九〇	一五,九八八,二九七・八一一	一二九,一三九・〇八四	一〇,四一五・七七〇	八一六,五四二・三八五	三七,五六七・七七〇	二〇四,二二八・〇〇〇	二,五四一・二五八	三二四,一五二・七九一	一九,八〇六,九一五・七五九

區別／廳名	負債：出資金（円）	貯金（円）	準備金（円）	各種積立金（円）	未拂配當金（円）	借入金（円）	假受入金	其他（円）	剩餘金（円）	計（円）
臺北	一,五三六,〇一九・〇〇〇	六五八,九七二・九五〇	九二,六一三・二〇〇	七,八九九・九四五	一,九六〇・四七〇	四八八,九五一・九〇〇	—	—	一六五,六七九・一九〇	二,九五二,〇九六・六三五
宜蘭	五七四,七一〇・〇〇〇	一五八,〇一三・五五〇	八,四六五・〇九八	二,二四二・七二〇	—	二三〇,〇〇〇・〇〇〇	—	—	一九,九六五・九〇八	五六五,五九七・〇七六
桃園	六七五,五〇〇・〇〇〇	二八二,五三五・六五八	一一二,五〇一・五二四	五五,八九五・七九七	—	五四一,五八〇・〇〇〇	—	—	一二三,七九七・一九〇	一,七七〇,一九七・九四九
新竹	九七四,九〇〇・〇〇〇	五四九,一二九・二九六	六六,九二四・五四四	二五,五二九・五七〇	六・〇〇〇	二九五,一二四・五七〇	一五,七五八・八九〇	—	一〇五,一四七・四五〇	二,〇二八,五二〇・一二〇

臺中	一、八八六、四九〇・〇〇〇	二、二〇〇、〇一二・七八〇	二三九、八三一・〇〇〇	九五、五三二・四七〇	八七四・三一〇	六一四、〇四七・六二〇	—	—	二四二、四三八・九〇〇	五、二七九、二二七・〇八〇
南投	三一七、五七〇・〇〇〇	四八二、九七一・三六〇	六二、三一六・三七〇	二三、四二七・〇〇〇	四四二・七八〇	二〇二、一〇〇・〇〇〇	—	四二、二八〇	四七、八九四・三二〇	一、一三六、七六四・四一〇
嘉義	一、一一六、九三五・〇〇〇	五八四、四四八・八六七	一一二、六九二・九二〇	四二、〇一〇・〇〇二	二、一六〇・一五八	五四四、三一〇・三〇〇	—	三、三五八・〇七〇	一五五、一九五・三八二	二、五六一、一一〇・八九九
臺南	一、〇二四、八一五・〇〇〇	二八六、一七八・〇七八	一二九、四四一・一一三	三六、六一七・〇八五	二、一〇五・七〇六	五一六、一六八・一六〇	—	—	一四七、〇八二、八四五	二、一四二、四〇七・九八七
阿緱	三七四、六九〇・〇〇〇	三五三、四九八・〇〇六	四六、六七四・七四八	一八、〇五七・九〇一	七一・三三〇	一九六、一四四・五八〇	五八・三七〇	—	六五、四七五・一五〇	一、〇五四、六七〇・〇八〇
臺東	一五、〇〇〇・〇〇〇	一〇・〇〇〇	三、八一〇・四五〇	一、三一二・八八〇	—	一〇、〇〇〇・〇〇〇	—	—	三、二五九、六八〇	三三、三九三・〇一〇
花蓮港	八九、八六〇・〇〇〇	一三、七三八・二三〇	三〇、五二二・一九〇	一、〇六九・一〇〇	一八・八八〇	二九、四九五・六八〇	五一・〇〇〇	一、六二五・〇〇〇	一二、八五六・九〇〇	一五一、七六六・九八〇
澎湖	九四、〇〇〇・〇〇〇	五、七一二・七一〇	六、六〇八・一一八	九二一・九七七	—	二六、〇〇〇・〇〇〇	—	一三、六六一・一七〇	四、六五七・五三三	一五一、五六一・五〇八
合計	八、四八〇、四八九・〇〇〇	五、五三五、〇一一・二四五	八四、七三一・三八五	二八八、三一四・二四七	七、六三九・六二四	三、四四三、七二三・〇一〇	一五、八六八・二六〇	一八、六八六・五二〇	一、〇九二、四五〇・四四八	一九、八〇六、九一一[illegible]

備考　本表の外單に許可を與へたるのみにして事業を開始せざるもの四組合（臺北廳三、臺中廳一）あり

大正八年十一月中各銀行內外爲替取組高表

種別	銀行別	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	收入 島內 口數	收入 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	支出 島內 口數	支出 島內 金額
			円		円		円		円		円		円
送金爲替手形	臺灣銀行	二、五一三	一九、四九二、六三七	一七九	四二四、三四七	五、四四一	二一、六四一、一三二	七八〇	四、五一八、八九二	二八七	一、二一九、五九〇	五、九三八	二三、八八九、三四一
	三十四銀行	一、六〇〇	三、七五八、九五九	—	—	三五六	九三八、五一二	一七一	二四一、二七七	—	—	四二〇	一五二、二二六
	臺灣商工銀行	七〇三	六八一、一〇七	—	—	三、九四〇	二、五七五、二五一	四六	一四八、九六〇	—	—	四、〇六五	二、三八三、四六七
	嘉義銀行	一五〇	一三三、二二一	—	—	三、六七八	二、〇七三、七六四	三	一、六八四	—	—	二、九〇〇	一、五九三、六七四
	彰化銀行	一四〇	一七八、九七三	—	—	四、二九七	三、五九六、二八四	七六	一七五、八二五	—	—	四、三七〇	二、一一三、七二五
	新高銀行	一二五	三四四、二五六	九	八、一八九	二、五九六	一、九四八、五一六	四	八五〇	四一	二九、八七五	二、一六四	一、六八五、六七五
	華南銀行	六三	二〇二、〇一八	一六	四四、七八五	一〇〇	三〇一、二〇五	—	—	九	一一、一三九	一	二九、七八〇
	計	五、二九四	二四、七九一、一七一	二〇四	四七七、三二一	二〇、四〇八	三三、〇七四、六六三	一、〇八〇	五、〇八七、四八八	三三七	一、二六〇、六〇四	一九、八五八	三一、八四七、八八八
割引手形	臺灣銀行	八六六	二、〇七三、五六六	—	—	一六一	一、〇三五、〇八五	二四六	二、四三九、九四七	—	—	九五	五八九、一七二
	三十四銀行	九四八	一、五一一、一六八	—	—	一二	三四、一〇三	一〇	六七、二五七	—	—	二八九	二四三、九四九
	臺灣商工銀行	五八	六八、二二四	—	—	三三九	八〇五、八一三	一六	一一七、一一四	—	—	三八五	八六六、一五八
	嘉義銀行	三四	七、七四〇	—	—	四二七	四四九、七二二	一	一三、九〇〇	—	—	三三七	三九七、九〇七
	彰化銀行	二	七二〇	—	—	七三〇	七九三、五五六	八	八、六二八	—	—	六八三	九三七、三八〇
	新高銀行	—	—	—	—	六三	一一七、三九三	—	—	三	三、六四五	六一	四九、六六七
	華南銀行	—	—	—	—	—	—	三	一六、四一三	—	—	一八八	二七七、六四三
	計	一、九〇八	三、六六一、四一八	—	—	一、七三二	三、二三五、六七一	二八四	二、六六三、二五九	三	三、六四五	二、〇三八	三、三六一、八七六

種別	收支超過 內地 金額	收支超過 外國 金額	收支超過 島內 金額
十一月中收支超過	一五、六九四、四九一	五六三、〇〇〇	△一、八〇二、九一九
	七、二〇七、二九五	—	二七二、四〇七
	六四九、三八五	—	四八、三四九
	一二六、三九六	—	七八九、三一八
	△二三、六一一	—	一、七七二、八四三
	三一〇、一六八	二八、二一二	三〇二、一〇七
	九六、八七〇	三八、三〇六	△二二五、九〇七
	二四、〇六〇、九四四	六二九、五一八	一、一五六、一九八
一月以降收支超過	四五、〇二八、七六七	六、六一七、七八八	△三〇、五六六、二七二
	三五、六四八、四二五	—	一、四九四、二六九
	三、七三一、二三〇	—	八〇八、[illegible]
	八三六、三五五	—	[illegible]
	△四四一、六二四	—	[illegible]
	一、八一一、五一七	△四九、八六一	一、四二五、八〇八
	四四六、二五八	△二九三、五一五	八三五、三一六
	八七、〇六〇、九一八	六、二七四、四一二	一〇、〇一八、三三二

△支

荷爲替手形

臺灣銀行	八〇七	九七〇、〇七一	—	—	一、五五九	二、六一一、七〇九	五四	一、四〇一、六八二	—	—	一、六二二	二、七九五、九三八
三十四銀行	二九七	六一五、四一三	—	—	四	七三、三一〇	二二	二〇二、六八二	—	—	二〇	一〇四、六八七
臺灣商工銀行	七一	八三、二五三	—	—	六八	二九二、三二二	二五	六二、五一七	—	—	八一	三二五、二七五
嘉義銀行	六	七五〇	—	—	一五	五一、〇四四	—	—	—	—	一〇	五〇、一五七
彰化銀行	三	一、九七四	—	—	一	四、七二〇	—	—	—	—	八	三七、〇七二
新高銀行	一	八七四	—	—	一六	八六、〇六一	一	七、四〇〇	—	—	四	二九、一四〇
華南銀行	—	—	—	—	—	—	五	三四、八九〇	—	—	一九	一一〇、一〇〇
計	一、一八五	一、六七二、三三五	—	—	一、六六三	三、一一九、一六六	一〇七	一、七二九、一七四	—	—	一、七六四	三、四五二、三六九

代金取立手形

臺灣銀行	四、二四二	二、〇三三、五四二	一〇二	二、五六八、六九七	一、六一八	一、一三五、八三四	五三	五一四、八〇四	一三八	一、二一〇、四五四	一、二一六	九五二、二二七
三十四銀行	一、九七七	一、八六〇、一八四	—	—	一四	六四、二九九	三三	二七、二一〇	—	—	三四七	三三六、九五五
臺灣商工銀行	四六二	二二九、五七二	—	—	七五七	四七〇、七七〇	二九	六四、一八〇	—	—	一、一四九	五二〇、九〇七
嘉義銀行	七六	一二、一七〇	—	—	一、〇六一	五三四、〇四〇	九	一一、九〇一	—	—	六六三	二七七、五一四
彰化銀行	三三	八、四八六	—	—	一、二九九	八〇六、七三八	九五	二九、三六一	—	—	五三二	三四〇、二七八
新高銀行	一	五四	一一	五五、六一三	二七二	一三二、六四八	一四	二六、七六六	二	二、〇七〇	四九七	二一八、〇二八
華南銀行	—	—	七	一四九、七八四	—	—	一七	五三、八四五	二六	一四五、一二四	九四	一〇九、五八九
計	六、七九一	四、一四四、〇〇八	一二〇	二、七七四、〇九四	五、〇二一	三、一四四、三二九	二五〇	七二八、〇六七	一六六	一、三五七、六四八	四、四九八	二、七五五、四九八

合計

臺灣銀行	八、四二八	二四、五六九、八一六	二八一	二、九九三、〇四四	八、七七九	二六、四二三、七五九	一、一三三	八、八七五、三三五	四二五	二、四三〇、〇四四	八、八七一	二八、二二六、六七八
三十四銀行	四、八二三	七、七四五、七二四	—	—	三八六	一、一一〇、二二四	二三六	五三八、四二九	—	—	一、〇七六	八三七、八一七
臺灣商工銀行	一、二九四	一、〇六二、一五六	—	—	五、一〇四	四、一四四、一五六	一一六	四一二、七七一	—	—	五、六八〇	四、〇九五、八〇七
嘉義銀行	二六六	一五三、八八一	—	—	五、一八一	三、一〇八、五七〇	一三	二七、四八五	—	—	三、九一〇	二、三一九、二五二
彰化銀行	一七八	一九〇、一五三	—	—	六、三二七	五、二〇一、二九八	一七九	二一三、八一四	—	—	五、五九三	三、四二八、四五五
新高銀行	一二七	三四五、一八四	二〇	六三、八〇二	二、九四七	二、二八四、六一七	一九	三五、〇一六	四六	三五、五九〇	二、七二六	一、九八二、五一〇
華南銀行	六三	二〇二、〇一八	二三	一九四、五六九	一〇〇	三〇一、二〇五	二五	一〇五、一四八	三五	一五六、二六三	三〇二	五三七、一一二
計	一五、一七八	三四、二六八、九三二	三二四	三、二五一、四一五	二八、八二四	四二、五七三、八二九	一、七二一	一〇、二〇七、九八八	五〇六	二、六二一、八九七	二八、一五八	四一、四一七、六三一

一月以降累計

臺灣銀行	七七、一四〇	一九一、一八二、三〇六	三、五四五	三六、八六八、五八一	八六、七五九	二三五、九二五、四八七	一五、五四四	一四六、一五三、五三九	四、四一三	四三、二五〇、七九三	九二、六六四	二六六、五一一、七五九
三十四銀行	三三、六四三	三九、三七〇、六八八	—	—	五、六六四	八、九七五、三九四	一、八〇一	三、七二二、二六三	—	—	九、一六九	七、四八五、一二五
臺灣商工銀行	一一、四六七	九、四七四、四四三	—	—	五四、三四一	四〇、〇六五、三四五	一、三三一	五、七四三、二一三	—	—	六〇、〇二五	三九、二五七、一五六
嘉義銀行	一二、二六六	一、三〇三、九四五	—	—	三九、二〇二	二三、五四九、一八九	一九九	四六七、五九〇	—	—	三三、五六一	一九、七八四、〇六四
彰化銀行	二、二五〇	一、九三〇、五四九	—	—	五三、一六〇	四五、二八九、八六一	二、三三五	二、三七二、一八三	—	—	四五、五九六	三一、三七九、九一六
新高銀行	一、一〇四	二、六四三、八二四	一九一	五七三、五七八	二三、八八〇	一八、九六八、七三二	二一四	八三二、三〇七	三三三	六二三、四三九	二二、八一四	一七、五四二、九二三
華南銀行	三三九	一、四四三、二五七	二二二	二、二九四、六五四	五五四	一、九二三、九九八	一八三	九九六、九九九	二七二	二、五八八、一六九	一、八七五	二、七五九、三一四
計	一三八、二〇九	二四七、三四九、〇一二	三、九五八	三九、七三六、八一三	二六三、五六〇	三七四、七〇二、〇〇六	二一、五九六	一六〇、二八八、〇九四	五、〇一八	四六、四六二、四〇一	二六五、四〇四	三八四、七二〇、二五七

備考　收支超過欄銀行別は收入欄(一)銀行別による

臺灣銀行代金取立手形外國欄には
收入の部（買入爲替 [illegible]口 / 利付爲替 [illegible]口）
支出の部（買入爲替 九九口 / 利付爲替 二四口）
（二、五一八、二六二円 / 三九、三六〇 / 六九七、九一一 / 五〇〇、五一二）を併算せり

華南銀行代金取立手形外國欄には
收入の部買入爲替 七口
支出の部買入爲替 三口
（一四九、七八四円 / 一四四、二三六円）を併算せり

新高銀行代金取立手形外國欄には
收入の部買入爲替 八口 五二、一九〇円
を併算せり

以上

大正九年一月 臺灣貿易統計の一

●貿易額●

	一月	九年累計	八年累計
輸出	三、八五九、七三四円	—円	三、八二七、〇三七円
輸入	六、八七七、一三七	—	五、六七七、六五九
計	一〇、七三六、八七一	—	七、五〇四、六九六
出(入)超過	入）三、〇一七、四〇三×	—	×三、八五〇、六二二

	一月	九年累計	七年累計
朝鮮移出	五六、三四〇円	—円	一七、五〇〇円
朝鮮移入	四、〇八五	—	八、一一六
計	六〇、四二五	—	二五、六一六
移出(入)超過	五二、二五五	—	九、三八四

	一月	九年累計	八年累計
內地移出	一七、三七三、四二三円	—円	一四、二三七、八七六円
內地移入	八、五六六、八三〇	—	四、八五一、三八二
計	二五、九四〇、二五三	—	一九、〇八九、二五八
移出(入)超過	（入）八、八〇六、五九三	—	九、三八六、四九四

●輸出●

品名	單位	一月 數量	一月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
			円		円		円
石炭	噸	五三、四七四	一、〇二七、四三三	—	—	三二、九四七	四一八、一〇一
砂糖	斤	五、二五五、一五七	一、七〇五、八三八	—	—	三、一一五、九四四	四六七、三九一
烏龍茶	同	九、五七七	三、九五三	—	—	四二、三四四	一六、六〇〇
樟腦	同	—	—	—	—	三五、〇〇〇	四五、八五〇
包種茶	同	二六、〇〇七	一二六、一四三	—	—	一四六、〇四八	六九、五二六
燐寸	哥	一五二、九五五	一八三、五七一	—	—	一七〇、一八八	一九〇、六五九
絲織物	碼	五六六、三九五	三〇六、四〇〇	—	—	三一七、八九四	一〇九、二一九
苧麻	斤	一五七、八九八	六九、四五九	—	—	一二四、〇八五	四六、五九一
鹹魚及乾魚	同	五八二、八四一	八八、六二九	—	—	三八二、五六五	六一、八五四
酒精	利	—	—	—	—	二二三、五五一	九六、一八〇
落花生豆	斤	三四七、二八〇	三九、八五七	—	—	七〇、八八一	九、一六四
硝子罎	箇	二四〇、四三八	七、一三六	—	—	三五八、八二六	七、三五七
乾筍	斤	四三、〇四二	一四、八三三	—	—	四〇、六四七	九、九二〇
龍眼	同	—	—	—	—	二〇八、八一五	三一、八五八
鱶鰭	同	二、一三〇	三、二九三	—	—	三、〇九七	三、九八〇
其他ノ諸品		—	二八三、一九〇	—	—	—	二四二、七八七
計		—	三、八五九、七三四	—	—	—	一、八二七、〇三七

●輸入●

品名	單位	一月 數量	一月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
砂糖	斤	三、五〇二、三一五	九九九、五五二	—	—	三、七六三、一七三	四二五、一四八
豆油精	同	二七、二八二、八〇〇	二、五三六、九一〇	—	—	四四、六八五、一八二	二、三六三、四四九
米	同	五、四六一、六三四	五九〇、六六一	—	—	一二、九〇六、二五四	一、三三四、七七一
阿片	同	二〇、七八二	九五〇、六一四	—	—	四、四五三	一六七、三七二
包蓆	枚	一、一六五、二〇〇	二六六、三七四	—	—	七〇七、二四〇	一六五、四八六

●移出●

品名	單位	一月 數量	一月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
			円		円		円
砂糖	斤	三六、二一〇、六〇〇	三、一〇八、三九七	—	—	五〇、八四八、七七五	七、三四九、五四六
米	同	二四、二〇二、六〇〇	二、〇七一、三七九	—	—	四一、五〇一、〇四八	五、一七一、四二五
酒精	利	七六五、六四五	七八二、一四〇	—	—	四二五、一〇六	四四二、八九一
樟腦	斤	一七九、五五〇	二六九、三二五	—	—	一一三、九二六	一六七、八〇〇
芭蕉實	同	二一一、四七一	二三、二六一	—	—	二、七四三、五二〇	一〇九、七四二
切乾藷	同	三、九二九、九〇〇	一六七、一六四	—	—	—	—
樟腦油	同	三四四、九五九	一五三、四六三	—	—	二四〇、一五〇	一〇六、四三五
銅(金銀含有)	同	一〇〇、七〇九	七五、四六四	—	—	四九、九五八	二九、五九三
石炭	噸	一一、九一五	一九〇、〇二〇	—	—	四四八	五、三七四
鰹節	斤	—	—	—	—	二、三一八	二、三一八
木材及板		—	一七、四七〇	—	—	—	一九、二七六
鳳梨罐詰	打	六、一七二	二一、五〇二	—	—	一五、九五九	五五、九三六
落花生豆	斤	五四、七三〇	一〇、三八五	—	—	—	—
生皮	同	五九、九八〇	二九、一九〇	—	—	一二九、四四〇	五二、八三〇
麻織物	碼	五一、三八〇	一一、七〇〇	—	—	七〇、八〇〇	一七、三六〇
其他		—	三四二、五六三	—	—	—	七〇七、三五〇
計		—	七、二七三、四二三	—	—	—	一四、二三七、八七六

●移入●

品名	單位	一月 數量	一月 價額	九年累計 數量	九年累計 價額	八年累計 數量	八年累計 價額
諸綿布		—	四七〇、一四〇	—	—	—	三六七、一一六
鹹魚及乾魚	斤	四、〇四八、三八三	七一〇、二三〇	—	—	二、四二六、〇九八	三九一、二三七
肥料		一〇、五二一、五四四	一、〇一五、九八三	—	—	—	四四六、五一〇
鐵	斤	二、三一二、六三八	五二七、三二四	—	—	一、四四九、〇〇四	三七七、三二三
木材及板		—	四七四、三一五	—	—	—	一五四、二六五

石油	瓦	二五〇、五四一	二一〇、八六三	—	—	八〇、五一〇	八一、六八三
小麥粉	斤	—	—	—	—	三四〇、二〇〇	四四、六〇〇
木材及板		—	三〇八、七一〇	—	—	—	九一、四三六
葉煙草	斤	四五、八七二	四九、三八六	—	—	一五三、二一九	八六、三三三
豆類	同	五一〇、〇五九	五五、四四七	—	—	一、二五九、一四〇	九八、五七四
禮拜紙	同	二六三、五八六	一三二、二三九	—	—	二四、一一四	四六、五三二
苧麻布	方碼	二一六、一二三	五九、六九九	—	—	八六、三五〇	一四、三三四
黄麻	斤	—	—	—	—	—	—
ガンニー袋	箇	二一、四五〇	一三、二三五	—	—	二七一、四四〇	一三九、七五六
電鉄線	斤	—	—	—	—	三六、二二八	五八一
小麥	同	—	—	—	—	—	—
竹紗布	方碼	—	—	—	—	一、八五六	一、三五三
鹹魚	斤	一、五六九、〇四八	二二〇、四二九	—	—	二九〇、〇六四	三七、九六九
綿撚子	方碼	—	—	—	—	二六、三六三	一八、三一三
コンデンスドミルク	打	六、五一四	四〇、六〇五	—	—	二、六七八	一三、九〇一
陶磁器		—	四九、七九三	—	—	—	一三、八七七
綿布（竹紗布子及綿縮布ヲ除ク）	方碼	九、九九九	七、一八四	—	—	二八、八八八	一三、〇〇九
葉鐵及葉鋼	斤	五九、一九五	一四、九五〇	—	—	—	—
唐紙	同	七八、五四〇	一五、九三三	—	—	八二、七八三	一八、三二五
パラフヰンワックス	同	四	二	—	—	—	—
紙卷煙草	箇	一五、〇〇〇	六五八	—	—	八三〇、〇〇〇	三五、五二六
苧麻綿布	方碼	一四、五〇五	八、五一八	—	—	二六、五五二	六、三四〇
人參	斤	四六二	四、四五一	—	—	二六八	三三、〇〇二
茶油糟	同	三八九、〇〇六	一〇、二〇八	—	—	一、〇八四、四二七	二三、〇五七
茶箱板	組	九、〇〇〇	三、七四九	—	—	一、〇〇〇	三〇四
索麺類	斤	二六、三〇九	一二、六四四	—	—	二六、九七八	九、八七五
綿絨羅布	碼方	—	—	—	—	五三九	四一五
其他		—	六六四、二四四	—	—	—	四六二、四六六
計		—	六、八七七、一五七	—	—	—	三、六七七、六五九

清酒		—	二三五、〇三三	—	—	—	一八〇、六五三
製糖用機械及同部分品		—	四六、〇七五	—	—	—	四五、〇七〇
燐寸	哥	一二四、八〇九	一四二、四二二	—	—	一七三、五六一	二〇六、三四一
藥品類		—	九四〇、六五六	—	—	—	二一二、四九一
和紙及洋紙		—	一五六、二七九	—	—	—	九七、〇八六
鐵製品		—	一三六、九七五	—	—	—	九五、二四二
鐵道建設材料	斤	六三八、二七〇	九六、四八〇	—	—	七九、四〇二	一五、九三五
米	石	一、七五六	一〇九、五四一	—	—	二、三一七	一一〇、三六〇
麥酒	打	六、〇六八	三二、三六五	—	—	一、四三二	五六、七五五
豆類	石	四一、一六一	一四一、四七六	—	—	四、四九八	一一〇、九六九
小麥粉	斤	一一九、一八二	二〇、八三〇	—	—	八四三、一七三	一三二、八五五
石油	瓦	五、五九〇	五、四四五	—	—	二五、九六〇	二六、八八五
紙卷煙草	千箇	三八、六四〇	八二、四五八	—	—	四〇、三六〇	五八、九四九
罐詰食物		—	七三、五〇八	—	—	—	三八、〇九七
醬油	石	一、七八一	九二、八一三	—	—	七六	三二、一四一
石鹼		—	四一、四二三	—	—	—	一三、一〇五
乾鰕	斤	六二、七〇〇	四五、六七七	—	—	一〇六、九一四	四九、七七三
石炭	噸	三、五七五	五九、六〇〇	—	—	二	三
セメント	斤	三、〇三四、〇〇九	九三、二〇六	—	—	五五三、一八五	一七、四六九
枕木	箇	二八、三八五	三三、七二二	—	—	二九、七八〇	三〇、二七三
機械用油	石	七〇七	四一、二四〇	—	—	三七八	二三、一六七
錫	斤	一七三、四四三	一五八、二六八	—	—	一四九、〇三九	六八、二九四
陶磁器		—	二八、六八〇	—	—	—	一九、七七六
砂糖	斤	三五四、六八八	一四八、六三五	—	—	五八、三七〇	一六、一八〇
メリヤス肌衣		—	一一、三三五	—	—	—	九七、〇八六
菓子類		—	三六、三六六	—	—	—	二七、六三五
コンデンスドミルク	打	三、四七六	二三、七四五	—	—	七、八〇〇	四一、五〇七
其他諸品		—	二、五三四、六〇七	—	—	—	一、五四五、一二五
計		—	八、五六六、八三〇	—	—	—	四、八五一、三八三

臺灣貿易統計の二

大正九年一月

●仕向地及仕出地別●

	輸出	輸入	計	九年累計	八年累計
	円	円	円	円	円
支那	一、八八五、一九九	五、一八七、三八五	七、〇七二、五八四	—	四、〇八二、〇八五
假置場	—	五四六	五四六	—	五二、九七四
北米合衆國	五、〇一〇	五三一、八七二	五三六、八八二	—	一四七、八〇四
蘭領印度	一四五、一五二	一、〇〇七、五九八	一、一五二、七五〇	—	四二八、六二一
香港	五五二、七一五	六、一五四	五五八、八六九	—	五八八、六〇八
關東州	一四、二五六	一、四〇二、四一二	一、四一六、六六八	—	一、二五五、〇八五
英領印度	—	五一、二〇五	五一、二〇五	—	一四一、九七一
波斯	—	二三六、四〇〇	二三六、四〇〇	—	一六七、三七二
英吉利	二、五四〇	二七、四三二	二九、九七二	—	九五〇、〇一四
比律賓諸島	四一九、一二〇	三八、七二三	四五七、八四三	—	九、〇五四
埃及	六六九、九七二	二一	六六九、九九三	—	—
佛領印度	—	一三、八七四	一三、八七四	—	七三七、一七一
暹羅	一、五二四	二五、一〇七	二六、六三一	—	五五、五四七
英領海峽殖民地及英領ボルネオ	五四一	四、一四九	四、六九〇	—	三一、四一八
露西亞	—	—	—	—	—
西班牙	—	三八四	三八四	—	二九四
歐洲土耳古	—	一	一	—	—
亞細亞土耳古	—	三五四、二一四	三五四、二一四	—	—

	移出	移入	計	九年累計	八年累計
	円	円	円	円	円
大阪	四、三五三、四九一	二、三〇二、五四六	六、六五六、〇三七	—	四、二〇〇、八七九
東京	三、八〇九、一一二	二、〇四六、七三五	五、八五五、八四七	—	四、〇七五、六七九
神戸	一、九一六、九四六	一、三二一、四八二	三、二三八、四二八	—	三、二五一、五五五
門司	七六〇、五七五	六四二、一六七	一、四〇二、七四二	—	一、五六五、〇八一
横濱	二、七四六、九九〇	五七八、五三五	三、三二五、五二五	—	二、〇〇六、五四五
名古屋	二、一〇五、八六八	二八、五六〇	二、一三四、四二八	—	一、八六四、一二七
下ノ關	一、五一八、六七二	二八四、七二三	一、八〇三、三九五	—	六八八、一五〇
勝浦	—	三〇一、八六五	三〇一、八六五	—	一二五、七五四
函館	—	六五一、八〇三	六五一、八〇三	—	一五八、六六九
那覇	九八、八〇六	三、六九〇	一〇二、四九六	—	四七〇、二二五
長崎	—	一六四、〇七九	一六四、〇七九	—	一五九、七五五
京都	—	二六、四二三	二六、四二三	—	二〇、四二七
八重山	一七、一一〇	六五、七九七	八二、九〇七	—	一五、九五八
釜石	—	二〇、三〇〇	二〇、三〇〇	—	五九五、四二七
宇品	—	四一、五八六	四一、五八六	—	四五、二八一
鹿兒島	—	二七、七一五	二七、七一五	—	五八、五三二
堺	—	三、八〇〇	三、八〇〇	—	一二、一一八
小樽	二、八〇〇	三、二八〇	六、〇八〇	—	五〇、〇三〇

●金銀●

	一月	九年累計	八年累計
	円	円	円
輸出	—	—	—
輸入	—	—	—
計	—	—	—

	一月	九年累計	八年累計
	円	円	円
移出	二五、六九六	—	三〇、五〇二
移入	—	—	四八、七〇〇
計	二五、六九六	—	七九、二〇二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛蘭西	—	一〇,四二八	一〇,四二八	—	四,四三九
英領亞米利加	—	一九四,七一四	一九四,七一四	—	二五,八七〇
其他諸國	一六三,七二五	二,五一九	一六六,二四四	—	二五,三八九
計	三,八五九,七三四	六,八七七,一三七	一〇,七三六,八七一	—	七,五〇四,六九六
尾ノ道	—	一七,七九〇	一七,七九〇	—	五,二八四
清水	—	—	—	—	—
其他各地	四五,〇五二	三三,九五五	七九,〇〇七	—	三四,〇四四
計	一七,三七三,四二三	八,五六六,八三〇	二五,九四〇,二五三	—	一九,〇八九,二五八

入港船

		一月 隻	一月 噸	九年累計 隻	九年累計 噸	八年累計 隻	八年累計 噸
外國	汽船	六三	七六,九六七	—	—	六八	九〇,七七四
	帆船	一六九	八,七六五	—	—	一六三	七,八二八
	計	二三二	八五,七三二	—	—	二三一	九八,六〇二
內地	汽船	五八	九九,五六五	—	—	六二	一〇〇,一六九
	帆船	—	—	—	—	—	—
	計	五八	九九,五六五	—	—	六二	一〇〇,一六九

收入額

	一月	九年累計	八年累計
輸入稅	三八四,五〇六円	—	二七一,六一〇
製茶稅	七,五一八円	—	九六,九四八
織物消費稅	八,九〇〇円	—	五,九九一
砂糖消費稅	三一,八三〇円	—	九
石油消費稅	五,二五八円	—	一,六八九
噸稅	二,四九八円	—	二,四一八
移入稅	三三三円	—	一,六六九
其他諸收入	三,〇九九円	—	四,〇二八
計	四四三,八三一円	—	二九七,一〇八

港別貿易額

	輸出	輸入	計	朝鮮移出	朝鮮移入	計	內地移出	內地移入	計	一月	九年累計	八年累計
臺北	三六五,九七四円	二二〇,四四七円	五八六,四二一円	—円	四三八円	四三八円	—円	—円	—円	五八六,八五九円	—円	三〇四,一四九円
淡水	七四,四〇四	二七二,八一三	三四七,二一七	—	—	—	—	—	—	三四七,二一七	—	一三三,一一〇
基隆	一,五四二,一八五	二,九五二,七七九	四,四九四,九六四	五〇,四〇〇	三〇〇	五〇,七〇〇	五,四七七,四七〇	五,七六五,四二一	一一,二四二,八九一	一五,七八八,五五五	—	一一,四六六,二六一
舊港	三一,二二三	三九,三四三	七〇,五六六	—	—	—	—	—	—	七〇,五六六	—	四九,三三九
後壠	二八,〇〇五	一七,七三五	四五,七四〇	—	—	—	—	—	—	四五,七四〇	—	二二,一九〇
梧棲	九,一四八	九,八八三	一九,〇三一	—	—	—	—	—	—	一九,〇三一	—	二,七八六
鹿港	二〇,六一五	五三,七九一	七四,四〇六	—	—	—	—	—	—	七四,四〇六	—	五八,一七〇
東石港	五,三一三	一九,五六三	二四,八七六	—	—	—	—	—	—	二四,八七六	—	三二,八七四
安平	一一,六三〇	二七九,六一五	二九一,二四五	—	三二一	三二一	二八,一三三	五八三,二三〇	六一一,三六三	九〇二,九二八	—	七四二,七七六
打狗	一,七五九,〇五三	二,九五八,〇六一	四,七一七,一一四	—	三,〇二六	八,九六六	一一,八六五,二七一	二,二〇一,五五八	一四,〇六六,八二九	一八,七九二,九〇九	—	一三,六九六,四三七
媽宮	一二,一八四	五三,一〇七	六五,二九一	五,九四〇	—	—	二,五五〇	一六,六二一	一九,一七一	八四,四六二	—	一一二,四七八
蘇澳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
布袋嘴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北門嶼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	三,八五九,七三四	六,八七七,一三七	一〇,七三六,八七一	五六,三四〇	四,〇八五	六〇,四二五	一七,三七三,四二三	八,五六六,八三〇	二五,九四〇,二五三	三六,七三七,五四九	—	二六,六一九,五七〇

雜報

臺灣商況

（商工課調）

（大正九年一月中）

●米　内地定期米は株式生絲綿絲高に刺戟せられ時勢買人氣買となり暴騰したりしが買氣を唆りたる以上の諸品の商狀稍穩調を呈し來りたる際六千萬石收穫豫想の發表せらるゝあり、形勢益々惡化し中旬肥前白米石六十二圓、豐前白米六十三圓八十錢に上りたるもの下旬に及び一圓乃至一圓二十錢の下落を示したり、本島に於ける需要は今や最少限に減じ大部分は内地米に代ふるに中部上米に二割の糯を混じ内地人の嗜好に適するものを以てするに至れり、

本島米は北部米二十八圓五十錢、中部米二十八圓七十三錢、糯米丸糯四十二圓八十六錢、長糯三十二圓三十八錢釘付にて内地米況の波瀾を除外に見送り始終せり、

●砂糖　外糖の一高一低毎に我糖界の波瀾動搖急激を加へ一月に入りて益に亂高下を呈し、内地市場上旬分密糖東京新糖二三月限保税四十圓五十錢、大阪二三月限四十圓程度を唱へ、中旬東京二三月限四十五圓、大阪二三月四十四圓五十錢に昂騰せしも折柄爪哇糖惡化の入電利喰賣物現はれ氣崩れ、月末東京二三月四十三圓五十錢、大阪二三月四十二圓五十錢と低落せり、精糖又之に連れ五十一圓より五十三圓を唄き月末五十二圓を報せり

●麥粉　原料小麥の減收海外高に依り一時内地粉界の活躍あるべしと期待されたるも其後各地荷問への古粉の處分物續出せる爲め會社側の強硬的態度による内地市場の高唱ひを受けながら割合上げ澁り買人更に叫聲揚らず、左りとて米價安を耳にするも一氣に崩れず形勢は甚だ不良を招致し弱氣の儘保合の商狀を呈したり、月末に於ける基隆沖値一袋に付左の如し

弁天印	六・六〇	百合印	六・三〇
緑ダイヤ	六・三〇	柳印	六・一五
上海粉	六・五〇		

●金物類　品不足と大阪問屋筋の賣惜みとにより金物類は一般に高値を唱ひつゝあり注文品の入津捗々しからず、鐵物の如きは殆んど到着なき狀勢にあり、内丸鐵は月末に及び日々入電高含みにして暫時下落の色見えず、其他の鐵材も丸鐵の値上に伴れ漸騰の氣配を示せり、洋釘及針金も引き續き米國高鐵材勢、銀の奔騰に連れ暴騰を演じつゝあり、レールは内地市場現品薄の所最近輸入ある見込につき相場居据り平板.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鉄力板等は在荷潤澤なるが爲め强含み持合ひ居れり、標準物相場左の如し、

	中旬相場	月末相場		中旬相場
丸　鐵　四分(一貫)	一・〇五円	一・一二円	平板二十八番(一枚)	三・五〇
同　五分(同)	一・〇一	一・一〇	同　三十番(同)	三・二〇
同　六分(同)	一・〇一	一・一〇	鐵管内經一吋(長一尺)	〇・五七
釘　類　二吋(百斤)	二六・二〇	二七・七〇	同　同四吋(同)	一・九〇
同　二吋半(同)	二五・六〇	二五・七〇		

●肥料　舊臘末諸肥料共米價糸價の好勢に伴隨し熱狂市場を演出したるが大豆粕は相當纒物の入津ありたる爲め現物薄を材料に思惑買を爲せる手筋の嫌氣投げを馴致せると爲替關係の影響にて人氣俄然墜落し相場下向き續行せる所月末定期米暴落の影響にて伸力を殺がれ大連相場五圓二三十錢所を報せり、島内は久しく獨立相場を維持したりしが本月四圓八九十錢に撥ね返し漸次大連相場に接近せむとするは本島在庫品の消化されつゝある證左にして二月末にも至らば恐らく消化し盡され從つて大連相場を見るに至らむ米價の如何にもよれど買疲れの後とて目先落付き此儘推移するならむか

硫安・智利硝石も大豆糟に押され一般に下落し硫安大連物三百八九十圓内地物四百二十圓にて米國物は二十圓方の下鞘にあり硝石は百九十圓と前月より三十圓方下落し不味の商狀を辿れり、過燐酸のみは原料不足の爲め品薄にて諸他材料に追隨せず二十成分せ七貫五百目入島内四圓五十錢に落付くも内地は六七十錢の上鞘にて之亦獨立相場を現出せり、

●紙　暴騰に暴騰を重ねたる和洋紙界は本月に入りてより少しく落ち付き前月來の商狀を辿りつゝありしが和紙は農家は米高にて腰强く急ぎ賣放つの要なきと洋紙の工賃の暴騰により月末和紙二割洋紙一割の暴騰を演じ尙昂進の模樣にて全く天井知らずの有樣なり需要は價格の如何に拘はらず相應にあり、

●綿布　聊が荷凭れ氣味にて買控への氣味なりし綿布界は舊曆年末の近つくに從ひ地方筋漸次一掃され二三本島人染物屋の倒れたる外何れも無難に濟み殘品少なり今や却つて地方より臺北へ逆送を試みんとしつゝあり殊に生地物は何品に拘はらず拂底を告ぐるに至れり又本島人の金融も漸次緩和し來り年末日歩八錢なりしもの五錢に落ち四錢位なるが爲め幾分金力に餘裕を生じたる爲め夏物先高を見越し思惑買盛ならむとするの傾向あり夏冬兼帶物及び銘柄の通りつゝある一部の品は取引相應にあり本月の相場左の如し、

絞ポプリン(千二百番毎ヤール)	一・二五円	三輪生天笠(毎反)	八・二〇円
無地ポプリン(毎ヤール)	一・二〇	菊壽尺一白木綿(同)	五・八〇
金山寺晒金巾(六千番毎反)	二九・〇〇	百壽尺一白木綿(同)	四・一〇
青騎麟晒金巾(五百番毎反)	二〇・〇〇	竹壽尺三白木綿(同)	五・八〇
紺露寺　同	二四・五〇		

●木材　産地之は品不足せずとの事なるが消息通間にては最近暴騰の主因は建築界の繁榮住宅增設の爲め需要多く都會より商人直接山方に人り込み買方競爭を現出し糶り煽るが爲なりとの事なり、

島内需要も會社・工場・住宅新築增設の爲め値段の如何に拘はらず相應活氣あり前月より約二割の暴騰を見たり、左の如し

杉横(大ヌキ長二間巾三寸七分厚六分)	一丁	〇・九八円	杉柱(三寸五分角)	一本	五・〇〇円
杉榑(正一寸八分角)	一本	一・四二	同(四寸角)	同	六・五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

杉板（六分）　一坪　六・七五円　同（四分）　同　五・〇〇円

●石炭　香港市況は舊正月を控へ例年ならば賣行甚なかるべく期待され上等塊炭は荷動き閑散なるも廣東の香港に對する爲替關係有利なるが爲め沿道炭級の据物需要頓に激増し新炭を壓倒し工場用雜用に觀迎せられ相應積出を見たり、地元の强硬なるを貨車廻依然不足なる爲め需要に應じ切れず港頭積の雜炭古貯炭も好値を以て一掃され市況手硬し基隆船乘月末相場左の如し、

一等炭塊	二五・〇〇円	二等炭塊	一五・〇〇円	二等炭塊	一三・〇〇円
同　切込	二二・〇〇	同　切込	一二・〇〇	同　切込	一〇・〇〇
同　粉	一五・〇〇	同　粉	八・〇〇	同　粉	六・五〇

●セメント　內地市況は需要多く供給之に伴はざるが爲め價格著るしく暴騰し十三圓相場の出現するも或は遠からざるべしと觀測されつゝあり、島內も會社の新記工事の繁榮にて漸次强硬に傾きつゝあり、一月二回一圓五十錢方の値上げを發表し十圓臺に進めり、中部にては貨車廻不良の爲め急需に間に合はさゝるべからざるものにありては十三圓內外にて取引さるゝものもあり、而して內地値に追隨せざるは島內生産あるが爲なり、打狗に於ける製造狀況は石炭及樽木の運輸思はしからず漸く二萬樽を生産されたるに過ぎず目先商狀頗る强硬なり、

●ガンニー　神戶受渡し紛擾も略々解決を告げんとしつゝあり幾分品潤澤の氣にて年末チリ安を見せ新年に入るも波瀾なく先物安の持合狀態にて始終せり、相場は現物七十二錢三四月渡六十八錢見當を稱へつゝあり島內商況は米輸移出制限の爲めと端界期に入りたる爲め活氣乏しくダレ氣味にて手持を延すのみにて頗る閑散なり、

●海産物　乾蝦は前月末八十四五圓のもの漸落し月末八十圓と下落し鍚は冬新物出廻りと共に幾分下降し九十圓見當に落付けり、貝柱も十圓方下向き鮑は新物出廻り終了し品不足の氣味にて二十圓所の騰貴を見せたり、鹽鯖は輸出拙なりき爲め荷閊氣味にて月初より漸落し月末には十三圓九十錢の暴落を見取引閑散なり、要するに乾物類は輸出思はしからざりしも舊曆年末と臺北保安宮の建醮（大祭）等の爲め幾分話氣ありたり、

●石油　內地石油は數月末割高の爲め外油に壓倒され殆んど入津なく取引絶無の姿なり外油はライジングサン優勢にて十九圓七十錢にて取引あり、外油は來月早々値上げするものゝ如し、

●木炭（臺北）　月初變動なかりし木炭界は中旬に入るや舊曆年末年始を氣構へ市內商人競爭にて運び出したる爲め幾分下落し月末想思炭卸三圓三四十錢小賣四圓二三十錢雜炭卸二圓三十錢小賣三圓內外なり、火鉢用炭の減少と共に山方市中共相應の貯藏あれば目先下落の見込なり、

●野菜（臺北）　月初より出廻り多く中旬以後殊に多く平均六萬五千斤以上の入荷あり、芹最も多く本月二十五萬斤に及び大根（二十二萬斤）大心菜之に亞ぎ蜿豆も相應あり、大心菜蜿豆は嘉義方面よりの輸送あり、相場は日々漸落し月初に比すれば五六割方の下落を見基隆方面へ搬出されたるものあり、相場左の如し（百斤建卸賣）

	月初	月末
新菊	五・五〇円—六・〇〇円	一・五〇円—二・〇〇円
菠薐草	三・〇〇—三・五〇	二・〇〇
大根	四・五〇—五・〇〇	二・五〇—三・〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金時人參	七・五〇	五・五〇
里芋	八・〇〇	五・〇〇
葱	四・五〇―五・〇〇	四・〇〇―四・五〇
蓮根	一一・〇〇	九・〇〇―一〇・〇〇
白菜	五・〇〇―七・〇〇	一・六〇―二・二〇
玉葱	一三・〇〇	一二・〇〇
牛蒡	七・〇〇―七・五〇	六・五〇
豌豆	二三・〇〇	七・五〇

臺灣電力會社の事業概況

（臺灣電力會社報）

臺灣電力株式會社は本年二月二十日臺北鐵道ホテルに於て第一回通常株主總會を開きたるが席上高木社長の爲せる挨拶は會社の事業概況を知るに足るを以て之を左に掲く。

本日第一回通常株主總會を開くに當り國の代表者としての總督閣下御代理を首め株主各位の御出席を得監理官代理の御臨場を蒙り玆に豫定の開會をなし得たるを感謝す、特に任命以來初めて此席に於て各位に見するは重役一同の光榮とする所なり

玆に此機會を以て聊か本會社設立の沿革に付申述べんに總督府に於ては本島産業の將來は重きを工業に置かざるべからず、工業の進歩發達は低廉なる動力の供給に待たざるへからすとの御見地より島內各方面に於ける水力發電地の調査を進められ中に就き日月潭水力發電詳しく言へば濁水溪の水を蕃地に於て取入れ之を日月潭に導き貯水池となし更に約一里の間隧道と鐵管に依りて貯水を適當地點に導き玆に一千八十五尺の落差を得て水力發電を爲すは差當り最多くの電力を得る方法即ち低廉なる動力を供給する所以の第一捷徑なりとして其工程を算するに約六箇年を以て竣成すべく工費は約四千五百萬圓を要するの計算を得たり、之れ大正六年の事にして其後物價騰貴と設計の變更等に因り工費は更に增大して四千八百萬圓を算するに至れり、然れとも此の如き巨額の費用は之を經常の歲入に求むへきにあらさるを以て公債支辨に訴へ成るへく速に實行の途に入るへき計畫なりしに公債支辨に付中央財政の御都合よりして急速に進捗することを得す而も四圍に於ける産業進歩の形勢は荏苒日を移すを許さざるより終に會社事業として日月潭發電工事を施行するの運ひとなり玆に本會社の設立を見るに至りたるものにて定款第二條の首に

本會社は臺灣日月潭其の他所要の地に於て電氣を發生せしめ之を供給販賣する事業を營むを以て目的とす

と規定せる、是れ當に叙上の沿革を說明するものと謂ふへきなり、

本會社は此使命の下に生れたるものなるか總督府に於ては從來作業所をして經營せしめられたる電氣供給及瓦斯供給事業竝木材防腐作業等を擧けて其出資として本會社に引繼かれたるを以て本會社は一面新たなる日月潭水力發電工事を施行し一面には又在來總督府經營の事業を繼承し行かさるへからさる任務を負ふことゝなりたり、是に於て業務を總務、營業、建設の三部に分ち營業部は在來總督府經營の業務を引繼し行くを專らとし建設部は日月潭水力發電工事施行の任に當り、總務部は社務全體に關することを掌る仕組と爲し、總務部長は角副社長、營業部長は永田理事、建設部長は大越理事各之に當ることゝしたり而て兩理事は臺灣銀行理事として極めて繁劇なる要職を帶ひらるゝを以て專ら重要なる社務に付協議を求むることゝしたり、

以上組織の下に本會社設立以來施行し來りたり業務の狀態に營業報告書に讓り極めて大要を申述べんに

株主の數は創立の初に於て總員一萬一千〇三十六人の處、漸次移動の結果、最近書換停止時の現在、八千三百三十三人にして創立の初に比し二千七百〇三人を減したる計算なり、書換件數は一萬五千〇四十四件人員五千〇二十三人、株數十四萬二千五百九十八株なり、

重役其他の職員は第一期末卽大正八年十二月末現在三百十九人職工其の他の傭人は七百人合計本會社の業務に從事するものは一千〇十九人なり

登記其他法令の規定に依る願出、屆出等は其時期を失せす手續を運ぶことを力

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

めたるも何分本會社の事業は從來官廳自ら經營せられたるもの又は官廳自ら施行するものとして計畫せられたる事業なるか故に之を會社事業として經營し施行するに方りては官廳として當初全く豫想せられさりし願出、屆出等の手續を要するもの頗る多く多少の混雜を免かれさりしも幸に關係官廳の御指導と御援助とに依り無事夫々の手續を運ふことを得たり、

營業狀態の中先つ電氣に付ては電氣の系統は作業所經營時代より北部、中部、に分たれ各發電機容量は

北部は	龜山第一發電所	七五〇	K. V. A
	小粗坑第二發電所	三、四〇〇	
	火力發電所	一、一九〇	
中部は	後里庄發電所	一、〇〇〇	
南部は	土壠灣發電所	三、〇〇〇	
	打狗發電所	六二五	

にして供給總力量は一二、七七一K V. A卽ち一七、一一九馬力強なり、其供給區域は基隆、臺北、淡水、臺中、彰化、鹿港、南投、臺南、打狗、阿緱、蕃薯寮等の各市街を首め其附近沿道に於ける地方にして第一期末の供給狀態は

電燈	五七、九五九戸	一六九、七二五燈	設立當時	一五四、二六〇燈
電扇	四、五七九戸	五、三二八基	同	六、七六〇基
電力	九〇〇戸	一〇、〇二六、二〇馬力	同	八、八五七、六四馬力

卽ち設立當時に比するに電燈の增加一五•四六五燈、電扇の減（季候の關係上）一•四三二基、電力の增加一•一六八馬力にして各方面共著しく需要增加の趨勢を示し來たり就中基隆地方及中部に於ては此上の申込に對しては謝絕の外無き實況に在り、五年の後に於ける日月潭發電工事の竣成を待ち居るへきにあらさるを以て應急の方法として基隆に火力發電所を設くること及中部に相當地點を求めて水力發電所を設くることの案を定め目下夫々計畫中にあり御許可を受くるを得は基隆は今期中に工事大部分の竣功を見るへき豫定なり、

毎年八、九月の交に於ける河川の暴漲の爲作業所經營時代に於ても災害を受けたること少からす、就中明治四十四年及大正元年は其著しきものなりしか不幸にして本社創立後間なき八月二十五日の暴風雨に際し小粗坑第二發電所の取入口堰堤を崩壞せられ其他發電所を始め各地の發電所共多少の破害無きはなく一時供給を停止するに至りたるは甚だ遺憾に堪へさるところなり、復舊費總額二十二萬七千〇八十三圓六十四錢八厘にして災害の爲に來たせる收入減額二萬八千五百七十五圓三十七錢一厘合算すれは二十五萬五千六百五十九圓一錢九厘とす

瓦斯は臺灣瓦斯株式會社の經營事業を總督府に買收せられたるものを更に本社に引繼かれたるものにして官營となりりたし間に瓦斯窯の新設あり尙本會社繼承後漸次改良を加へつゝあり供給區域は臺北市街にして第一期間の供給高一千百七十八萬二千三百九十三萬呎、期末供給戸數一千七百四十四戸、燈用一千三百七十六箇、熱用三千七百三十九箇動力一箇なり、外に骸炭四十一萬四千百四十斤「コールター」二百十五斤を產したり、

木材防腐事業は蟻害菌害等を防き木材の耐久力を高むる目的を以て總督府土木局附屬木材防腐工場の經營し來りたるものにて本會社繼承後期末迄の作業總高は電柱、一萬六千〇七本、松板八十四坪なり、

日月潭發電工事の主なるものは取入口より日月潭に至る間隧道十箇所、暗渠一箇所、開渠二箇所、水橋七箇所合計五里六町餘の水路の築造、日月潭沿岸低部二箇所に於ける堰堤の築造（一は長三百五十間高九十尺一は長百五十間高七十尺）及發電所の建設等なるか此等の大工事を施行せしか爲には先以て、材料機械等を運搬すへき鐵道、工事用動力を供給すへき發電所、工事從事員等の居住すへき社宅、事務所等の建設を必要とするを以て本會社設立後直に此等豫備的工事に著手したり其狀況の大要は

（一）北山坑に於ける工事用水力發電工事　は水尾庄の稍々下流に於て高平均十七尺延長三百九十尺の堰堤を以て南港溪を締切り最大二百五十最小百五十秒立分尺の水を取入れ九百三十二間の導水隧道に依り北山坑庄外埔安山腹の水槽に導き之より水壓鐵管延長約二百尺を以て發電所に送水し二千四百馬力（最大三千九百）を發電する計畫にして以上に屬する土木工事及牛洞より發電所に至る九哩の輸送路工事は一括請負に比し目下一分通竣功、九年十月全部竣功の豫定なり、諸機械の設備工事は以上工事の進捗に伴ひ逐次施行の計畫にして既に一部製作据付の請負、直營材料の購入契約をなしたり、又送電工事は線路六十哩屋外變電所箇八所、私設電話直長約五十五哩を直營施工中に依り目下四分通竣功、九年六月末部竣功の豫定なり、

（二）二八水、門牌潭（發電所豫定地）間鐵道敷設工事は材料輸送路として延長約二十一哩、軌間三呎六吋を敷設する設計にて内第二區工事は既に請負に附し全線を通して九年末には竣功の豫定なり、

（三）事務所其他諸建物新築工事は就中急を要する事務所と宿舍一部との新築を請負に附し九年十二月中には全部の設備を了する豫定なり

（四）第六•七號隧道一部開鑿工事は取入口と日月潭との間、第六號隧道の出口百間、第七號隧道の入口百間の開鑿をなすものにして必要なる監督事務所、假道路、作業道路等の準備をなし開鑿に著手したり九年六月末日迄竣功の豫定なり

此等の工事を施行し尙進て隧道、堰堤發電所等の工事に著手する曉には多數の勞力を要するを以て豫め常時多數の勞力を使用せらるゝ諸官廳、諸會社就中製糖會社等と協調を保ち相互勞力の爭奪をなし延て勞銀暴騰の結果を來たすか如きことなき樣交涉を重ね尙又勞働者を島外より招致することに關しても常時調査を進めつゝあり、

工事施行地の多くは山間僻陬甚しきは人跡未到の蕃地なるを以て從事員は勿論勞働者の衞生狀態には最も周到なる用意を拂はさるへからさるを以て之に對する施設の著手中に在り（下略）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

◎一月

▲十七日(土)

□田總督就任祝賀會　臺灣俱樂部主催の田總督就任祝賀會は十五日午後六時より精養軒に開かれ主賓田總督陪賓下村長官、松本祕書官を初め出席者八十餘名、盛會を極めたりと(十六日東京電)

▲十八日(日)

□蘭印の臺灣行政調査　蘭領東印度政廳に置かるべき日本人局の用務を以て事情調査の爲め來朝中のバンテーシタット氏は歸任の途次臺灣事情調査の目的を以て本島に來著す

▲十九日(月)

□田總督の演説　田總督の都下新聞通信記者七十餘名の總督歡迎晩餐會の席上、一場の演説を試み無慮數千言臺灣進歩の績を說き日本民族の同化力に及び最後に臺灣人の文化進展に伴ひ差別待遇を撤廢して大和民族に融合同化せしむべきを言明したる旨(十八日東電)

□柴軍司令官巡視　臺中臺南に於て各陸軍部隊及各陸軍官衙巡視の爲め出發

▲二十一日(水)

□前獨帝引渡の要求　最高會議は十六日夜和蘭政府に對し前獨逸皇帝引渡に關する公式要求書を送致したりと(十九日巴里電)

□聯盟第一會議　一月十六日午前十時國際第一回理事會を佛國外務省時計の間に開き佛國側のレオン、ブルジョア氏選ばれて議長となる、氏は聯盟成立の由來及其將來の任務を詳說し例年一月十六日を以て正さに新世界出現の日として永遠に記念するの要あることを述べ尙ほ列國共存の基礎は之によりて築かれざるべからざる所以を力說したり(十六日巴里電)

□佛國大頭領選擧　一月十七日午後一時ヴエルサイユ宮殿に於て大頭領選擧會開かれデシヤネル氏當選し氏は佛國及佛國民に對し粉骨碎身奉公の誠を致すべきを誓ひたり(十七日巴里電)

▲二十二日(金)

□山東還附通告　日本は講和條約の効力發生に因り山東の舊獨逸の權利を繼承したるを以て支那政府の希望により何時にても舊獨逸の租借地還附に關し協商を開始すべき旨同政府に通告したり(二十日北京電)

▲二十七日(火)

□獨帝引渡拒絕　和蘭は聯合國の獨帝引渡の要求に對して和蘭は講和條約の署名國にあらざれば何人をも聯合國に引渡すべき約束をなさず隨つて亡命客保護地としての舊來の權利を支持すとの理由により其要求を拒絕したる旨二十五日巴里電あり

□瑞猴間汽車開通　宜蘭線瑞芳猴硐間汽車本日より開通す

▲二十九日(木)

□流感死亡五千七百名　一月二十日現在臺灣全島にて流行感冒患者六萬六千九百三十八人、內死亡者五千六百九十二人と報ぜらる

◎二月

▲六日(金)

□前獨帝引渡再請求　聯合國は和蘭に對し再び前獨帝の引渡を要求したりと四日伯林電

▲八日(日)

□排日取締の抗議　小幡駐支公使は二日外交部に對し支那政府が排日風潮を放任せば日本は已むを得ず自警の處置を講ぜざるを得ざるに至るべき旨警告し北京政府は協議の結果四日學生の演說團に對して嚴重に取締を勵行せりと六日北京電

□新設會社激增　大正八年下半期中本島に設立されたる會社は其數八十七社、資本金一億五十九萬八千五百圓、拂込金三千三百九十八萬圓に達すと報ぜらる

▲十一日(水)

□上屋使用規則公布　基隆上屋使用規則は本日府令第九號を以て公布卽日施行せらる

▲十四日(土)

□山東問題不受理　國際聯盟は山東問題を受理せざることに決し其旨宣言せる趣駐英施公使及び駐米顧公使より外交部へ電報ありたりと十二日上海電

人事消息

自一月二十一日
至二月二十日

▲田阪千助氏(殖産局商工課長本誌編纂委員)　福岡工場への用務を帶び二十三日內地出張

▲松方正熊氏(帝國製糖社長)　二十四日來臺

▲相馬半治氏(明治製糖社長)　二十四日來臺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲松方老候　熱海の別邸に避寒中の老候は二十一日以來流行性感冒に罹り體溫三十九度に上り老體のことゝて特に警戒中なりとの入電あり
▲宮澤壽男氏(臺灣銀行福州支店長)　二十六日福州に歸還
▲小松楠彌氏(本誌評議員)　二十七日歸臺
▲齋藤豐次郎氏(芳釀社專務)　二十七日歸臺
▲小山鐵道部技師　歐米各國へ出張を命ぜられ内地歸還中の同氏は二十七日横濱發出發せりと
▲下村長官夫人　豐原屬を隨へ三十日基隆發信濃丸にて歸京の途に就く
▲市川原一氏(北海道帝大教授獸醫學博士)　中南部視察を了し三十日歸還
▲小倉文吉氏(新高銀行常務)　前臺灣銀行頭取柳生一義氏危篤の報に接し上京の途神戸にて盲腸炎の爲め危篤に陷り三十日午前八時同地にて逝去
▲長島八郎氏(營林局事務官本誌編纂委員)　内地出張中の所三十一日歸臺
▲原易德氏(支那沖關事務官)　二月二日來臺
▲小島得一郎氏(地方法院檢察官長)　三日歸臺
▲田阪千助氏(殖産局商工課長)　家族重患の爲め三日急還歸臺
▲今井周三郎氏(淺野セメント支店長)　三日歸臺
▲清原德次郎氏(會計檢查官)　五日來臺
▲内田嘉吉氏(前民政長官)　歐洲視察中の同氏は五日午後五時靜岡丸にて臺灣海峽通過歸航に際し臺灣日日新報社宛左の無線電信を寄せられたり
　歐洲よりの歸途遙かに敬意を表し辱知諸君の健安を祈る此旨辱知諸君に宜敷御傳へを乞ふ
▲下村長官夫人　三十日の信濃丸にて上京せる同夫人は四日無事著京せりと
▲川崎卓吉氏(内務局長、本誌評議員)　六日内地出張
▲高田元治郎氏(殖産局長、本誌評議員)　流行性感冒のため臺北醫院に入院中の所五日全治退院
▲海寶聯隊長(陸軍少將)　流行性感冒の爲め衞戍病院に入院中の所五日同上
▲梅谷光貞氏(臺北廳長、本誌評議員)　六日内地出張
▲白莊司芳之助氏(大阪商船基隆支店長、本誌評議員)　七日歸臺の同氏は今回越中電力會社社長に轉じ後任として紐育支店長樋口茂之助氏來任の筈
▲小倉文吉氏葬儀　新高銀行常務取締役たりし同氏の葬儀は八日午後三時より圓山臨濟等にて執行
▲北村吉之助氏(三十四銀行支店長、本誌評議員)　十一日歸臺
▲フアン、デ、スタツト氏(爪哇總督府囑託)　爪哇總督府内に新設せらるべき日本人局長たるべき同氏は一月中旬來臺各地方視察中の所十三日内地向け出發
▲太田秀穗氏(總督府師範學校長)　内地教育視察の爲め出張中の所十八日歸臺
▲古賀三千人氏(本誌評議員)　十八日歸臺
▲赤司初太郎氏(同上)　同上
▲顏雲年氏(同上)　同上
▲林烈堂氏(同上)　同上
▲角源泉氏(水電副社長、本誌評議員)　對岸地方視察の爲め出張中の所十八日歸臺

任命

▲大正九年一月二日

臺灣總督府營林局事務官　長島　八郎
東京及大阪ノ二縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府師範學校教授　西山　清澄
臺南師範學校長志保田鉎吉不在中代理ヲ命ス

▲一月七日

臺灣總督府技師　赤城五十羽
現金前渡官吏ヲ免ス物品會計官吏ヲ免ス

▲一月九日

臺灣總督府師範學校教授　監谷　伴造
臺北師範學校長太田秀穗不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府殖産局長　高田元治郎
總務長官下村宏不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府事務官　鎌田　正威
總督官房文書課長石井光次郎不在中代理ヲ命ス

▲一月十三日

臺北地方法院判官
臺灣總督府法院判官　鹹澤榮三郎
補臺南地方法院嘉義支部判官兼臺南地方法院判官

▲一月十四日

臺灣公立實業學校教諭　西田　辰海
公立臺北工業學校長吉田佐次郎不在中代理ヲ命ス

▲一月十五日

休職臺灣總督府醫院醫長　藤林　賢治
依願免本官

▲一月十九日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府殖産局長 高田元治郎
臺灣總督府財務局長 末松偕一郎
臺灣總督府參事官 楠 正秋
臺灣總督府警察局長 宮島 元治
臺南廳長 枝 德二
臺中廳長 加福 豐次
臺灣總督府事務官 片山秀太郎
臺灣總督府師範學校長 志保田鉎吉
臺灣公立高等普通學校長 小豆澤英男
臺北廳長 梅谷 光貞
(各通)
臺灣總督府師範學校長 太田 秀穗
臺灣總督府編修官 小川 尙義
臺灣總督府事務官 鎌田 正威
臺灣總督府編輯官 古山榮三郎
臺灣總督府視學官 田中友二郎
臺灣公立女子高等普通學校長 田川 辰一
臺灣總督府編修官 丸井圭治郎
臺灣總督府視學官 平野 象一
臺灣總督府師範學校教授 河瀨牛四郎
臺灣總督府視學官 野口 繁治
臺灣公立女子高等普通學校長 前川 治
臺灣總督府編修官 佐々木圖棨
學校教科用圖書調査委員會常設委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官 片山秀太郎
臺灣總督府師範學校長 太田 秀穗
臺灣總督府編輯官 古山榮三郎
臺灣總督府視學官 田中友二郎
(各通) 臺灣公立女子高等普通學校長 田川 辰一
臺灣總督府視學官 平野 象一
臺灣總督府師範學校教授 河瀨牛四郎

臺灣總督府視學官 野口 繁治
臺灣總督府編輯官 佐々木圖棨
學校教科用圖書調査委員會主査ヲ命ス

▲一月二十日

臺灣總督府事務官 田阪 千助
臨時支出吏ヲ命ス
臺灣總督府事務官 田阪 千助
福岡及山口ノ兩縣下ヘ出張ヲ命ス

▲一月二十三日

臺灣總督府編修官 古山榮三郎
臺灣總督府視學官 田中友二郎
臺灣總督府視學官 平野 象一
臺灣總督府師範學校教授 平塚 佐吉
臺灣總督府中學校教諭 板垣四十六郎
臺灣公立女子高等普通學校教諭 澁谷 はる
(各通)
臺灣小學校理科教授要目調査委員ヲ命ス
臺灣總督府師範學校教授 横山鐵太郎
(各通)臺灣公立女子高等普通學校教授 廣松 甚臣
學校教科用圖書調査委員會臨時委員ヲ命ス

▲一月二十八日

臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官 増田 秀吉
東京、茨城、宮城、秋田、青森、兵庫、山口、福岡、大分、佐賀、長崎、熊本及鹿兒島ノ一府十二縣下ヘ出張ヲ命ス

▲一月三十一日

臺灣總督府技手兼臺灣總督府農事試驗場技師 從七位 齋藤吳代司
任臺灣總督府技師
臺灣總督府警視 草野 義一
臺灣總督府警部補特別任用考試委員ヲ免ス

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本使命及同化問題

臺灣總督府高等商業學校長　隈本繁吉

吾人憶過去五六年間事相　以大戰爲中軸　世界有形無形之混亂　千態萬狀　是故干戈雖戢　思想界及經濟界暨其他社會各方面國際的及內國的　非常變局　天下識者學者及爲政者　皆苦心焦慮　謀有以除去此間不安狀態　此間卽民本主義　民族自決　勞働問題　世界改造　及其他生活問題　乃至信仰問題　種々極端思潮運動　變爲混亂之大動脈　與小動脈　反對諸潮流　雖則或有一國本位之勢力　依然存在　是縱云國際聯盟或世界平和　然其一面國家愈要鞏固　國民愈要結束　如美如英如法如德　英不皆然　顧世界雖何如混雜　思想何如動搖　以國家爲基礎　謀爲富强之思想　永不渝替　是卽吾固信而無疑者　試觀參戰諸國之中　如米國之實情　尤其甚者　一面高唱國際主義　一面致力于國力發展　餘勢所及極廣　彼等標榜人道正義而伸力于支那及西伯利亞方面　盡人能知　彼米國具有世界四十二種民族移民　無可誇之歷史　彼等之國語　卽係英語　其英語尙不能爲全般所通用　是故美國對於此等之移民及其子孫　於學校敎育暨種々社會的施設　以同化之　俾曉米國民之言語　同其好尙　又此次參戰後　頒布徵兵令　覺壯丁中無敎育者意外多數　受檢查數九百萬人之中　不知英語者有七十萬人以上　是以韋大統領及故羅斯福氏等　指導國民者率先爲其中心　學校敎會富豪學者以及報館竝諸事業家等官民相率　熱狂于美化運動　自國語至于制度習慣　皆欲使之同化于米合衆國之風　彼於各施設方面　皆非常努力　換言之則大規模之米國　外焉高標人道正義旗幟　以世界的俠客自任　內焉圖爲民族之團結而計國家之鞏固　是爲發展國力之根本問題　不待論也　彼以夙有之們羅主義變爲汎亞美利加主義　以統一南北兩美爲理想之一　與國際主義二者　促國民自信自負　俾多種民族化爲純粹之米人　要之彼合衆國　爲政府爲國民皆由此參戰　物質的非常發達而外　極力高唱同化運動　以使國家之統一　爲不可掩之事實也　英國亦於此大戰中　雖一時辟易然彼發揮不屈不撓之精神　擧國一致　堅守忍耐　以得最後勝利　戰後大英國　皆努力于多數領土與本國統一結合　更進人而腐心于政治的或經濟的努力範圍之擴張　支那方面固不待言

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殆世界到處無一不見安克撒遜化之形迹也 世界大局 現在有諸多不安 而大如米國 大如英國 皆深計及自國之安寧 與國民之結合 而汲汲于高占地步矣 反是韋大統領 於大戰之中 欲殺德墺努力 故高唱民族自決論 迄德墺崩壞之後 乃見實行 中歐諸多小民族國 分裂自主 今尙紛亂不絕 可見此種雜多民族 非統一爲全斯拉夫族 或統一於全德民族之下 僅得獨立美名而無維持國家之實力 焉得其不崩壞耶 要之事物縱經幾許道程徑路 其所歸著 自有定所 徒欲於期間播弄手段 可謂愚極 顧國家民族之消長 受種々沿革 及歷史使然 戰爭大破壞 可畏可怖而自古以來 專以口舌迷罔天下 惹起萬重之波瀾者 亦足寒心 竊意民族自決云云所以留禍患于世界平和之上也 吾人對彼朝鮮人 深憐其短慮無智同時評韋氏爲罪魁也 此民族自決論 適影響於美國 彼對于國內之他族人種 就中對其黑人 如以私刑 及其他虐待 皆出於吾人想像以上 其偏私殘忍 無所不至 嘗記二三年前 基督降誕祭時 有行私刑之地方者 自人道上而言 就基督教義上而論 皆逆賊之行爲也 是故黑人中有識者若哈克土大學教頭 媚拉博士及黑人某機關雜誌主筆 柔嘉野博士・皆大叫韋大總統之正義人道及民本主義爲對外之假裝手段耳 堂々而抗議之 此主張也 黑人於歐戰捐軀者許多 故欲得利權 乘韋大統領高唱民族自決論 打草驚蛇 因利用之 次第反抗 二三都市 演出白黑人種之市街戰爭 致國內于不安 若用春秋誅心筆法 米國白人行爲及大統領主張實難辭其咎也 翻觀我黃人種與白人種對照 其文化其歷史其員數 與之對峙 稱爲世界双璧 倘除物質的文明外 黃人反優於彼也 若夫貢献于類平和幸福進步發達 黃人種斷無不可與之竝轡而驅之理 但世界當由黃白兩人種協力 進于理想之境 然而白人種斷橫行居之不疑 徒以文明自倡自任 到底不能博世界人類滿足與幸福也 刻下世界各方面 變態與不安 自人中代表者之英美極力圖國民統一結合 而且欲爲世界之霸主 如彼小民族國雖有分立自主之名而毫無其實 世界列國之現象已如斯 爲我黃人種 不可不講究應進之徑路也 固不俟言者 黃人種之我等 丁今時局 宜超出小々從來之立脚地以新生命與大理想爲我日本之使命 宜學前記英美抱負之大日本之使命 非宜於居於舊來之領土 當抱有汎亞細亞主義卽含有黃人種互相抱合融和之意也 換言之則所謂我黃人同胞主義者 宜與白人種其爲貢献于世界人類平和 黃與白 不相排斥而各進而攜手協力以救濟世界 是爲國際主義 此理實現之一步 爲汎亞細亞主義也 實現之日 此諸英美二國所倡之國際聯盟 其結局較爲徹底 此時乃實現眞實國際聯盟 及眞實四海同胞 夫於彼國際會議 我國所提倡人種 無差別一案 一二强國 謂爲理想一端 僅贊同宗旨而排斥實行因而否決 然而世界人類大多數 實衷心歡迎之 希望早晚實現 竝愈益信賴日本國民 卽順應新日本使命之歡聲 交起于世界也 非僅得道德的勝利而已 吾人試於此新日本使命之下、瞑想一番 日本國民 於其國內 宜先融和 則將來不宜分爲新附之民與舊來之民於其法律上與事實上 新舊兩民 無所差別 卽爲日本國民 於其言語風俗習慣等大體一貫 無有大差 均爲同一國民 亦當無格々不相容之障壁也 我國對於新附國民誠如米國對於移民須要同化 是以關於朝鮮與臺灣之同化問題 今宜愈要考慮

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

施設方法　實行方法　但宜改善則其效果　當有可觀　是對於新日本使命之緊急事項也　顧同化問題　世界或以爲至難　或論爲不可能　然而細思之　世界各人種　雖有黃白銅黑　判然區別　如此人種　非經過長年月　同化難期　縱經過長年月或不可能　然而黃與黃　白與白　同一人種之同化　視其方法之如何　固未敢卽斷爲容易然非必不可能也　北米國總人口約一億萬之中　外國生與外國種者約占四成強　外國生云者　係生於米國以外移住而來　外國種云者　兩親乃至若父母爲外國生之人　此兩者爲米化運動之目的　此四成名籍雖爲米國市民然其素質　尙未十分　有同化之必要　然而傳至其孫以後　則化爲純米人矣　但我日本人與支那人諸東洋移民　置於例外以同化難之故　受彼等之排斥也　然尙爲白人　至三代之後則同化其風　此種事實　可以證明黃人種間相互同化問題　其法得宜則可能也　米國白人之中　有來自東歐南歐北歐　多種異語異俗之民族　文化程度　較諸美國　判若雲泥　然而至三代後　大抵同化　況我日本與支那民族　論其種族文化風習等　極相近似　然則臺灣同化問題　若其施設無有遺漏　當更容易期望　要之大日本使命　臺鮮人之同化問題　屬於燃眉之急而同化非至難也　余玆略言同化之意　所謂同化他民族者非絕對的無一不使之化于母國風　不許特別欵待　苟誠如是則不可能也　雖然國語固宜依母國普通之標準　使之熟于使用　其他用國語及其他方法　使之浸染我國民共通之國民性質風俗　沐我帝國文化　俾爲同一國民　顧我國民特質風俗　亦非全無可改良或要求進步餘地　而臺鮮固有舊慣風俗亦要改善　所有善良者保存之　且使之助長　矯角殺牛　智者　所不爲也　或云彼等衣食住方法　隨其風土氣候且因長年月經驗　不識不知　至于適當利便者　不宜强使之同化母國　要之爲國民以言語爲統一根本之情操志節　能與我國同一　是爲同化目標　結局與母國民同負擔護國義務　維持平和幸福　則庶幾哉！吾人因而回憶米國參戰中之同化運動　爲過度愛國熱狂感情所驅　逸於常規今同國之世論　漸悟依此强制手段之非　拂以愼重考慮　原夫彼國與我國歷史之舊　以皇室爲中心　具有一定之國民性者事情大異　然而純米人比移住白人　智能　態度禮節之優　不待言也　然而米國尙對彼等移民　預想其所有特長美點　許取所長　以補其缺　似此雅量之下　以同化移民　就米國之風爲此雅量　近來白人移民　漸懷精神的希望　中北部西北部諸州假如有千人之意太利人及千人之德人千人之猶太人集團地內混百名少數之純米人　亦以此少數之純米人爲中心　次第倣行　期於美化　余思移住米國民族及來住臺鮮之母國人　事情雖甚異　然而母國人亦宜以同化彼等自任　深同情于彼等　具有矯其短而用其長之雅量也　大日本使命其究極以世界眞融和爲理想　實現汎亞細亞主義　須先同化臺鮮民族　今也純日本人約六千萬　皇室以民爲本　民戴皇室爲中心　建國殆三千年造就世界無比之國風　與新爲國民之臺鮮二千萬民衆爲兄弟姊妹　衷心彼我融和　共完此大日本之使命　豈非我等之天職乎同胞中當無一人之異議也　此同化所要之信念　若擴張熱情爲汎亞細亞主義　實現第二段所屬之日支親善問題　亦非甚難問題也　此問題固宜別論　固非依靠一時代之政府　及外交乎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

段所能解決也　日支兩國民　宜以雅量　互相諒解　具有全亞細亞主義　乃至黃人種同胞主義　而彼我感情與利害　相爲一致　聯絡氣脈　卽彼此之齟齬　始能氷解　所謂同文同種　輔車唇齒云云者　始發生眞意味也　昔曹子建七步吟不云乎　煑豆燃豆　萁豆在釜中泣　本是同根生　相煎何太急　支那人倘諒解此意　當無有排斥日貨之問題也　以上所述大日本之使命須要熱情信念雅量　於臺鮮同化運動遂行上　顚沛造次　不可忘也　此運動所關之施設注意事項　當如何而可　此等當依種々學說及有根据之研究　今謹將常職所判斷之事項　臚列于左

並附說倂合之朝鮮及臺灣　當初卽係帝國新領土　不宜用植民地之稱號也　我國對臺鮮之關係　與白人之對待兩美南洋非州諸植民地之關係　其意義事情不相同　有帝國領域延長之觀　曩者田總督曾宣言以臺灣構成帝國領土一部　是足以對內外闡明臺灣於帝國之位置而無遺也

一　法制上承認結婚而圖血液之共通

二　在臺灣與朝鮮所實行之普通敎育　愈益擴充　就中最用心于國語普及與國民性陶冶　而改善于師範敎育　但普通敎育之擴充　含早晚義務敎育實施問題　義務敎育實施須要巨額經費　務開簡易輕便之法　竝宜斟酌地方民度不宜採用畫一制度　譬如修業年限及一年間出席日數僻陬地方　可定以最少限度也

三　勸奬女子敎育　對於國語及國風浸染　開放家庭門戶

四　以學校爲中心　由學校與官憲協力　以圖國語普及　風俗改善　但彼警察官敎員者　常接觸人民　故其一擧一動、直觸于人民之耳目而變爲好惡之情　其親和與疎隔　卽繫于對帝國悅服與怨嗟　影響于同化關係上甚大　故十分注意　適擇人材　一面優遇　一面訓練　是爲緊要

五　除敎育從事者乃至職責關係以外　宜大致力于同化運動如篤志者或爲愛國婦人會　敎育會諸特志團體　出資而設共同雜居地於臺鮮人所居部落　使熟于土語曾從事於敎職之人就中如有志婦人爲其首腦　以母國風爲主　參酌新領土事情慣習　而示以衣食住之實情　其對於老幼婦女各設場所　且定時間　俾之隨意出入　奬勵使用國語、自應對娛樂遊戲等乃至看護衞生裁縫稱稱作業　以及讀書

六　談話等莫不指示誘掖　俾彼等欣喜來往　感動熱誠　不知不識之間　自然習熟國語　及趣于善良風俗會得日本人之趣味也　該共同公室　建築于公學校比隣　較爲利便是因中心人物之男子及婦人　屬所謂社會事業家之類　具有如宗敎家之熱誠　體認自家之使命　宜居住此間　親切周到　對於老幼婦女等　應其實情　指導示範　咸得其宜是以於本事業具有趣味富于同情　且能耐久　意願從事者　選擇之後　與以斯職　尙要養成　此等須要宗敎家助力　固不待言　就中新附人民之言行　及愛國心　與純日本人無異者　當得此等人物活動　尤爲有效

六　母國人之永住　最爲必要　就中多年從事于敎職　曉通臺語　熟悉於該地民情　而且老練著實之人士　若無何等　難爲事情　則與以一定官有地　俾之便于永住　爲居住地主要

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人物　爲新附民歸依之中心點　努力於善良風俗之增進也

七　同化之意義　即如上所述　由大日本使命上　母國人之態度生出信念熱情雅量　愈與新領土民族接洽親密　且對彼等宜要以熱誠誘導啓發

八　新領土母國人學校兒童之教育　及家庭之教育　應照前述之意　愈一層徹底　同爲帝國臣民　同爲兄弟姊妹　宜現出彼我相助相賴之實情　勿以言語不通　及其他事由往々致感情疏融　生出互相侮蔑言行　此事對於新附民之教育　及純日本人之教育　於國民的訓練　最宜一般注意

九　糾非違　明是非　固爲當然　顧社會發生之事件　不論爲公爲私　均當公平虛心坦懷　努力解決　宜避不究眞情而有輕輕解釋之嫌也

附說我等關于臺灣司法關係問題　臺人對於司法官之公平信賴悅服・是即吾人最爲愉快　而彼等臺人亦重我國憲　國法同化于成國風之一楔子也

十　宜參酌時勢民度本人能力　國語國風　習熟程度　修學上宜與以均等之機　至少宜開中等教育以上共學之途

十一　對於新附民之子弟　宜應其學力品性　學校畢業後與其以相當位置及職業

十二　不論臺灣朝鮮母國人與新附民　通來合辦事業　逐漸增多洵爲可慶可喜之現象也　然宜更加一層相舉期于經濟上無民族的差別也

十三　對於博物館圖書館等・種々之施設宜多　且宜陳列介紹母國文化資料　或改良擴張活動寫眞演劇暨其他臺灣在來宜講等事業　爲社會教育一事項　資國風勸獎宜傳也

十四　將來義務教育　若至於實施　早晚與以徵兵義務之名譽造成與舊國民同心一体之機會　大日本使命　即爲全亞細亞平和主義　此主義乃貢獻於全世界和平融合　一面須要十分保障平和之國力　蓋一國々民要多　護國之兵員亦要多　此次大戰　在英國及其他重要領地　斷行徵兵　美國亦不分白黃黑銅人種　苟爲該國之民　亦被徵往戰場　是其著例　由是觀之　臺鮮人既爲日本國民　早晚當負義務教育與徵兵義務　如是則較諸現時更得名譽、進與我母國人渾然一體、不愧爲日本帝國臣民　新附之民　可不勉哉　本島人須觀對岸支那一帶人民　生命財產　且難保全　當感謝爲我國民之名譽　前記事項　倘得實現　則彼等當更上一層　歸心於我國也　在臺內地人　苟能團結　合爲一體　則當許以地方自治

十五　此外能得產業發達　文運進步者　固因當局施設得宜　勸獎無遺　而資同化甚大　又鰥寡孤獨　盲啞痴狂廢疾及對於其他愚昧　救濟感化事業　若其施設得宜　則新附子民當能益感孚我國恩惠　易同化於國風也

以上所述者　按世界前途　當如何推移展開　覺現在時代思潮動搖　形而上與形而下　皆變而爲世界苦況　到處惹起不安混雜動搖　此中獨我帝國依然以國家爲本位　因而想到我日本使命　及當如何貢獻於人類　永久平和及幸福　結局論我日本當以黃白兩人種協力融和之全亞細亞主義　成立爲理想而論及之　此中日支親善　當必實現　宜互相努力　就中第一步　先將日本國民・渾然合爲一體　新國民與舊來純日本人　靈犀相通　合一融和　至于無差別之境遇也　茲唱導比從來同化問題　較爲確實　有效解決　仰大方之高教焉(完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

對支經營政策新綱紀

臺灣銀行副頭取 中川小十郎

德國之大學者他威氏 昔時主唱進化論 其紀綱卽爲優勝劣敗强者生存 所謂戰鬪主義者是也 如此主義 動搖爲政家之思想 因而影響及各國政綱 竟至列國擴充軍備 誘發大戰亂列國々民 自睹戰禍 異常驚駭 於是乎 忠羅芝斯氏一派所唱人生有情義之思想 勃然發生 以此思想爲根蒂而作成者所謂國際聯盟是也 厥初美國提倡國際聯盟 於其上院 議論紛紜 竟將該議案 重要事項 或改或廢 似非舉國贊同 美國對該聯盟 將來如何行動 雖難逆料 然國際聯盟 經於英法伊白之間 蓋印批准 確實成立 自今以往 以此聯盟 維持世界大局 似可免懷疑 然而我隣邦之支那共和國 前因山東問題而致生紛擾 對德講和 拒絕蓋印迄客歲九月十日 支那全權公使陸徵祥氏 忽然加盟蓋印 由是日支兩國 同爲國際聯盟國之一員 宜依聯盟之精神而互相協力 此則理也勢也顧近來支那國民之對於我日本國與日本人 其行爲態度 全然忘却此精神 洵爲識者所憾 如吾等就職財界者 常思欲促進平和的事業而確立東洋之和平 以圖日支兩國共存共榮 是爲國是 蓋以刻下國際大局 與日支國交 洵爲重大時機 兩國々民 正當協同奮勵之秋也 然而吾人所謂對支經營 政策新紀綱者維何 曰 我日本由國際政局之變易 與日支關係之推移 對支那之活動 不可不爲之革新 如此革新之活動 具有二法 一則爲活動地域 一則爲活動手段 憶明治維新之後偶有征韓論破裂 發生一大事件 經久未能解決迄明治二十七年變發日清戰爭 擊壞清國勢力 未久俄國南下以圖滿鮮於是至明治三十七年 復爲保朝鮮之故國兵拚命 與俄大戰 但我日本所以重視朝鮮問題 二次與强大國交戰者非有他故 實因朝鮮之興廢於關係于日本之存亡 英人古來咸曰 法國加禮之英國 譬喩以短銃比擬英國之心臟一樣云 朝鮮半島之於我日本 亦正如斯焉 該半島倘處在他國勢力之下我日本國民 造次顚沛 不能安堵 是以日本爲圖朝鮮之獨立二次興師 懲膺清俄 驅除禍根 雖然朝鮮猶不能獨立 將被他國侵入 於日本不得已盡最後手段 而行日韓併合之舉 決非有如支那學生所唱鯨呑的野心侵朝鮮之存亡 倘繫于滿蒙昔者戈堅氏崛起于大沙漠之北東 征服朝鮮而覬覦日本 迄近世俄國自西野下南占領滿洲 欲呑朝鮮 而脅迫日本 今則大勢一變 我日本務伸力於南滿者 欲保朝鮮之安定耳 焉有占領滿蒙之野心然南滿已入我勢力內我政府熱心施設 振興經濟 卽如南滿鐵路之整備 安奉鐵路之改修 南滿五大鐵路之籌設 本溪湖鞍山站等鐵山炭坑之開掘 製鐵所之創立 其他南滿一帶之地域與官民協力 得以同沾於日本之文化矣 是卽日本對該地方稱々關係上 應盡政策也 顧昔者俄國每以兵力威嚇南滿 至

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今俄已崩壞　不能伸力於滿洲　所謂北門豹狼　今已斃死　可免憂慮　此後我國々民　當努力於經營南方所云南方者　以我臺灣爲起點　次及南支南洋者是也　國際聯盟　經已成立　而各國互相協力以維世界和平　而我東洋亦應得安全　然汪洋春海　果能波濤無驚乎　如國際聯盟　非成立與全世界列國贊同之間　且其條約　難以一律實行　將來米國之勢力　與日本之勢力　得無交錯於大平洋上乎　然則我日本不可伸力於南支南洋　因此次大戰而致　俄國崩壞　聯盟成立　米國隆興　我日本即因俄之崩　盟之成　米之興而對外局面　愈爲展開　約而言之　吾人對支經營　特於南方支那大陸與南洋　新開局面而得見重大意義　所謂活動地域者是也　於其地域　應盡方法　不宜用武力而以平和手段　當以經濟的施設爲主而以政治的應酬爲從　據西洋歷史家所云　在歐洲自古以來　迄於今世三千四百年之久　得平和期間僅有二百三十年間耳　宜哉法弗斯一派之人　謂人間社會　猶豺狼群類耳　又「日米必戰論」之著述者禾馬呂氏曾視萬國平和會議而爲「衣五色衣之奴」　彼歷史家者　證其歐人好鬪之事實　此學者言其國民之特性　足見歐米之人　大抵稟性好戰也　我東洋人則反之日本與支那　對立於極東之天地者　二千五百年於茲　此間兩國交戰　不足指數　稽考史乘　日華兩國々民　相見不以玉帛而以干戈者　李唐乘新興之勢　欲驅逐日本勢力於朝鮮外而侵入半島　日本及百濟之同盟軍與　唐竝新羅之聯合軍　搆兵雞林相爭主權　即其一也　蒙古統一支那　率四百餘州之大兵　來襲日本　即其二也　豐臣秀吉與明朝啓釁　其三也　降至今世日清之役　即其四也　然此四次之中　元軍入冠　與日清戰爭實係外種君臨於漢民族之時　未得曰日中戰爭　純支那民族與日本民族之交戰　僅有前後二次而已　較諸英法德伊俄西等之歐洲列國　自古以來　繼續戰鬪　以血結交者　判若雲泥　我日華兩國民提携交好二千外年於茲　由是觀之　日支親善　實爲兩國々交之根蔕　千古不替者　雖然竊觀過去五十年　國交之跡　未有始終和睦　難免彼我共同責任　支那對我態度姑勿論之　今將就日本對支態度而言之　即如前所縷述　朝鮮半島　實爲我國之咽喉　能制日本生命　初在日本維新之時　朝鮮屬在清國勢力之下　而清國每妨害日本之政策　攪亂東洋之平和　是以日本朝野之人士　不知不識之間　僉謂若非懲膺支那　即難保日本之存立與東洋之治安　竟至以支那爲敵國　然迄日清戰爭而得以結局　國交依舊和好　嗣日本對外政策　以對抗俄國爲其目的　故我國與英同盟　極力備俄　迄至日俄戰爭前後　日支國交　尤形關切　日本根本的國是　即以日俄抗爭與日英同盟爲其經緯以故日本對支政策　亦不得不應順對俄軍事的施設　日本敗俄而得驅逐俄之勢力於朝鮮與遼東半島外　然俄依然練兵於松花江外而待捲土重來之機　是以日本亦於彼地有所施設　以備俄軍　茲因大戰而至俄亡盟成　於是日本之於東洋自國地位　及其環境事情　盡爲變化　又對支經營地域　自北及南　經營方法　尤尚平和　此後兩國　宜鑑同爲聯盟之一員　而互相協力　撤廢軍事　以興經濟　共圖東洋之和平　而貢於献世界之和平　是即兩國應盡之責任也　余無官守亦無言責　故未敢言及山東問題　但如彼國人士　排斥日貨　嫌惡日人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

固因誤解　致有此舉　倘能想到人類平和之大義　與日支兩國於世界之地位　即如此錯謬　自然氷解　願我日本刻下當務之急　竭盡手段　剪除疑團　其手段　或以言論機關　或起學校　設教會　築病院　而收攬民心亦可　然余在財界關係上　敢進言曰　宜以日本資力　開發支那無窮之富源　而振興中國之產業　以圖四億民口之富裕　是即我所謂日本應對支那經營政策新綱紀而　所以増進東亞同文同種兩國々民之福祉也

●庚申雜錄

明季延平郡王鄭成功　以金廈兩島　抗清國全師　幾復中原　不幸金陵戰敗　退踞臺灣全島　猶得傳子若孫　垂四十年　雖爲周之頑民　實殷之義士也　有清康熙帝　於其孫克塽歸降　疏封五等　仰見如天之度　本島人民　懷其恩德　私爲立祠奉祀　水旱祈禱輒應　至同治年間　沈文肅公奉命渡臺　從進士揚士芳等之請　會同閩督聯銜上奏　請建專祠　蒙恩報可　賜謚忠節　特勅地方官春秋致祭　歷久不衰　迄乙未改隸　樺山督憲以康公我之所自出　尤加敬禮　內地人士到臺者　亦莫不崇拜焉　其後遂榮列縣社　例年以二月望日致祭　今茲又屆其期　臺南廳長等　仍如例舉行　可謂盛矣　但我國之敬仰郡王者　固不自隸後始也　因憶藤森大雅先生有題鄭延平焚儒服圖　慷慨激昂　爰爲錄之　以見內地人士傾倒之至　其詩曰　朱火欲燃國步艱　殺氣腥膻日日昏　萬歲山頭呪龍髯　延秋門外哀王孫　黨禍紛々擊且培　四海士氣漸喪久　草間偷活何奄々　崩角稽首惟恐後　延平郡王眞男兒　忠義之心確不移　一死酬恩無反顧　一木欲支大厦欹　慷慨出師意激烈　先師廟前矢立節　脫却儒衣付焚如　仰天低回瀝心血　昔爲孺子今孤臣　向背去留異所遵　旁人乍聽色潛動　嗚咽無聲氣自振　嗚呼志業雖不遂　足爲萬世皷忠義　君不聞此子受生日域中　山川鍾秀膽氣雄　又不聞母氏清操亦英特　泉城烈死巡異域　母教自古賢哲多　何況男兒性所得　莫怪金陵喪敗氣猶剛　直取鷄籠作金湯　戈鋋一揮紫颶息　鰐魚遠徒鯨可得　三世恭奉明正朔　衣冠堂々四十霜　永爲臣子示儀表　昭回並懸日月光

●致祭芝山巖教育家

臺北廳轄士林芝山巖　崇祀遭難六士先生　及故教育家　計有數十名　例年於二月一日致祭　本年新合祀者　又有十六名　即教諭岩崎四郎　東輝雄　松浦英五郎　原田百人　田島善之丞　北島太郎　谷川彌策　川上良吉　村岡賤夫　西川金太郎　志賀友忠　古田清夫　横田弘　伊東恒治　久保田清助　教諭心得阪本諸先生　教育會如例於去二月一日午前十時舉行　先即教育會長暨遺族及各參列員就位　次齋員著場　次修祓　次降神式　一同行禮　次供饌　次齋主讀祭詞　次教育會長讀祭文　次有志者讀祭文　次教育會長以下相繼拈香　次徹饌　次送神　而禮以成　於是陸續散去　是日天氣溫和　風晴日麗　或赴圓山散步　或赴北投入浴　或觀桃於草山　各適其適　而該岩下民居　有古梅一樹　恰値盛開　清香浮動　疎影橫斜　索笑者尤爲絡繹不絕云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

法令

●臺灣漁業取締規則中改正

大正九年一月十一日
府令第一號

大正元年十二月府令第四十三號臺灣漁業取締規則中左ノ通改正ス

第三條中「（別記圖面ノ通）」ノ下ニ「竝海底電線（淡水福州線、淡水沖繩線、淡水長崎線）ノ兩側各五海里內」ヲ加フ

第十四條中「「トロール」汽船ノ船長ハ」ノ下ニ「臺灣總督ノ檢印ヲ受ケタル」ヲ加フ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣總督府鐵道職員現業從事者略服ヲ定ムル件

大正九年一月二十八日
府令第二號

臺灣總督府鐵道職員ニシテ現業ニ從事スル者ノ略服左ノ通相定ム

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從來貸與シタル制服ハ當分ノ內之ヲ著用セシムルコトヲ得

臺灣總督府鐵道職員現業從事者略服

種別		奏任	判任
上衣	地質	紺若ハ黒羅紗又ハ紺若ハ黒「ヘル」「セル」	同上
	製式	立襟一行鈕釦背廣形　樣式如圖	同上
	袖章	幅五分黒線三條ヲ附ス線間二分トス樣式如圖	同黒線二條ヲ附ス餘ハ同上
	鈕釦	徑六分金地ニ鐵道機關車働輪形押出模樣ヲ附ス樣式如圖	同上
袴	地質	上衣ニ同シ	同上
	製式	普通長袴　樣式如圖	同上
帽	地質	濃紺又ハ黒羅紗	同上
	製式	圓形ニシテ黒革製前庇及幅四分黒色支革ヲ附シ支革ノ兩端ヲ帽ノ兩側ニ於テ徑四分金色釦（模樣ハ上衣鈕釦ニ同シ）各一箇ヲ以テ止メ帽ノ周圍ニハ幅六分ノ七子毛線ヲ下端ニ纒フ、驛長及助役ヲ除ク	同上
	徽章	金屬製打出トシ徑六分五厘ノ金色鐵道機關車働輪ニ㊄ヲ現シ幅間ハ打拔キ黒色トナシタルモノヲ金色九重桐ニテ抱ク縱一寸一分橫一寸七分樣式如圖	同上
外套	地質	紺又ハ黒羅砂	同上
	製式	折襟胸二重鈕釦ハ二列トシ各六箇ヲ附ス後面ハ裾ヲ割キ其ノ腰部ニ帶緒ヲ附シ之ニ七箇ノ釦（模樣ハ上衣鈕釦ニ同シ）ヲ附ス又前左右ノ腰部ニ各一箇ノ物入ヲ附ス樣式如圖	同上
	袖章	金色ノ鈕釦（模樣ハ上衣鈕釦ニ同シ）二箇ヲ附ス　樣式如圖	金色ノ釦一箇ヲ附ス餘ハ同上
	頭巾	紺又ハ黒羅紗　樣式如圖	同上
雨衣	地質	黒防水布	同上
	製式	立襟頭巾肩掛附、鈕釦（模樣ハ上衣鈕釦ニ同シ）ハ二列ニ各五箇ヲ附シ樣式外套ニ同シ但シ帶緒ヲ附セス	同上
	頭巾	黒防水布　樣式外套ニ同シ	同上
驛長及助役服ニ特殊ナル事項	帽　驛長	鉢卷ヲ紺羅紗トシ下端ヨリ順次ニ幅四分縞織金線一條、二分縞織金線一條ヲ纒フ、線間各二分トス其ノ他帽ノ製式ニ同シ　樣式如圖	
	帽　助役	鉢卷ニ纒フヘキ縞織金綿ハ四分ノモノ一條トシ其ノ他ハ同前	

備考

一　職務ヲ識別スル爲ニ要スル腕章其ノ他ノ表章及仕業中著用セシムヘキ作業衣、上覆等ハ當該部局長之ヲ定ム

二　臨時驛長又ハ助役ノ代務ヲ命セラレタル者ハ助役ノ帽ヲ用ウルコトヲ得

三　襟章ハ大正二年六月府令第六十五號臺灣總督府文官特別徽章規則ニ依リ所屬官廳相當ノ徽章ヲ附スルモノトス（圖面ハ略ス）

●專賣局分課規程中改正

大正九年一月十三日
訓令第一號

明治三十八年十一月訓令第二百三十三號臺灣總督府專賣局分課規程中左ノ通改正ス

第一條中「腦務課」ノ下ニ「、造林課」ヲ加フ

第六條中第九號ヲ削ル

第六條ノ二　造林課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　官行樟樹造林地ノ調查選定及殖林ニ關スル事項

二　樟樹造林ニ關スル經濟調査事項
三　樟腦製造ニ關スル事項
四　造林樟樹含腦量試驗ニ關スル事項

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣ニ於ルケ陸軍六週間現役兵取扱手續

大正九年一月十七日　訓令第二號

臺灣ニ於ケル陸軍六週間現役兵取扱手續左ノ通相定ム

臺灣ニ於ケル陸軍六週間現役兵取扱手續

第一條　明治四十一年二月陸軍省令第三號陸軍六週間現役兵條例施行細則ニ依ル當該學校長ノ屆出及本人ノ屆出ハ所轄廳長ヲ經由スヘシ但シ臺灣總督府師範學校長、臺灣公立高等女學校長、臺灣公立實業學校長ノ同校教務職員ニ對スル屆出ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條　廳長ハ前條ノ屆書ヲ査覈シ之ヲ總務長官ニ進達スヘシ

第三條　廳長及第一條但書ニ依ル各學校長ハ陸軍六週間現役兵ニ服スヘキ者及同現役服役終了者ニ對スル別記樣式ノ名簿ヲ備ヘ整理スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年五月訓令第九十八號臺灣ニ於ケル陸軍六週間現役兵取扱手續ハ之ヲ廢止ス

（別記）

（用紙美濃半葉）

陸軍六週間現役兵名簿

本籍地	所管聯隊區	現住所	族籍職業	戸主トノ關係及氏名	誕生年月日
					年　月　日

記事欄記入事項左ノ如シ
師範學校卒業年月日及學校名
任官年月日及官職名
就職年月日及學校名
身體檢查ノ結果
轉勤退職其ノ他異動事項及其ノ年月日
入解隊年月日及其ノ隊號
一　其ノ他必要ト認ムル事項

●專賣局食鹽監視員及監視員補給與品貸與品支給規則中改正

大正九年一月二十日　訓令第三號

明治三十四年十二月訓令第四百三十八號臺灣總督府專賣局食鹽監視員及監視員補給與品貸與品支給規則中左ノ通改正ス

第三條中給與品ノ部夏服ノ保存期限「一年」ヲ「二年」ニ改ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●廳警察會議規程中改正

大正九年一月二十三日　訓令第四號

大正元年十月訓令第四十四號廳警察會議規程中左ノ通改正ス

第二條　警察會議ハ左ノ二種トシ甲種會議ハ廳長、乙種會議ハ警務課長ヲ以テ會長トス

甲種會議　支廳長及警務課係長又ハ主任タル警部ヲ以テ會員トス

乙種會議　警部、警部補總員（甲種會議ノ會員タル者ヲ除ク）ヲ以テ會員トス

各課長及其ノ他ノ職員ハ其ノ主管事項ニ關シ番外員トシテ會議ニ參與セシムルコトヲ得

第三條中「支廳長會議」ヲ「甲種會議」ニ「警部補會議」ヲ「乙種會議」ニ改メ左ノ但書ヲ加フ

但書ヲ加フ但シ乙種會議ハ總員ヲ二分シ交互ニ召集スルコトヲ得

第六條中「警察本署長」ヲ「警務局長」ニ改ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正八年度歳入歳出科目新設

大正九年一月二十四日　訓令第五號

大正八年四月訓令第三十三號別册大正八年度臺灣總督府特別會計歳入歳出科目表中左ノ目ヲ設置ス

歳出經常部

款	項	目
第十二款　教育費	第一項　俸給	△第七目　休職俸給

△印增設

●臺灣總督府報告例中改正

大正九年一月二十五日　訓令第六號

明治四十二年十二月訓令第二百八號臺灣總督府報告例別册中左ノ通改正ス

本令ハ大正八年分ヨリ之ヲ施行ス

記述ノ部中左ノ如ク改ム

年報第二中「五ノ二　宗教ニ關スル狀況」ヲ「五ノ二　神社ニ關スル狀況」「五ノ三　宗教ニ關スル狀況」ニ改ム

統計ノ部中左ノ如ク改ム

年報第四十四表、第四十五表及第百十八表ヲ削ル

●大正八年度歳入歳出科目新設

大正九年一月三十一日　訓令第七號

大正八年四月訓令第三十三號別册大正八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年度臺灣總督府特別會計歲入歲出科目表中左ノ目ヲ設置ス

歲出臨時部

款	項	目	節
第二款　事業費	第二十一項　電力調查費	△第五目　休職俸給	
第四款　勸業費	第五項　民林監督獎勵費	第二目　事業費	△第二節　補償金

△印增設

● 官國幣社職制中改正

大正九年一月四日
勅令第一號

朕官國幣社職制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第一號

官國幣社職制中左ノ通改正ス

第七條ノ二　宮司ニシテ十五年以上奏任又ハ奏任待遇以上ノ神宮神職ノ職ニ在リ功績顯著ナル者ハ四人ヲ限リ特ニ勅任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 府社縣社以下神社ノ神職ニ關スル件中改正

大正九年一月四日
勅令第二號

朕明治二十七年勅令第二十二號府社縣社以下神社ノ神職ニ關スル件中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第二號

明治二十七年勅令第二十二號中左ノ通改正ス

第七條ノ二　社司又ハ村社以下神社ノ上席社掌ニシテ二十年以上判任又ハ判任待遇以上ノ神官神職ノ職ニ在リ功績顯著ナル者ハ道府縣各二人ヲ限リ特ニ奏任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 官國幣社以下神社幣帛供進使服制中改正

大正九年一月四日
勅令第三號

朕官國幣社以下神社幣帛供進使服制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第三號

官國幣社以下神社幣帛供進使服制中左ノ通改正ス

附則中「但シ」ノ下ニ「府縣社以下神社幣帛供進使ニ限リ」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 神官神職服制中改正

大正九年一月四日
勅令第四號

朕神官神職服制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第四號

神官神職服制中左ノ通改正ス

附則第二項ヲ削ル

別表中「勅任官」ヲ「勅任官及同待遇」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 工業所有權戰時法ニ依ル專用權ニ關スル件

大正九年一月十日
勅令第九號

朕工業所有權戰時法ニ依ル專用權ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第九號

特許權ト其ノ特許發明ニ付工業所有權戰時法ニ依リ發生シタル專用權トハ各別ニ存續ス

前項ノ特許權及專用權カ同一人ニ歸シタルトキハ其ノ專用權ハ消滅ス但シ其ノ特許權又ハ專用權カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 高等官官等俸給令中改正

大正九年一月十五日
勅令第十二號

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第十二號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

別表第一表海軍省ノ部中海軍大將ノ項乃至海軍豫備兵曹長海軍豫備機關兵曹長ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海軍大將			
海軍各科中將			
海軍各科少將			
海軍各科大佐			
海軍各科中佐		海軍豫備中佐 海軍豫備機關中佐	
海軍各科少佐		海軍豫備少佐 海軍豫備機關少佐	
海軍各科大尉	海軍各科特務大尉	海軍豫備大尉 海軍豫備機關大尉	
海軍各科中尉	海軍各科特務中尉	海軍豫備中尉 海軍豫備機關中尉	
海軍各科少尉	海軍各科特務少尉	海軍豫備少尉 海軍豫備機關少尉	海軍豫備特務少尉 海軍豫備特務機關少尉

附　則

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 文武判任官等級令中改正

大正九年一月十五日
勅令第十三號

朕文武判任官等級令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第十三號

文官判任官等級令中左ノ通改正ス

別表中海軍准士官及下士ノ部ヲ左ノ如ク改ム

海軍准士官及下士官	
海軍准士官	海軍豫備准士官
海軍一等下士官	海軍豫備一等下士官
海軍二等下士官	海軍豫備二等下士官
海軍三等下士官	海軍豫備三等下士官

附　則

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 臺灣陸軍戰時召集規程

大正九年一月十七日
陸軍省令第一號

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣陸軍戰時召集規程左ノ通改定ム

臺灣陸軍戰時召集規程

第一章　總則

第一條　戰時又ハ事變ニ際シ臺灣居住ノ在鄕陸軍軍人ヲ臺灣陸軍諸部隊ニ召集スルニハ本令ニ依リ之ヲ行フ但シ將官同相當官ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　本令中居住ト稱スルハ臺灣ニ寄留シ又ハ寄留ノ目的ニ非スト雖同一ノ場所ニ六十日以上滯留スルヲ謂フ

第三條　在鄕軍人ヲ召集スルニハ召集令狀（第一樣式）ヲ用ヰ召集部隊、到著地及到著日時ヲ指定ス

第四條　應召員ノ到著スル地ニ召集事務所ヲ設ク

第五條　召集ニ應スル爲旅行ヲ爲ス者ニハ旅費ヲ給ス

第六條　應召員ノ差出スヘキ屆書ニ添附スヘキ醫師（醫生ヲ除ク以下同シ）ノ診斷書ニハ病名、原因、經過、現症、豫後、療法ヲ詳記シ特ニ到著地ニ到ルコト能ハサル理由ヲ明カナラシムルコトヲ要ス

第七條　本令中期日ノ指定アルモノハ到達ノ日（支廳長ヲ經テ廳長ニ差出スモノハ支廳ニ到達ノ日）ヲ謂フ

第八條　本令中在鄕軍人ト稱スルハ待命休職停職豫備役後備役ノ將校同相當官准士官豫備役後備役ノ下士兵卒歸休兵及補充兵ヲ謂フ

第九條　本令中應召員ト稱スルハ召集ニ應スヘキ者ヲ謂フ

第二章　召集ニ關スル屆出

第十條　在鄕軍人臺灣ニ居住スルトキハ居住地到著後（同一ノ場所ニ六十日以上滯留シタル者ハ六十日ノ末日）ヨリ十日以內ニ居住屆（第二樣式）ヲ居住地支廳長ヲ經テ（支廳ヲ置カサル地ニ在リテハ直ニ廳長ニ、以下同シ）廳長ニ差出スヘシ

臺灣ニ於テ除隊セラレ引續キ臺灣ニ居住スル者亦前項ニ同シ

第十一條　在鄕軍人ニシテ十四日以上旅行（演習召集教育召集又ハ簡閱點呼等ノ爲內地ニ旅行スル者ヲ含ム）又ハ居住地外ニ滯在セムトスル者ハ居住地ニ於テ召集其ノ他軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者（成年者ニ限ル）ヲ定メ出發前連署ヲ以テ其ノ行先ト共ニ支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

前項ニ依リ屆出タル通報人死亡其ノ他ノ事故ニ因リ變更ヲ要スルトキハ前項ニ準シ通報人ヲ定メ十四日以內ニ屆出ヘシ

第十二條　在鄕軍人第十條ノ屆出事項ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ臺灣ヲ退去セムトスルトキハ其ノ事項ヲ十四日以內（臺灣退去ノ場合ニ在リテハ出發前）ニ支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

前項ノ屆出中居住換ノ場合ニ於テ新居住地カ他廳ノ所管ニ屬スルトキハ到著後十四日以內ニ當該支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

第十三條　在鄕軍人ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中第十條ノ屆出事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ戶主（本人戶主ナルトキハ家族中家事ヲ擔當スル者以下同シ）十四日以內ニ支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

所在不明者ニシテ所在分明ト爲リタルトキハ亦前項ニ同シ

家族中家事擔當者ナキ者及家族ナキ者ニシテ前二項ノ事故ヲ生シタル場合ニ於テ一戶ヲ構ヘタル者ナルトキハ地主（借地ナルトキ）又ハ家主（借家ナルトキ）一戶ヲ構ヘサル者ナルトキハ居住所主宰者ヨリ支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

第十四條　在鄕軍人禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戶主ヨリ十四日以內ニ支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

家族中家事擔當者ナキ者及家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ前條第二項該當者ヨリ支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

第十五條　在鄕軍人演習召集解除又ハ歸鄕ヲ命セラレタルトキ其ノ解除又ハ歸鄕ヲ命セラレタル日ヨリ十四日以內ニ居住地ニ復歸セサル者ニハ第十一條ノ規定ヲ準用ス

第十六條　第十一條及前條ノ者居住地ニ復歸シタルトキ又ハ滯在地ヲ變更シタルトキハ十四日以內ニ支廳長ヲ經テ廳長ニ屆出ヘシ

第三章　召集

第十七條　召集ヲ分チテ充員召集及臨時召集トス

充員召集トハ動員ニ當リ諸部隊ノ要員ヲ充足スル爲在鄕軍人ヲ召集スルヲ謂ヒ動員令ニ依リ之ヲ實施ス

臨時召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アル場合ニ於テ臨時在鄕軍人ヲ召集スルヲ謂ヒ臨時之ヲ命令ス

第十八條　廳長動員令又ハ召集ニ關スル命令ノ達ヲ受ケタルトキハ召集令狀ヲ支廳長ニ送付スルモノトス

第十九條　支廳長令狀ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スモノトス但シ廳直轄ニ屬スル者ニ付テハ廳長之ヲ爲スモノトス

第二十條　令狀ノ交付ヲ受ケタル者ハ該令狀ニ添附シタル受領證ニ受領年月日時ヲ記入シ捺印シ應召員ニ代ハリ受領シタル者ハ記名捺印シ直ニ之ヲ返付スヘシ

第二十一條　應召員ニ代ハリ令狀ヲ受ケタル者ハ直ニ確實迅速ナル方法ヲ以テ召集部隊到著地及到著日時ヲ本人ニ通報（到著遲延ノ虞アル場合其ノ他必要アル場合ニ於テハ電信ヲ以テシ）其ノ令狀ヲ速ニ交付スルノ處置ヲ爲スヘシ

第二十二條　應召員令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ携ヘ指定ノ日時ニ到著地ニ到リ召集事務所ニ屆出ヘシ但シ通報ヲ受ケタル者ニシテ令狀ノ交付ヲ受クル爲到著延遲ノ虞アル場合ニ於テハ令狀ヲ携フルコトヲ要セス令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタル日時ノ關係上指定ノ日時ニ到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ所在地ノ憲兵又ハ警察官吏ニ就キ令狀又ハ通報ヲ受ケタル日時及出發日時ノ證明書ヲ受ケ到著ノ上召集事務所ニ屆出ヘシ前項ノ場合ニ於テ集合場ニ到著スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到ルヘシ

第二十三條　應召員中令狀又ハ召集ノ通報ヲ受領シタル際傷痍疾病ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ廳長ニ宛テタル屆書ニ令狀及醫師ノ診斷書ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間以內ニ之ヲ支廳長ニ差出スヘシ

應召員中傳染病豫防ノ爲交通遮斷隔離又ハ停留ヲ命セラレ到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ廳長ニ宛テタル屆書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間內ニ之ヲ支廳長ニ差出スヘシ令狀又ハ通報受領後出發迄ノ間ニ於テ前二項ノ事故ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサルニ至リタル者ハ直ニ前二項ノ手續ヲ爲スヘシ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

前三項ノ場合ニ於テ滯在地又ハ旅行先ヨリ届出ヲ爲ス者ハ其ノ届書ニ第一項ノ診斷書又ハ第二項ノ證明書及令狀ヲ添ヘ直ニ支廳長ニ差出スヘシ

犯罪又ハ所在不明等ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者アルトキハ令狀ヲ受領シタル者ヨリ廳長ニ宛テタル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀受領後二十四時間以內ニ之ヲ支廳長ニ差出スヘシ

第一項乃至第四項ノ手續ヲ爲スニ當リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ其ノ令狀ヲ差出スヘシ

第二十四條　前條ノ場合ニ於テ到著地ニ到ルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ支廳長ヲ經テ廳長ニ届出ヘシ

第二十五條　應召員途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ到著遲延ノ虞アルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ直ニ召集部隊長ニ届出テ出發シ得ルニ至レハ速ニ到著ノ上召集事務所ニ届出ヘシ

傷痍疾病ノ已ムコトヲ得サル事故ニ因リ到著遲延ノ虞アルトキハ其ノ他ノ廳長、支廳長、憲兵、警察官吏、船長又ハ驛長ノ證明書ヲ受ケ到著ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ集合場ニ到著スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到ルヘシ

第二十六條　應召員非常事變ニ因リ交通斷絶シタル爲到著地ニ到ルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ最寄部隊部隊ナキ地ニ在リテハ廳長、支廳長、憲兵又ハ警察官吏ニ届出ヘシ

第二十七條　前條ノ届出ヲ受ケタル者ハ適宜ノ處置ヲ爲シ本人ヲシテ到著地ニ到著セシメ得ルニ至レハ證明書ヲ與ヘ出發セシムヘシ但シ集合場ニ到著スヘキ者ニ在リテハ直ニ召集部隊ニ到著セシムヘシ

第四章　召集ノ解除

第二十八條　召集ノ解除ハ復員令ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要アルトキハ復員令ニ依ラス一部ノ召集解除ヲ行フ

第二十九條　召集ヲ解除セラレタル者ニシテ其ノ解除セラレタル日ヨリ十四日以內ニ居住地ニ復歸セサル者ニハ第十一條及第十六條ノ規程ヲ準用ス

第五章　罰則

第三十條　正當ノ事由ナクシテ第十條、第十一條、第十五條若ハ第二十九條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サス又ハ自己ノ居所ヲ通報人ニ詳知セシメサル爲召集又ハ軍衙ノ命令ヲ通報スルヲ得サルニ至ラシメタル者ハ十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處ス

第三十一條　正當ノ事由ナクシテ第十二條・第十三條第一項、第二項、第十四條第一項及第十六條ノ規定ニ違背シタル者ハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處ス

第三十二條　正當ノ事由ナクシテ第二十條、第二十一條、第二十二條第二項、第二十三條第一項乃至第五項、第二十五條第一項第二項及第二十六條ノ規定ニ進背シタル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處ス

第三十三條　正當ノ事由ナクシテ第二十四條ノ規定ニ違背シタル者ハ二月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一樣式

表面

七寸五分(曲尺)

受領證

一何月何日何隊へ召集ノ(何隊へ召集ノ爲何月何日何集合場へ到著スヘキ)充員(臨時)召集令狀

右受領ス

年　月　日午前/後　時　分

何廳何支廳何街(庄)

役種兵科官等級　何　某㊞

召集通報人其他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ記名捺印スヘシ

臺灣軍司令部御中

寸(曲尺)

到著次第何日

充員(臨時)召集令狀

何廳何支廳何街(庄)

役種兵科官等級　何　某

右充員(臨時)召集ヲ令セラル依テ左記日時到著地ニ參著シ此令狀ヲ以テ當該召集事務所ニ届出ヘシ

但シ何月何日午何時何分何驛(何港)發ノ汽車汽船ニ乘ルヘシ

到著日時	何年何月何日午前/後何時
到著地	何地何街何隊(何集合場)
召集部隊	何隊　何街(何庄)

臺灣軍司令部

乘車(乘船)ノ切符ヲ求ムルトキ及乘車(乘船)スルトキハ此ノ令狀ニ發著驛ヲ記入シ係員ニ示スヘシ

四寸(曲尺)

充員召集令狀符號

五寸(曲尺)

一　用紙ハ適宜ニシテ淡紅色トス
二　番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
三　到著地ハ何街何庄ト詳密ニ記載スヘシ
四　召集部隊欄割註ハ到著地ト召集部隊ト異ナル場合ニ限リ記入スルモノトス
五　到著日時欄及充員召集令狀符號欄ハ充

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

員召集令狀ニ限リ記載スルモノトス

六　但書及欄外記註ハ一例ヲ示シタルニ過キス軍司令部ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ記入スルモノトス

七　士官勤務適任證書所持者、下士適任證書所持及特業者ハ（補充兵ハ既教育ナルト未教育ナルトニ依リ）氏名ノ右肩ニ其ノ符號ヲ記載スルモノトス

八　令狀中氏名及到著日時、到著地、召集部隊名等ハ特ニ大ナル文字ヲ用ヰ且明瞭ニ記入スヘシ

九　受領者印顆ヲ所持セサルトキハ花押又ハ拇印ヲ爲スモ妨ケナシ

裏　面

應召員心得

應召員應召ノ爲鐵道（船舶）ヲ利用スルハ妨ケナシト雖戰時ニ於テハ適時ニ汽車（汽船）ニ乘ルコト能ハサルコト多キヲ以テ假令汽車（汽船）ニ乘ルコト能ハサル場合ニ於テ指定ノ日時ニ到著シ得ルカ如ク注意スヘシ但シ鐵道船舶ニ依ルニ非サレハ指定ノ日時ニ到著スルコト能ハサル者及官ニ鐵道（船舶）ニ依ルヘキコトヲ指定セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

一　色ハ適宜トス

二　軍司令部ニ於テハ令狀裏面ニ本樣式ノ外應召員及應召員ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

第二樣式

戰時召集ニ關スル居住屆

本籍地　府（縣）郡（市）町（村）番地

前居住地　內地（何廳何支廳何街（庄）何番地（臺灣ニ於テ居住換ヲ爲シタルトキ）

居住地　何廳何支廳何街（庄）何番地

渡臺年月日　何年何月何日

徵集年（下士及下士失官者ニシテ陸軍諸生徒ヨリ出身ノ者ハ生徒ト爲リシ年月）何年何年何月

任官經歷　何年何月何日特務曹長　何年何月何日少尉　何年何月何日中尉　何

准士官以上ニ限ル

下士初任年月日　何年何月何日志願ニ依リ任官又ハ志願ニ依ラスシテ任官

陸軍出身ノ區分待命（休職）（停職）ヲ命セラレタル年月日　一年志願兵下士候補生團校生徒何年何月何日准士官以上ニ限ル

歸休ヲ命セラレタル年月日　何年何月何日

豫備役編入年月日　何年何月何日

後備役編入年月日　何年何月何日

現役中最後ノ服役部隊及職名　歩兵第何聯隊（工兵第何大隊）歩兵第何聯隊大隊副官第何師團經理部部員職名ハ

准士官以上ニ限ル

所轄聯隊區名　麻布仙臺

士下勤務ヲ命セラレタル年月日　何年何月何日伍長看護長勤務等

適任證書及第證書　士官勤務下士適任證書一年志願兵終末試驗及第證書所持等

現在職業　何何官廳屬著地勤務警部巡查

特有ノ技能　臺灣語何語製圖其ノ他學術技藝等准士官以上ニ限ル

特業　擔架術喇叭機關銃通信手等現役中特別ノ修得ヲ記ス

聯隊區司令官屆出年月日　何年何月何日陸軍軍人服役令施行規則ニ依リ寄留屆等ヲ爲シタル年月日

改氏名氏名變更ノ場合　何々ト改姓何某ト改名

生年月日　何年何月何日

右及御屆候也

年月日　兵役何兵何官等級　何某㊞

何廳長何某殿

注意　氏名ニハ傍訓ヲ附スヘシ

●明治三十四年陸軍省告示第九號附表中追加

大正九年一月十二日
陸軍省告示第一號

明治三十四年（十月）陸軍省告示第九號附表中基隆及澎湖島要塞ノ部ヲ左ノ通追加ス

要塞	事項	區域
基隆	要塞地帶法第九條中漁獵、採藻、艦船ノ繫泊	基隆港內基隆堡ノ內八斗仔庄、外木山庄、大竿林庄ノ一部ニ於ケル水面
基隆	同第十條ニ掲クル事項	基隆市街、基隆堡ノ內社寮庄、大沙灣庄、田寮港庄、大水窟庄、蚵殼港庄、仙洞庄、牛稠港庄ニ於ケル一部
基隆	同第十一條第二號第五號	基隆市街、基隆堡ノ內社寮庄、大沙灣庄、田寮港庄、大水窟庄、蚵殼港庄、仙洞庄、牛稠港庄ニ於ケル一部
基隆	同第十六條中道路、橋梁、永久棧橋	第一區、第二區、第三區
澎湖島	同第九條中漁獵、採藻、艦船ノ繫泊	馬公灣內ノ一部
澎湖島	同第十條ニ掲クル事項	馬宮街、紅木埕鄉、火燒坪鄉、東衛鄉、大城北鄉、鷄母塢鄉、文澳鄉、內垵鄉、外垵鄉ニ於ケル一部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN